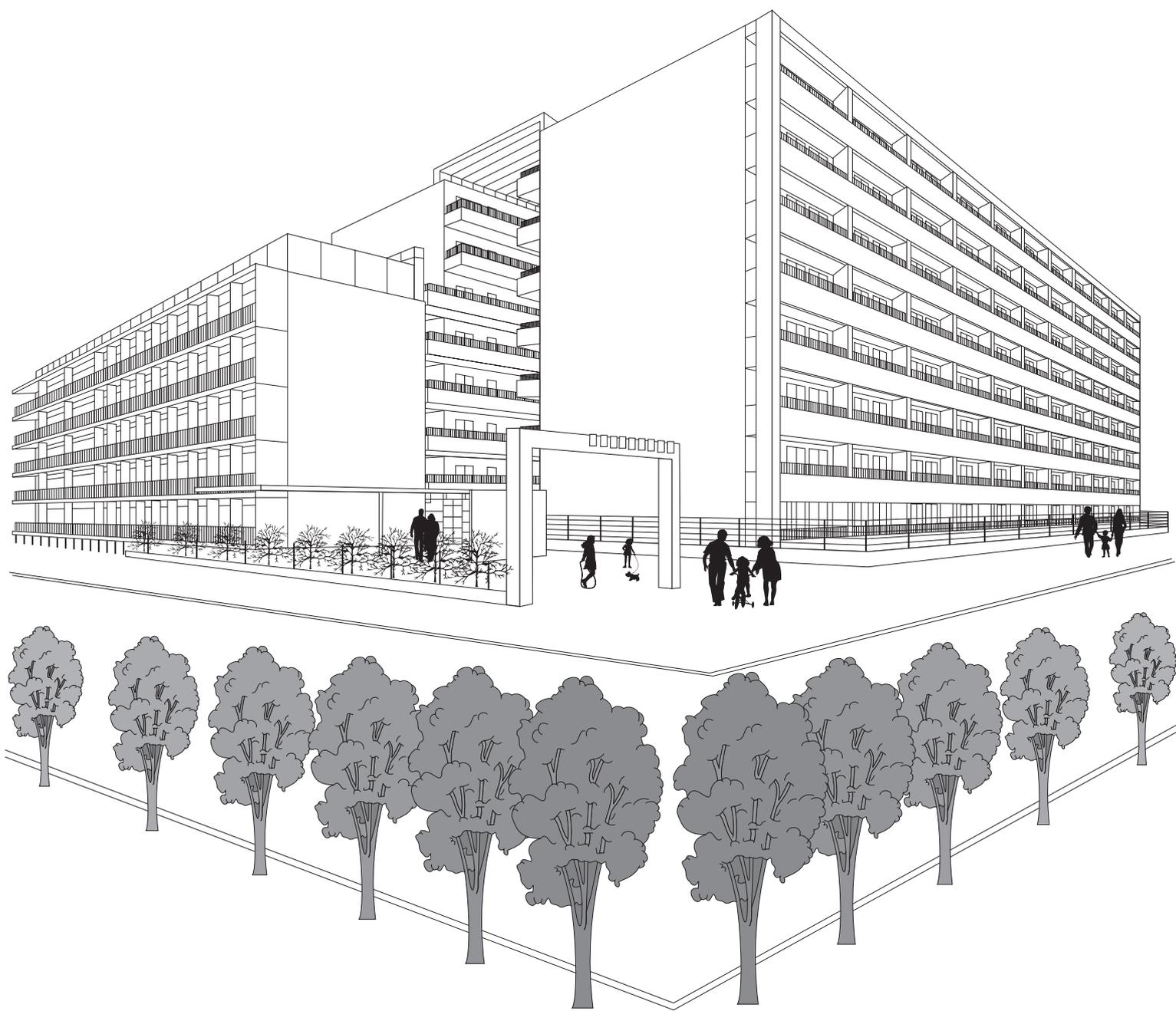


YKK
ap[®]

集合住宅用 ビル商品取扱説明書



■本書内の表示

本書内では、下記の表示を用いて、人身事故や損害を未然に防ぐために守っていただきたい内容を示しています。内容を十分ご理解のうえ、指示を守って商品をご使用ください。

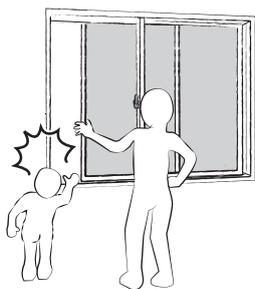
注意／お願い

表示	意味
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定される場合に用いる。
お願い	知っていると役立つレベルの注意喚起情報や操作説明等に用いる。

■安全上のご注意

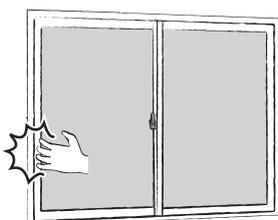
窓(網戸) スライド系 (引違い窓・上げ下げ窓・可動網戸 など)

お願い



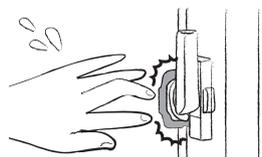
周囲に人がいないことを確認！

窓(網戸)の開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。窓(網戸)が人にぶつかったり、窓(網戸)で指をはさんだり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。



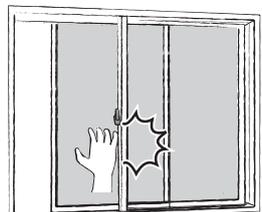
窓(網戸)と枠、窓(網戸)と窓のすき間に注意！

窓(網戸)の開閉時に、窓(網戸)と枠、窓(網戸)と窓のすき間に手や足を置かないでください。指をはさんで、けがをするおそれがあります。



部品のすき間に注意！

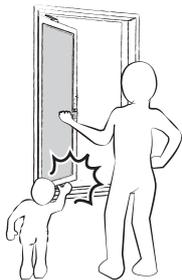
窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。指をはさんで、けがをするおそれがあります。



引手以外の部位を持って開閉しない！

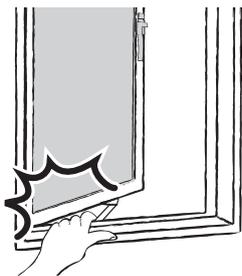
窓(網戸)の開閉は、必ず引手を持ってゆっくり操作してください。引手以外の部位を持って操作すると、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

お願い



周囲に人がいないことを確認！

窓(網戸)の開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。窓(網戸)が人にぶつかったり、窓(網戸)で指をはさんだり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。



窓(網戸)と枠のすき間に注意！

窓(網戸)の開閉時に、窓(網戸)と枠のすき間に手や足を置かないでください。指をはさんで、けがをするおそれがあります。



部品のすき間に注意！

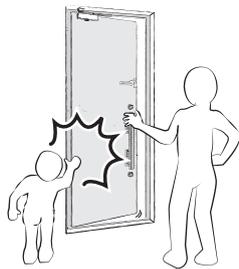
窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。指をはさんで、けがをするおそれがあります。



ハンドル以外の部位を持って開閉しない！

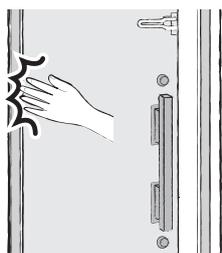
窓(網戸)の開閉は、必ずハンドルを持ってゆっくり操作してください。ハンドル以外の部位を持って開閉すると、指をはさんでけがをするおそれがあります。

お願い



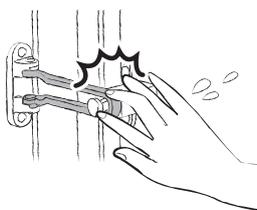
周囲に人がいないことを確認！

ドアの開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
ドアが人にぶつかったり、ドアで指をはさんだり、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。



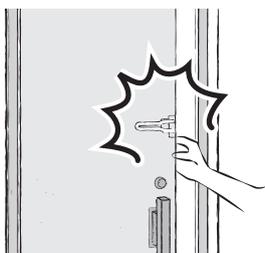
ドアと枠のすき間に注意！

ドアの開閉時に、ドアと枠のすき間に手や足を置かないでください。
指をはさんで、けがをするおそれがあります。



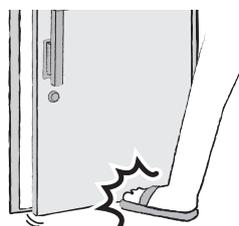
部品のすき間に注意！

窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。
指をはさんで、けがをするおそれがあります。



ハンドル以外の部位を持って開閉しない！

ドアの開閉は、必ずハンドルを持ってゆっくり操作してください。
ハンドル以外の部位を持って開閉すると、指をはさんでけがをするおそれがあります。



ドア下端部のすき間に注意！

ドアの開閉時に、ドア下端部のすき間に足を置かないでください。
足をはさんで、けがをするおそれがあります。
特に、サンダル履きでの開閉時にご注意ください。

■アルミ製商品を快適にご使用いただくために

- 長期間、お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れは、しみ、腐食やさびの原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1～2回程度です。特に、海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

■樹脂製商品を快適にご使用いただくために

- 樹脂製商品は断熱性能を高めるため、枠および障子が塩化ビニル樹脂で作られています。未長くご使用いただくため、次の点にご注意ください。
- プラスチックの中でも、特に酸・アルカリに対し強い性質を持っていますが、有機溶剤（シンナー・ベンジン・アセトン等）を、お手入れに使用しないでください。
- 樹脂表面に殺虫剤などの薬剤を塗布・散布し、付着しないように十分注意してください。薬剤が付着すると、ひび割れやはく離が発生するおそれがあります。また、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤等）が窓に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合は、すみやかに洗い流してください。
- 日常の使用に対して十分に耐えますが、金づちなどで強く叩いたり、ナイフで削ったりしますとキズがつきますので、ご注意ください。
- ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので熱源を商品に近づけないでください。

■お手入れ時の注意事項

- 清掃用具としてワイヤーブラシ、スチールウール、金ベラは使用しないでください。また清掃時に小石、砂、金属片などが付着すると、傷付けることとなります。
- 酸性またはアルカリ性の洗剤は、腐食や変色を起こしますのでご使用を避けてください。市販のクリーナーの中にはアルミニウムを腐食させるものがありますので、特に注意が必要です。
- 有機溶剤のご使用は避けてください。

■お手入れ方法

- 圧延または押出しの筋目方向にそってお手入れを行うと、きれいに仕上がります。
- 普通の汚れは、水で濡らした雑巾で拭いてください。汚れのひどい場合には、中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを落として十分に水洗いを行ない、乾いた布で水分を拭き取ってください。

■お手入れ時の点検について

- お手入れ時には、部品などのゆるみなども点検してください。特に丁番など、サッシの支持金具や取付ねじのゆるみ、がたつきなどが点検してください。ゆるみ、がたつきなどがある場合、そのままにしておくと、落下などの思わぬ事故につながるおそれがありますので、早急に建物管理者様、建設会社様、販売店様へご連絡ください。

■専門業者による定期的な維持管理のお願い

- 安全・安心にご使用いただくには、専門業者による定期的な維持管理が重要です。
- 日頃からサッシに異常が無いか、操作・作動状況の変化が無いか注意していただき、異常を感じたら速やかに専門業者、または当社お客様相談室にご相談ください。
- 安全に係る部品として、引違い窓等の戸車、はずれ止め、ストッパーなどは、10年を目安に交換することを推奨します。異常が確認されない場合でも、時間とともに故障のリスクが高まる可能性があります。（※使用環境により異なります。また保証期間ではありません。）

■台風による災害を防ぐために

- 台風はサッシの仕様（耐風圧性、水密性など）を超える暴風雨となることもありますので、暴風圏に入る前に事前の対策を図ることが必要です。

台風がくる前に・・・

- ベランダにおいてある物が飛ばされて、ガラスが破損したりすると危険ですので、植木や空き箱などは室内に入れてください。
- 網戸が飛ばされないよう、網戸のはずれ止め金具が確実にかかっているか確認してください。
- 窓やドアを閉め、完全にロックしてください。
窓やドア周辺の濡れては困る物を整理して、万一来ることをおすすめします。

台風がきたら・・・

- 出入りの際、ドアは風にあおられ危険です。
開閉の時には手などをはさまれないようにご注意ください。
- 台風時には、気象条件、地形、建物の配置・形状などにより思いがけない条件になる場合があります。
そのため、性能値以上の過酷な条件になり漏水することもあります。
- 下枠に雨水を溜め込む止水方法のサッシの場合、下枠を越えて雨水が内部に浸入する場合があります。
雨水侵入のおそれがある場合は、下枠にタオルなどを当ててふさぐことをお勧めします。

■はじめに

YKK APは、耐久性や合理性などの性能を追求するだけでなく、人にやさしい住まいづくりをめざしています。毎日触れるものですから、安全面でも十分配慮しています。しかし、誤った使い方をされたり、ちょっとした不注意から思わぬ事故になりかねません。それぞれの機能を十分ご理解いただいた上で、YKK APの商品をご使用ください。

注：本編の商品はYKK AP商品のみに対応します。

引違い窓・片引き窓	
EXIMA 31・EXIMA 51・EXIMA 32 引違い窓・片引き窓	P. 8
EXIMA 31 [GRAF工法] 引違い窓	
EXIMA 31・EXIMA 32 [フラット下枠仕様]引違い窓・片引き窓	P. 11
EXIMA 31 引違い窓 (3・6枚建)	P. 14
EXIMA 31 二重窓	P. 18
EXIMA 31Wb 引違い窓・片引き窓/EXIMA 51Wb 引違い窓	P. 20
エクシマ 70Wb 引違い窓・片引き窓	P. 23
EXIMA 77 引違い窓・片引き窓	P. 24
R's 70Tbf 引違い窓・片引き窓	P. 27
R's 70FL 引違い窓・片引き窓	P. 29
YAT-100 [大型引戸] 引違い窓・片引き窓	P. 32
YBS-100・YDBS-100・YDS-100 片引き窓	P. 34
R's 51 片引き窓	P. 35
R's 51 片引き窓 (FIX部アルミパネルタイプ)	P. 39
FIX窓	
EXIMA 31・EXIMA 31Wb・エクシマ 70Wb・EXIMA 51・EXIMA 32・	P. 41
EXIMA 37・R's 61・SYSTEMA 31・SYSTEMA 310・SYSTEMA 710・	
SYSTEMA 521・SYSTEMA 720・YAT-100・YDP-100・YDEX-70・	
SYSTEMA 9201c・SYSTEMA 9211c・SYSTEMA 9221c・EXIMA 91c・	
YC 500・YCS-80・EXIMA 31e・EXIMA 51e・SYSTEMA 510e・	
SYSTEMA 520e・SYSTEMA 31e	
外倒し窓	
EXIMA 31・EXIMA 51・EXIMA 32・YDEX-70	P. 42
外倒し窓 [排煙窓]	
EXIMA 37	P. 43
内倒し窓	
EXIMA 31・EXIMA 51・EXIMA 32・YDEX-70	P. 44
EXIMA 31・EXIMA 51・EXIMA 32 [2段階オープン仕様]	P. 45
R's 70Tbf [トブラッチ仕様]	P. 46
EXIMA 31・EXIMA 32・R's 70Tbf [タッチラッチ仕様]	P. 47
突出し窓	
EXIMA 31・EXIMA 51・EXIMA 32	P. 48
外開き窓	
EXIMA 31・EXIMA 51・EXIMA 32・YDEX-70	P. 49
EXIMA 31・EXIMA 51・EXIMA 32 [換気付非常用進入口仕様]	P. 51
EXIMA 37	P. 53
すべりだし窓	
EXIMA 31・EXIMA 51・EXIMA 32・YDEX-70	P. 55
たてすべりだし窓	
EXIMA 31・EXIMA 51・EXIMA 32・EXIMA 31e・EXIMA 51e	P. 56
EXIMA 31・EXIMA 32	P. 59
[オペレーターハンドル仕様] [スリット換気仕様]	
EXIMA 31 [ウインドキャッチ スリット換気仕様]	P. 61
EXIMA 31 [ウインドキャッチ オペレーターハンドル仕様]	P. 62
EXIMA 31・EXIMA 51・EXIMA 32 [換気付非常用進入口仕様]	P. 64
EXIMA 37 [換気仕様]	P. 66
EXIMA 37 [換気付非常用進入口仕様]	P. 68
R's 61	P. 70
R's 70Tbf [グレモンハンドル仕様]	P. 72
R's 70Tbf [オペレーターハンドル仕様]	P. 75
サイドパス [V仕様] [RV仕様] [WV仕様]	
EXIMA 31	P. 77
アンダーパス [V仕様] [RV仕様] [WV仕様] [WRV仕様]	
EXIMA 91c	P. 78
内開き窓	
EXIMA 31	P. 79
たて軸回転窓	
EXIMA 31・YDP-100	P. 80
YAT-100 大型タイプ	P. 81
上げ下げ窓	
EXIMA 31	P. 83
オーニング窓	
EXIMA 31	P. 85
アルミルーバー窓 [可動がらり]	
EXIMA 31	P. 86
ガラスルーバー窓	
EXIMA 31	P. 87
折りたたみ戸 [全開口折戸]	
EXIMA 31	P. 88
片開きドア・両開きドア・自由開きドア	
アルミドア・スチールドア	P. 92
EXIMA 31・EXIMA 51 [フラッシュタイプ 防音仕様]	P. 98
EXIMA 31・EXIMA 51・EXIMA 32 [かまちタイプ 防音仕様]	P. 99
EXIMA 31 [通風ドア]	P.100
EXIMA 37 [かまちタイプ]	P.103
網戸	
可動網戸 WS10E型	P.105
可動網戸 WS10E型 (EXIMA 31 内外障子内はずし仕様、 3・6枚建 レールフラット下枠仕様、フラット下枠仕様)・WS10型	P.109
可動網戸 落下防止ワイヤー部品 WS10E型	P.113
可動網戸 自走防止ストッパー WS10E型	P.115
可動網戸 自走防止ストッパー WS10型	P.117
可動網戸 自走防止金具 WS10E型・WS10型	P.119
室内付可動網戸 WS11型	P.120
開き網戸 WS21型	P.122
固定網戸 内倒し窓用 WS40型 (EXIMA用)	P.123
固定網戸 内倒し窓用 [2段階オープン仕様] WS40型 (EXIMA用)	P.125
固定網戸 内倒し窓用 (R's 70Tbf用)	P.127

固定網戸 たてすべり出し窓用 WS41型	P.129
固定網戸 上げ下げ窓用	P.130
固定網戸 オーニング窓/ガラスルーバー窓用	P.131
収納網戸 ビューネット R型	P.132
収納網戸 ビューネット A型	P.135
収納網戸 ビューネット AF型	P.138
スチール商品	
スチール玄関ドア	P.140
換気機能付き玄関ドア	P.141
面格子	
ルーバー面格子 GFL【固定型】	P.154
ルーバー面格子 GOL【開放型】	P.155
面格子 GFV-BL	P.157
LA面格子・面格子・高強度面格子 FLA	P.158
樹脂製内窓 プラマードU	
引違い窓	P.159
FIX窓	P.161
内開き窓	P.164
商品保証	
商品保証について	P.179
BL認定品の商品保証について	P.180
安全・安心に配慮した オプション	
非常用進入口用クレセント受	P.165
ボタン錠付クレセント	P.166
脱着ノブクレセント	P.168
キー付クレセント	P.169
開口制限ストッパー	P.170
回転ストッパー	P.171
指はさみ防止用ストッパー	P.172
ロック機構付ドアガード	P.173
快適性に配慮した オプション	
換気小窓	P.174
換気小窓 (内倒し型)	P.175
換気かまち	P.177
意匠性を向上させる オプション	
装飾格子	P.178

引違い窓 / 片引き窓 [内動タイプ・外動タイプ]

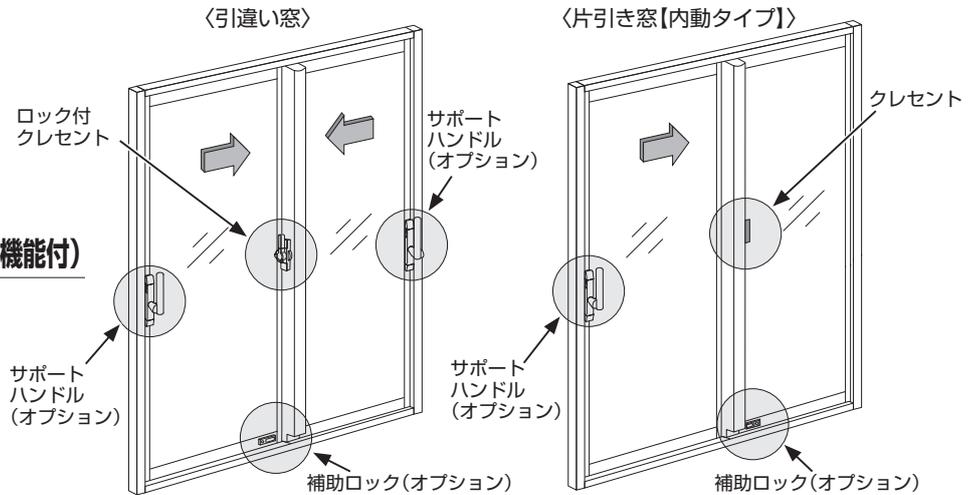
□ EXIMA 31 □ EXIMA 51 □ EXIMA 32 □ EXIMA 31 [GRAF 工法]

主要部材名称

クレセントのロックをはずして、障子を左右にスライドさせる引違い窓です。

主要部品

- ロック付クレセント(空掛け防止機能付)
- クレセント受
- 戸車
- はずれ止め



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

【はずれ止め】

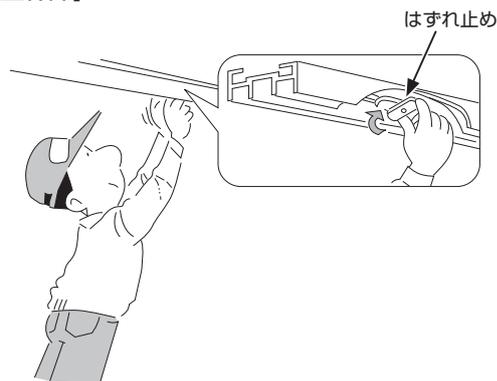
万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。障子脱落防止のため、必ずお守りください。

・上枠部のはずれ止めの操作方法

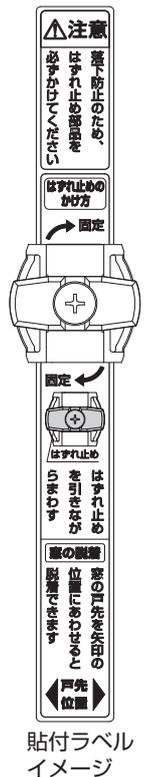
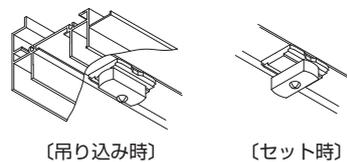
- ① 障子を開けてください。
- ② 上枠に付いているはずれ止めを下に引っ張りながらレールに対して90°回転させるとセットされます。上枠に付いている全てのはずれ止めがセットされているかご確認ください。

※ 窓のサイズが大きい場合や、複層ガラスが装着されている場合、障子重量は大変重くなっています。無理に障子をはずそうとした場合、思わぬ事故や商品の破損につながるおそれがあります。商品に故障・破損などの不具合が発生した場合には、最寄りのYKK AP支店または取扱店までご相談ください。

【上枠部】



※上枠FIX部はずれ止めは、はずさないでください。(EXIMA 31・EXIMA 51 片引き窓【内動タイプ】)



貼付ラベルイメージ

△注意

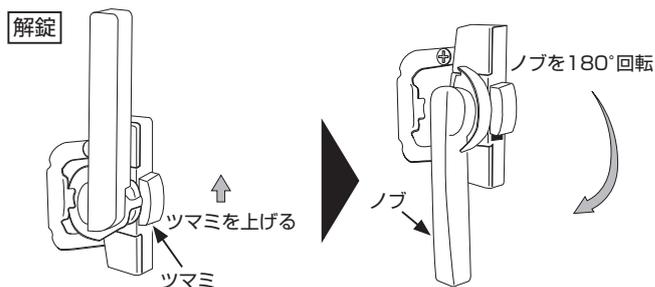
- お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

操作

【クレセント】

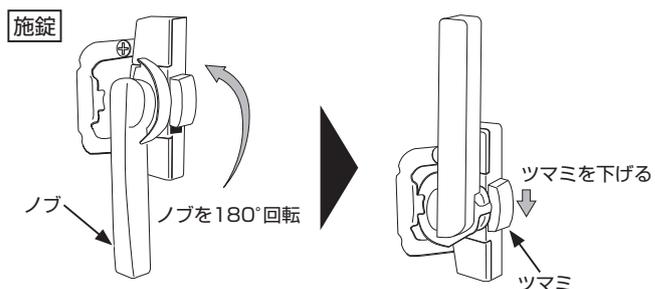
（解錠方法）

- ① ツマミを上部に押し上げロックを解除してください。
 - ② ノブを下に 180° 回転させてください。
- ※ ツマミ下部に赤色が見える状態がロック解除状態です。クレセントを解除（解錠）させることにより障子のスライドが可能になります。
- ※ 補助ロックがある場合は補助ロックが解除されているかを確認してください。

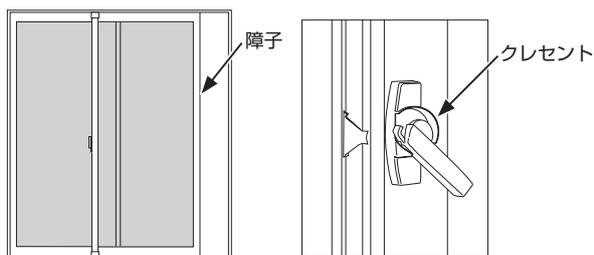


（施錠方法）

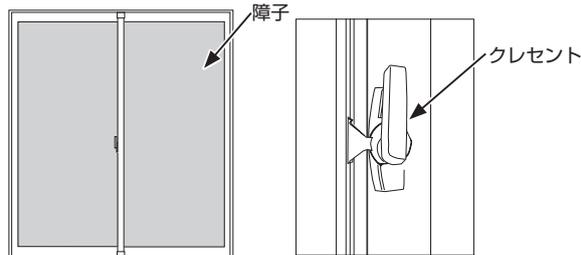
- ① 障子を完全に閉じてください。
 - ② ノブを上 に 180° 回転してください。
 - ③ ツマミを下部に押し下げてください。クレセントが回転しなくなります。
- ※ 空掛け防止機能付のため障子が閉じきっていない状態では回転できません。



障子が少し開いた状態

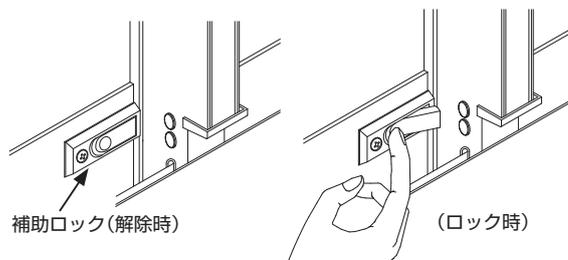


障子が閉じた状態



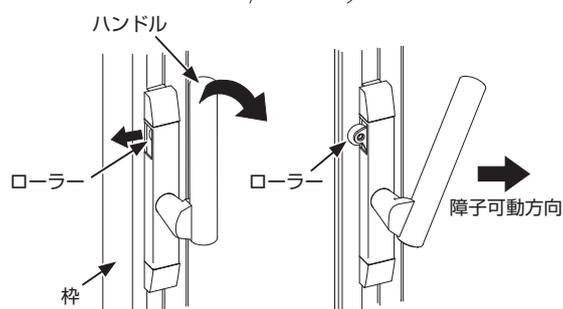
【補助ロック(オプション)】

- ① 補助ロックを押すことにより、ロック機能が作動します。
- ② ロック機能を解除（解錠）させる時は、起き上がっている部分を押ししてください（補助ロック作動時には、障子をスライドできません）。



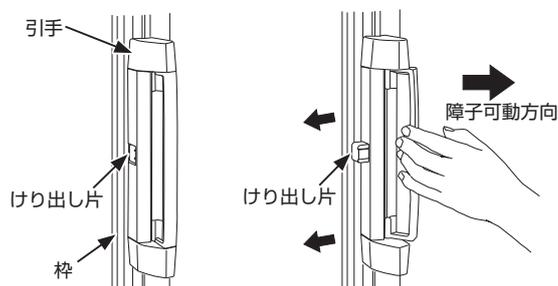
【サポートハンドル(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除（解錠）します。
 - ② 障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます（ハンドルベース内部に納まっているローラーが、枠をけり出します）。
※ ハンドルは、障子可動方向に一定の角度（約 20°）で止まります。
- （注）可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。



【サポート引手(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除（解錠）します。
 - ② 障子の可動方向に引手をスライドさせます（引手ベース内部に納まっているけり出し片が枠をけり出します）。
※ 引手は、障子可動方向に一定の量だけスライドして止まります。
- （注）可動方向以外に無理な力をかけたりしますと、引手が破損するおそれがありますのでご注意願います。



操作

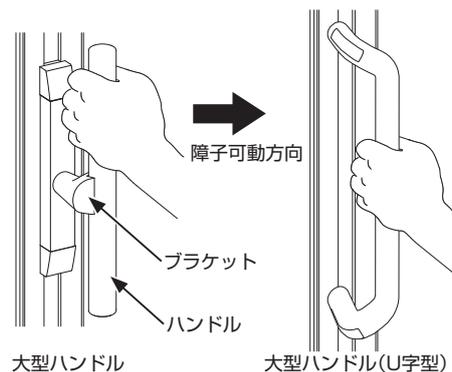
【大型ハンドル/大型ハンドル(U字型) (オプション)】

① クレセントを下に 180° 回転させることによってロック機能を解除 (解錠) します。

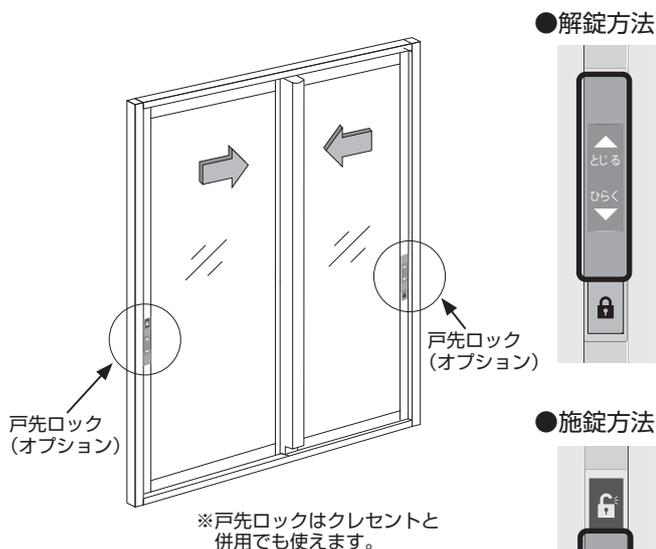
② ハンドルを持ち障子を可動方向にスライドします。

※ 窓の開閉は、図のようにハンドルに手をかけて操作してください。

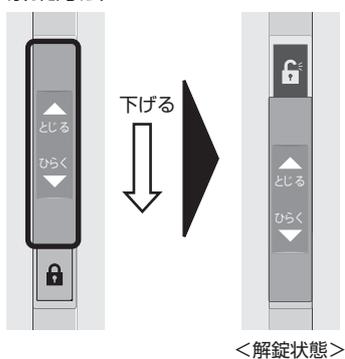
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかけるなどしますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。



【戸先ロック(オプション)】

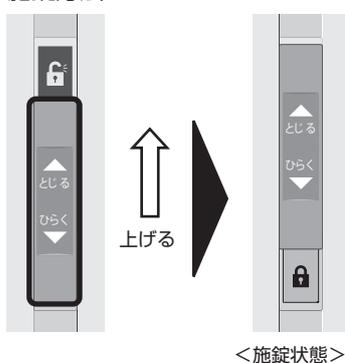


●解錠方法



- 障子の戸先についている戸先ロックのつまみを「ひらく」方向の下に押し下げることで、ロックが解除 (解錠) できます。
- ※ つまみ上部に赤色が見える状態がロック解錠状態です。

●施錠方法



- 障子を完全に閉じた状態で戸先ロックのつまみを「とじる」方向の上に押し上げることで、施錠できます。
- ※ 空掛け防止機能付のため障子が閉じきっていない状態ではつまみは動かせません。

⚠注意

- 風の強いときは、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。

引違い窓 / 片引き窓 [内動タイプ]

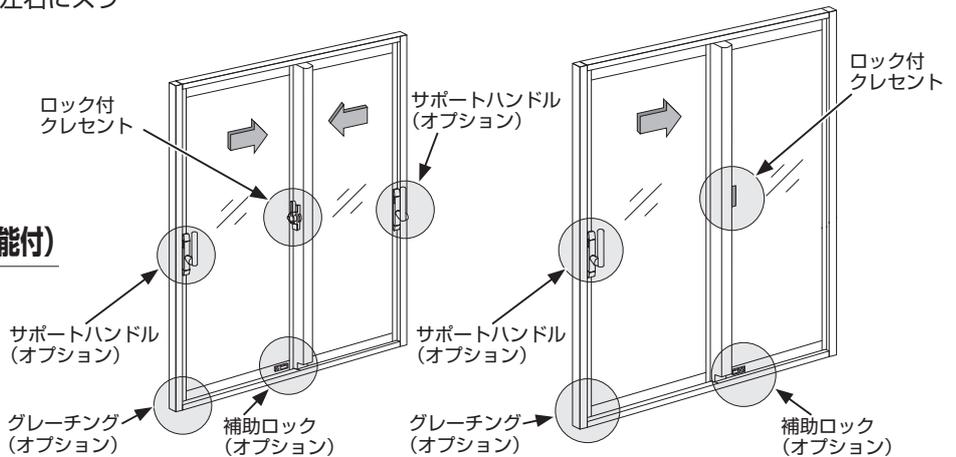
□ EXIMA 31 フラット下枠仕様 □ EXIMA 32 フラット下枠仕様

主要部材名称

クレセントのロックをはずして、障子を左右にスライドさせる引違い窓です。

〈引違い窓〉

〈片引き窓[内動タイプ]〉



主要部品

- ロック付クレセント(空掛け防止機能付)
- クレセント受
- 戸車
- はずれ止め

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

【はずれ止め】

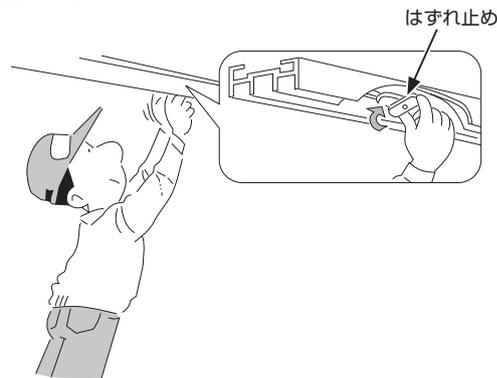
万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。
障子脱落防止のため、必ずお守りください。

・上枠部のはずれ止めの操作方法

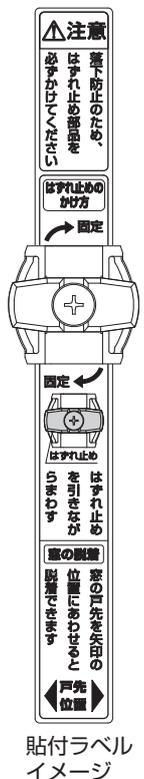
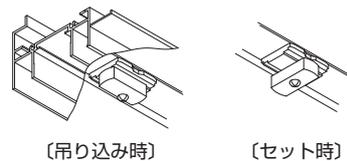
- ① 障子を開けてください。
- ② 上枠に付いているはずれ止めを下に引っ張りながらレールに対して90°回転させるとセットされます。上枠に付いている全てのはずれ止めがセットされているかご確認ください。

- ・窓のサイズが大きい場合や、複層ガラスが装着されている場合、障子重量は大変重くなっています。無理に障子をはずそうとした場合、思わぬ事故や商品の破損につながるおそれがあります。
商品に故障・破損などの不具合が発生した場合には、最寄りのYKK AP支店または取扱店までご相談ください。

【上枠部】



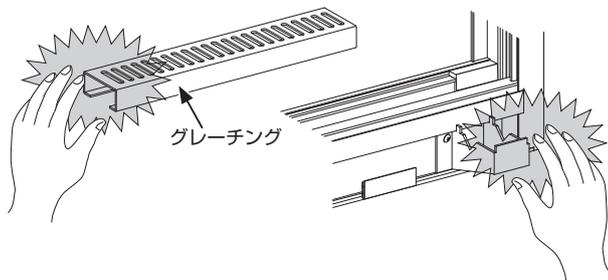
※上枠FIX部はずれ止めは、はずさないでください。



貼付ラベルイメージ

【グレーチング(オプション)】

- ・清掃中は幼児を近づけないようにしてください。また、取りはずした部材に触れさせないでください。
- ・メンテナンスの目的以外では、部材をはずしたり、はずしたままの状態でご使用しないでください。

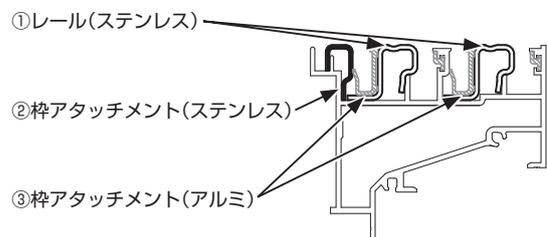


【注意】

- ・お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっているとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

【ステンレス下枠仕様】

②、③の部材は、スナップ式構造で、ネジ固定されておりません。お手入れ等ではずされた場合は、正しく取付けされているか必ずご確認ください。
また、部材に触れる際は、側面部等で手を傷つけないよう、取扱いに十分にご注意ください。

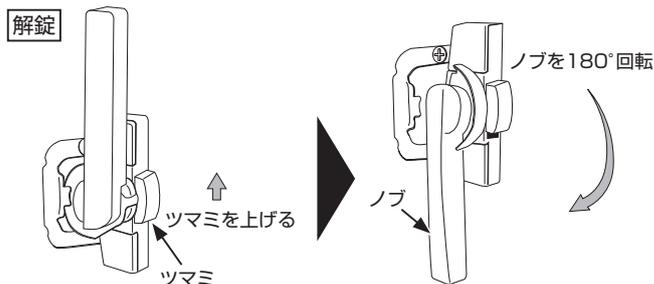


操作

【クレセント】

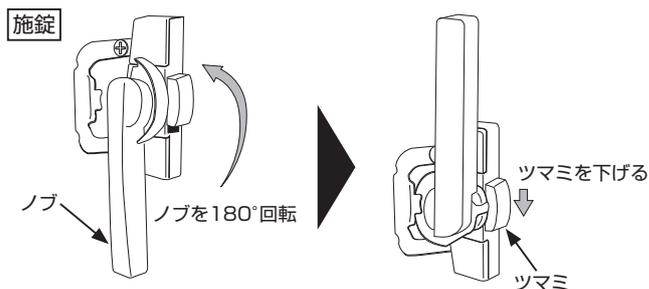
(解錠方法)

- ツマミを上部に押し上げロックを解除し、ノブを下に 180° 回転させることでクレセントを解除（解錠）できます。
- ※ ツマミ下部に赤色が見える状態がロック解除状態です。クレセントを解除（解錠）させることにより障子のスライドが可能になります。
- ※ 補助ロックがある場合は補助ロックが解除されているかを確認してください。

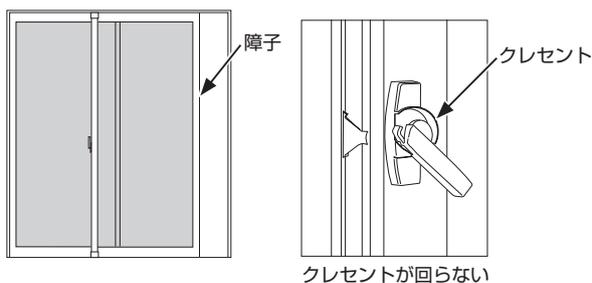


(施錠方法)

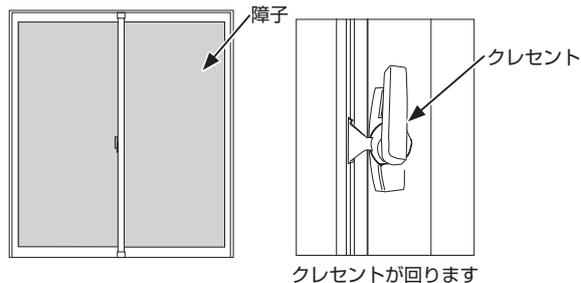
- 障子を完全に閉じた状態でノブを上 に 180° 回転させることで施錠できます。さらにツマミを押し下げることでクレセントを回転させられなくなります。
- ※ クレセントは、空掛け防止機能付のため障子が閉じきっていない状態では回転できません。



障子が少し開いた状態

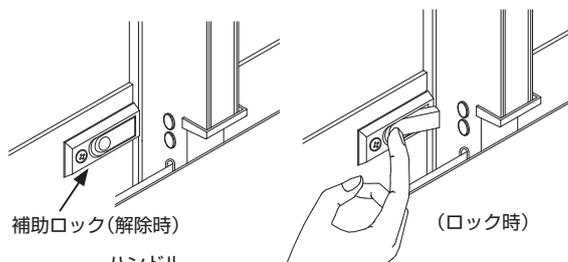


障子が閉じた状態



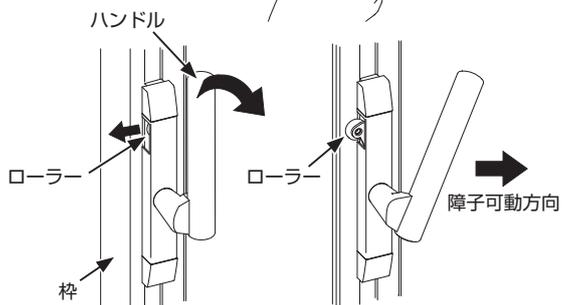
【補助ロック(オプション)】

- ① 補助ロックを押すことにより、ロック機能が作動します。
- ② ロック機能を解除（解錠）させる時は、起き上がっている部分を押ししてください（補助ロック作動時には、障子をスライドできません）。



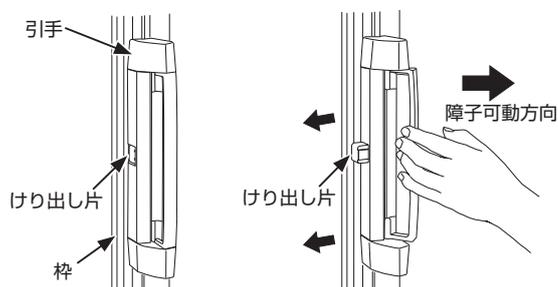
【サポートハンドル(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除（解錠）します。
- ② 障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます（ハンドルベース内部に納まっているローラーが、枠をけり出します）。
※ ハンドルは、障子可動方向に一定の角度（約 20°）で止まります。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。



【サポート引手(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除（解錠）します。
- ② 障子の可動方向に引手をスライドさせます（引手ベース内部に納まっているけり出し片が枠をけり出します）。
※ 引手は、障子可動方向に一定の量だけスライドして止まります。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたりしますと、引手が破損するおそれがありますのでご注意願います。



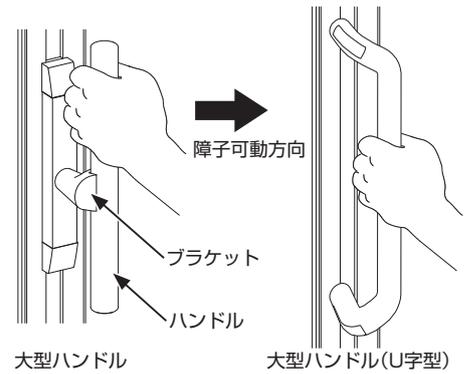
【大型ハンドル/大型ハンドル(U字型) (オプション)】

① クレセントを下に 180° 回転させることによってロック機能を解除 (解錠) します。

② ハンドルを持ち障子を可動方向にスライドします。

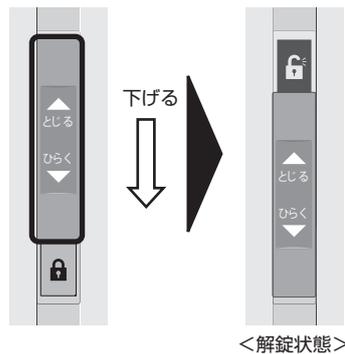
※ 窓の開閉は、図のようにハンドルに手をかけて操作してください。

(注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかけるなどしますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意ください。



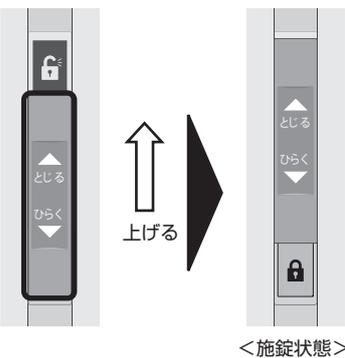
【戸先ロック(オプション)】

●解錠方法

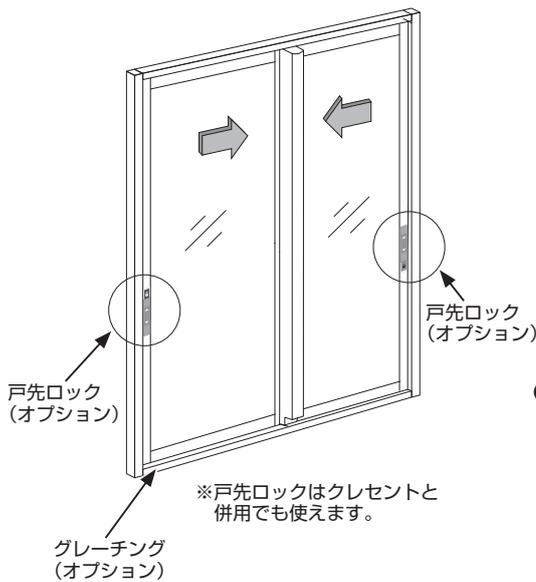


- 障子の戸先についている戸先ロックのつまみを「ひらく」方向の下に押し下げることで、ロックが解除 (解錠) できます。
- ※ つまみ上部に赤色が見える状態がロック解錠状態です。

●施錠方法



- 障子を完全に閉じた状態で戸先ロックのつまみを「とじる」方向の上に押し上げることで、施錠できます。
- ※ 空掛け防止機能付のため障子が閉じきっていない状態ではつまみは動かせません。



※戸先ロックはクレセントと併用でも使えます。

⚠注意

- 風の強いときは、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。

メンテナンス

【下枠】

日常のお手入れはサッシの下枠上面部分を拭いていただくか、掃除機で吸い込んで、清掃を行なってください。

【グレーチング部】

日常のお手入れはグレーチング表面を拭いていただくだけで、きれいになります。

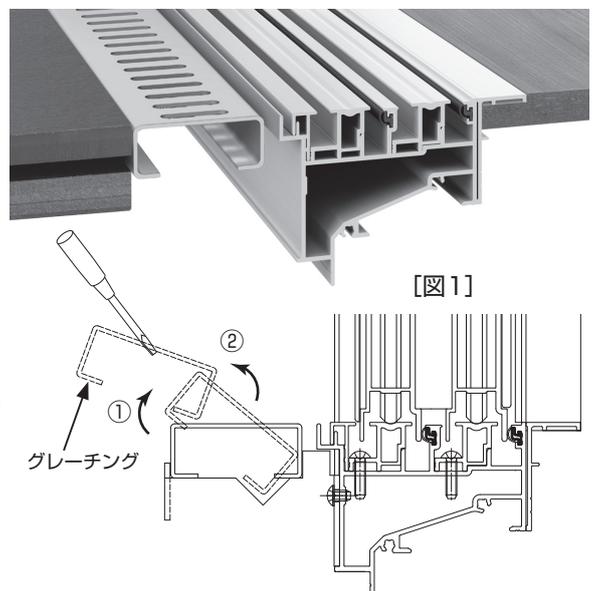
ただし、グレーチングの下にゴミやホコリがたまった場合は、下記の手順に従って清掃を行ってください。

(はずし方)

① ペンチやドライバーをグレーチングのスリット穴に引っ掛け、手前に回転させるようにしてはずし、グレーチングの下にたまったゴミやホコリを取り除いてください。[図 1]

(取りつけ方)

② はずし方の逆の手順で取りつけます。



引違い窓 (3・6 枚建)

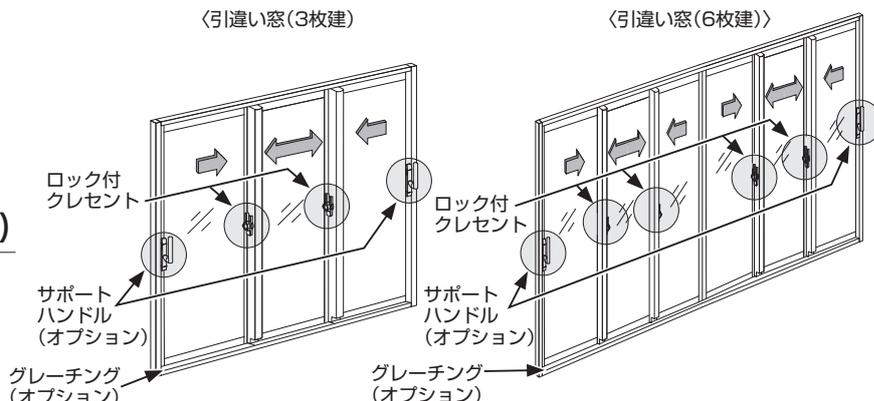
□ EXIMA 31 引違い窓 (3・6 枚建)、EXIMA 31 引違い窓 (3・6 枚建) 【ルールフラット下枠仕様】

主要部材名称

クレセントのロックをはずして、障子を左右にスライドさせる引違い窓です。

主要部品

- ロック付クレセント(空掛け防止機能付)
- クレセント受
- 戸車
- はずれ止め



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

【はずれ止め】

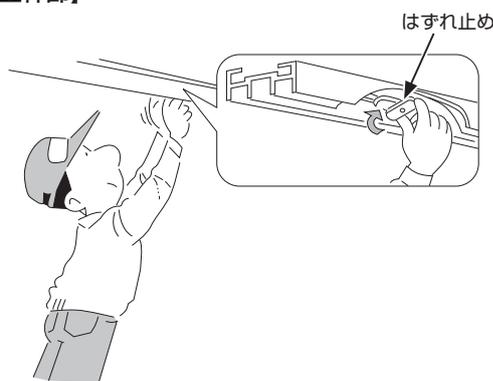
万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。障子脱落防止のため、必ずお守りください。

・上枠部のはずれ止めの操作方法

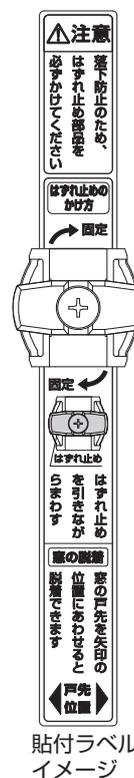
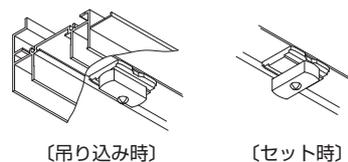
- ① 障子を開けてください。
- ② 上枠に付いているはずれ止めを下に引っ張りながらレールに対して90°回転させるとセットされます。上枠に付いている全てのはずれ止めがセットされているかご確認ください。

- ・窓のサイズが大きい場合や、複層ガラスが装着されている場合、障子重量は大変重くなっています。無理に障子をはずそうとした場合、思わぬ事故や商品の破損につながるおそれがあります。商品に故障・破損などの不具合が発生した場合には、最寄りのYKK AP支店または取扱店までご相談ください。

【上枠部】



※上枠FIX部ははずれ止めは、はずさないでください。



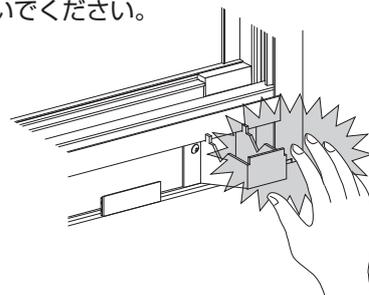
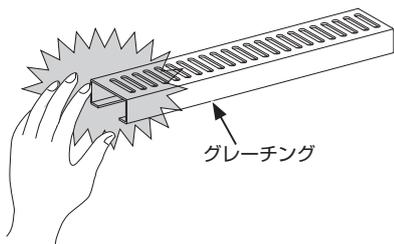
貼付ラベルイメージ

【下枠】※ルールフラット下枠仕様の場合

- ・下枠についている部品をひっぱったり、むやみに外さないでください。部品がはずれた場合、ケガをする恐れがあります。万が一ははずれた場合は、最寄りのYKK AP支店または取扱店までご相談ください。

【グレーチング(オプション)】

- ・清掃中は幼児を近づけないようにしてください。また、取りはずした部材に触れさせないでください。
- ・メンテナンスの目的以外では、部材をはずしたり、はずしたままの状態で使用しないでください。



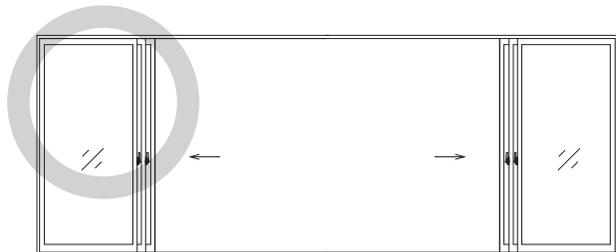
【注意】

- ・お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

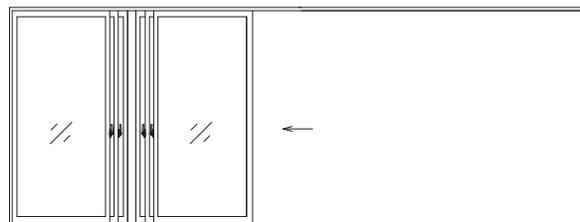
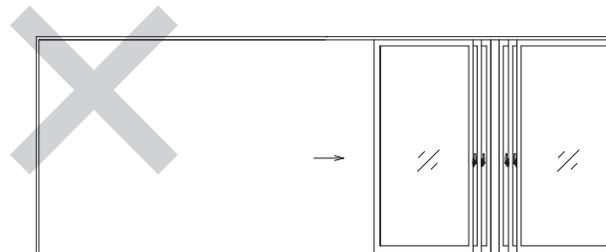
【操作方法(6枚建)】

- 6枚建は障子を片寄せにした状態にしないでください。下枠に取り付いている部品がはずれるおそれがあります。万が一はずれた場合は、最寄のYKK AP支店または取扱店までご相談ください。
※レールフラット下枠仕様の場合は片寄せ状態にしても問題ありません。

障子を両側にして解放



障子を片寄せにして解放



操作

【クレセント】

(解錠方法)

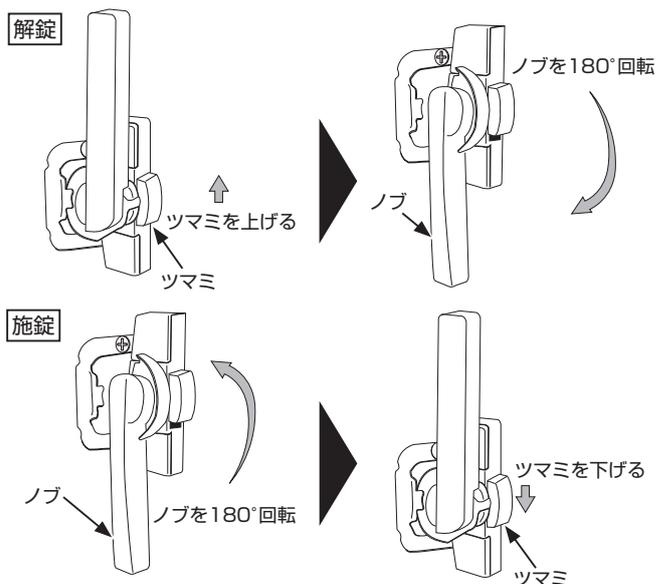
ツマミを上部に押し上げロックを解除し、ノブを下に180°回転させることでクレセントを解除(解錠)できます。

- ※ ツマミ下部に赤色が見える状態がロック解除状態です。クレセントを解除(解錠)させることにより障子のスライドが可能になります。
- ※ 補助ロックがある場合は補助ロックが解除されているかを確認してください。

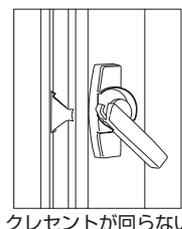
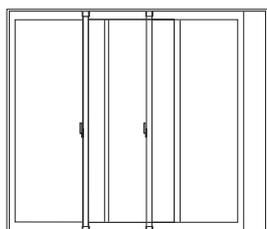
(施錠方法)

障子を完全に閉じた状態でノブを上180°回転させることで施錠できます。さらにツマミを押し下げることでクレセントを回転させられなくなります。

- ※ クレセントは空掛け防止機能付のため障子が閉じきっていない状態では回転できません。

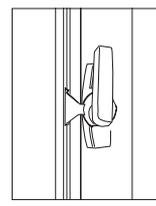
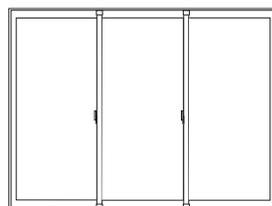


障子が少し開いた状態



クレセントが回らない

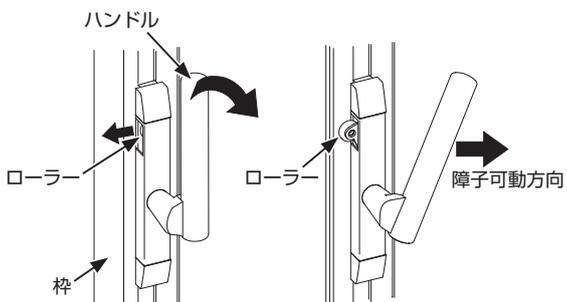
障子が閉じた状態



クレセントが回ります

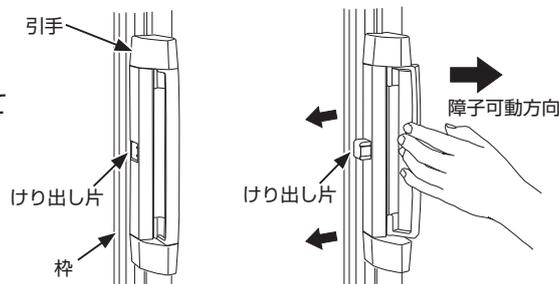
【サポートハンドル(オプション)】

- ① クレセントを下に180°回転させることによって、ロック機能を解除(解錠)します。
 - ② 障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます(ハンドルベース内部に納まっているローラーが、枠をけり出します)。
 - ※ ハンドルは、障子可動方向に一定の角度(約20°)で止まります。
- (注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。



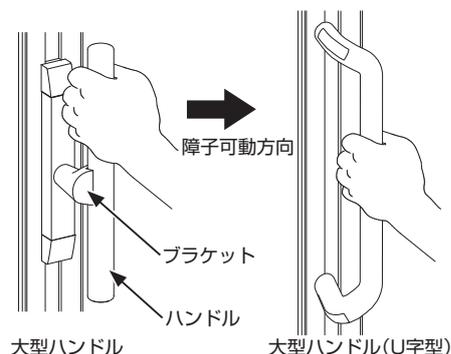
【サポート引手(オプション)】

- ① クレセントを下に180°回転させることによって、ロック機能を解除(解錠)します。
 - ② 障子の可動方向に引手をスライドさせます(引手ベース内部に納まっているけり出し片が枠をけり出します)。
 - ※ 引手は、障子可動方向に一定の量だけスライドして止まります。
- (注) 可動方向以外に無理な力をかけたりしますと、引手が破損するおそれがありますのでご注意願います。



【大型ハンドル/U字型ハンドル(オプション)】

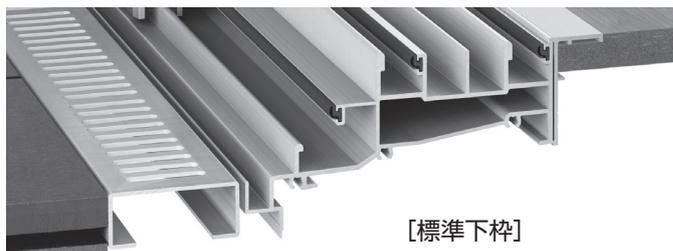
- ① クレセントを下に180°回転させることによってロック機能を解除(解錠)します。
 - ② ハンドルを持ち障子を可動方向にスライドします。
 - ※ 窓の開閉は、図のようにハンドルに手をかけて操作してください。
- (注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかけるなどしますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。



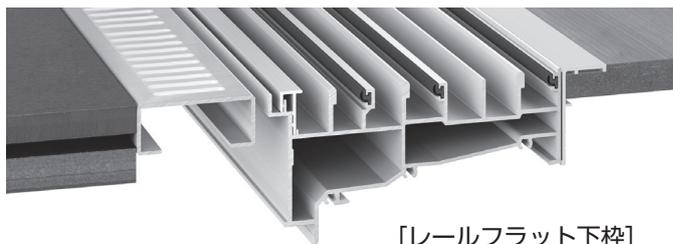
メンテナンス

【下枠】

日常のお手入れはサッシの下枠上面部分を拭いていただくか、掃除機で吸い込んで、清掃を行ってください。



【標準下枠】



【レールフラット下枠】

【グレーチング部】

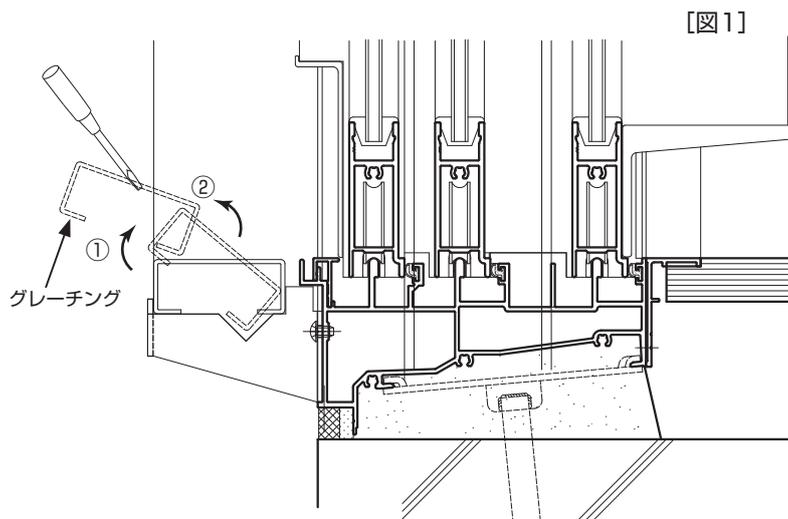
日常のお手入れはグレーチング表面を拭いていただくだけで、きれいになります。但し、グレーチングの下にゴミやホコリがたまった場合は、下記の手順に従って清掃を行ってください。

(はずし方)

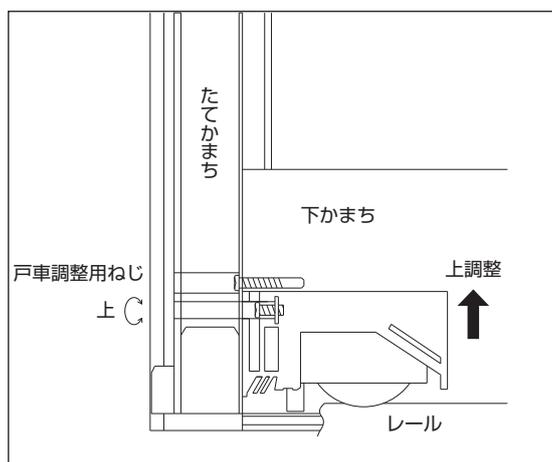
- ① ペンチやドライバーをグレーチングのスリット穴に引っ掛け、手前に回転させるようにしてはずし、グレーチングの下にたまったゴミやホコリを取り除いてください。【図1】

(取りつけ方)

- ② はずし方の逆の手順で取りつけます。



■建付け調整



建付け調整は戸車の高低を適正な位置に調整することでおこなえます。戸車調整用ねじはドライバー*で簡単に回せます(右に回すと障子が上がります)。

※ 3枚建・6枚建の建付け調整の際には、ドライバーの先端部の長さが、150mm以上のものをお使いください。

引違い窓

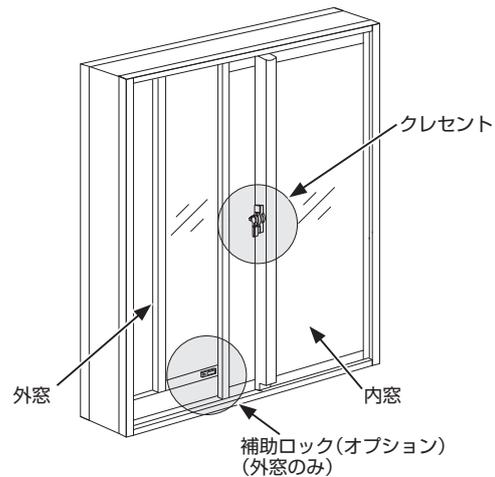
□ EXIMA 31 【二重窓】

主要部材名称

クレセントのロックをはずして、障子を左右にスライドさせる引違い窓です。

主要部品

- ・クレセント
- ・クレセント受
- ・戸車
- ・はずれ止め



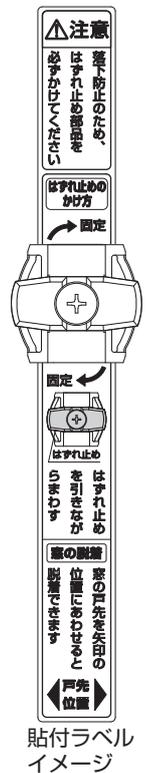
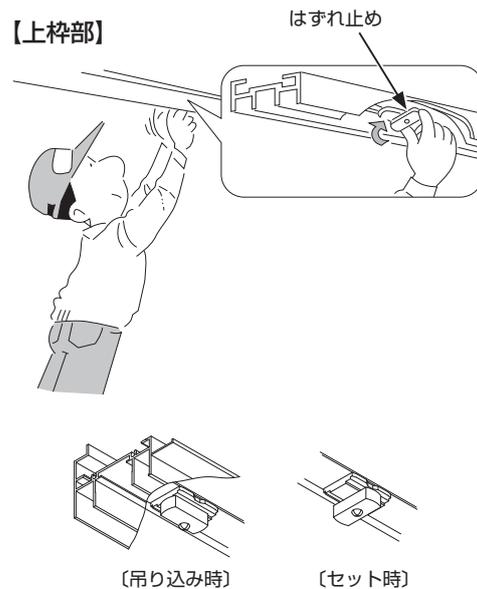
安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

【はずれ止め】

万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。障子脱落防止のため、必ずお守りください。

・上枠部のはずれ止めの操作方法

- ① 障子を開けてください。
 - ② 上枠に付いているはずれ止めを下に引っ張りながらレールに対して90°回転させるとセットされます。
上枠に付いている全てのはずれ止めがセットされているかご確認ください。
- ・窓のサイズが大きい場合や、複層ガラスが装着されている場合、障子重量は大変重くなっています。
無理に障子をはずそうとした場合、思わぬ事故や商品の破損につながるおそれがあります。
商品に故障・破損などの不具合が発生した場合には、最寄りのYKK AP支店または取扱店までご相談ください。
 - ・風が強い時は、外窓および内窓を両方閉めてご使用ください。



貼付ラベルイメージ

△注意

- ・お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずつけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

操作

【クレセント】

(解錠方法)

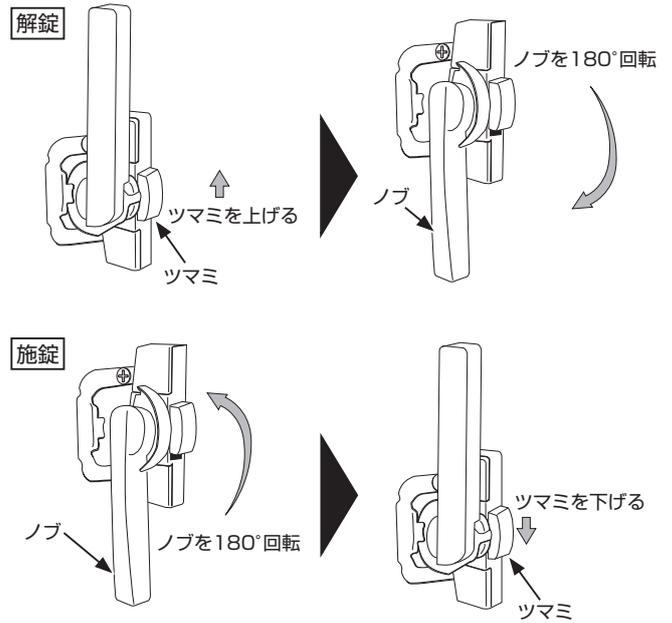
つまみを上部に押し上げロックを解除し、ノブを下に180°回転させることでクレセントを解除(解錠)できます。

- ※ つまみ下部に赤色が見える状態がロック解除状態です。クレセントを解除(解錠)させることにより障子のスライドが可能になります。
- ※ 補助ロックがある場合は補助ロックが解除されているかを確認してください。

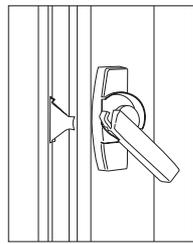
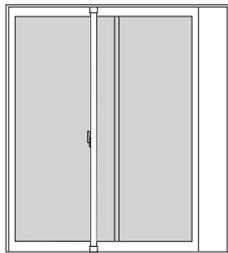
(施錠方法)

障子を完全に閉じた状態でノブを上180°回転させることで施錠できます。さらにつまみを押し下げることでクレセントを回転させられなくなります。

- ※ クレセントは、空掛け防止機能付のため障子が閉じきっていない状態では回転できません。

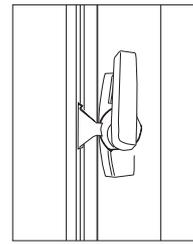
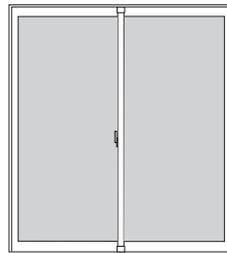


障子が少し開いた状態



クレセントが回らない

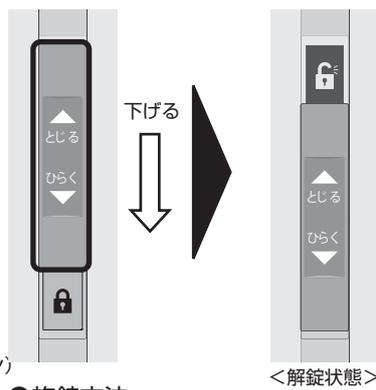
障子が閉じた状態



クレセントが回ります

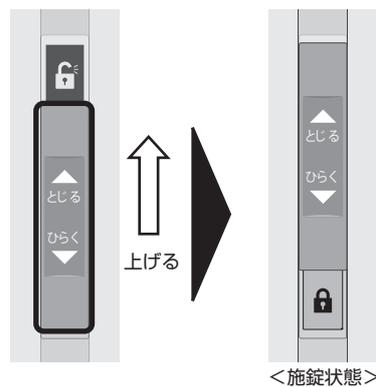
【戸先ロック(オプション)】※外窓

●解錠方法

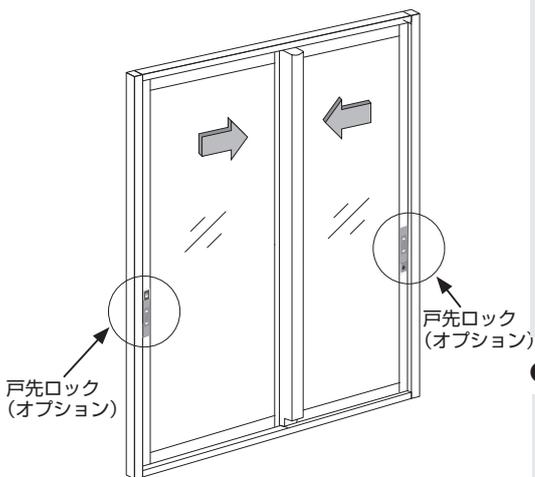


- 障子の戸先についている戸先ロックのつまみを「ひらく」方向の下に押し下げることで、ロックが解除(解錠)できます。
- ※ つまみ上部に赤色が見える状態がロック解錠状態です。

●施錠方法



- 障子を完全に閉じた状態で戸先ロックのつまみを「とじる」方向の上に押し上げることで、施錠できます。
- ※ 空掛け防止機能付のため障子が閉じきっていない状態ではつまみは動かさません。



戸先ロック(オプション)

戸先ロック(オプション)

※戸先ロックはクレセントと併用でも使えます。

引違い窓 / 片引き窓 [外動タイプ]

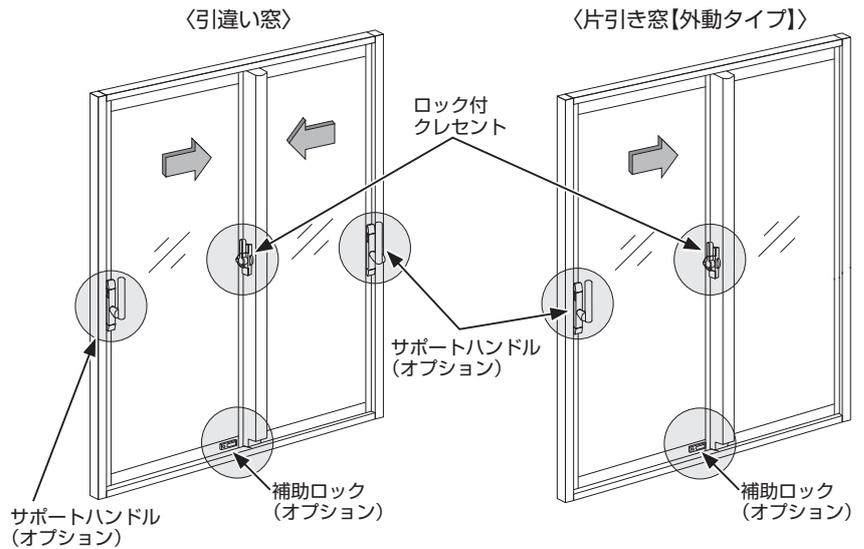
□ EXIMA 31Wb □ EXIMA 51Wb

主要部材名称

クレセントのロックをはずして、障子を左右にスライドさせる引違い窓です。

主要部品

- ロック付クレセント (空掛け防止機能付)
- クレセント受
- 戸車
- はずれ止め



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

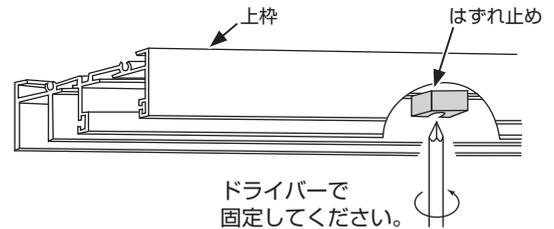
【はずれ止め】

万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。障子脱落防止のため、必ずお守りください。

・上枠部のはずれ止めの操作方法

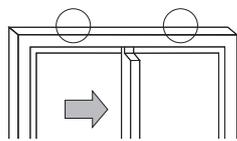
- ① 障子を開け、はずれ止め固定ねじをゆるめてください。
 - ② はずれ止めを横にスライドして、ラベルの位置でねじを締めて固定してください。はずれ止めがセットされます。
- ※ 窓のサイズが大きい場合や、複層ガラスが装着されている場合、障子重量は大変重くなっています。無理に障子をはずそうとした場合、思わぬ事故や商品の破損につながるおそれがあります。商品に故障・破損などの不具合が発生した場合には、最寄りのYKK AP支店または、取扱店までご相談ください。

【上枠部】



【EXIMA 31Wb】

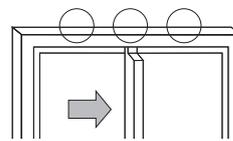
はずれ止め正規の位置



室内側：2個
室外側：2個

【EXIMA 51Wb】

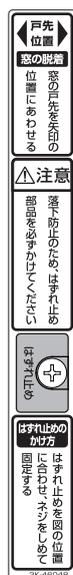
はずれ止め正規の位置



室内側：2個
室外側：3個 (2個 + 中央に1個)

障子吊込後この位置に (+) 外れ止をセットして下さい

貼付ラベルイメージ



貼付ラベルイメージ

⚠️注意

- お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

操作

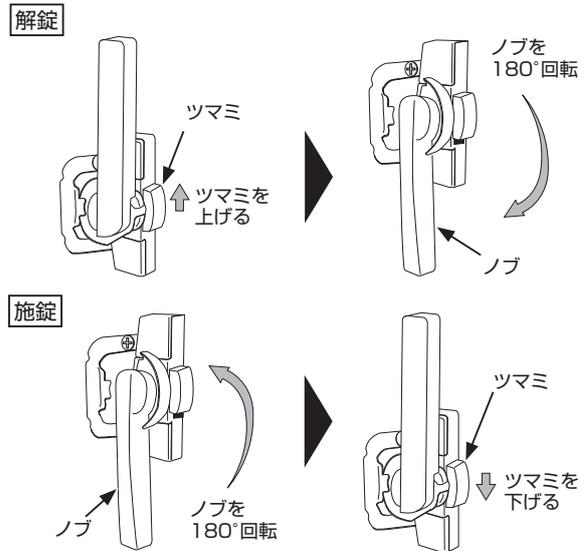
【クレセント】

(解錠方法)

- ① ツマミを上部に押し上げロックを解除してください。
 - ② ノブを下に 180° 回転させてください。
- ※ ツマミ下部に赤色が見える状態がロック解除状態です。クレセントを解除(解錠)させることにより障子のスライドが可能になります。
- ※ 補助ロックがある場合は補助ロックが解除されているかを確認してください。

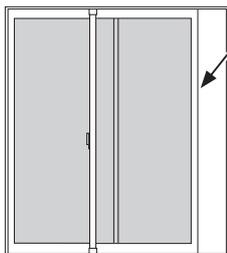
(施錠方法)

- ③ 障子を完全に閉じてください。
- ④ ノブを上 に 180° 回転させてください。
- ⑤ ツマミを下部に押し下げてください。クレセントが回転しなくなります。

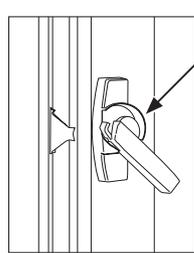


※ クレセントは空掛け防止機能付のため、障子が閉じきっていない状態では回転できません。

障子が少し開いた状態



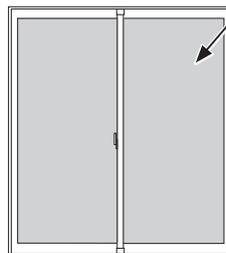
障子



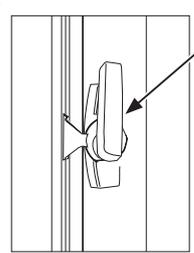
クレセント

クレセントが回らない

障子が閉じた状態



障子



クレセント

クレセントが回ります

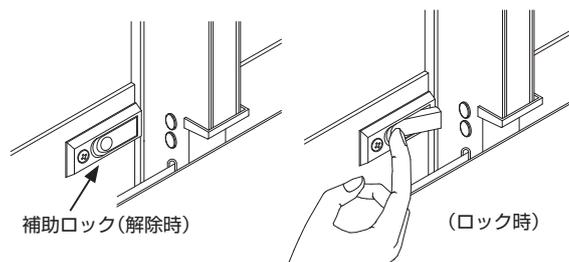
⚠注意

- 風の強いときは、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。

操作

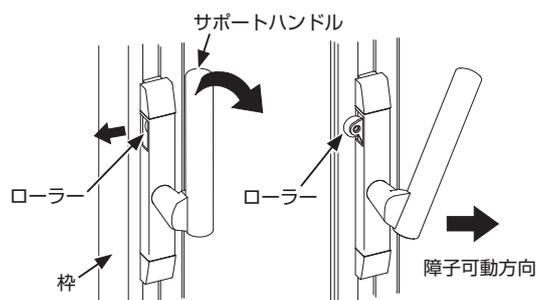
【補助ロック(オプション)】

- ① 補助ロックを押すことにより、ロック機能が作動します。
- ② ロック機能を解除(解錠)させる時は、起き上がっている部分を押ししてください(補助ロック作動時には、障子をスライドできません)。



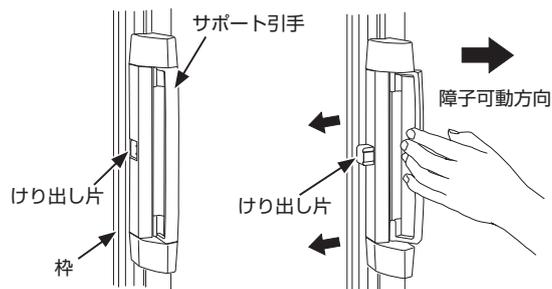
【サポートハンドル(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除(解錠)します。
- ② 障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます(ハンドルベース内部に納まっているローラーが、枠をけり出します)。
※ ハンドルは、障子可動方向に一定の角度(約 20°)で止まります。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。



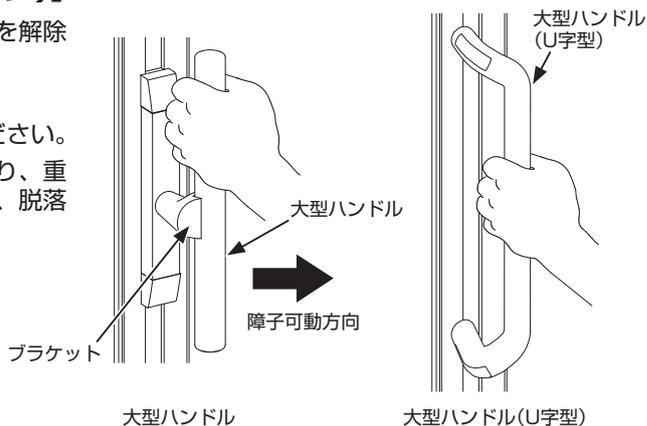
【サポート引手(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除(解錠)します。
- ② 障子の可動方向に引手をスライドさせます(引手ベース内部に納まっているけり出し片が枠をけり出します)。
※ 引手は、障子可動方向に一定の量だけスライドして止まります。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたりしますと、引手が破損するおそれがありますのでご注意願います。



【大型ハンドル/大型ハンドル(U字型) (オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによってロック機能を解除(解錠)します。
- ② ハンドルを持ち障子を可動方向にスライドします。
※ 窓の開閉は、図のようにハンドルに手をかけて操作してください。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかけるなどしますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。



引違い窓 / 片引き窓 [内動タイプ]

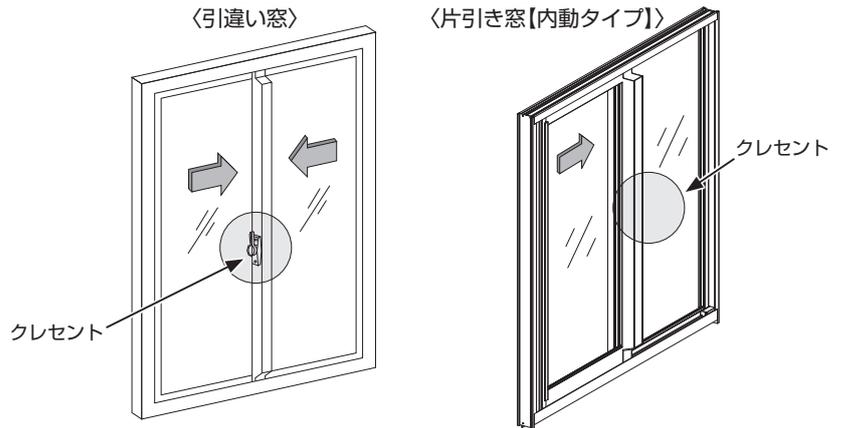
□エクシマ 70Wb

主要部材名称

クレセントのロックをはずして、障子を左右にスライドさせる引違い窓です。

主要部品

- ・クレセント
- ・クレセント受
- ・戸車
- ・はずれ止め



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

【はずれ止め】

万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。障子脱落防止のため、必ずお守りください。

・上枠部のはずれ止めの操作方法(引違い窓)

- ① 障子を開けてください。
- ② 上枠に付いているはずれ止めを下に引っ張りながら、横向きになるとセットされます。上枠に付いている全てのはずれ止めがセットされているかご確認ください。

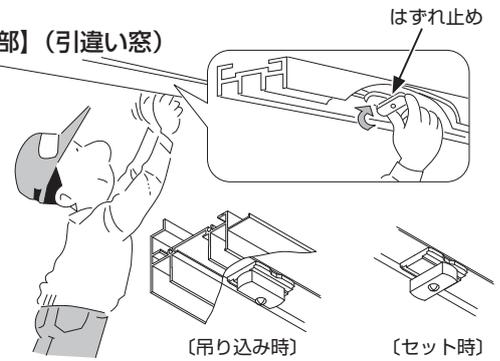
・上枠部のはずれ止めの操作方法(片引き窓【内動タイプ】)

- ① 障子を開け、はずれ止め固定ねじをゆるめてください。
- ② はずれ止めを横にスライドして正規の位置でねじを締めて固定してください。はずれ止めがセットされます。

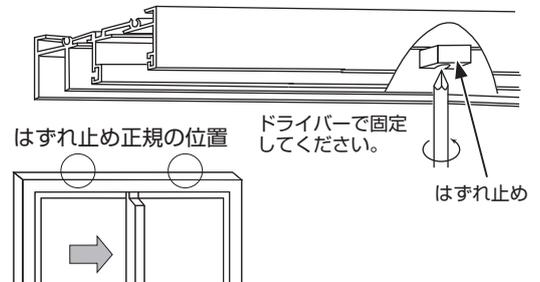
・障子部のはずれ止めの操作方法

- ① 室外側の障子を全開にしてください。
- ② 戸先框の上部はずれ止め金具の固定ねじをゆるめてください。
- ③ はずれ止め金具を開閉に支障のない位置まで上げて、ねじを締めて固定してください。はずれ止めがセットされます。

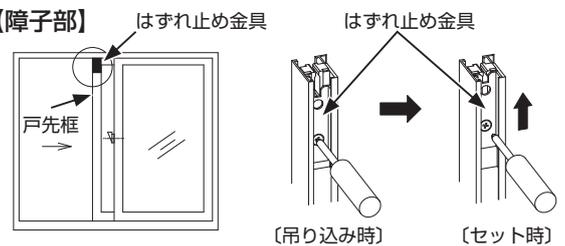
【上枠部】(引違い窓)



【上枠部】(片引き窓【内動タイプ】)



【障子部】



△注意

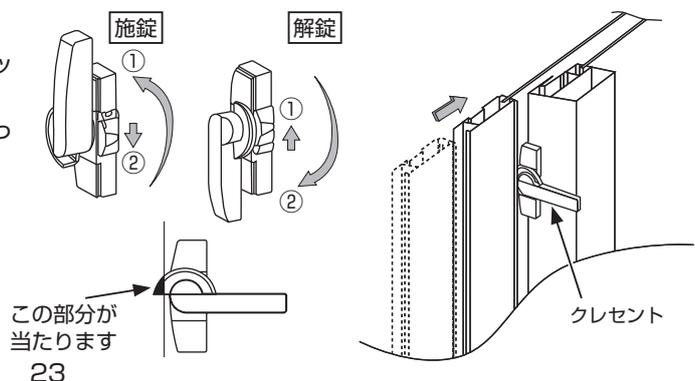
- ・お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

操作

【クレセント】

- ① クレセントは、上下に 180° 回転することによってロック機能を作動させ（施錠）、また解除（解錠）します。
- ② クレセントのロック機能を解除（解錠）させることによって、障子のスライドが可能になります。

※ 障子を閉める時は、クレセントが完全な解除(解錠)状態にあることを確認してください。クレセントを、右図のような状態で外障子をスライドさせると、外障子が当たりクレセント本体・障子を破損いたしますので、ご注意ください。



引違い窓 / 片引き窓 [内動タイプ]

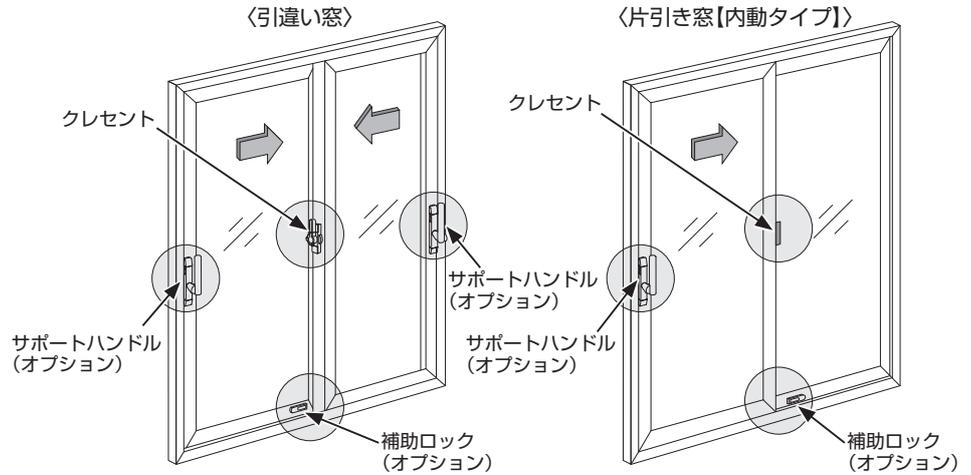
□ EXIMA 77

主要部材名称

クレセントのロックをはずして、障子を左右にスライドさせる引違い窓です。

主要部品

- ・クレセント
- ・クレセント受
- ・戸車
- ・はずれ止め



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

【はずれ止め】

万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。障子脱落防止のため、必ずお守りください。

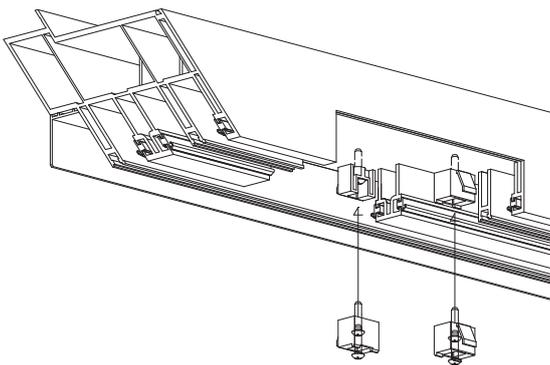
・上枠部のはずれ止めの操作方法

- ① 障子を開け、はずれ止め固定ねじをゆるめてください。
- ② はずれ止めを横にスライドして正規の位置でねじを締めて固定してください。はずれ止めがセットされます。

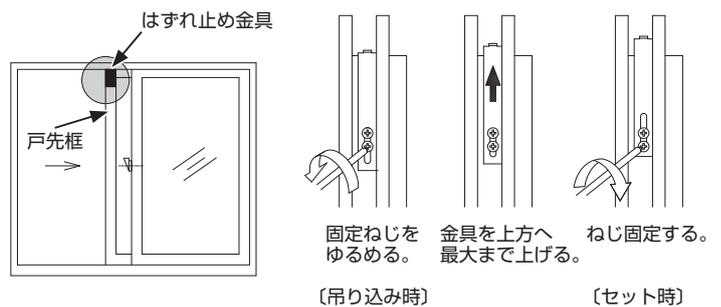
・障子部のはずれ止めの操作方法

- ① 室外側の障子を全開にしてください。
- ② 戸先框の上部はずれ止め金具の固定ねじをゆるめてください。
- ③ はずれ止め金具を開閉に支障のない位置まで上げて、ねじを締めて固定してください。はずれ止めがセットされます。

【上枠部】



【障子部】



⚠注意

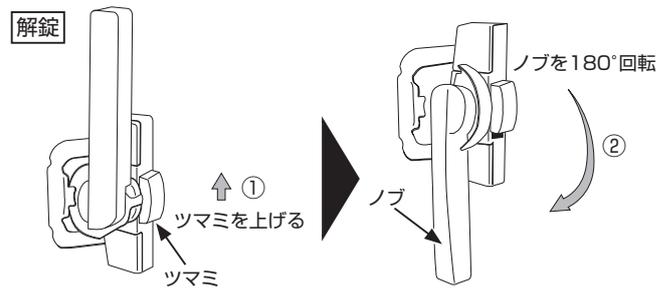
- ・お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

操作

[クレセント]

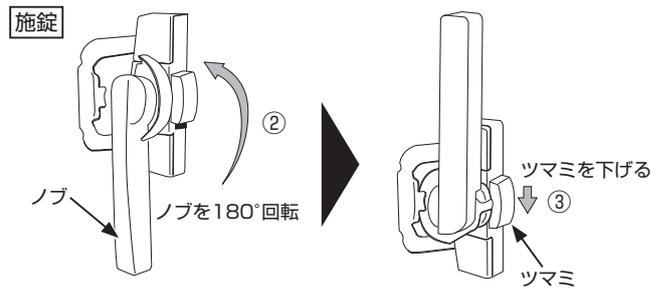
(解錠方法)

- ① ツマミを上部に押し上げロックを解除してください。
 - ② ノブを下に 180° 回転させてください。
- ※ ツマミ下部に赤色が見える状態がロック解除状態です。クレセントを解除(解錠)させることにより障子のスライドが可能になります。
- ※ 補助ロックがある場合は補助ロックが解除されているかを確認してください。



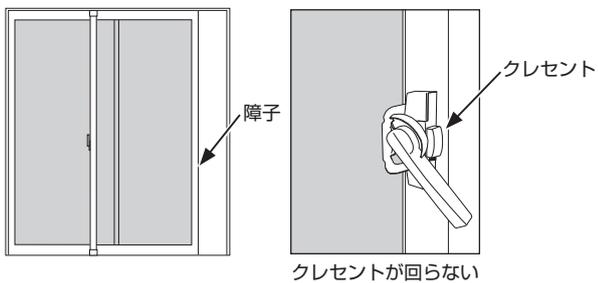
(施錠方法)

- ① 障子を完全に閉じてください。
- ② ノブを上 に 180° 回転してください。
- ③ ツマミを下部に押し下げてください。クレセントが回転しなくなります。

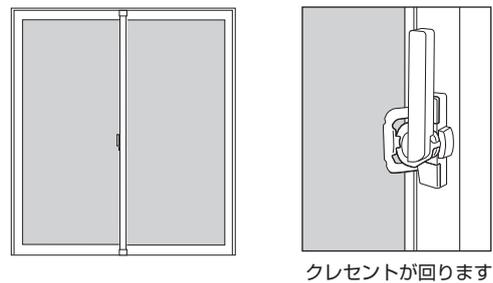


- ※ クレセントは空掛け防止機能付のため、障子が閉じきっていない状態では回転できません。

障子が少し開いた状態

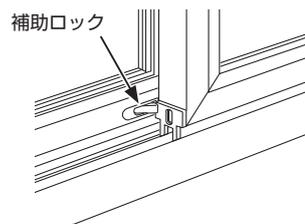


障子が閉じた状態



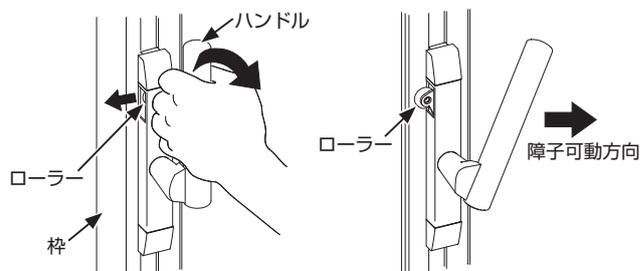
【補助ロック(オプション)】

- ① 補助ロックを押すことにより、ロック機能が作動します。
- ② ロック機能を解除(解錠)させる時は、起き上がっている部分を押してください(補助ロック作動時には、障子をスライドできません)。



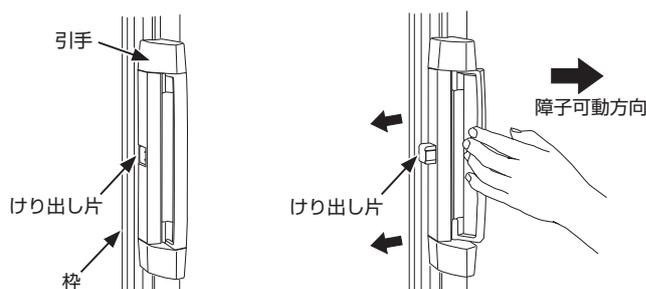
【サポートハンドル(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除(解錠)します。
- ② 障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます(ハンドルベース内部に納まっているローラーが、枠をけり出します)。
※ ハンドルは、障子可動方向に一定の角度(約 20°)で止まります。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。



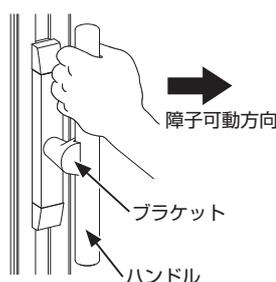
【サポート引手(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除(解錠)します。
- ② 障子の可動方向に引手をスライドさせます(引手ベース内部に納まっているけり出し片が枠をけり出します)。
※ 引手は、障子可動方向に一定の量だけスライドして止まります。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたりしますと、引手が破損するおそれがありますのでご注意願います。



【大型ハンドル(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによってロック機能を解除(解錠)します。
- ② ハンドルを持ち障子を可動方向にスライドします。
※ 窓の開閉は、図のようにハンドルに手をかけて操作してください。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかけるなどしますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。



【回転ストッパー(オプション)】

操作方法は、P.171「オプション 回転ストッパー」を参照してください。

引違い窓 / 片引き窓 [内動タイプ]

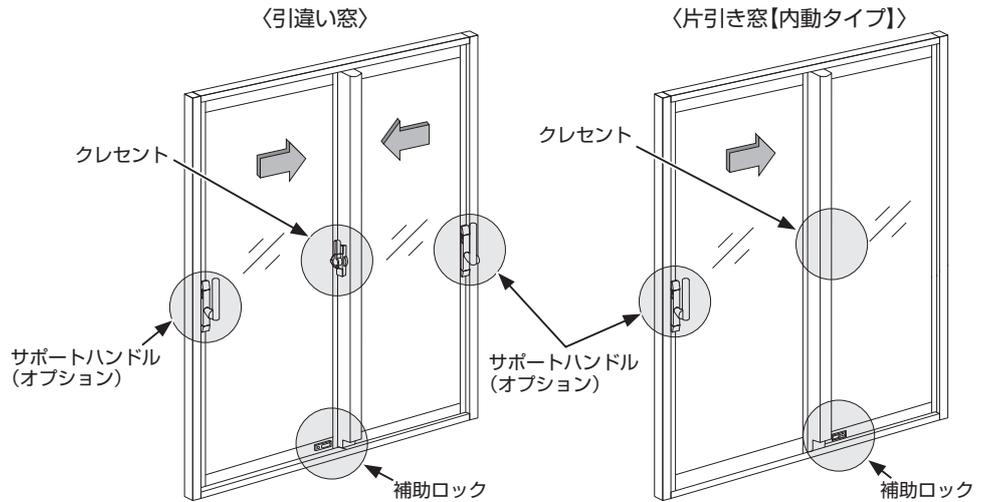
□ R's 70Tbf

主要部材名称

クレセントのロックをはずして、障子を左右にスライドさせる引違い窓です。

主要部品

- ・クレセント
- ・クレセント受
- ・戸車
- ・はずれ止め
- ・補助ロック



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

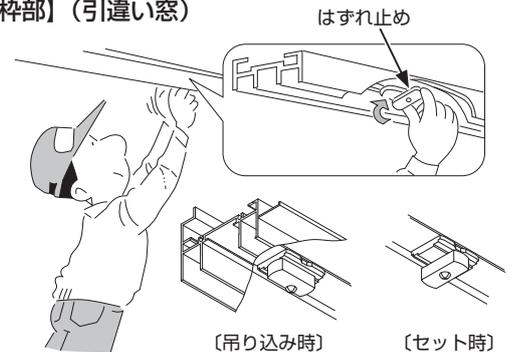
【はずれ止め】

万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。障子脱落防止のため、必ずお守りください。

・上枠部のはずれ止めの操作方法(引違い窓)

- ① 障子を開けてください。
 - ② 上枠に付いているはずれ止めを下に引っ張りながら横向きになるとセットされます。
- ※ 上枠に付いている全てのはずれ止めがセットされているかご確認ください。

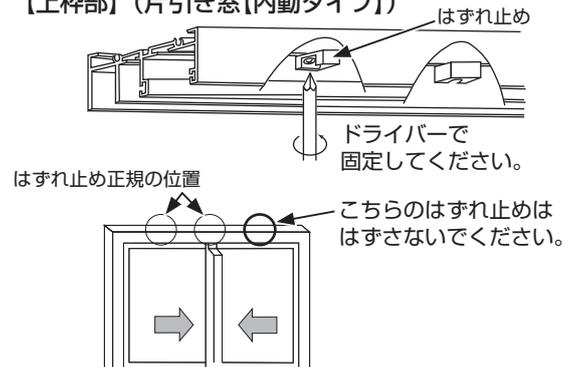
【上枠部】(引違い窓)



・上枠部のはずれ止めの操作方法(片引き窓【内動タイプ】)

- ① 障子を開け、はずれ止め固定ねじをゆるめてください。
- ② はずれ止めを横にスライドして、正規の位置でねじを締めて固定してください。はずれ止めがセットされます。

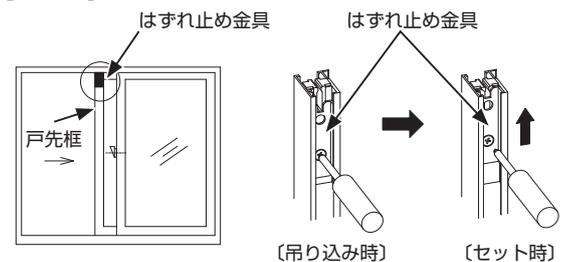
【上枠部】(片引き窓【内動タイプ】)



・障子部のはずれ止めの操作方法

- ① 室外側の障子を全開にしてください。
- ② 戸先框の上部はずれ止め金具の固定ねじを、ゆるめてください。
- ③ はずれ止め金具を開閉に支障のない位置まで上げて、ねじを締めて固定してください。はずれ止めがセットされます。

【障子部】



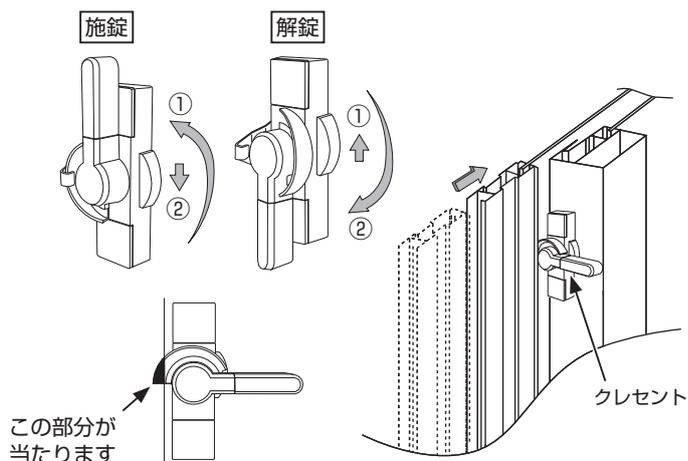
△注意

- ・お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずつけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

操作

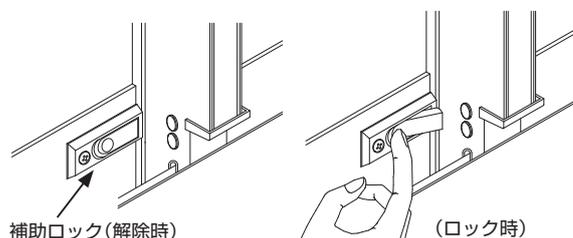
【クレセント】

- ① クレセントは、上下に 180° 回転することによってロック機能を作動させ（施錠）、また解除（解錠）します。
- ② クレセントのロック機能を解除（解錠）させることによって障子のスライドが可能になります（補助ロックが解除されているかを確認してください）。
※ 障子を閉める時は、クレセントが完全な解除（解錠）状態にあることを確認してください。クレセントを、右図のような状態で外障子をスライドさせると、外障子が当たりクレセント本体・障子を破損いたしますので、ご注意願います。



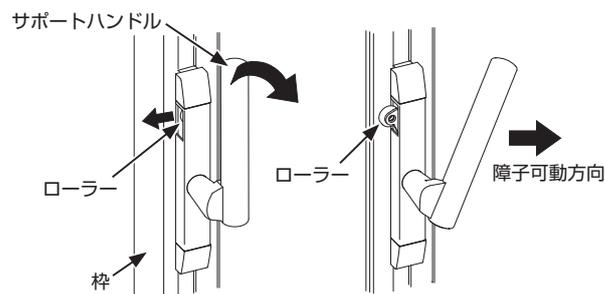
【補助ロック】

- ① 補助ロックを押すことにより、ロック機能が作動します。
- ② ロック機能を解除（解錠）させる時は、起き上がっている部分を押ししてください（補助ロック作動時には、障子をスライドできません）。



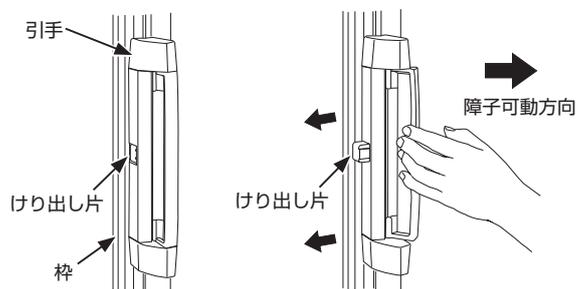
【サポートハンドル(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによってロック機能を解除（解錠）します。
- ② 障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます（ハンドルベース内部に納まっているローラーが枠をけり出します）。
※ ハンドルは障子可動方向に一定の角度（約 20°）で止まります。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、ハンドルが破損、落下するおそれがありますのでご注意願います。



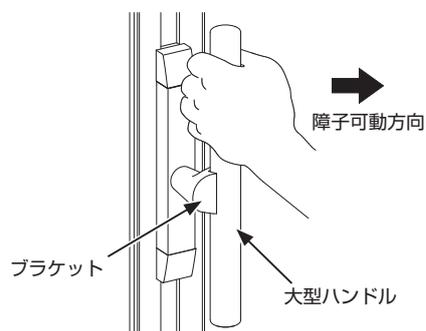
【サポート引手(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによってロック機能を解除（解錠）します。
- ② 障子の可動方向に引手をスライドさせます（引手ベース内部に納まっているけり出し片が枠をけり出します）。
※ 引手は、障子可動方向に一定の量だけスライドして止まります。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたりしますと、引手が破損するおそれがありますのでご注意願います。



【大型ハンドル(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによってロック機能を解除（解錠）します。
- ② ハンドルを持ち障子を可動方向にスライドします。
※ 窓の開閉は、図のようにハンドルに手をかけて操作してください。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかけるなどしますと、ハンドルが破損、落下するおそれがありますのでご注意願います。



引違い窓 / 片引き窓【外動タイプ】

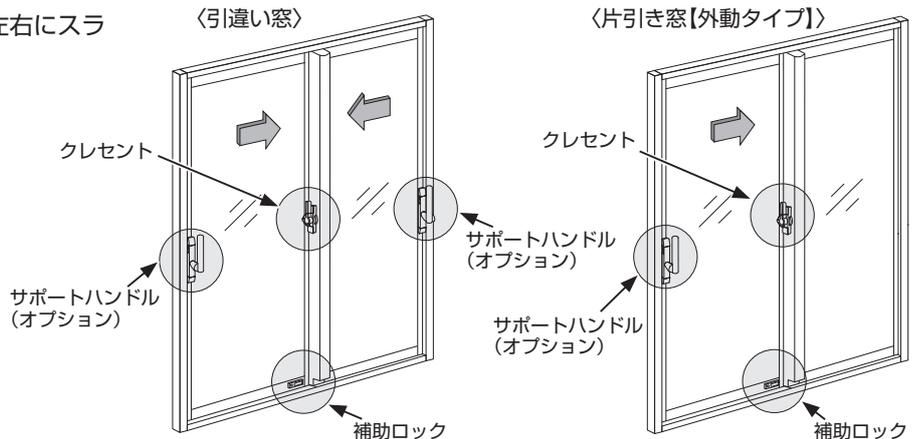
□ R's 70FL

主要部材名称

クレセントのロックをはずして、障子を左右にスライドさせる引違い窓です。

主要部品

- ・クレセント
- ・クレセント受
- ・戸車
- ・はずれ止め
- ・補助ロック

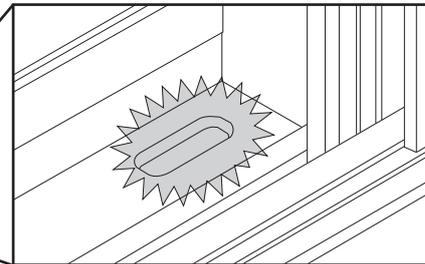
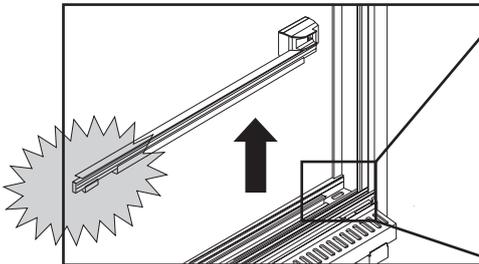


安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

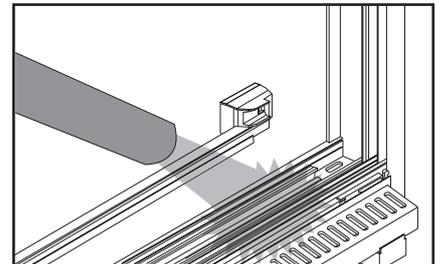
【ゴミ受け部材】

- ・ゴミ受け部材の端部や水抜き穴に触れるとケガをするおそれがありますので、ご注意願います。[図 1]
- ・下枠を水で洗い流す際には、室内に水が溢れ出ないようにしてください。[図 2]
溢れ出た時には、雑巾などで拭き取ってください。
- ・清掃中は幼児を近づけないようにしてください。また、取りはずしたゴミ受け部材に触れさせないでください。
- ・メンテナンスの目的以外では、ゴミ受け部材をはずしたり、はずしたままの状態で使用したりしないでください。
- ・ゴミ受け部材を紛失しないようご注意願います。

[図 1]

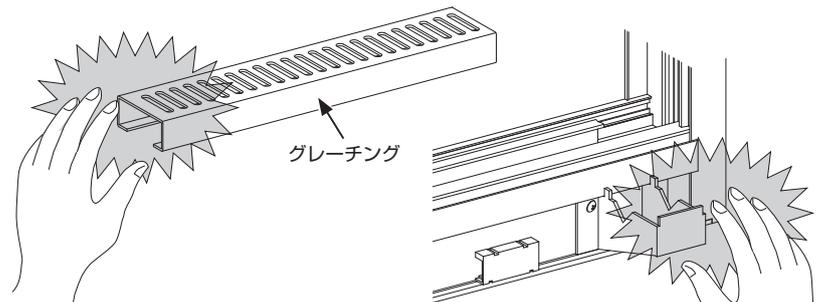


[図 2]



【グレーチング】

- ・清掃中は幼児を近づけないようにしてください。また、取りはずした部材に触れさせないでください。
- ・メンテナンスの目的以外では、部材をはずしたり、はずしたままの状態でご使用しないでください。



⚠注意

- ・お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

【はずれ止め】

万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。障子脱落防止のため、必ずお守りください。
正規の位置は、目印となるように上枠部にラベルを貼付しています。

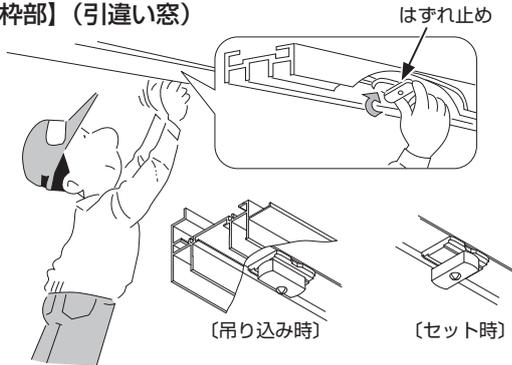
・上枠部のはずれ止めの操作方法(引違い窓)

- ① 障子を開けてください。
- ② 上枠に付いているはずれ止めを下に引っ張りながら横向きになるとセットされます。
上枠に付いている全てのはずれ止めがセットされているかご確認ください。

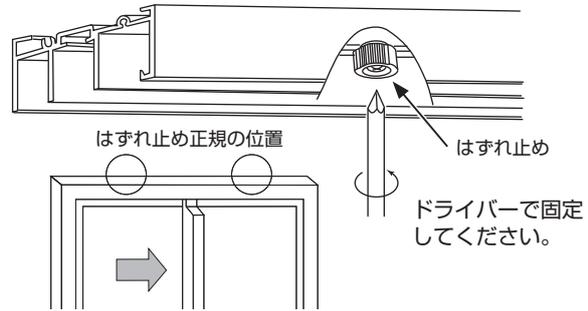
・上枠部のはずれ止めの操作方法(片引き窓【外動タイプ】)

- ① 障子を開け、はずれ止め固定ねじをゆるめてください。
- ② はずれ止めを横にスライドして正規の位置でねじを締めて固定してください。はずれ止めがセットされます。

【上枠部】(引違い窓)



【上枠部】(片引き窓【外動タイプ】)

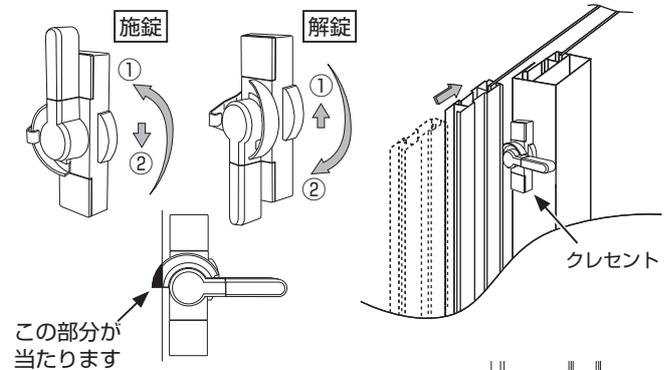


操作

【クレセント】

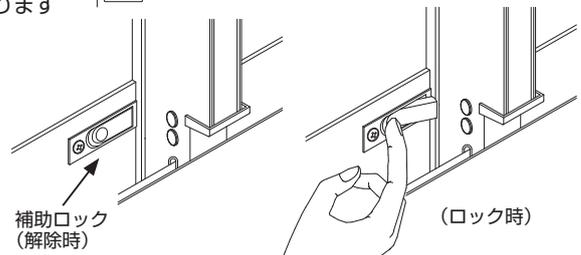
- ① クレセントは、上下に 180° 回転することによってロック機能を作動させ(施錠)、また解除(解錠)します。
- ② クレセントのロック機能を解除(解錠)させることによって障子のスライドが可能になります(補助ロックが解除されているかを確認してください)。

※ 障子を閉める時は、クレセントが完全な解除(解錠)状態であることを確認してください。クレセントを、右図のような状態で外障子をスライドさせると、外障子が当たりクレセント本体・障子を破損いたしますので、ご注意ください。



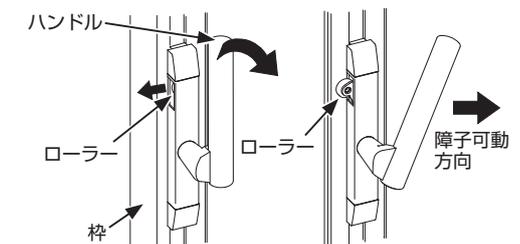
【補助ロック】

- ① 補助ロックを押すことにより、ロック機能が作動します。
- ② ロック機能を解除(解錠)させる時は、起き上がっている部分を押してください(補助ロック作動時には、障子をスライドできません)。



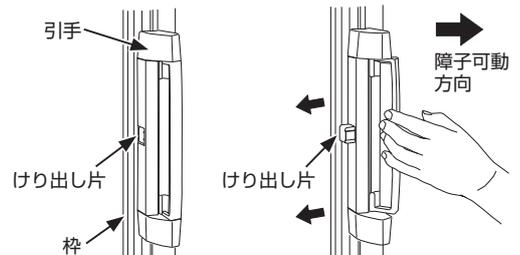
【サポートハンドル(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除(解錠)します。
- ② 障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます(ハンドルベース内部に納まっているローラーが、枠をけり出します)。
※ ハンドルは、障子可動方向に一定の角度(約 20°)で止まります。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意ください。



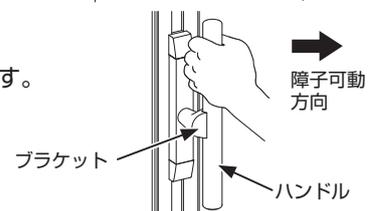
【サポート引手(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除(解錠)します。
- ② 障子の可動方向に引手をスライドさせます(引手ベース内部に納まっているけり出し片が枠をけり出します)。
※ 引手は、障子可動方向に一定の量だけスライドして止まります。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたりしますと、引手が破損するおそれがありますのでご注意ください。



【大型ハンドル(オプション)】

- ① クレセントを下に 180° 回転させることによってロック機能を解除(解錠)します。
- ② ハンドルを持ち障子を可動方向にスライドします。
※ 窓の開閉は、図のようにハンドルに手をかけて操作してください。
(注) 可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかけるなどしますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意ください。



メンテナンス

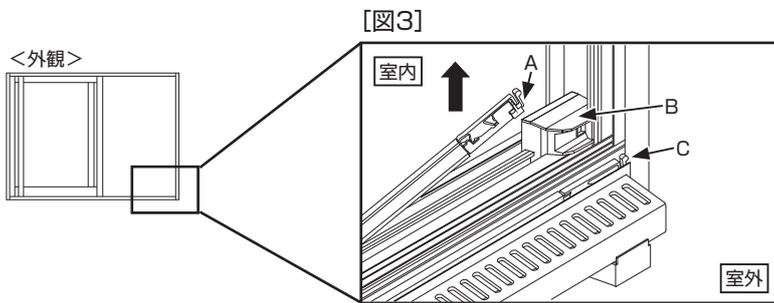
【下枠】

日常のお手入れはアルミサッシの下枠上面を拭いていただくだけで、きれいになります。

但し、下枠内部に入った、ゴミやホコリについては下記の手順に従って下枠の「ゴミ受け部材」を取りはずし、清掃を行ってください。

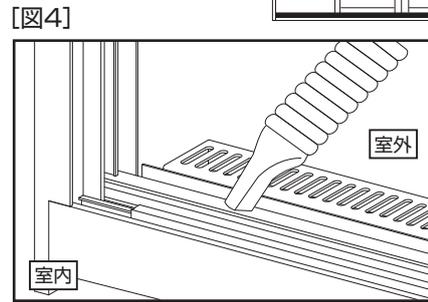
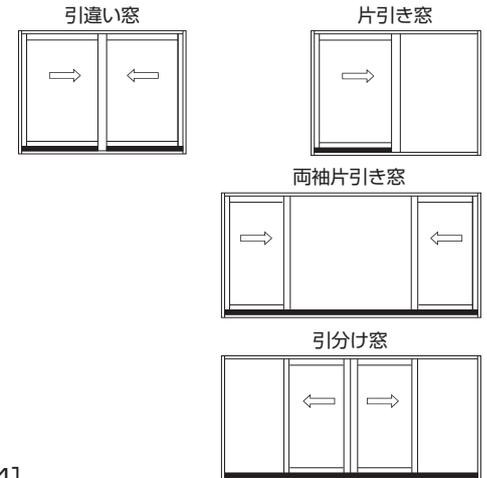
(ゴミ受け部材のはずし方) (ゴミ受け部材A、B、C共通) (両側共通)

- ① 障子を全開にします (網戸も開けてください)。
- ② 端部にある部品をつまみ、「ゴミ受け部材」を持ち上げはずしてください。【図3】
- ③ 「ゴミ受け部材」にたまったゴミやホコリを取り除いてください。
- ④ 「ゴミ受け部材」をはずした状態で下枠を掃除機で吸いこむか水で流して下枠の中のゴミやホコリを取り除いてください。【図4】



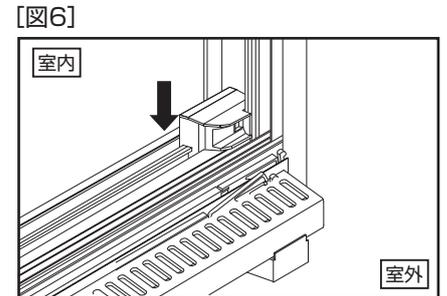
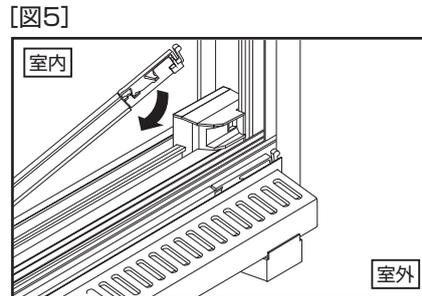
※A、B、Cの全てを取りはずしてください。

※■の部分の「ゴミ受け部材」がはずれます。



(ゴミ受け部材の取り付け方)

- ⑤ はずした部材を障子側から下枠にはめ込んでください。【図5】
はめ込んだ後につまみ部品をもとにもどしてください。【図6】
- ⑥ 引違い窓の場合は逆側の障子を全開にして網戸も開けてください。
- ⑦ ②～⑤と同じ手順で、「ゴミ受け部材」をはずして清掃を行ってください。



グレーチング部

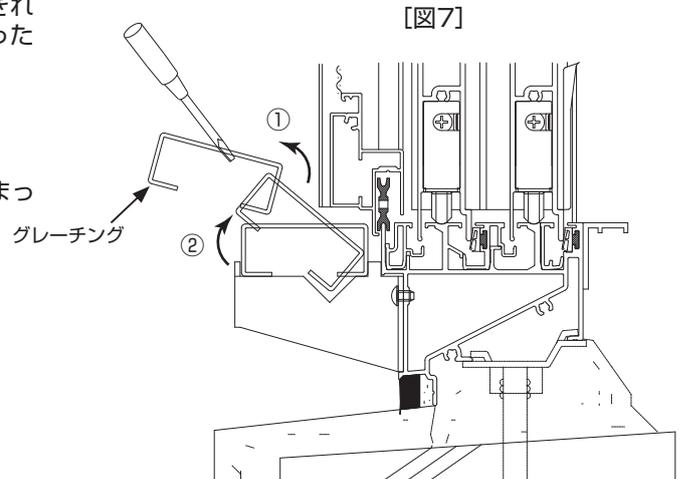
日常のお手入れはグレーチング表面を拭いていただくだけで、きれいになります。但し、グレーチングの下にゴミやホコリがたまった場合は、下記の手順に従って清掃を行ってください。

(はずし方)

- ① ペンチやドライバーをグレーチングのスリット穴に引っ掛け、手前に回転させるようにしてはずし、グレーチングの下にたまったゴミやホコリを取り除いてください。【図7】

(取り付け方)

- ② はずし方の逆の手順で取り付けます。



引違い窓【大型引戸】 / 片引き窓【大型引戸】【内動タイプ】

□ YAT-100

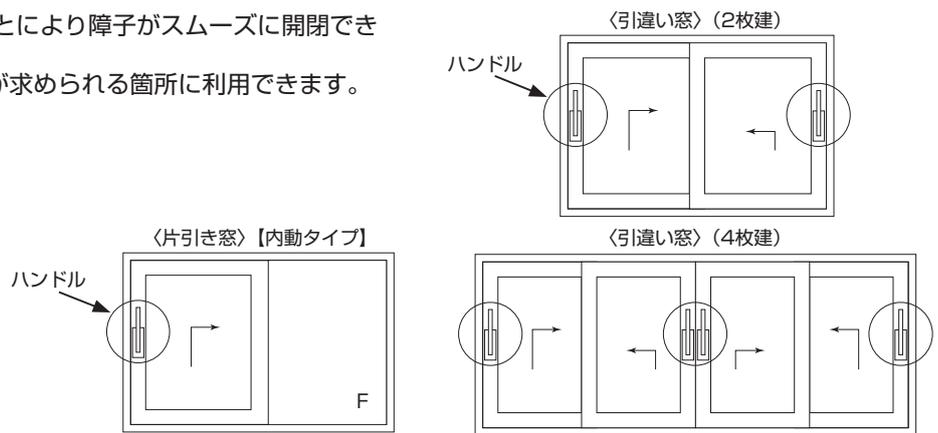
主要部材名称

レバーハンドルを180°回転させることにより障子がスムーズに開閉できる大型引戸です。

開口面積が大きく、十分な採光、眺望が求められる箇所に利用できます。

主要部品

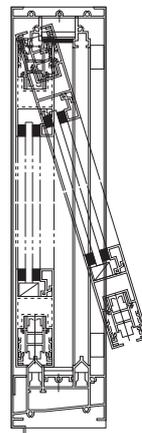
- ・ハンドル
- ・締め金具
- ・ダブル戸車



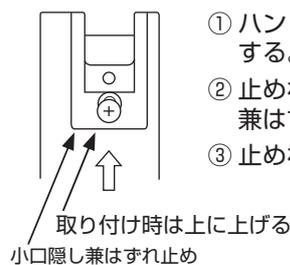
安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

【はずれ止め】

万一、物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子吊り込み後、必ずはずれ止めを所定の位置に戻しドライバーで固定してください。障子の脱落防止のため必ずお守りください。



●セット方法●



- ① ハンドルを回し解錠状態にする。
- ② 止めねじをゆるめ、小口隠し兼はずれ止めを上上げる。
- ③ 止めねじを締める。

⚠注意

- ・お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- ・ハンドルの施錠・解除操作は、障子を閉めた状態でおこなってください。窓を開けた状態での施錠・解除操作は、故障の原因となります。

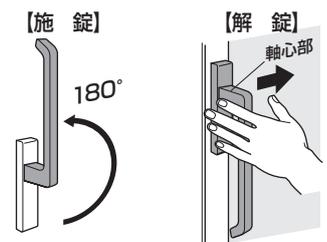
操作

【ハンドル】

①引違い窓(2枚建)・片引き窓【図1】

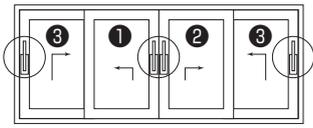
- ① 障子を開ける場合は、ハンドルを下向きに回転させて解錠してください。
- ② 障子が持ち上がった状態になりますので、ハンドルの軸心部を持ちながら開き方向にスライドさせてください。
- ③ 障子を閉める場合は、ハンドルの軸心部を持ちながら、障子を閉じ方向にスライドさせてください。
- ④ 施錠する場合は、障子が確実にたて枠位置までスライドさせてから、ハンドルを上向きに回転させてください。
- ⑤ 障子が締め金具によって枠に引寄せられ、施錠されます。

【図1】



②引違い窓(4枚建) [図2]

●開閉手順●



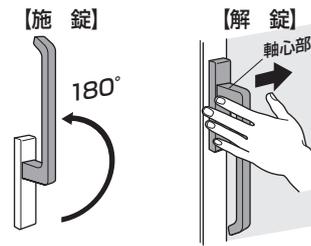
※開け順

- ①を開けてから
 - ②を開ける
 - ③を開ける
- (③は単独で開閉可)

※閉じ順

- ③を閉じ施錠
- ②を閉じ施錠
- ①を閉じ施錠

[図2]

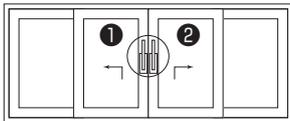


4枚建には開閉に順序があります。
開閉の順序を間違えると、施解錠ができなくなり、故障の原因となるため、
ご注意ください。

- ① 中央の障子を開ける場合は、内観左障子①のハンドルを下向きに回転させ解錠してください。
- ② 障子が持ち上がった状態になりますので、ハンドルの軸心部を持ちながら左方向にスライドさせてください。
- ③ 内観右障子②を開ける場合は、内観左障子①を開けた後に、ハンドルを下向きに回転させ、右方向にスライドさせてください。
- ④ 両端障子③を開ける場合は、両端障子③のハンドルを下向きに 180° 回転させ、それぞれスライドさせてください。
※両端障子③は、単独でも開閉可能です。
- ⑤ 内観右障子②を閉める場合は、両端障子③がしっかり施錠されていることを確認してから、内観右障子②を中央位置までスライドさせ、ハンドルを上向きに 180° 回転させ施錠してください。
- ⑥ 内観左障子①を閉める場合は、内観右障子②が確実に施錠されていることを確認してから、内観左障子①を中央位置までスライドさせ、ハンドルを上向きに回転させ施錠してください。
- ⑦ 障子が締り金具によって枠に引寄せられ、施錠されます。

③引分け窓[図3]

●開閉手順●



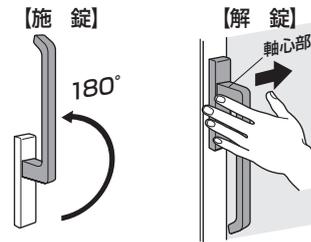
※開け順

- ①を開けてから
- ②を開ける

※閉じ順

- ②を閉じ施錠
- ①を閉じ施錠

[図3]



- ① 中央の障子を開ける場合は、内観左障子①のハンドルを下向きに回転させ解錠してください。
- ② 障子が持ち上がった状態になりますので、ハンドルの軸心部を持ちながら左方向にスライドさせてください。
- ③ 内観右障子②を開ける場合は、内観左障子①を開けた後に、ハンドルを下向きに回転させ、右方向にスライドさせてください。
- ④ 内観右障子②を閉める場合は、中央位置までスライドさせ、ハンドルを上向きに 180° 回転させ施錠してください。
- ⑤ 内観左障子①を閉める場合は、内観右障子②が確実に施錠されていることを確認してから、内観左障子①を中央位置までスライドさせ、ハンドルを上向きに回転させ施錠してください。
- ⑥ 障子が締り金具によって枠に引寄せられ、施錠されます。

【サムターン】

サムターンを操作することで、ハンドルをロック、解除できます。

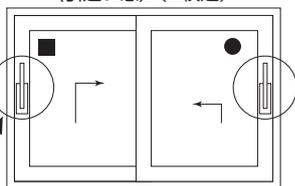
(障子右側ハンドル付の場合)

時計回りに操作でロックがかかり、反時計回りに操作でロックが解除されます。

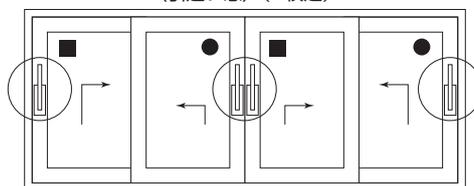
(障子左側ハンドル付の場合)

反時計回りに操作でロックがかかり、時計回りに操作でロックが解除されます。

(引違い窓) (2枚建)

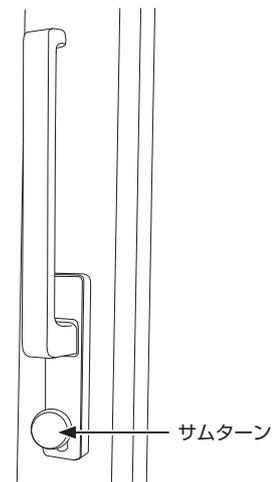


(引違い窓) (4枚建)



ハンドル

- 障子右側ハンドル付：●
- 障子左側ハンドル付：■



片引き窓【外動タイプ】

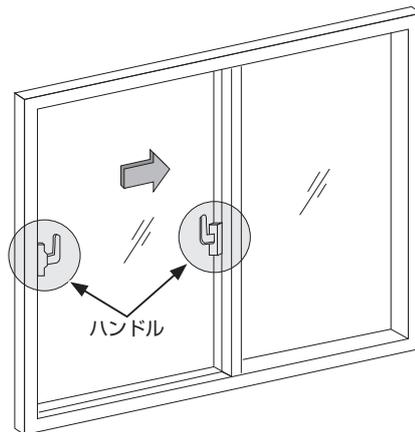
□ YBS-100 □ YDBS-100 □ YDS-100

主要部材名称

片側がFIX窓で、片側の障子がスライドする窓です。
必要とする大きさの窓がとれ採光にも適しています。

主要部品

- ハンドル
- 戸車
- はずれ止め
- 障子ストッパー



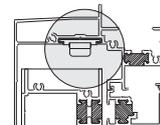
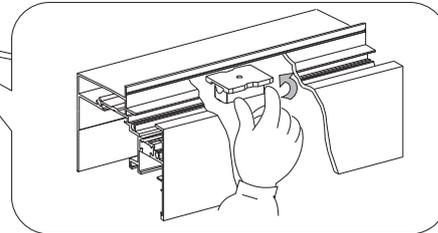
安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

【はずれ止め】

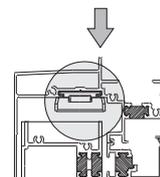
万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。障子脱落防止のため、必ずお守りください。

・上枠部のはずれ止めの操作方法

- ① 障子を開けてください。
 - ② 上枠に付いているはずれ止めを下に引っ張りながら横向きになるとセットされます。
- ※ 上枠に付いている全てのはずれ止めがセットされているか確認してください。



吊り込み時



セット時

⚠注意

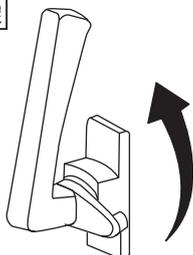
- お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

操作

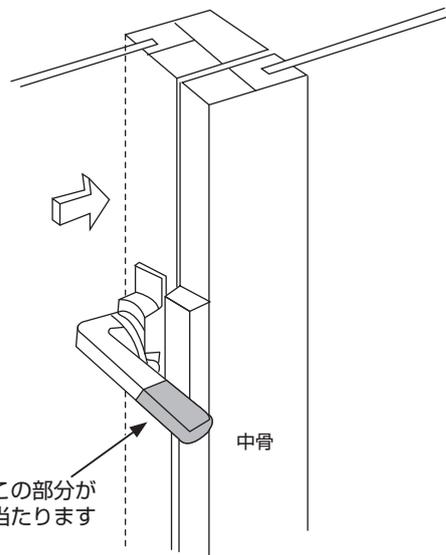
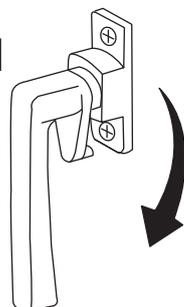
【クレセント】

- ① 両側のハンドルを上下に 170° 回転することによってロック機能を作動させ（施錠）、また解除（解錠）します。
 - ② 両側ハンドルのロック機能を解除（解錠）させることによって、障子のスライドが可能になります。
- ※ 障子を開く時は、両側ハンドルが完全な解除（解錠）状態にあることを確認してください。右図のような状態で障子をスライドすると中骨が当たりハンドル本体・中骨を破損いたしますのでご注意願います。

施錠



解錠



片引き窓【内動タイプ】

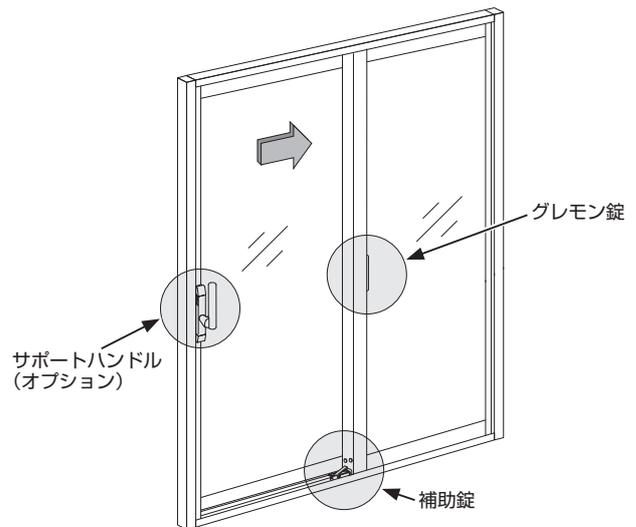
□ R's 51

主要部材名称

片側がFIX窓で、片側の障子がスライドする窓です。
必要とする大きさの窓がとれ、採光にも適しています。

主要部品

- グレモン錠
- 補助錠
- 戸車
- はずれ止め



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

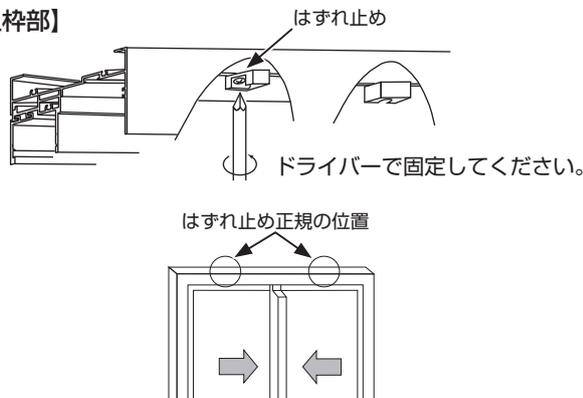
【はずれ止め】

万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めをセットしてください。障子脱落防止のため、必ずお守りください。

・上枠部のはずれ止めの操作方法

- ① 障子を開け、はずれ止め固定ねじをゆるめてください。
- ② はずれ止めを横にスライドして正規の位置でねじを締めて固定してください。はずれ止めがセットされます。

【上枠部】



⚠注意

- お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
- 無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 網戸可動棧（スライドバー）を受ける縦骨側中央部には、強力な磁石を取り付けています。植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）の作動に影響及ぼすことがありますので、植込み型医療機器を縦骨中央部に近づけないようにしてください。

操作

【グレモン錠】

（施錠方法）

グレモン錠を指でつまみ、下方向へ下げてください。

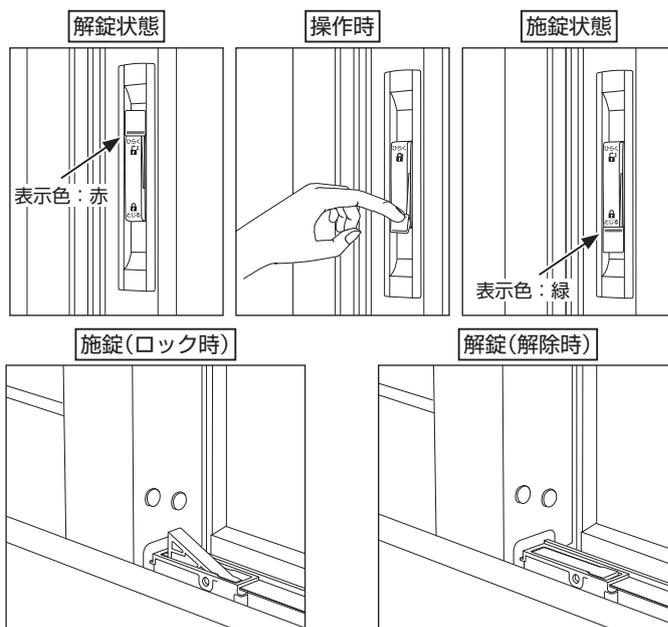
（解錠方法）

施錠方向とは逆の手順で行ってください。

【補助錠】

操作部を押し下げると、ロック機能が作動します。

ロック機能を解除（解錠）させるときは、操作部を戻してください。

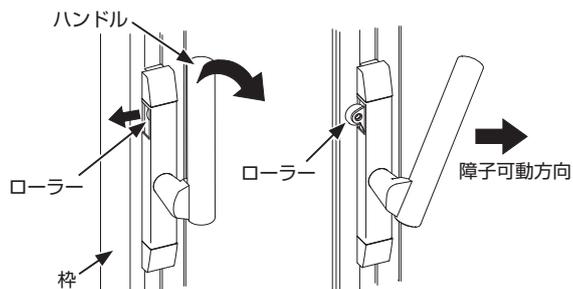


【サポートハンドル(オプション)】

① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除（解錠）します。

② 障子の可動方向にハンドルを傾けスライドさせます（ハンドルベース内部に納まっているローラーが、枠をけり出します）。

※ ハンドルは、障子可動方向に一定の角度（約 20°）で止まります。
（注）可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。

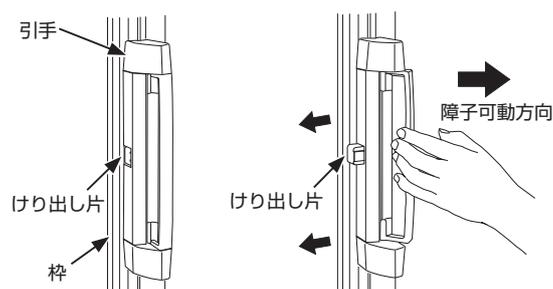


【サポート引手(オプション)】

① クレセントを下に 180° 回転させることによって、ロック機能を解除（解錠）します。

② 障子の可動方向に引手をスライドさせます（引手ベース内部に納まっているけり出し片が枠をけり出します）。

※ 引手は、障子可動方向に一定の量だけスライドして止まります。
（注）可動方向以外に無理な力をかけたりしますと、引手が破損するおそれがありますのでご注意願います。

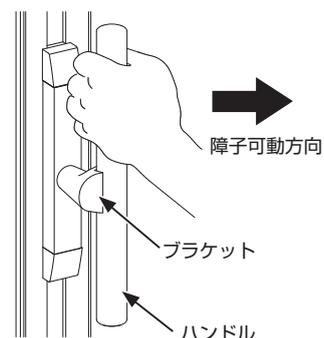


【大型ハンドル(オプション)】

① クレセントを下に 180° 回転させることによってロック機能を解除（解錠）します。

② ハンドルを持ち障子を可動方向にスライドします。

※ 窓の開閉は、図のようにハンドルに手をかけて操作してください。
（注）可動方向以外に無理な力をかけたり、人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかけるなどしますと、ハンドルが破損、脱落するおそれがありますのでご注意願います。

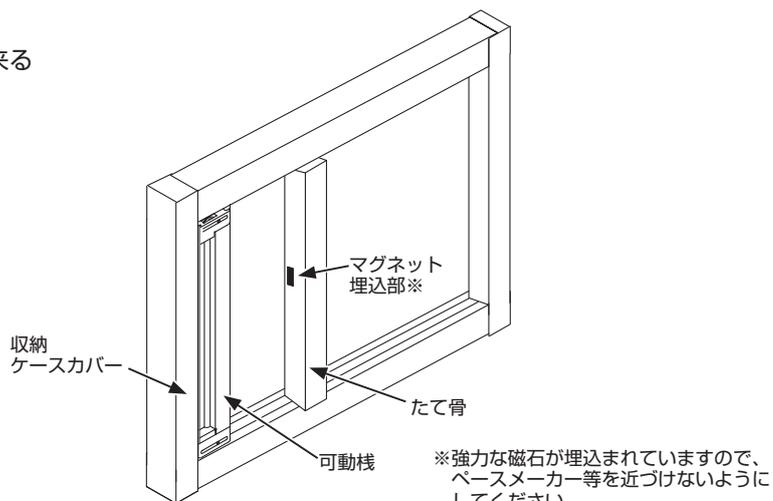


R's 51 片引き窓【内動タイプ】用収納網戸

使用する時はネットのみを引き出します。
網戸を使用しない時は、ネットをケース内に収納出来る
ので、汚れがつきにくく衛生的です。

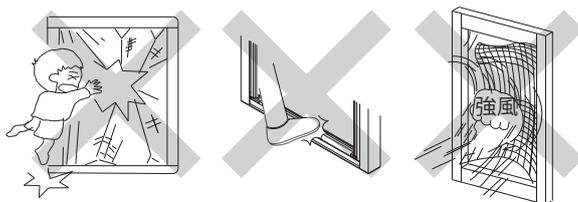
主要部品

- 収納ケースカバー
- 可動棧



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
- ネットへ直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。
- 落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
- 風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。



⚠注意

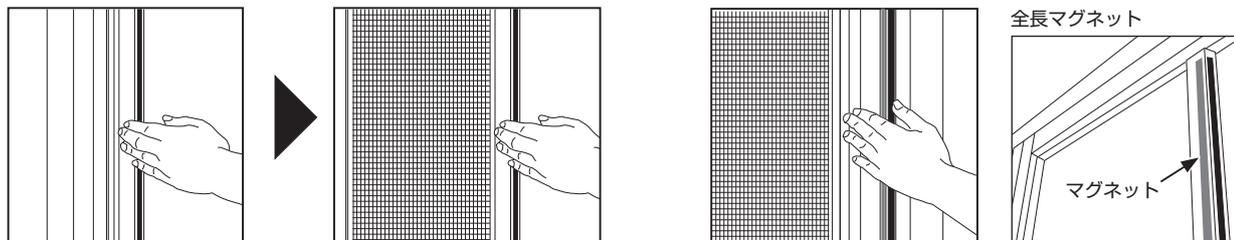
- ネットに寄りかかったり、押ししたりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故等につながります。
- 長時間ネットを出したままにすると収納性が悪くなります。使用しない時は、こまめに収納するようにしてください。
- 下レールのゴミやホコリは掃除機などでこまめに取り除いてください。
- 網戸可動棧を受ける縦骨側中央部には、強力な磁石を取り付けています。植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）の作動に影響及ぼすことがありますので、植込み型医療機器を縦骨中央部に近づけないようにしてください。

操作

【網戸】

・引出し方法

- ① 必ず可動棧の中央部を持って引きだしてください。
- ② 可動棧のマグネットゴムをたて骨と接触させ、磁石固定します。

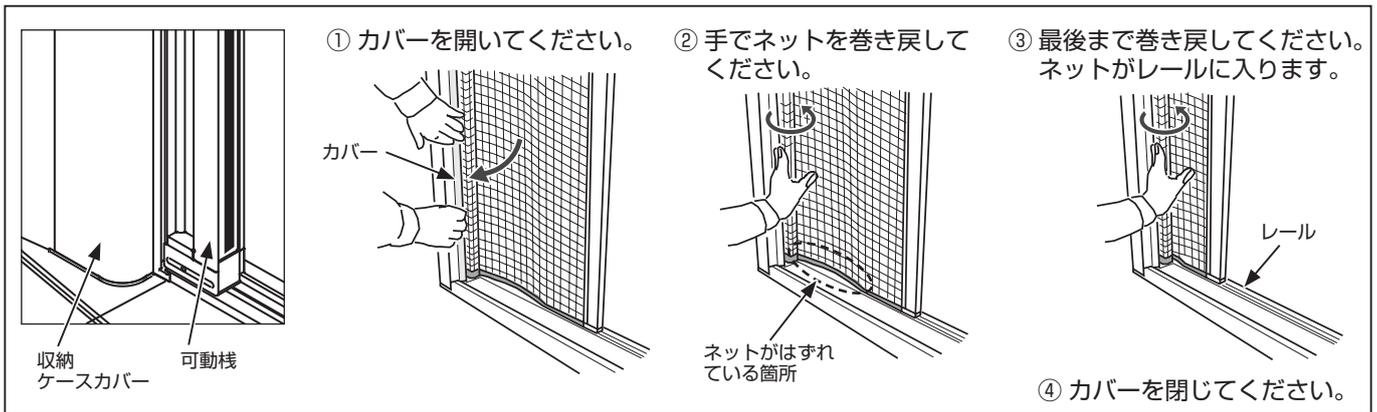


・収納方法

可動棧の中央部を持ち、マグネットによる固定を解除してください。そして、手をそえたままで自然に巻き取らせるようにしてください。

- ※ ネットが最後まで巻き取られなかった場合は、無理に押し込もうとせず、2~3回開閉し、ネットをほぐすことにより自動的に収納されます。
- ※ 無理に手で押し込もうとすると、ネットが折れてクセがついてしまい、十分に巻き取られない場合がありますのでご注意ください。

【ネットが上下レールからはずれた場合】



- ・長時間ネットを張ったままにするとゴミ・ホコリが付着し、巻き取りにくくなります。防虫しない時は、収納してください。
- ・無理な開閉や乱暴な扱いをすると網戸を破損するばかりではなく、思わぬケガの原因になります。開閉操作は丁寧に行ってください。

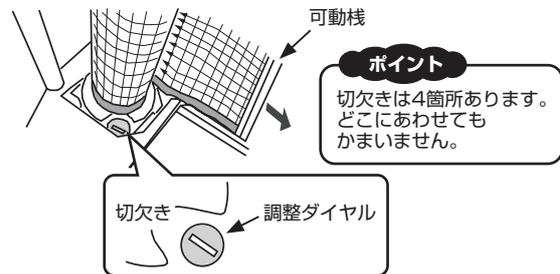
メンテナンス

【巻き取り速度調整方法】

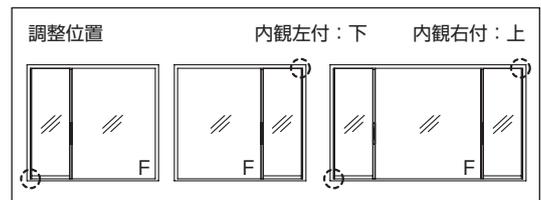
① カバーを開いてください。



② 調整ダイヤルにドライバーが差し込めるように可動棧を引出してください。



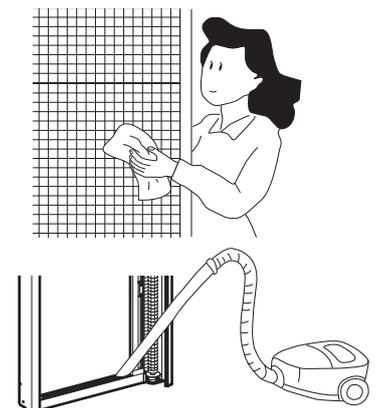
③ 調整ダイヤルを回し、手を離すと自動的にゆっくりと最後まで巻取られるように調整してください。



④ 調整後、カバーを閉じてください。

【網戸の掃除】

- ・長時間ネットを張ったままにすると、ゴミ・ホコリが付着し巻き取りにくくなります。防虫しない時は、収納してください。
- ・網戸を掃除する場合、網戸を引き出した状態でブラシなどで全体を軽くこすります。そしてゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ軽く押さえるように洗ってください。最後に水で濡らした雑巾などで拭き、乾かしてください。
(注) 網戸を強く引き出したり、押ししたりしますと破損する場合がありますのでご注意ください。
- ・下枠レールにたまった砂やホコリは、掃除機などで吸い取ってください。
- ・レール溝に小石などがつまった場合は取り除いてください。
- ・汚れがひどい場合は、レール部分を水で洗い流してください。その際、水が室内に入らないようにご注意ください。



片引き窓【外動タイプ】（FIX部アルミパネルタイプ）

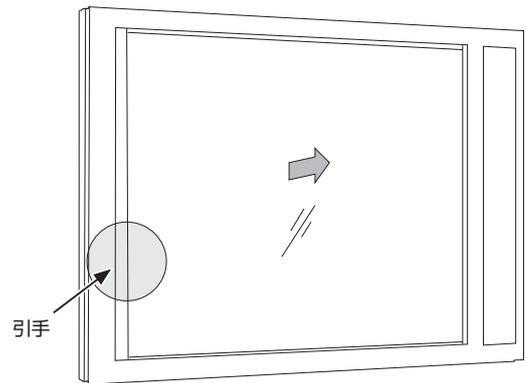
□ R's 51

主要部材名称

片側FIX部がアルミパネルタイプの片引き窓で、障子開放時、開口が110mmに制限され、安心して換気を行っていただくことができます。

主要部品

- ・ 収納式引手付き鎌錠
- ・ 戸車
- ・ はずれ止め



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

【はずれ止め】

万一物の出し入れ、ガラスの破損等で障子を取りはずすことがあった場合は、障子を吊り込んだ後、必ずはずれ止めを正規の位置にセットしてください。障子脱落防止のため、必ずお守りください。

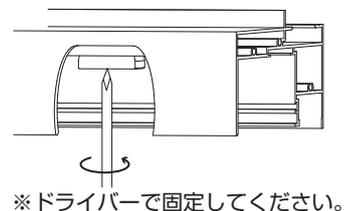
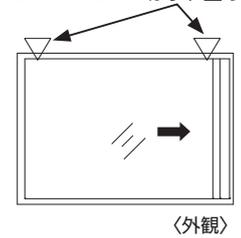
・ 上枠部のはずれ止めの操作方法

- ① 障子を開けてください。
- ② 上枠のたて枠側 2箇所にあるはずれ止めの固定用ねじを緩めてください。
- ③ 移動防止ねじにあたるまで、はずれ止めを移動させ、固定ねじを締めてセットしてください。

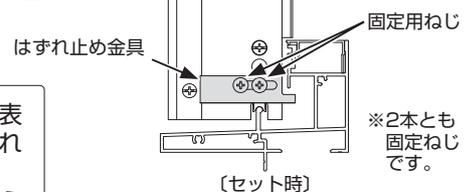
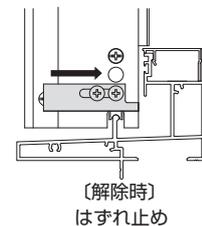
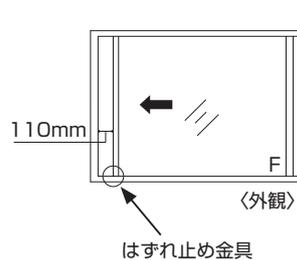
・ 障子部のはずれ止めの操作方法

- ① 障子を開けてください。
 - ② 戸先框の下部のはずれ止め金具の固定用ねじを緩めてください。
 - ③ 室内側へ寄せてねじを締めてセットしてください。
- ※ 開口寸法が狭い(110mm)ため、クランク型ドライバーや柄の短いドライバーなどご用意ください。

【上枠部】



【戸先部】



⚠注意

- ・ お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

操作

【収納式引手付き鎌錠】

・ 施錠時

障子を最後まで閉めて、

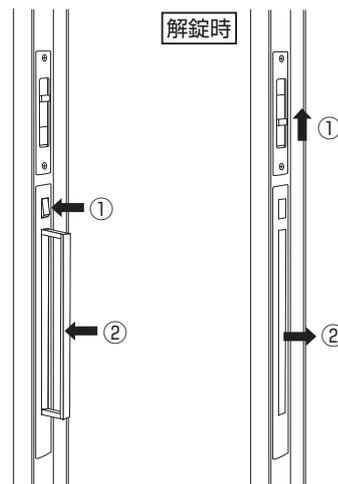
- ① ボタンを押しながら、②引手を押し込むと、施錠されます。
- ※ 引手を押し込む際は手をはさまないようにしてください。

・ 解錠時

- ① ツマミを上へあげると、錠が解錠されて、②引手が飛び出します。
- ※ 障子进行操作する際は必ず、引手を持って操作してください。

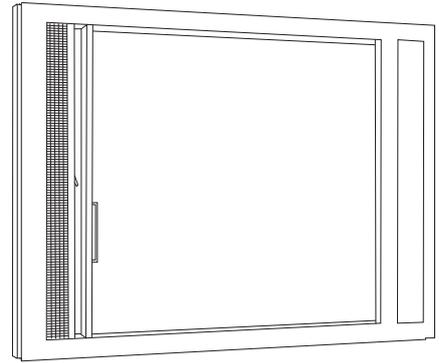
施錠時

解錠時



R's 51【外動タイプ】（FIX 部アルミパネルタイプ）用収納網戸

ネット(網)がコンパクトに折りたたまれ、枠内に収納されるタイプです。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

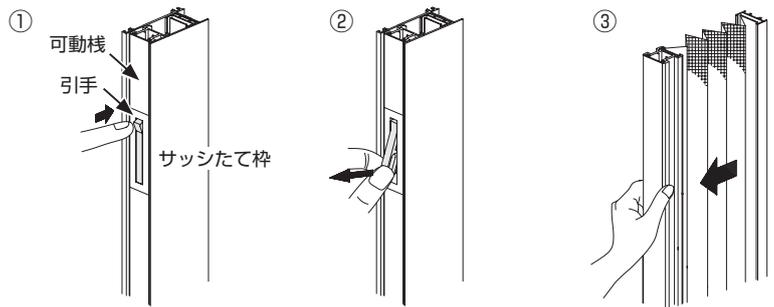
⚠️注意

- ネットに寄りかかったり、押ししたりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故等につながります。
- 長時間ネットを出したままにすると収納性が悪くなります。使用しない時は、こまめに収納するようにしてください。
- 下レールのゴミやホコリは掃除機などでこまめに取り除いてください。

操作

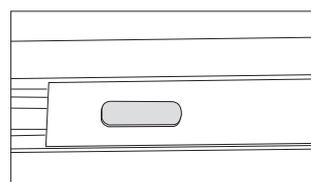
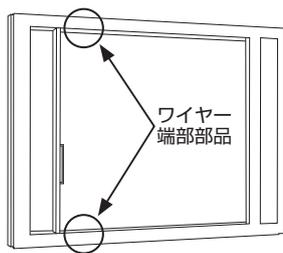
【網戸を使用するとき】

- ① 引手上部の出っ張りを押してください。
- ② 引手をつまんで可動棧を少し引き出してください。
- ③ 可動棧に手をかけて網戸を引き出してください。

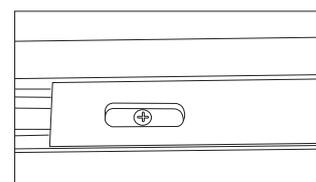


メンテナンス

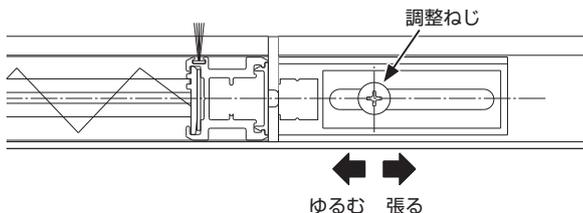
【調整方法】



樹脂キャップをはずしてください。



調整ねじが見えます。

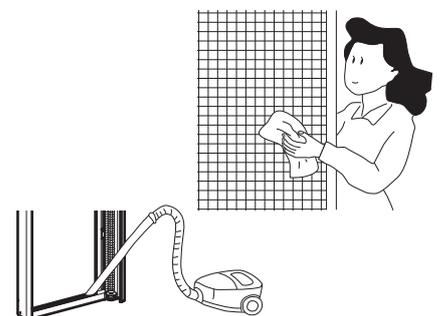


※ ワイヤー調整後、数回開閉を行い網戸がスムーズに作動するか確認してください。

※ ワイヤーを張りすぎると、作動が重たくなるので、ご注意ください。

【網戸の掃除】

- 長時間ネットを張ったままにすると、ゴミ・ホコリが付着し巻き取りにくくなります。防虫しない時は、収納してください。
- 網戸を掃除する場合、網戸を引き出した状態でブラシなどで全体を軽くこすります。そしてゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ軽く押さえるように洗ってください。最後に水で濡らした雑巾などで拭き、乾かしてください。
(注) 網戸を強く引き出したり、押ししたりしますと破損する場合がありますのでご注意ください。
- 下レールのゴミやホコリは掃除機などで、こまめに取り除いてください。

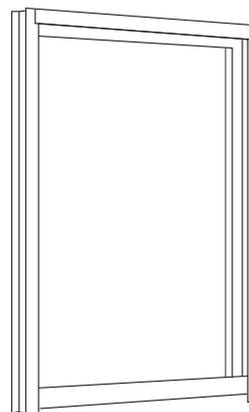


FIX 窓

- EXIMA 31 EXIMA 31Wb エクシマ 70Wb EXIMA 51 EXIMA 32
- EXIMA 37 R's61 SYSTEMA 31 SYSTEMA 310 SYSTEMA 710
- SYSTEMA 521 SYSTEMA 720 YAT-100 YDP-100 YDEX-70
- SYSTEMA 9201c SYSTEMA 9211c SYSTEMA 9221c EXIMA91c
- YC500 YCS-80 EXIMA 31e EXIMA 51e SYSTEMA 510e
- SYSTEMA 520e SYSTEMA31e

主要部材名称

採光に適した窓です。



外倒し窓

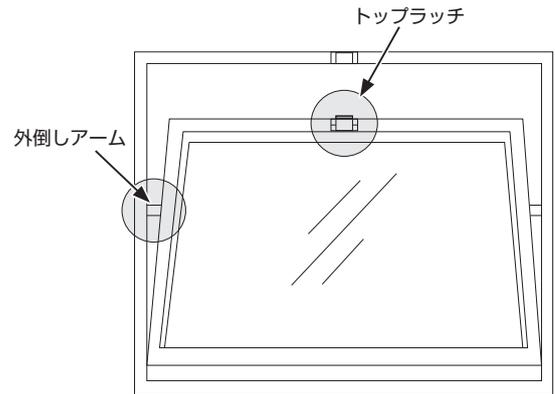
□ EXIMA 31 □ EXIMA 51 □ EXIMA 32 □ YDEX-70

主要部材名称

換気に適した外倒し窓です。
障子が外部側に開放されます。

主要部品

- トップラッチ
- トップラッチ受
- 外倒しアーム
- 丁番
- フック受



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

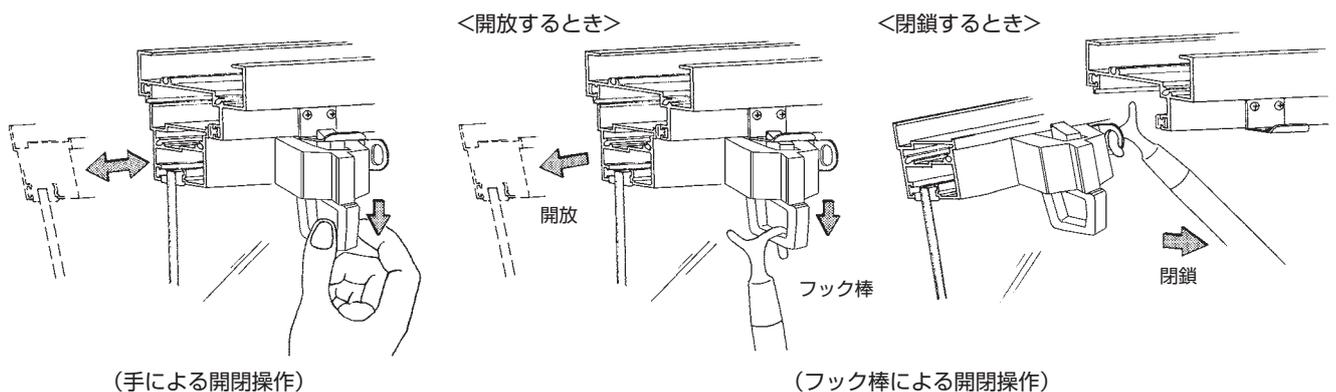
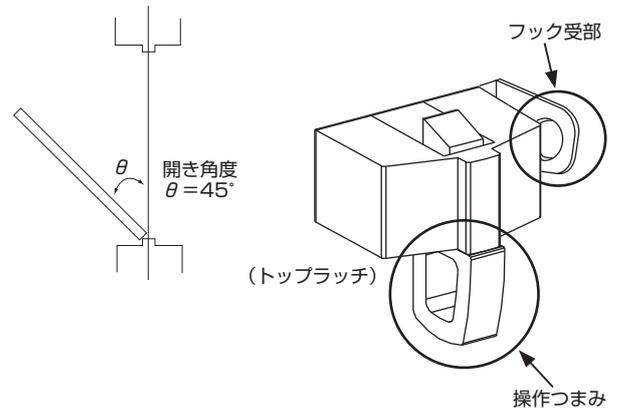
- 風の強い時には、障子を閉めてロックを完全にしてください。
- 風にあおられるおそれがあります。トップラッチの操作つまみおよびフック受をしっかり保持し、注意して開閉してください。

⚠注意

- 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

操作

- ① 上框の締め金具（トップラッチ）の操作つまみに、フック棒を掛けて静かに下方へに引いてください。手で操作する時は、トップラッチの操作つまみを指でつまみ、引き下げてください。ロックが解除されます。
- ② 上記①の状態から障子が止まるまで、フック棒をはずさないでゆっくり倒してください。
- ③ ストッパーが働き、設定された角度で自動的に障子がストップします。
- ④ 障子を閉める時は、フック受部に、フック棒を掛けて、静かに障子を引き寄せ閉めてください。手で操作する時は、トップラッチの操作つまみを指でつまみ、引き上げてください。トップラッチがロックされたことをご確認ください。



外倒し窓【排煙窓】

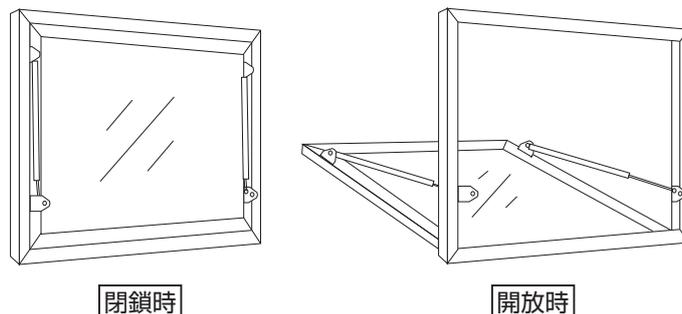
□ EXIMA 37

主要部材名称

排煙に必要な開口面積が確保でき、排煙口として使用できる外倒し窓【排煙窓】です。

主要部品

- ・ステイダンパー
- ・オペレーター
- ・丁番



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・障子を閉める際は、ゆっくりとおこなってください。急激な操作で衝撃を受け、破損の原因になることがあります。
- ・防犯のため、就寝、外出時には必ず窓を閉めてください。
- ・降雨時、風の強い時には、窓を開けないでください。
- ・本窓は、絶対に固定しないでください（法律で定められた排煙面積が確保できなくなる場合があります）。
- ・冬季など使用しない時期でも、1カ月に1度程度は窓の開閉テストをおこなってください（非常時のためのテストと排煙錠の機能確認）。

⚠ 注意

- ・風の強い時は、窓を閉めてください。窓を閉めないで障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

操作

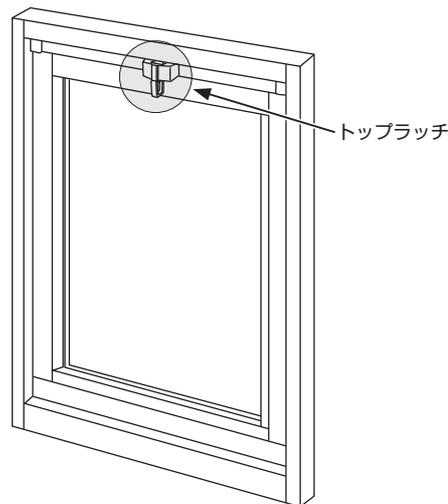
オペレータ部品メーカーの取扱説明書または操作ラベルに従い、操作してください。

内倒し窓

□ EXIMA 31 □ EXIMA 51 □ EXIMA 32 □ YDEX-70

主要部材名称

換気に適した内倒し窓です。障子が室内側に倒れますので、外部への開放スペースがないところに適しています。



主要部品

- トップラッチ
- トップラッチ受
- 内倒しアーム
- 丁番又は形材丁番

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

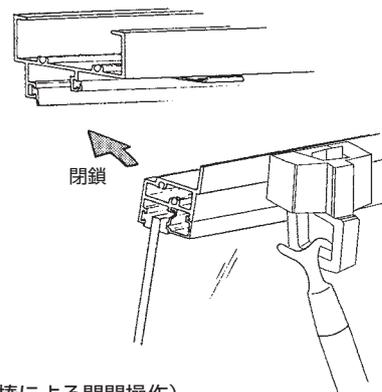
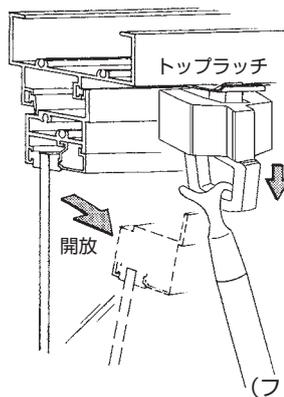
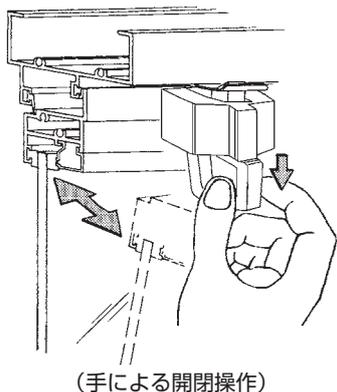
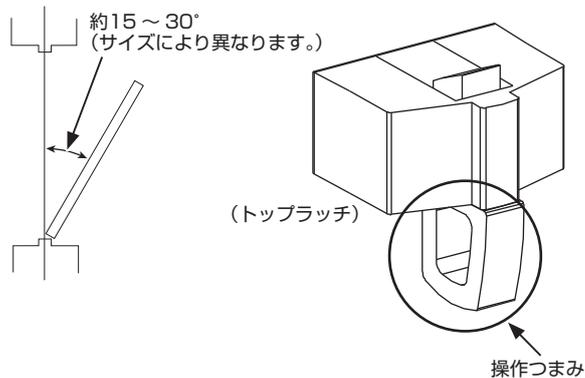
- 風の強い時には、障子を閉めて窓を開けないでください。障子の破損・落下など、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 風にあおられるおそれがあります。トップラッチの操作つまみをしっかりと持ち、注意して開閉してください。

△注意

- 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

操作

- ① トップラッチの操作つまみに、フック棒を掛けて静かに下方へ引いてください。手で操作する時は、トップラッチの操作つまみを指でつまみ、引き下げてください。ロックが解除されます。
- ② ①の状態から障子が止まるまで、フック棒をはずさないでゆっくり倒してください。
- ③ ストッパーが働き、設定された角度で自動的に障子がストップします。
- ④ 障子を閉める時は、トップラッチの操作つまみに、フック棒を掛けて静かに押し上げて閉めてください。手で操作する時は、トップラッチの操作つまみを指でつまみ、押し上げてください。トップラッチがロックされたことをご確認ください。



内倒し窓 [2段階オープン仕様]

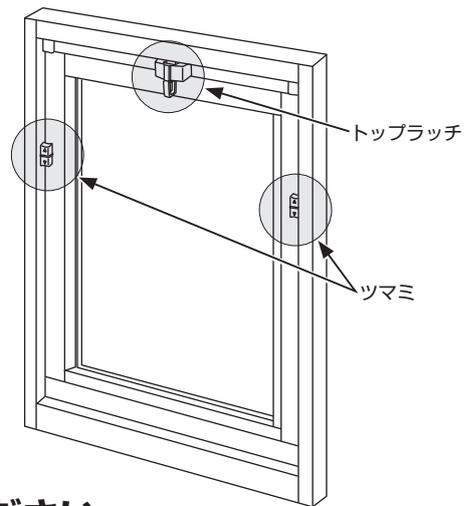
□ EXIMA 31 □ EXIMA 51 □ EXIMA 32

主要部材名称

換気に適した内倒し窓です。障子が室内側に倒れますので、外部への開放スペースがないところに適しています。メンテナンス性にも配慮した【2段階オープン仕様】です。

主要部品

- ・ トップラッチ
- ・ トップラッチ受
- ・ 内倒しアーム
- ・ 型材丁番



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

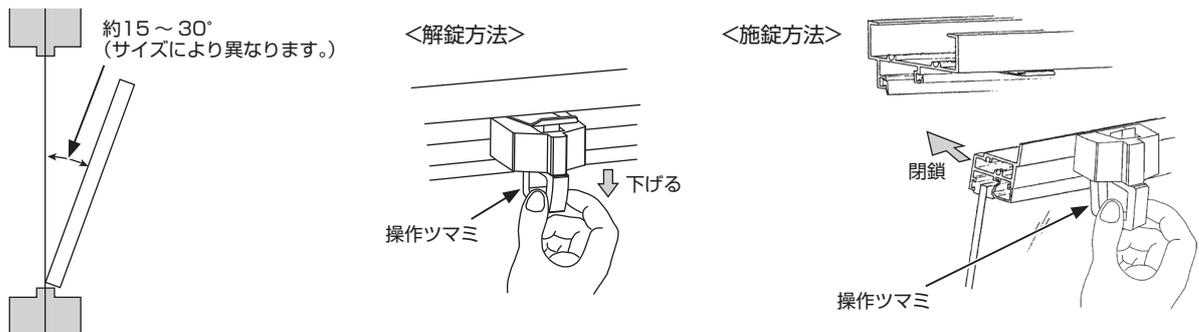
- ・ 風の強い時には、障子を閉めてロックを完全にしてください。
- ・ 風にあおられるおそれがあります。トップラッチの操作つまみをしっかりと保持し、注意して開閉してください。

⚠️注意

- ・ 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

操作

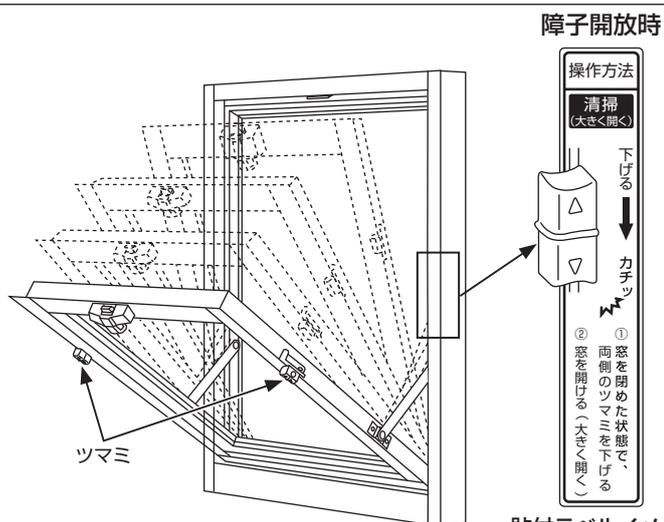
- ① トップラッチの操作つまみを指でつまみ引き下げてください。ロックが解除されます。
- ② ストッパーが働き、設定された角度で自動的に障子がストップします。
- ③ 窓を施錠する時には、トップラッチの操作つまみを指でつまみ押し上げてください。トップラッチがロックされたことをご確認ください。



メンテナンス

[ガラス清掃時]

- ① 障子が閉じた状態で障子左右にあるつまみをそれぞれ下向きに1段下げます（カチッと音がするまで、下向きに押ししてください）。
 - ② 上記①の操作後、障子を開くと、障子が開放（約60°）します。
- ※ 障子は手前に大きく倒れますので、開放時にご注意ください。
- ③ 掃除が終了しましたら、障子を閉じます。
1度障子を閉めると、開放機能は自動的に解除されます（換気時の開口角度に自動的に設定されます）。



内倒し窓【トプラッチ仕様】

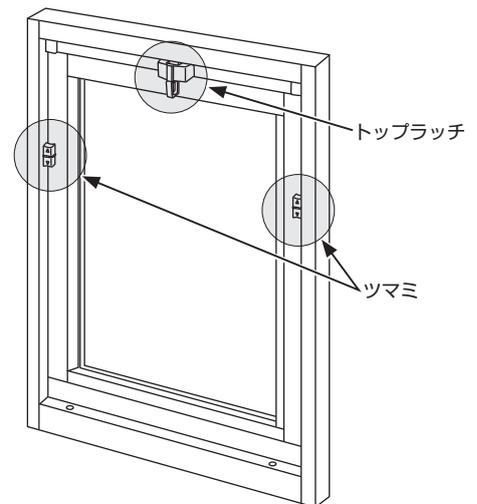
□ R's 70Tbf

主要部材名称

換気用として適しています。障子が外部に突き出さないで、外部の開放スペースがない場所に利用できます。

主要部品

- トプラッチ
- トプラッチ受
- 内倒しアーム
- 形材丁番



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

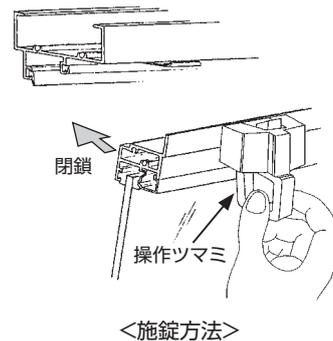
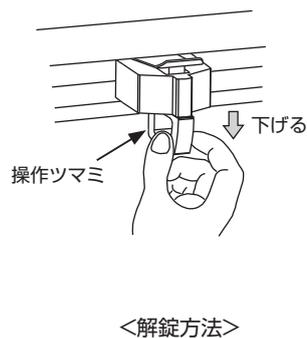
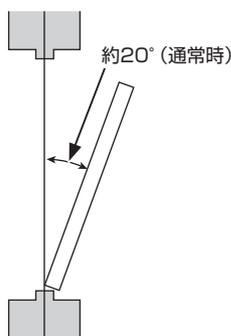
- 風の強い時には、障子を閉めてロックを完全にしてください。
- 風にあおられるおそれがあります。トプラッチの操作つまみをしっかりと保持し、注意して開閉してください。

⚠注意

- 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

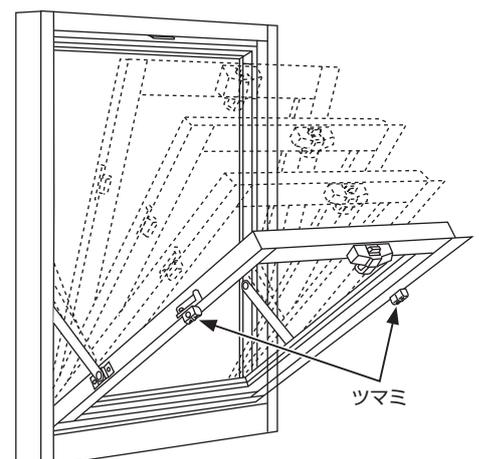
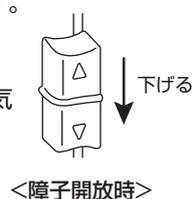
操作

- ① トプラッチの操作つまみを指でつまみ引き下げてください。ロックが解除されます。
- ② ストッパーが働き、設定された角度で自動的に障子がストップします。
- ③ 窓を施錠する時には、トプラッチの操作つまみを指でつまみ押し上げてください。トプラッチがロックされたことをご確認ください。



【ガラス清掃時】

- ① 障子が閉じた状態で障子左右にあるつまみをそれぞれ下向きに1段下げます（カチッと音がするまで、下向きに押ししてください）。
- ② 上記①の操作後、障子を開くと、障子が開放（約60°）します。障子は手前に大きく倒れますので、開放時にご注意ください。
- ③ 掃除が終了しましたら、障子を閉じます。1度障子を閉めると、開放機能は自動的に解除されます（換気時の開口角度に自動的に設定されます）。



内倒し窓【タッチラッチ仕様】

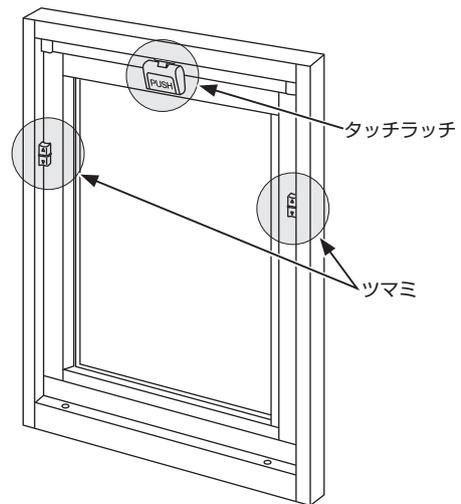
□ EXIMA 31 □ EXIMA 32 □ R's 70Tbf

主要部材名称

換気用として適しています。障子が外部に突き出さないで、外部の開放スペースがない場所に利用できます。また、窓をワンブッシュで開けられます。

主要部品

- ・ タッチラッチ
- ・ タッチラッチ受
- ・ 内倒しアーム
- ・ 形材丁番



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

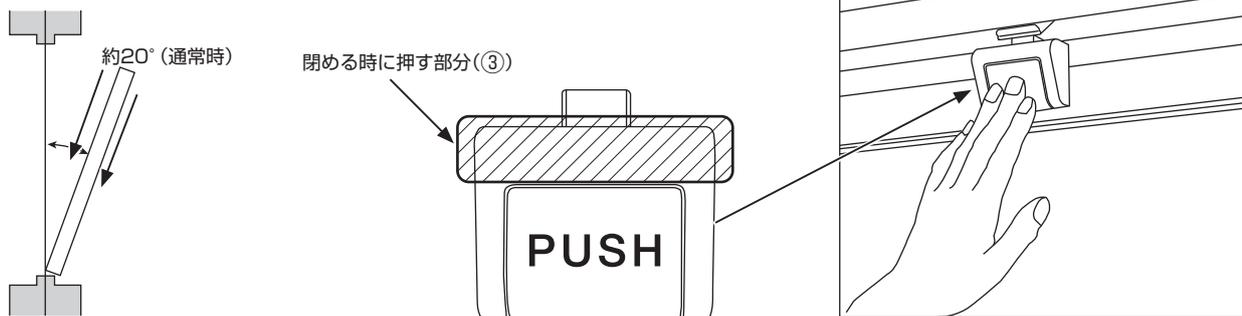
- ・ 風の強い時には、障子を閉めてロックを完全にしてください。
- ・ 風にあおられるおそれがあります。障子を保持し、注意して開閉してください。

⚠注意

- ・ 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

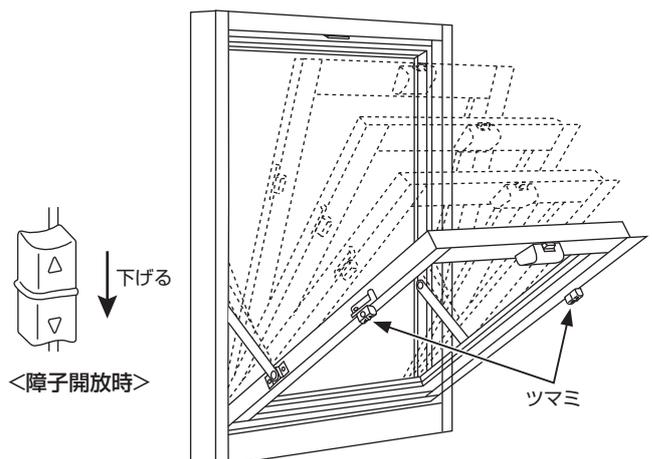
操作

- ① タッチラッチの「PUSH」ボタンを押します。
- ② ストッパーが働き、設定された角度で自動的に障子がストップします。
- ③ 障子を閉める時には、タッチラッチの上部を手で押して閉めてください。タッチラッチがロックされたことを確認してください。



【ガラス清掃時】

- ① 障子が閉じた状態で障子左右にあるツマミをそれぞれ下向きに1段下げます（カチッと音がするまで、下向きに押ししてください）。
- ② 上記①の操作後、障子を開くと、障子が開放（約60°）します。障子は手前に大きく倒れますので開放時にご注意ください。
- ③ 掃除が終了しましたら、障子を閉じます。1度障子を閉めると、開放機能は自動的に解除されます（換気時の開口角度に自動的に設定されます）。



突出し窓

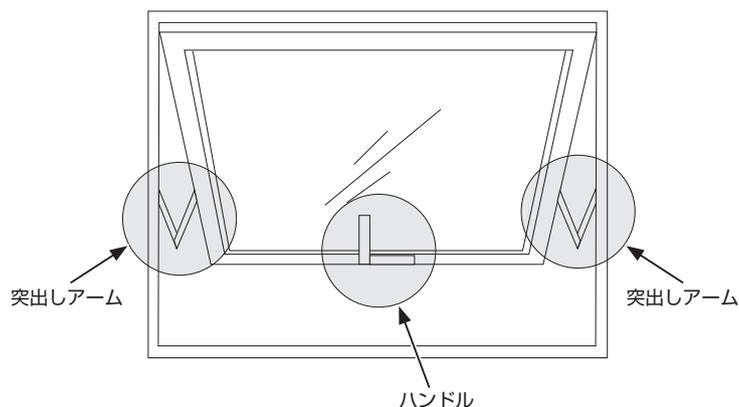
□ EXIMA 31 □ EXIMA 51 □ EXIMA 32

主要部材名称

換気に適した突出し窓です。
障子が外部側に突出しながら開きます。

主要部品

- ・ 丁番
- ・ ハンドル
- ・ 突出しアーム



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

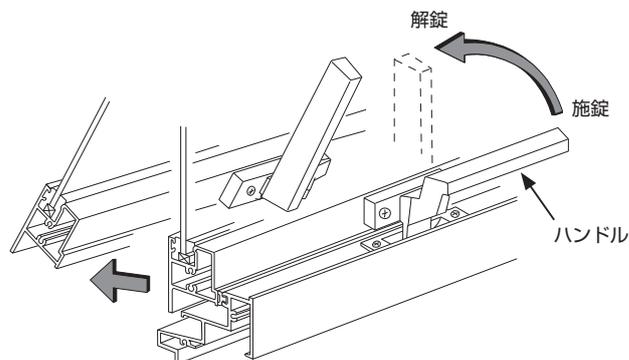
- ・ 風の強い時には、障子を閉めてロックを完全にしてください。
- ・ 風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかりと持って、注意して開閉してください。
- ・ 障子を閉める時、ハンドル、突出しアームに指などはさまないようご注意ください。

△注意

- ・ 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

操作

- ① ハンドルを 90° 回してください。ロックが解除されます。
- ② ハンドルを持ち、障子が止まるまで押し出してください。
- ③ ストッパーが働き、設定された角度で自動的に障子がストップします（開き角度はサイズにより異なります）。
- ④ 障子を閉める時は、ハンドルを上向きのまま引いてください。
- ⑤ 障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにしてロックしてください。



外開き窓

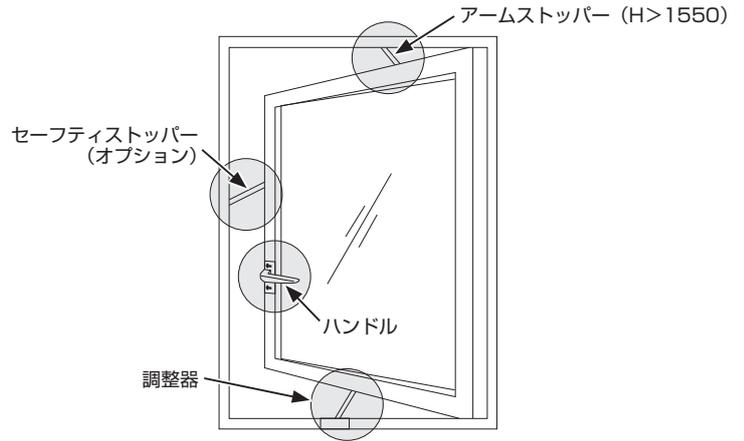
□ EXIMA 31 □ EXIMA 51 □ EXIMA 32 □ YDEX-70

主要部材名称

窓面積全部が開口となる外開き窓です。
隠し丁番の採用で外観がすっきりし、見付が小さいのでスリムなイメージのデザインです。

主要部品

- ・ハンドル
- ・調整器
- ・丁番
- ・アームストッパー (H>1550)
- ・セーフティストッパー (オプション)※
- ・セーフティストッパー解除部品(オプション)
- ・セーフティストッパー操作ツマミ(オプション)
- ・セーフティストッパーカバー (オプション)



※ YDEX-70 はセーフティストッパーの設定はありません。

※ セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・窓を開ける時は、カチッと止まるまで開放してください。
- ・降雨時、風の強い時の開放は危険ですので窓を開けないでください (ハンドルは施錠状態にしてください)。
- ・風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかり持って開閉してください。
- ・窓が開いた状態ではハンドルを回さないでください。
- ・ガラスに▼マークが付いている窓は「非常用出入口」です。90°まで一度に開きますので、開閉にはご注意ください。また、進入口の前には、物を置かないでください。

⚠注意

- ・風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

🙏お願い

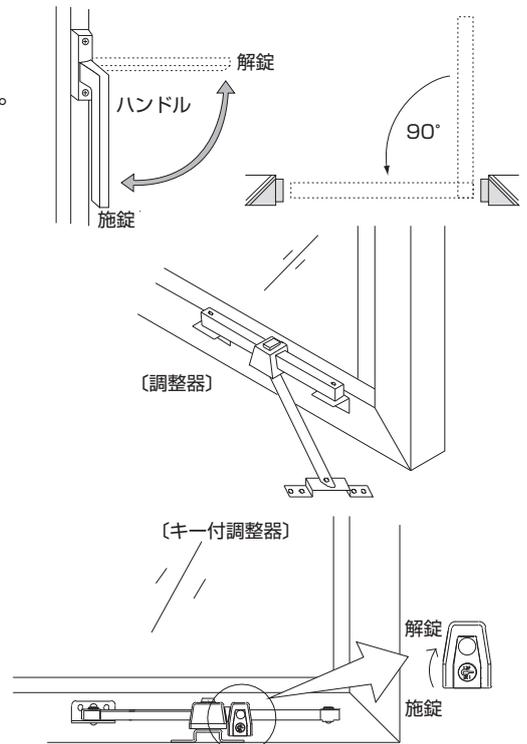
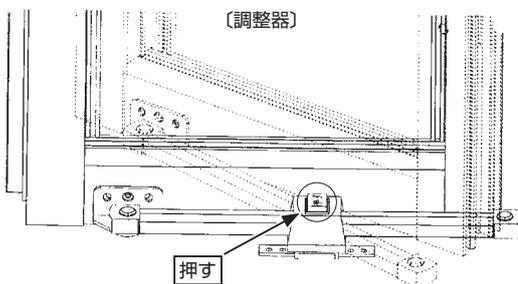
- ・開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

- ① ハンドルを上へ 90° 回転してください。ロックが解除されます。
- ② ハンドルを持ち、障子が止まるまで押してください。
- ③ 調整器が働き、設定された角度で自動的に障子がストップし、固定されます。
- ④ 開き角度を変えたい時は、調整器の押すの部分を最後まで押しながら障子を開いてください。
- ⑤ 障子を閉める時は、調整器の押すの部分を押して障子を閉めてください。
- ⑥ 障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。

【キー付調整器使用の場合】

- ・障子が閉鎖時に調整器の鍵を施錠しますと最小開き角度でストップし固定されます。
- ・調整器の鍵を解錠しますと固定が解除されます。



メンテナンス

セーフティストッパー操作(オプション) セーフティストッパー解除部品(オプション)

【ガラス清掃時の操作】

半開(通常時)→ 全開(清掃時)
〈窓を大きく開け、外側のガラス面が清掃できます。〉

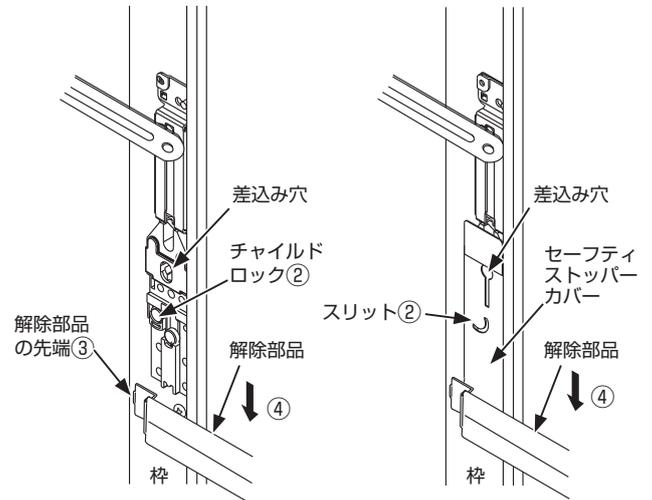
- ① 窓を開けます (前項操作より)。
- ② 枠内部にあるロック片 (チャイルドロック) をボールペン等の先が細いもので時計回りに 90° 回転させロック片 (チャイルドロック) を解除します (右図参照)。

■セーフティストッパーカバー設置の場合

スリット内のロック片(チャイルドロック)を時計回りに90° 回転させロック片(チャイルドロック)を解除します。

- ③ 差込み穴に解除部品の先端を差し込んだまま解除部品に当たる手前まで障子を閉めます。
- ④ 解除部品を下げます。
- ⑤ 窓を大きく開けて清掃できます。

■セーフティストッパーカバー(オプション)設置の場合



【清掃完了時の操作】

全開(清掃時)→ 半開(通常時)

- ①、②ハンドルを持ち窓を閉めます。
(セーフティストッパーは自動で復帰します)。
〈落下防止のため、窓が小さく開く状態でご利用ください〉
- ③ 窓を開けます。
- ④ チャイルドロックを「ロック」にします。

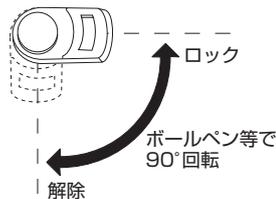
■セーフティストッパーカバー設置の場合

スリット内のロック片(チャイルドロック)を反時計回りに90° 回転させロック片(チャイルドロック)を「ロック」にします。

- ⑤ 窓を閉じます。

【ロック片(チャイルドロック)ロック・解除方法】

貼付ラベルイメージ

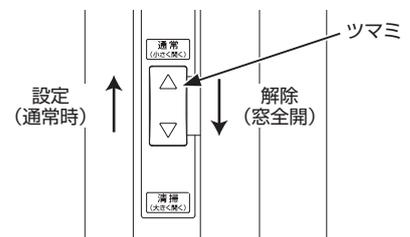


- ※ 操作する際は、解除部品を落下させない様、解除部品についているストラップを必ず手首にかけてご使用ください。
- ※ 清掃時以外は必ず、半開でご使用ください。 ※解除部品は建物管理者様が管理してください。

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー操作つまみ(オプション)

- ① 窓を開けます。(前項操作より)
- ② ロック片 (チャイルドロック) を解除にします。
- ③ 障子を一旦閉めます。
- ④ 障子を閉めた状態でつまみを下げます (ストッパーが解除されます)。
- ⑤ 障子を開けると清掃可能な状態となります。
- ⑥ 清掃終了後、一旦障子を閉じます
(セーフティストッパーは自動で復帰します)。
- ⑦ 障子を開けつまみの裏側にあるロック片 (チャイルドロック) を元の位置にもどします。

【ストッパー設定・解除方法】



外開き窓【換気付非常用進入口仕様】

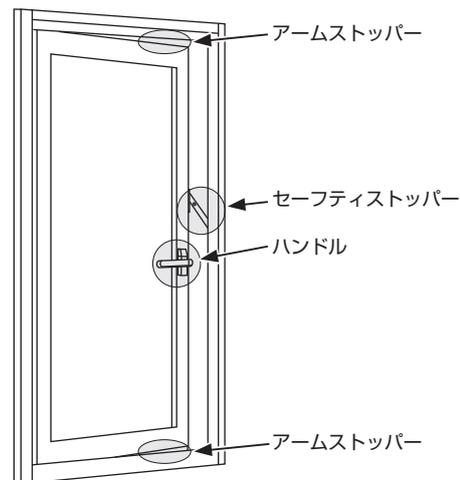
□ EXIMA 31 □ EXIMA 51 □ EXIMA 32

主要部材名称

外開き窓【換気付非常用進入口仕様】は、セーフティストッパーにより有効開口が約85mmに制限されますので、安全な換気が行えます。

主要部品

- ・ハンドル
- ・アームストッパー
- ・セーフティストッパー
- ・セーフティストッパー解除部品(オプション)
- ・外部ハンドル



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・通常ご使用時はセーフティストッパーを設定して、ご使用ください。
- ・降雨時、強い風の時の開閉は危険ですので窓を開けないでください（ハンドルは施錠状態にしてください）。
- ・風にあおられる恐れがあります。ハンドルをしっかり持って開閉してください。
- ・障子を開いた時には、必ずセーフティストッパー※が設定されるまで開いてください。
※ セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。
- ・窓を開いた状態では、ハンドルを回さないでください。
- ・ガラスに▼マークが付いている窓は「非常用進入口」です。進入口の前には、物を置かないでください。

⚠注意

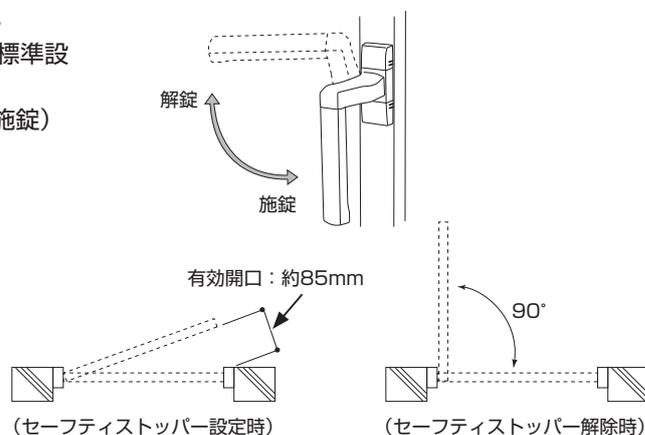
- ・風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

🙏お願い

- ・開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

- ① ハンドルを上へ90°回転してください。ロックが解除します。
- ② ハンドルを持ち、障子が止まるまで押出してください。標準設定時の有効開口は約85mmです。
- ③ 障子を閉めたら必ずハンドルを下向きに90°回転しロック（施錠）してください。

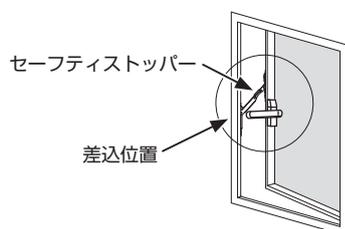


メンテナンス

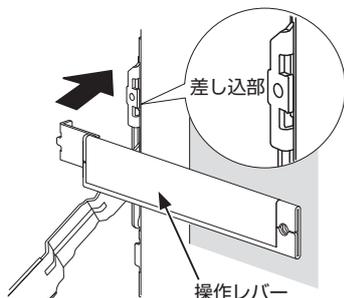
【セーフティストッパーの操作①】

【ガラス清掃時の操作】半開(通常時)→ 全開(清掃時)

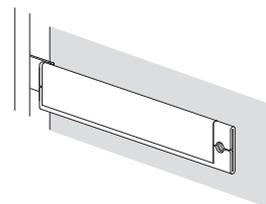
① 窓を開けます。



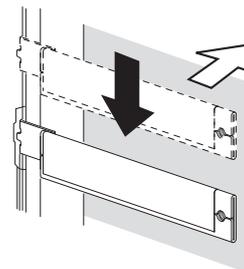
② 操作レバーを差し込みます。



③ 操作レバーを差込んだ状態で窓を閉めます。



④ 操作レバーを平行に押し下げたまま、窓を少し開けます (セーフティストッパーが解除されます)。



⑤ 操作レバーをはずします。

※ 清掃時以外は必ず、半開でご利用ください。

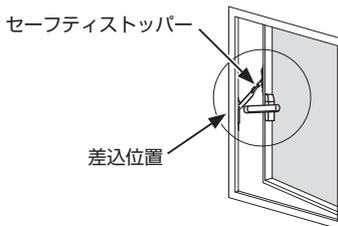
※ 操作レバーは建物管理者様が管理してください。

※ 全開状態ではセーフティストッパーと枠が干渉し、窓が閉められません。窓を閉める際には半開状態に戻してください。

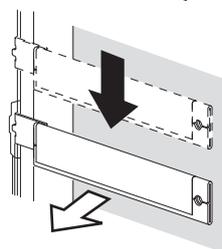
【セーフティストッパーの操作②】

【清掃完了時の操作】全開(清掃時)→ 半開(通常時)

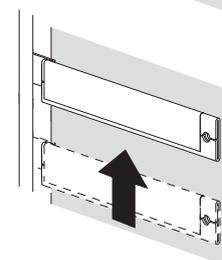
① 操作レバーを差し込みます。



② 操作レバーを平行に押し下げたまま、窓を閉めます。



③ 窓が閉ったら、操作レバーを上に戻します (セーフティストッパーの構造により、半開になります)。



④ 窓を少し開き、操作レバーをはずします。

※ 全開状態ではセーフティストッパーと枠が干渉し、窓が閉められません。窓を閉める際には半開状態に戻してください。

外開き窓

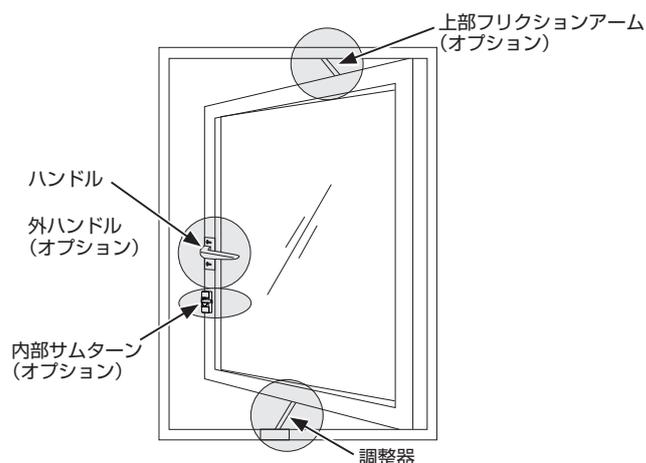
□ EXIMA 37

主要部材名称

窓面積全部が開口となる外開き窓です。
丁番の採用で外観がすっきりし、見付が小さいのでスリムなイメージのデザインです。

主要部品

- ・ハンドル
- ・調整器
- ・丁番



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ 窓を開ける時は、カチッと止まるまで開放してください。
- ・ 降雨時、風の強い時の開放は危険ですので窓を開けないでください（ハンドルは施錠状態にしてください）。
- ・ 風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかり持って開閉してください。
- ・ 窓が開いた状態ではハンドルを回さないでください。

△注意

- ・ 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

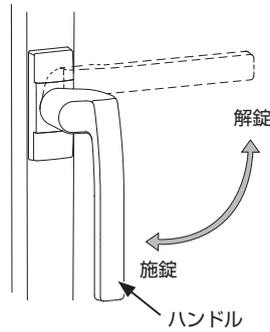
お願い

- ・ 開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

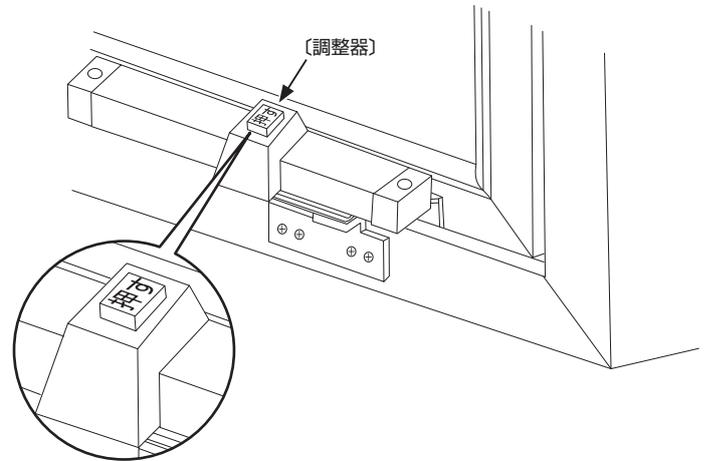
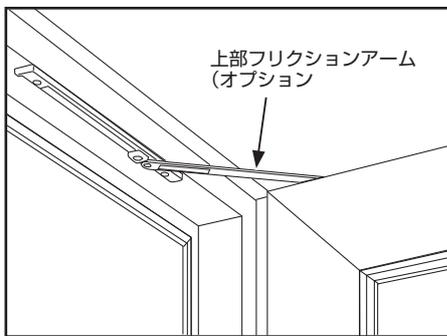
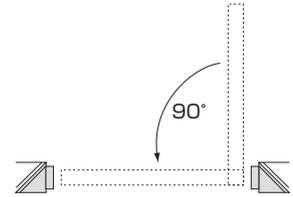
操作

- ① ハンドルを上へ 90° 回転してください。ロックが解除されます。
- ② ハンドルを持ち、障子が止まるまで押してください。
- ③ 調整器が働き、設定された角度で自動的に障子がストップし、固定されます。
- ④ 開き角度を変えたい時は、調整器の「押す」部分を最後まで押しながら障子を開いてください。
- ⑤ 障子を閉める時は、調整器の「押す」部分を押し、障子を閉めてください。
- ⑥ 障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。

※ オプションの上部フリクションアームが設定されている場合には、調整器は取り付けられていません。



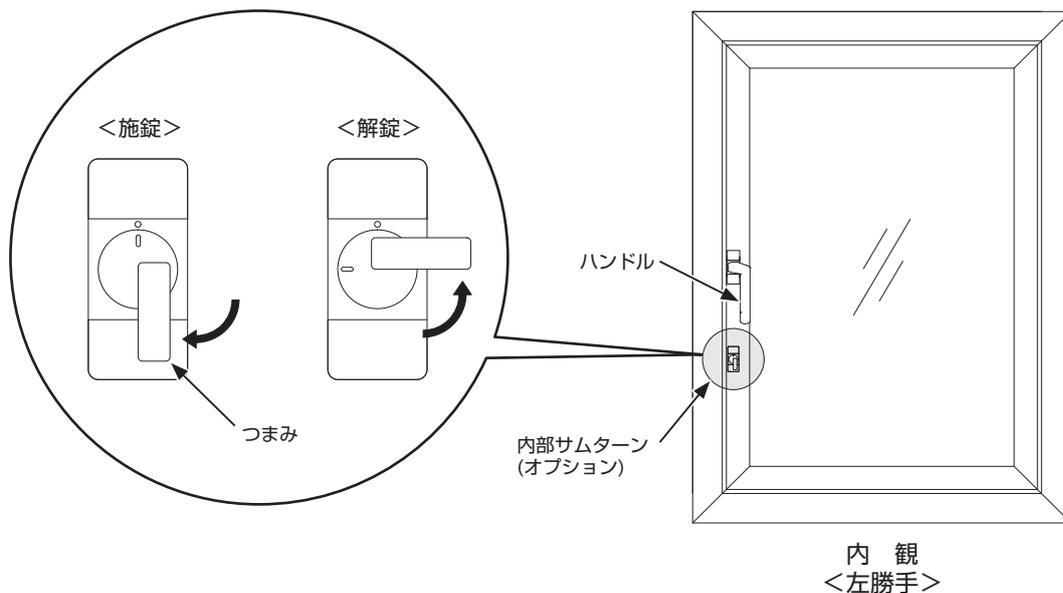
- * 非常用出入口は非常時以外開けないでください。
- * 出入口の前には物を置かないでください。
- * 90°まで一度に開きますので開閉には注意してください。



[内部サムターン(オプション)]

つまみを90° 回転させることでハンドルの回転をロックさせます。

- つまみ下方向：施錠状態(ハンドルは回りません)
- つまみ横方向：解錠状態(ハンドルが回ります)



すべり出し窓

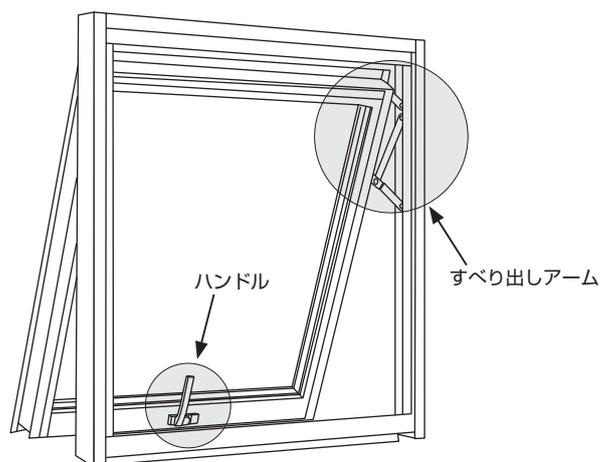
□ EXIMA 31 □ EXIMA 51 □ EXIMA 32 □ YDEX-70

主要部材名称

換気、採光に適しているため、ユーティリティールーム(家事室等)、サニタリールーム(化粧室、洗面所、浴室)など比較的狭い場所の窓として効果的に用いられます。

主要部品

- ・ハンドル
- ・すべり出しアーム



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

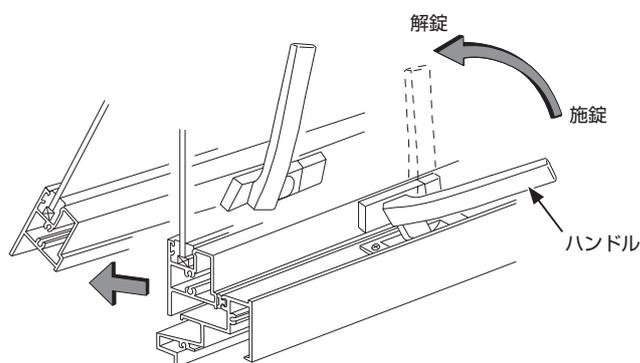
- ・ 降雨時、強い風の時には、障子を閉めてロックを完全にしてください。
- ・ 風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかりと持って、注意して開閉してください。

⚠注意

- ・ 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

操作

- ① ハンドルを 90° 回転してください。ロックが解除されます。
- ② ハンドルを持ち、障子が止まるまで押し出してください。
- ③ ストッパーが働き、設定された角度で自動的に障子がストップします。
- ④ 障子を閉める時は、ハンドルを上向きのまま引いてください。
- ⑤ 障子を閉めたら、必ずハンドルを横向きにしてロックしてください。



たてすべり出し窓

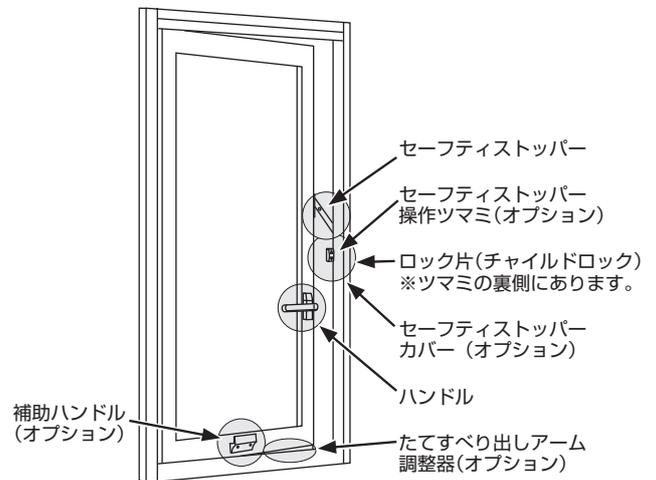
□ EXIMA 31 □ EXIMA 51 □ EXIMA 32 □ EXIMA 31e □ EXIMA 51e

主要部材名称

外部側に障子が開きたてすべり出し窓です。
障子はセーフティストッパーによって開口約70mmで止まります。
清掃時は、セーフティストッパーを解除する事により、障子は約90°まで開き、ガラス外面の清掃が室内から行えます。

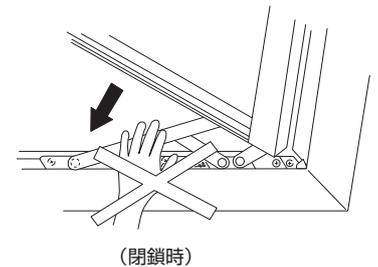
主要部品

- ハンドル
- セーフティストッパー
- ロック片(チャイルドロック)
- たてすべり出しアーム
- セーフティストッパー解除部品(オプション)
- セーフティストッパー操作つまみ(オプション)
- セーフティストッパーカバー(オプション)
- 補助ハンドル(オプション)
- 調整器(オプション)



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 通常ご使用時はセーフティストッパーが設定された状態として、必ずロック片(チャイルドロック)をかけた状態にてご使用ください。
- 障子を開閉するときは、たてすべり出しアームに触れないでください。
- 降雨時、強い風の時の開閉は危険ですので窓を開けないでください(ハンドルは施錠状態にしてください)。
- 風にあおられる恐れがあります。ハンドルをしっかり持って開閉してください。
- 障子を開いた時には、必ずセーフティストッパー※が設定されるまで開いてください。
※ セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。
そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。
- 窓が開いた状態では、ハンドルを回さないでください。



⚠注意

- 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

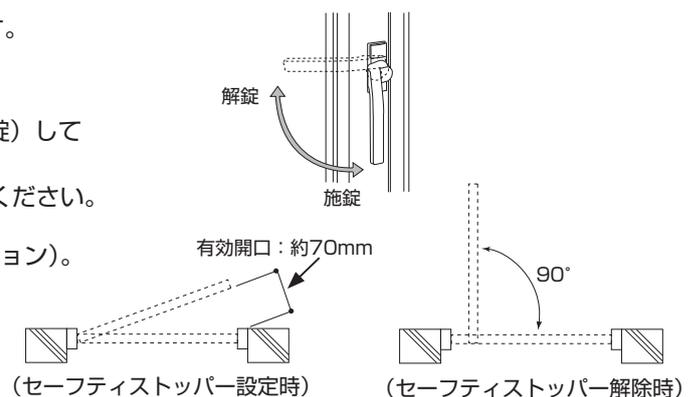
お願い

- 開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

- ① ハンドルを上へ90°回転してください。ロックが解除します。
- ② ハンドルを持ち、障子が止まるまで押し出してください。
標準設定時の有効開口は約70mmです。
- ③ 障子を閉めたら必ずハンドルを下向きに回転し、ロック(施錠)してください。

※ 障子を閉める時は、たてすべり出しアームを手で持たないでください。
また、障子を閉める際ハンドルに手が届きにくい場合等は、補助ハンドルで障子を引き寄せる様に閉めてください(オプション)。



メンテナンス

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー解除部品(オプション)

【ガラス清掃時の操作】

半開(通常時)→ 全開(清掃時)

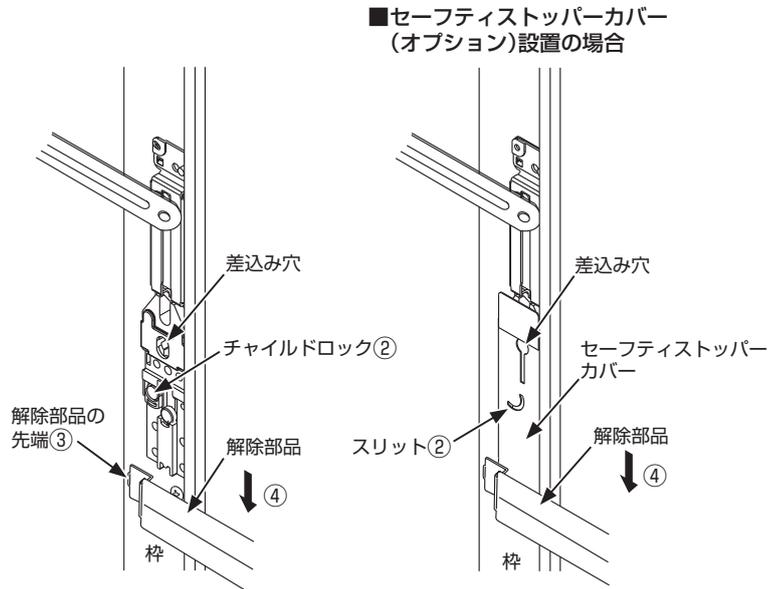
〈窓を大きく開け、外側のガラス面が清掃できます。〉

- ① 窓を開けます(前項操作より)。
- ② 枠内部にあるロック片(チャイルドロック)をボールペン等の先が細いもので時計回りに90°回転させロック片(チャイルドロック)を解除します(右図参照)。

【セーフティストッパーカバー設置の場合】

スリット内のロック片(チャイルドロック)を時計回りに90°回転させロック片(チャイルドロック)を解除します。

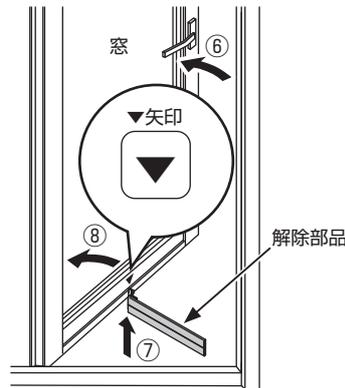
- ③ 差込穴に解除部品の先端を差し込んだまま解除部品に当たる手前まで障子を閉めます。
- ④ 解除部品を下げます。
- ⑤ 窓を大きく開けて清掃できます。



W \geq 750の場合

〈窓を大きく開く際は、解除部品を使って開けてください。〉

- ⑥ ハンドルを持ち窓を少し開けます。
- ⑦ ▼矢印の下部に解除部品を差し込みます。
- ⑧ 解除部品を外側に押し出し窓を開けます。



【清掃完了時の操作】

全開(清掃時)→ 半開(通常時)

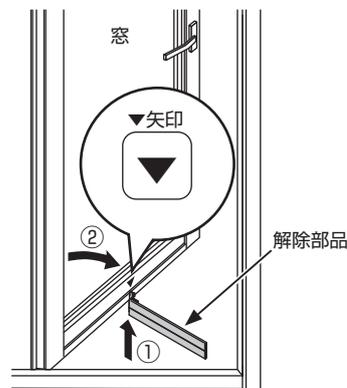
W<750の場合

- ①、② ハンドルを持ち窓を閉めます(セーフティストッパーは自動で復帰します)。

W \geq 750の場合

〈窓を閉める際は、解除部品を使って閉めてください〉

- ① ▼矢印の下部に解除部品を差し込みます。
- ② ハンドルに手が届くまで解除部品で窓を引き寄せ窓を閉めます(セーフティストッパーは自動で復帰します)。



〈落下防止のため、窓が小さく開く状態でご利用ください。〉

- ③ 窓を開けます。
- ④ ロック片(チャイルドロック)を「ロック」にします。

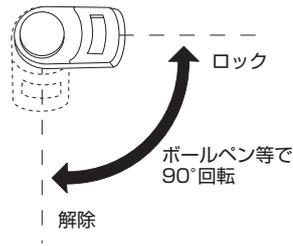
【セーフティストッパーカバー設置の場合】

スリット内のロック片(チャイルドロック)を反時計回りに90°回転させ、ロック片(チャイルドロック)を「ロック」します。

- ⑤ 窓を閉めます。

【ロック片(チャイルドロック)ロック・解除方法】

貼付ラベルイメージ

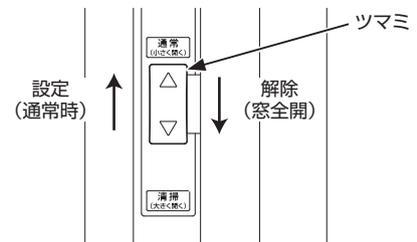


- ※ 操作する際は、解除部品を落下させない様、解除部品についているストラップを必ず手首にかけてご使用ください。
- ※ 清掃時以外は必ず、半開でご使用ください。
- ※ 解除部品は建物管理者様が管理してください。

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー操作つまミ(オプション)

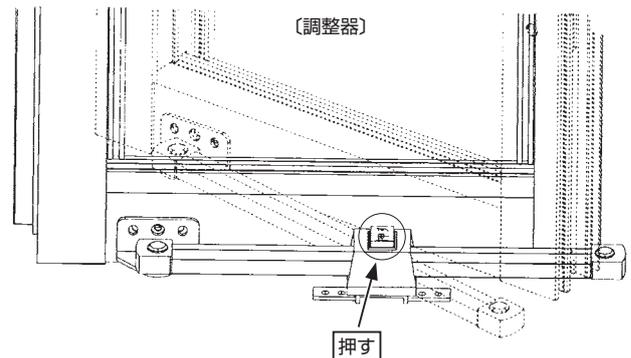
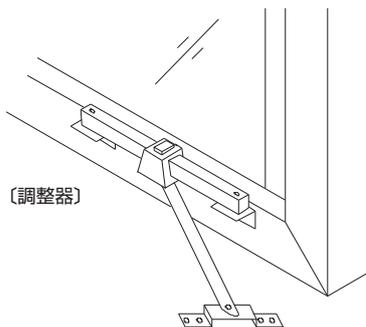
【ストッパー設定・解除方法】

- ① 窓を開けます。(前項操作より)
- ② ロック片(チャイルドロック)を解除にします。
- ③ 障子を一旦閉めます。
- ④ 障子を閉めた状態でつまミを下げます(ストッパーが解除されます)。
- ⑤ 障子を開けると清掃可能な状態となります。
- ⑥ 清掃終了後、一旦障子を閉じます(セーフティストッパーは自動で復帰します)。
- ⑦ 障子を開けつまミの裏側にあるロック片(チャイルドロック)を元の位置にもどします。



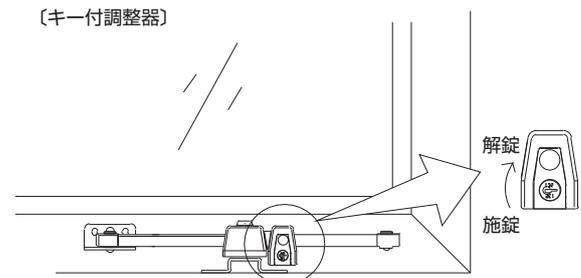
【調整器操作】

- 開き角度を変えたい時は、調整器の「押す」部分を最後まで押しながら障子を開いてください。
- 障子を閉める時は、調整器の「押す」部分を押しして障子を閉めてください。



【キー付調整器使用の場合】

- 障子が閉鎖時に調整器の鍵を施錠しますと最小開き角度でストップし固定されます。
- 調整器の鍵を解錠しますと固定が解除されます。



たてすべり出し窓 [オペレーターハンドル仕様] [スリット換気仕様]

□ EXIMA 31 □ EXIMA 32

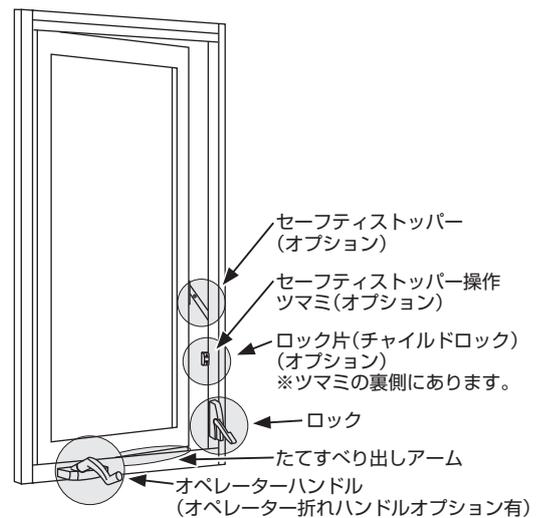
主要部材名称

換気をする際はオペレーターハンドルにより手元で障子を開閉します。

主要部品

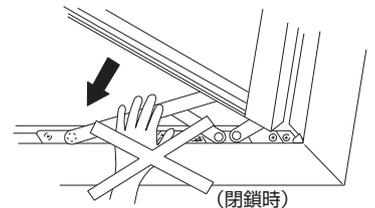
- オペレーターハンドル(※オペレーター折れハンドルオプション有)
- ロック
- たてすべり出しアーム
- セーフティストッパー(オプション)※
- セーフティストッパー操作つまみ(オプション)※
- セーフティストッパーカバー(オプション)※

※ スリット換気仕様はセーフティストッパーの設定はありません。
 ※ セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。
 そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 転落防止のため、通常のご使用時はオペレーターハンドル本体切替つまみを必ず半開の状態でご使用ください。
- 破損防止のため、ハンドルが回らなくなる位置で操作をやめ、それ以上回さないでください。
- 障子を開閉するときは、たてすべり出しアームに触れないでください。
- 降雨時、雨の強い時の開放は危険ですので窓を開けないでください(必ずロックレバーを下げてしっかりとロックしてください)。



⚠注意

- 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

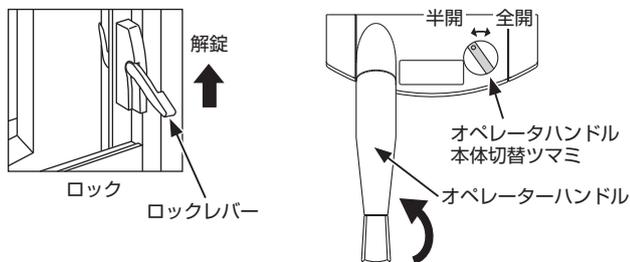
🙏お願い

- 開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

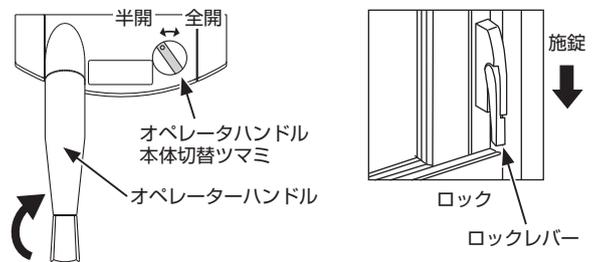
【開け方】

- ① ロックレバーを上げ、ロック解除してください。
- ② オペレーターハンドル本体切替つまみにて、全開、半開を選択してください。
- ③ オペレーターハンドルをひらく方向に回しますと窓が開きます。

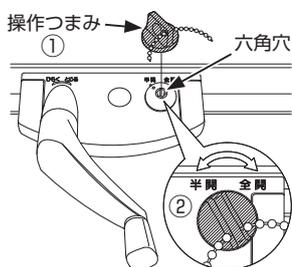


【閉め方】

- ① オペレーターハンドルをとじる方向に回してください。
- ② 窓を閉めた後は必ずロックレバーを下げしっかりとロックをしてください。



切替つまみ脱着タイプ操作(オプション)



【全開・半開の切替え方】

- ① 操作つまみを六角穴に差し込む。
 - ② 操作つまみを回し、開き角度を切り替える。
- ※ 切り替えは、窓を閉めた状態で行ってください。

【使用上のお願い】

- 転落防止のため、通常は半開でご使用ください。
- 誤飲防止のため、操作つまみはお子様の手の届かないところに保管してください。
- 操作後は、必ず操作つまみを取りはずし、紛失しないよう適切な場所に保管してください。

メンテナンス

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー解除部品(オプション)

【ガラス清掃時の操作】

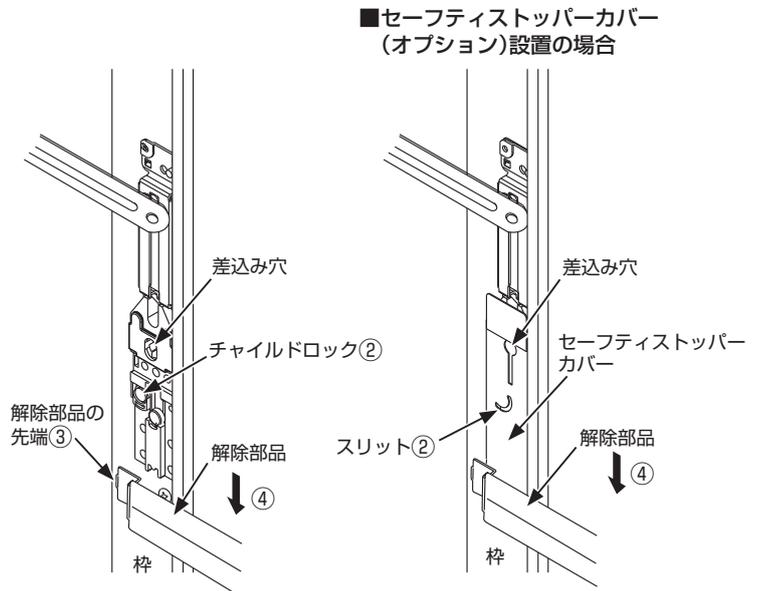
【半開(通常時)→ 全開時操作】

〈窓を大きく開け、外側のガラス面が清掃できます。〉

- ① 窓を開けます (前項操作より)。
- ② 枠内部にあるロック片 (チャイルドロック) をボールペン等の先が細いもので時計回りに 90° 回転させロック片 (チャイルドロック) を解除します (右図参照)。

【セーフティストッパーカバー設置の場合】

- スリット内のロック片(チャイルドロック)を時計回りに 90° 回転させロック片(チャイルドロック)を解除します。
- ③ 差込み穴に解除部品の先端を差し込んだまま解除部品に当たる手前まで障子を閉めます。
 - ④ 解除部品を下げます。
 - ⑤ 窓を大きく開けて清掃できます。



【全開 → 半開(通常時)時操作】

〈落下防止のため、窓が小さく開く状態でご利用ください。〉

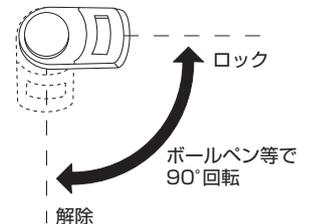
- ① 窓を閉めます (前項操作より)。
(セーフティストッパーは自動で復帰します。)
- ② 窓を開けます。
- ③ ロック片 (チャイルドロック) を「ロック」にします。

【セーフティストッパーカバー設置の場合】

- スリット内のロック片(チャイルドロック)を反時計回りに90° 回転させロック片(チャイルドロック)を「ロック」にします。
- ④ 窓を閉じます。

【ロック片(チャイルドロック)ロック・解除方法】

貼付ラベルイメージ

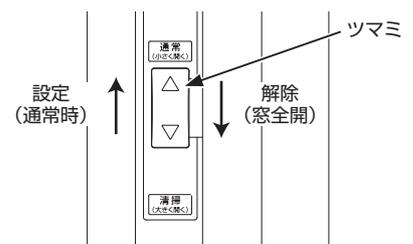


- ※ 操作する際は、解除部品を落下させない様、解除部品についているストラップを必ず手首にかけてご使用ください。
- ※ 通常時は必ず、半開でご使用ください。
- ※ 解除部品は建物管理者様が管理してください。

セーフティストッパー操作(オプション) セーフティストッパー操作つまみ(オプション)

- ① 窓を開けます。(前項操作より)
- ② ロック片 (チャイルドロック) を解除にします。
- ③ 障子を一旦閉めます。
- ④ 障子を閉めた状態でつまみを下げます (ストッパーが解除されます)。
- ⑤ 障子を開けると全開可能な状態となります。
- ⑥ 全開後、一旦障子を閉じます
(セーフティストッパーは自動で復帰します)。
- ⑦ 障子を開けつまみの裏側にあるロック片 (チャイルドロック) を元の位置にもどします。

【ストッパー設定・解除方法】



たてすべり出し窓 [ウインドキャッチ連窓・段窓 スリット換気仕様]

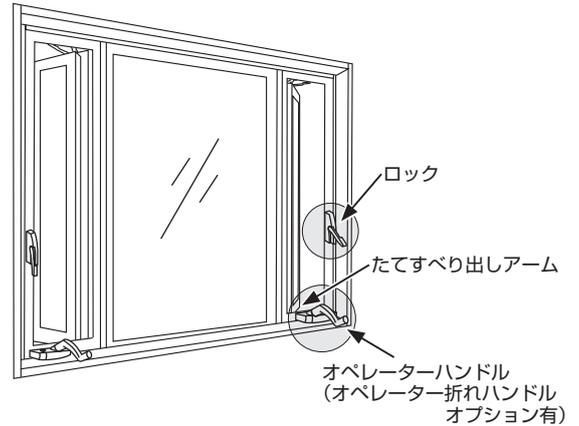
□ EXIMA 31

主要部材名称

1つの窓で風の入口と出口を確保できる換気効率の高い窓です。
換気をする際はオペレーターハンドルにより手元で障子を開閉します。

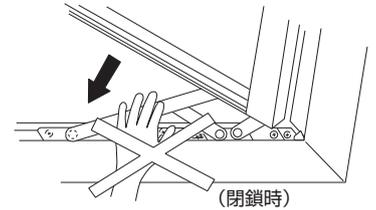
主要部品

- ・オペレーターハンドル(※オペレーター折れハンドルオプション有)
- ・ロック
- ・たてすべり出しアーム



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・破損防止のため、ハンドルが回らなくなる位置で操作をやめ、それ以上回さないでください。
- ・障子を開閉するときは、たてすべり出しアームに触れないでください。
- ・降雨時、雨の強い時の開放は危険ですので窓を開けないでください(必ずロックレバーを下げてしっかりとロックしてください)。



⚠️注意

- ・風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

🙏お願い

- ・開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

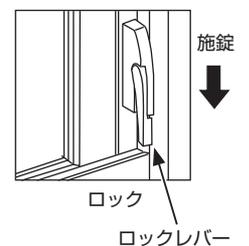
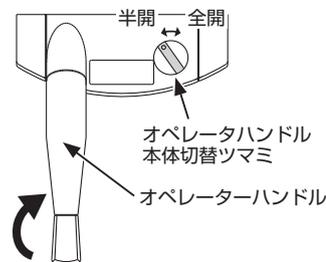
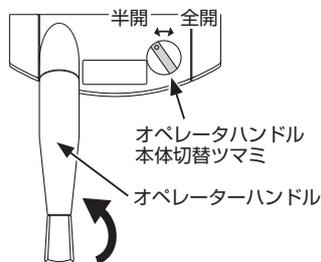
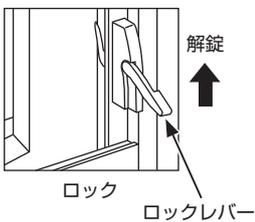
操作

【開け方】

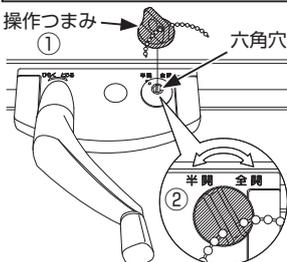
- ① ロックレバーを上げ、ロック解除してください。
- ② オペレーターハンドル本体切替ツマミにて、全開、半開を選択してください。
- ③ オペレーターハンドルをひらく方向に回しますと窓が開きます。

【閉め方】

- ① オペレーターハンドルをとじる方向に回してください。
- ② 窓を閉めた後は必ずロックレバーを下げしっかりとロックをしてください。



切替つまみ脱着タイプ操作 (オプション)



【全開・半開の切替え方】

- ① 操作つまみを六角穴に差し込む。
- ② 操作つまみを回し、開き角度を切り替える。
※切り替えは、窓を閉めた状態で行ってください。

【使用上のお願い】

- 転落防止のため、通常は半開でご使用ください。
- 誤飲防止のため、操作つまみはお子様の手の届かないところに保管してください。
- 操作後は、必ず操作つまみを取りはずし、紛失しないよう適切な場所に保管してください。

たてすべり出し窓 [ウインドキャッチ連窓・段窓 オペレーターハンドル仕様]

□ EXIMA 31

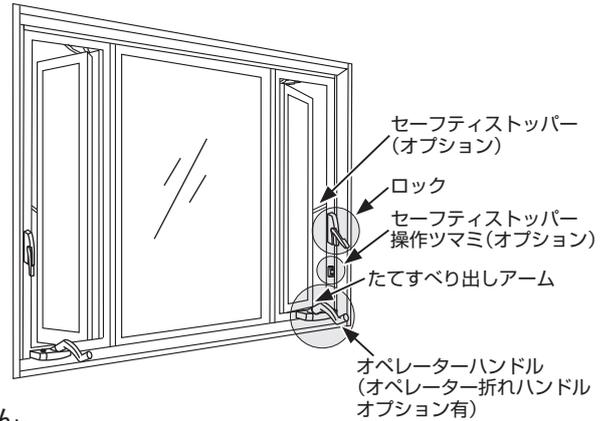
主要部材名称

1つの窓で風の入口と出口を確保できる換気効率の高い窓です。
換気をする際はオペレーターハンドルにより手元で障子を開閉します。

主要部品

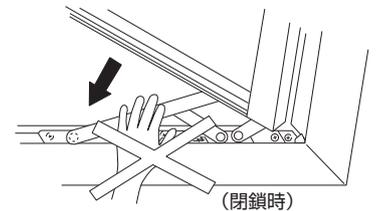
- オペレーターハンドル(※オペレーター折れハンドルオプション有)
- ロック
- たてすべり出しアーム
- セーフティストッパー(オプション)※
- セーフティストッパー操作つまみ(オプション)
- セーフティストッパーカバー(オプション)

※ セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。
そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 転落防止のため、通常のご使用時はオペレーターハンドル本体切替つまみを必ず半開の状態でご使用ください。
- 破損防止のため、ハンドルが回らなくなる位置で操作をやめ、それ以上回さないでください。
- 障子を開閉するときは、たてすべり出しアームに触れないでください。
- 降雨時、雨の強い時の開放は危険ですので窓を開けないでください(必ずロックレバーを下げてしっかりとロックしてください)。



△注意

- 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

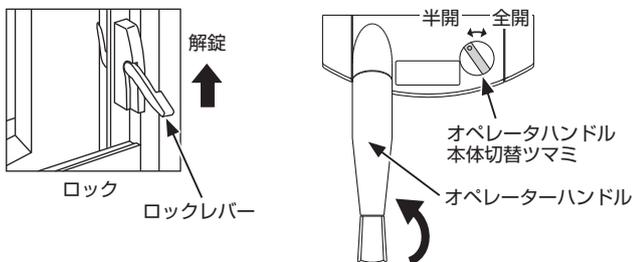
お願い

- 開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

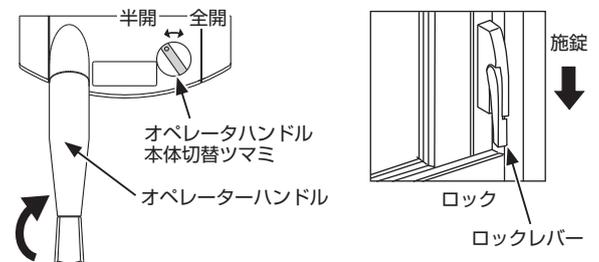
【開け方】

- ① ロックレバーを上げ、ロック解除してください。
- ② オペレーターハンドル本体切替つまみにて、全開、半開を選択してください。
- ③ オペレーターハンドルをひらく方向に回しますと窓が開きます。

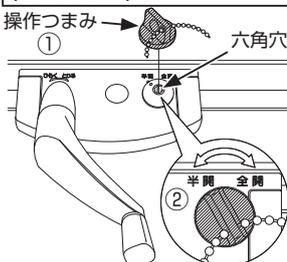


【閉め方】

- ① オペレーターハンドルをとじる方向に回してください。
- ② 窓を閉めた後は必ずロックレバーを下げしっかりとロックをしてください。



切替つまみ脱着タイプ操作(オプション)



【全開・半開の切替え方】

- ① 操作つまみを六角穴に差し込む。
 - ② 操作つまみを回し、開き角度を切り替える。
- ※ 切り替えは、窓を閉めた状態で行ってください。

【使用上のお願い】

- 転落防止のため、通常は半開でご使用ください。
- 誤飲防止のため、操作つまみはお子様の手の届かないところに保管してください。
- 操作後は、必ず操作つまみを取りはずし、紛失しないよう適切な場所に保管してください。

メンテナンス

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー解除部品(オプション)

【ガラス清掃時の操作】

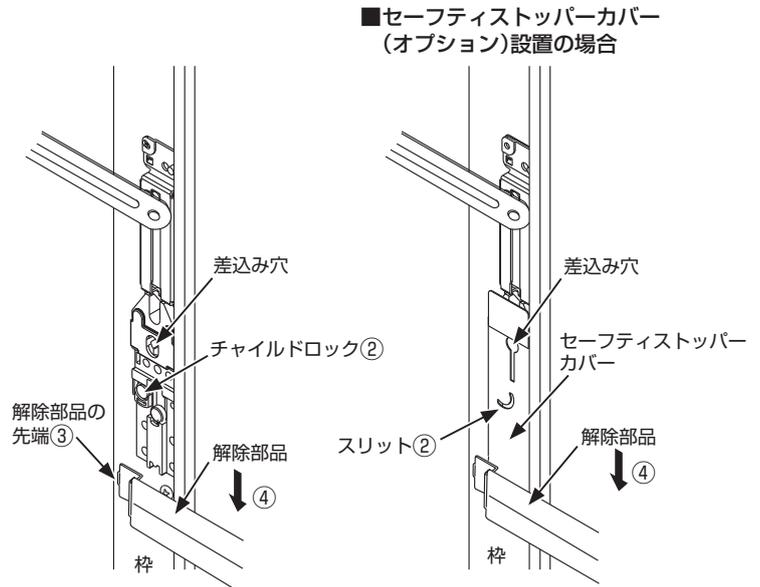
【半開(通常時)→ 全開時操作】

〈窓を大きく開け、外側のガラス面が清掃できます。〉

- ① 窓を開けます (前項操作より)。
- ② 枠内部にあるロック片 (チャイルドロック) をボールペン等の先が細いもので時計回りに90°回転させロック片 (チャイルドロック) を解除します (右図参照)。

【セーフティストッパーカバー設置の場合】

- スリット内のロック片 (チャイルドロック) を時計回りに90°回転させロック片 (チャイルドロック) を解除します。
- ③ 差込穴に解除部品の先端を差し込んだまま解除部品に当たる手前まで障子を閉めます。
 - ④ 解除部品を下に下げます。
 - ⑤ 窓を大きく開けて清掃できます。



【全開 → 半開(通常時)時操作】

〈落下防止のため、窓が小さく開く状態をご利用ください。〉

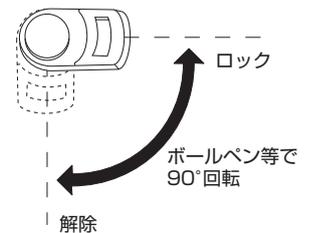
- ① 窓を閉めます (前項操作より)。
(セーフティストッパーは自動で復帰します。)
- ② 窓を開けます。
- ③ ロック片 (チャイルドロック) を「ロック」にします。

【セーフティストッパーカバー設置の場合】

- スリット内のロック片 (チャイルドロック) を反時計回りに90°回転させロック片 (チャイルドロック) を「ロック」にします。
- ④ 窓を閉じます。

【ロック片(チャイルドロック)ロック・解除方法】

貼付ラベルイメージ

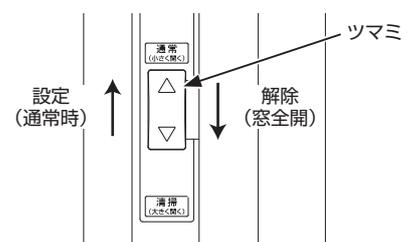


- ※ 操作する際は、解除部品を落下させない様、解除部品についているストラップを必ず手首にかけてご使用ください。
- ※ 通常時は必ず、半開でご使用ください。
- ※ 解除部品は建物管理者様が管理してください。

セーフティストッパー操作(オプション) セーフティストッパー操作つまみ(オプション)

- ① 窓を開けます。(前項操作より)
- ② ロック片 (チャイルドロック) を解除にします。
- ③ 障子を一旦閉めます。
- ④ 障子を閉めた状態でつまみを下げます (ストッパーが解除されます)。
- ⑤ 障子を開けると全開可能な状態となります。
- ⑥ 全開後、一旦障子を閉じます。(セーフティストッパーは自動で復帰します。)
- ⑦ 障子を開けつまみの裏側にあるロック片 (チャイルドロック) を元の位置にもどします。

【ストッパー設定・解除方法】



たてすべり出し窓【換気付非常用進入口仕様】

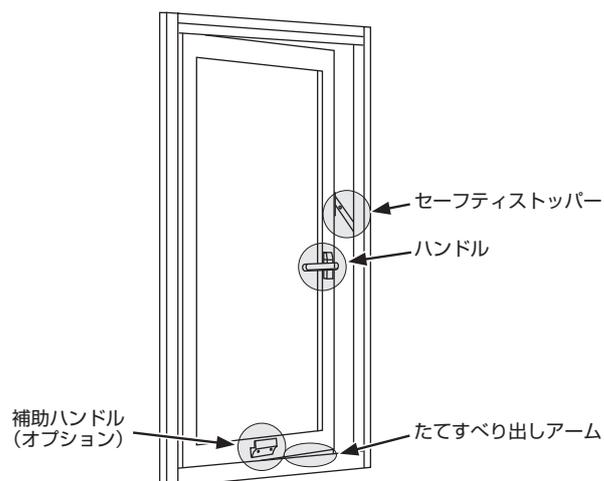
□ EXIMA 31 □ EXIMA 51 □ EXIMA 32

主要部材名称

たてすべり出し窓【換気付非常用進入口仕様】は、セーフティストッパーにより有効開口が約85mmに制限されますので、安全な換気が行えます。

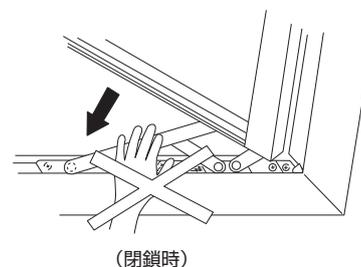
主要部品

- ・ハンドル
- ・たてすべり出しアーム(フリクションスティ)
- ・セーフティストッパー
- ・セーフティストッパー解除部品(オプション)
- ・補助ハンドル(オプション)
- ・外部ハンドル



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・通常ご使用時はセーフティストッパーを設定して、ご使用ください。
- ・障子を開閉するときは、たてすべり出しアームに触れないでください。
- ・降雨時、強い風の時の開閉は危険ですので窓を開けないでください（ハンドルは施錠状態にしてください）。
- ・風にあおられる恐れがあります。ハンドルをしっかり持って開閉してください。
- ・障子を開いた時には、必ずセーフティストッパー※が設定されるまで開いてください。
※ セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。
そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。
- ・窓を開いた状態では、ハンドルを回さないでください。
- ・ガラスに▼マークが付いている窓は「非常用進入口」です。
進入口の前には、物を置かないでください。



△注意

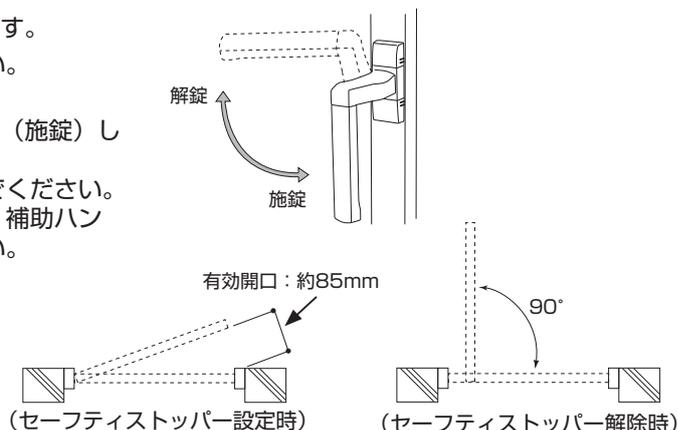
- ・風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

お願い

- ・開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

- ① ハンドルを上へ 90° 回転してください。ロックが解除します。
- ② ハンドルを持ち、障子が止まるまで押し出してください。
標準設定時の有効開口は約 85mm です。
- ③ 障子を閉めたら必ずハンドルを下向きに 90° 回転しロック（施錠）してください。
障子を閉める時は、たてすべり出しアームを手で持たないでください。
また、障子を閉める際ハンドルに手が届きにくい場合等は、補助ハンドル（オプション）で障子を引き寄せる様に閉めてください。

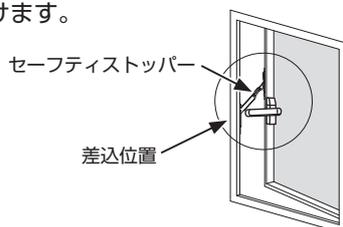


メンテナンス

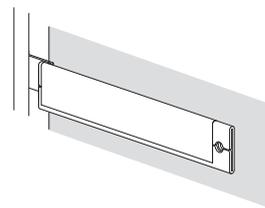
【セーフティストッパーの操作①】

【ガラス清掃時の操作】半開(通常時)→ 全開(清掃時)

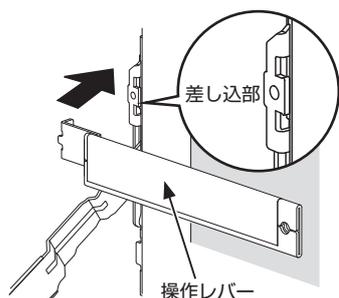
① 窓を開けます。



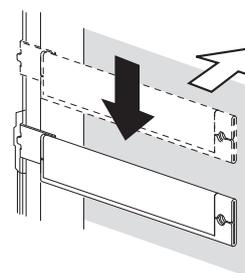
③ 操作レバーを差込んだ状態で窓を閉めます。



② 操作レバーを差し込みます。



④ 操作レバーを平行に押し下げたまま、窓を少し開けます(セーフティストッパーが解除されます)。



⑤ 操作レバーをはずします。

※ 清掃時以外は必ず、半開でご使用ください。

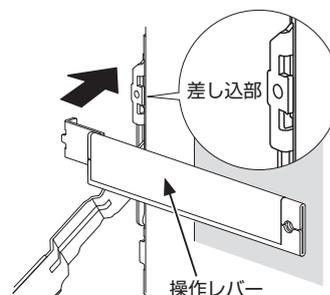
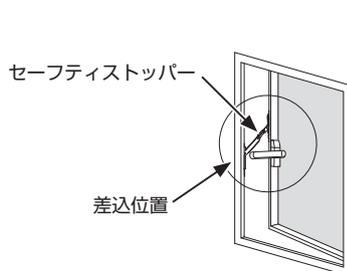
※ 操作レバーは建物管理者様が管理してください。

※ 全開状態ではセーフティストッパーと枠が干渉し、窓が閉められません。窓を閉める際には半開状態に戻してください。

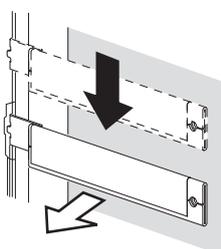
【セーフティストッパーの操作②】

【清掃完了時の操作】全開(清掃時)→ 半開(通常時)

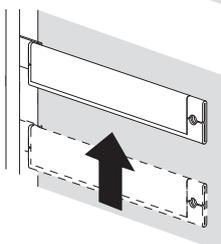
① 操作レバーを差し込みます。



② 操作レバーを平行に押し下げたまま、窓を閉めます。



③ 窓が閉ったら、操作レバーを上に戻します。(セーフティストッパーの構造により、半開になります。)



④ 窓を少し開き、操作レバーをはずします。

※ 全開状態ではセーフティストッパーと枠が干渉し、窓が閉められません。窓を閉める際には半開状態に戻してください。

たてすべり出し窓【換気仕様】

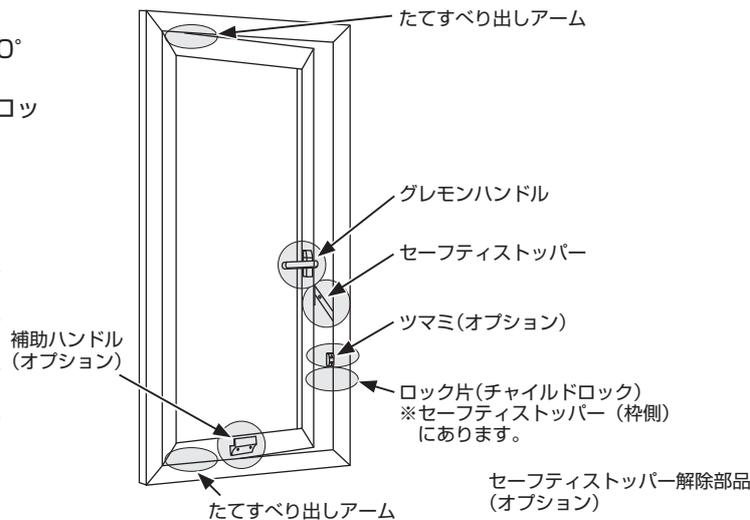
□ EXIMA 37

主要部材名称

障子はセーフティストッパーによって開口70mmで止まります。清掃時は、セーフティストッパーを解除する事により、障子は約90°まで開き、ガラス外面の清掃が室内から行えます。また簡単にセーフティストッパーを解除できない様に、チャイルドロックを設けております。

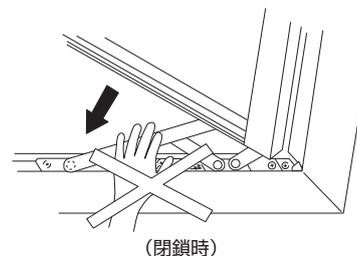
主要部品

- ・グレモンハンドル
- ・セーフティストッパー
- ・ロック片(チャイルドロック)
- ・たてすべり出しアーム(フリクションステイ)



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・通常ご使用時はセーフティストッパーを設定して、必ずロック片(チャイルドロック)をかけた状態にてご使用ください。
- ・障子を開閉するときは、たてすべり出しアームに触れないでください。
- ・風の強い時の開閉は危険ですので窓を開けないでください(グレモンハンドルは施錠状態にしてください)。
- ・風にあおられるおそれがあります。グレモンハンドルをしっかり持って開閉してください。
- ・障子を開いた時には、必ずセーフティストッパー*が設定されるまで開けてください。
※セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。



⚠注意

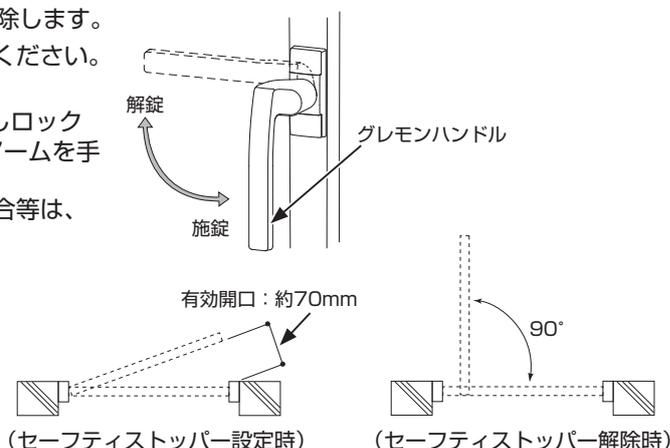
- ・風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

🙏お願い

- ・開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

- ① グレモンハンドルを上へ90°回転してください。ロックが解除します。
- ② グレモンハンドルを持ち、障子が止まるまで押出してください。標準設定時の有効開口は約70mmです。
- ③ 障子を閉めたら必ずグレモンハンドルを下向きに90°回転しロック(施錠)してください。障子を閉める時は、たてすべり出しアームを手で持たないでください。また、障子を閉める際グレモンハンドルに手が届きにくい場合等は、補助ハンドルで障子を引き寄せる様に閉めてください。



メンテナンス

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー解除部品(オプション)

【ガラス清掃時の操作】

半開(通常時)→ 全開(清掃時)

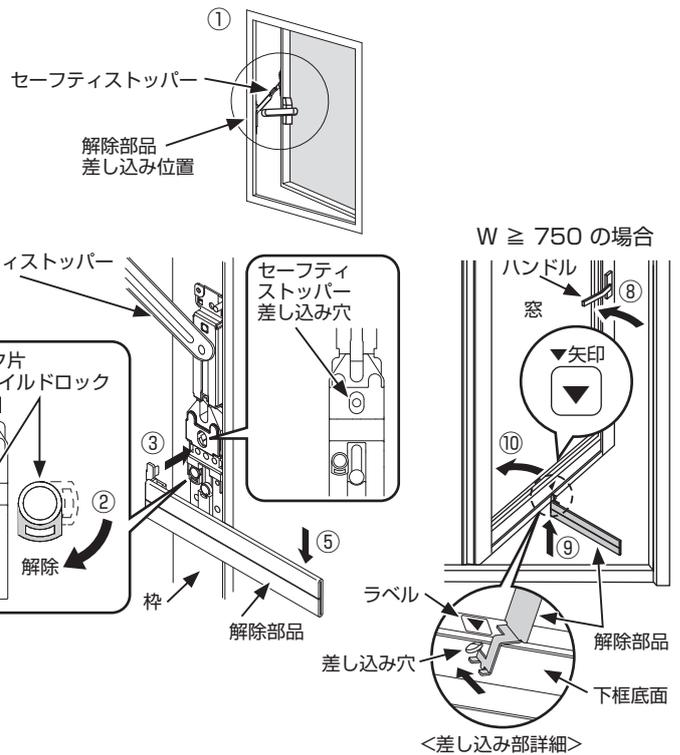
〈窓を大きく開け、外側のガラス面が清掃できます。〉

- ① 窓を開けます(前項操作より)。
- ② 枠内部にあるロック片(チャイルドロック)をボールペン等の先が細いもので、下向きに90°回転させロック片(チャイルドロック)を解除します(右図参照)。
- ③ 差し込み穴に解除部品の先端を差し込みます。
- ④ 差し込み穴に解除部品の先端を差し込んだまま、解除部品に当たる手前まで窓を閉めます。
- ⑤ 解除部品を押し下げたまま、窓を少し開けます(セーフティストッパーが解除されます)。
- ⑥ 解除部品を外します。
- ⑦ 窓を大きく開けて清掃できます。

W \geq 750の場合

〈窓を大きく開く際は、解除部品を使って開けてください。〉

- ⑧ ハンドルを持ち窓を少し開けます。
- ⑨ ▼矢印の下部に解除部品を差し込みます。
- ⑩ 解除部品を外側に押し出し、窓を開けます。



【清掃完了時の操作】

全開(清掃時)→ 半開(通常時)

W<750の場合

- ①、②ハンドルを持ち、窓を閉めます(セーフティストッパーは自動で復帰します)。

W \geq 750の場合

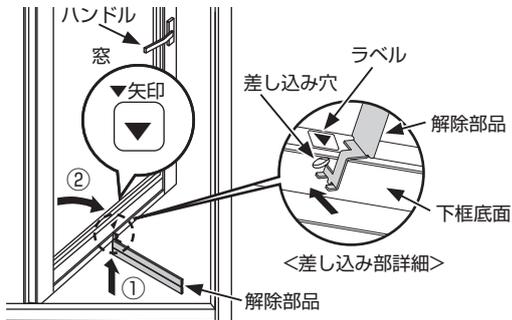
〈窓を閉める際は、解除部品を使って閉めてください。〉

- ① ▼矢印の下部に解除部品を差し込みます。
- ② ハンドルに手が届くまで解除部品で窓を引き寄せ、窓を閉じます(セーフティストッパーは自動で復帰します)。

〈落下防止のため、窓が小さく開く状態をご利用ください。〉

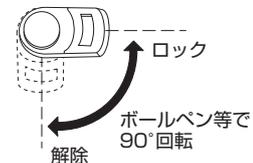
- ③ 窓を開けます。
- ④ チャイルドロックを「ロック」にします。
- ⑤ 窓を閉じます。

W \geq 750の場合



【ロック片(チャイルドロック)ロック・解除方法】

貼付ラベルイメージ

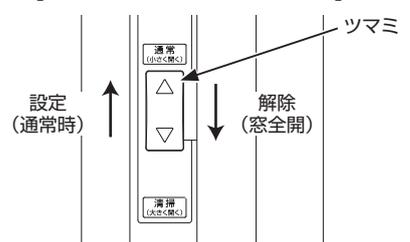


- ※ 操作する際は、解除部品を落下させない様、解除部品についているストラップを必ず手首にかけてご使用ください。
- ※ 清掃時以外は必ず、半開でご使用ください。 ※解除部品は建物管理者様が管理してください。
- ※ メンテナンス時、大きく開いた窓を閉める際は、障子重量の反動による落下の防止対策を行ってください。

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー操作つまみ(オプション)

- ① 窓を開けます。(前項操作より)
- ② ロック片(チャイルドロック)を解除にします。
- ③ 障子を一旦閉めます。
- ④ 障子を閉めた状態でつまみを下げます(ストッパーが解除されます)。
- ⑤ 障子を開けると清掃可能な状態となります。
- ⑥ 清掃終了後、一旦障子を閉じます(セーフティストッパーは自動で復帰します)。
- ⑦ 障子を開けつまみの裏側にあるロック片(チャイルドロック)を元の位置にもどします。

【ストッパー設定・解除方法】



たてすべり出し窓【換気付非常用進入口仕様】

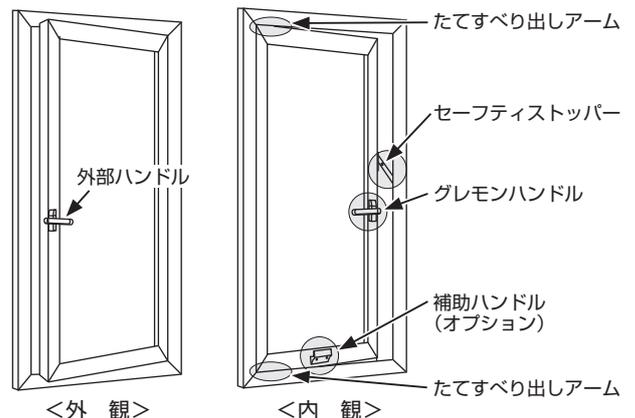
□ EXIMA 37

主要部材名称

EXIMA 37のたてすべり出し窓(換気付非常用進入口仕様)は、セーフティストッパーにより有効開口が約100mmに制限されますので、安全な換気が行えます。

主要部品

- ・ グレモンハンドル
- ・ たてすべり出しアーム(フリクションスティ)
- ・ セーフティストッパー
- ・ 外部ハンドル

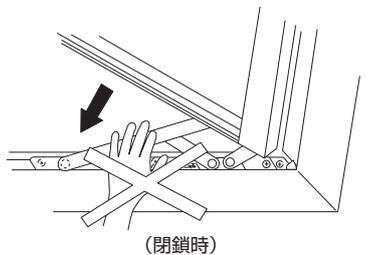


セーフティストッパー解除部品(オプション)

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ 通常ご使用時はセーフティストッパーを設定してご使用ください。
- ・ 障子を開閉するときは、たてすべり出しアームに触れないでください。
- ・ 風の強い時の開閉は危険ですので窓を開けないでください(グレモンハンドルは施錠状態にしてください)。
- ・ 風にあおられるおそれがあります。グレモンハンドルをしっかり持って開閉してください。
- ・ 障子を開いた時には、必ずセーフティストッパー*が設定されるまで開いてください。

※ セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。
そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。



△注意

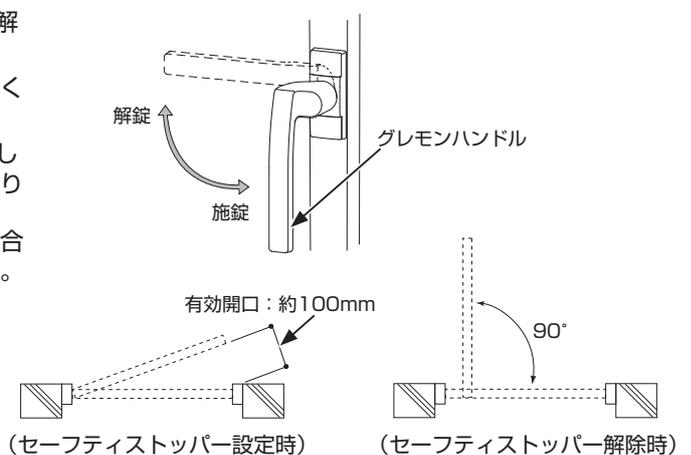
- ・ 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

お願い

- ・ 開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

- ① グレモンハンドルを上へ90°回転してください。ロックが解除します。
- ② グレモンハンドルを持ち、障子が止まるまで押し出してください。標準設定時の有効開口は約100mmです。
- ③ 障子を閉めたら必ずグレモンハンドルを下向きに90°回転しロック(施錠)してください。障子を閉める時は、たてすべり出しアームを手で持たないでください。また、障子を閉める際グレモンハンドルに手が届きにくい場合等は、補助ハンドルで障子を引き寄せる様に閉めてください。



メンテナンス

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー解除部品(オプション)

【ガラス清掃時の操作】

半開(通常時)→ 全開(清掃時)

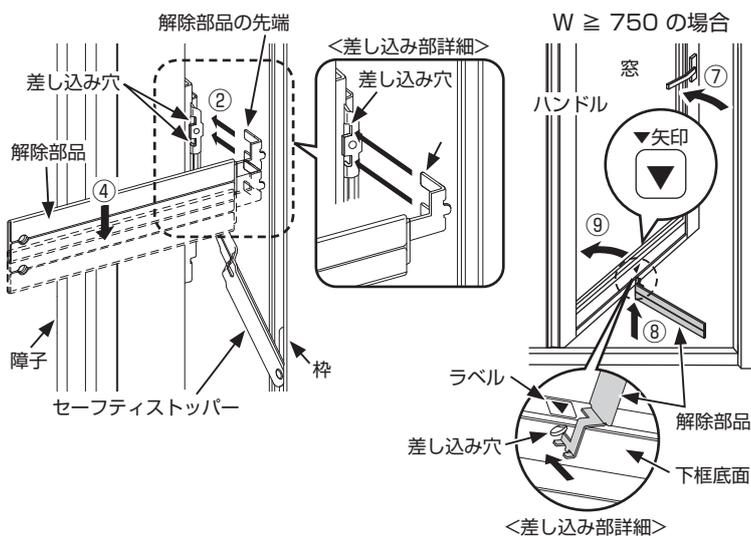
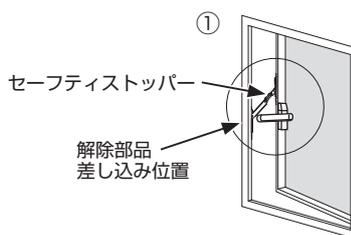
〈窓を大きく開け、外側のガラス面が清掃できます。〉

- ① 窓を開けます(前項操作より)。
- ② 差し込み穴に解除部品の先端を差し込みます。
- ③ 解除部品の先端を差し込んだまま解除部品に当たる手前まで窓を閉めます。
- ④ 解除部品を押し下げたまま、窓を少し開けます(セーフティストッパーが解除されます)。
- ⑤ 解除部品を外します。
- ⑥ 窓を大きく開けて清掃できます。

W \geq 750の場合

〈窓を大きく開く際は、解除部品を使って開けてください〉

- ⑦ ハンドルを持ち、窓を少し開けます。
- ⑧ ▼矢印の下部に解除部品を差し込みます。
- ⑨ 解除部品を外側に押し出し、窓を開けます。



【清掃完了時の操作】

全開(清掃時)→ 半開(通常時)

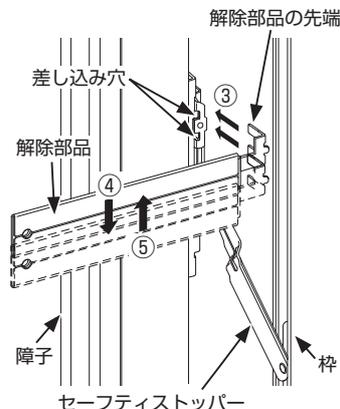
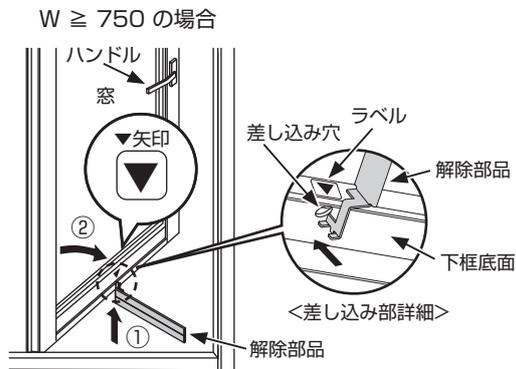
W<750の場合

- ①、② ハンドルを持ち、窓を閉めます(セーフティストッパーは自動で復帰します)。

W \geq 750の場合

〈窓を閉める際は、解除部品を使って閉めてください。〉

- ① ▼矢印の下部に解除部品を差し込みます。
- ② ハンドルに手が届くまで解除部品で窓を引き寄せ、窓を閉めます(セーフティストッパーは自動で復帰します)。
- ③ 差し込み穴に解除部品の先端を差し込みます。
- ④ 解除部品を押し下げたまま、窓を閉めます。
- ⑤ 解除部品を上に戻します(セーフティストッパーの構造により、半開になります)。
- ⑥ 窓を少し開け、解除部品をはずします。
- ⑦ 窓を閉めます。



- ※ 全開状態ではセーフティストッパーと枠が干渉し、窓が閉められません。窓を閉める際には半開状態に戻してください。
- ※ 操作する際は、解除部品を落下させない様、解除部品についているストラップを必ず手首にかけてご使用ください。
- ※ 清掃時以外は必ず、半開でご使用ください。
- ※ 解除部品は建物管理者様が管理してください。
- ※ メンテナンス時、大きく開いた窓を閉める際は、障子重量の反動による落下の防止対策を行ってください。

たてすべり出し窓

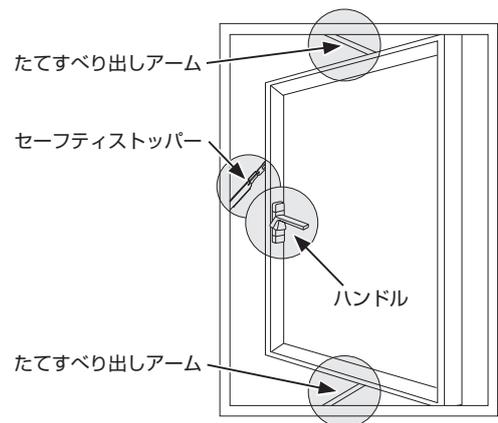
□ R's 61

主要部材名称

たてすべり出し窓は、たてすべり出しアームによって障子の開閉をスムーズに行います。障子を90°まで開いた時、外面ガラスの清掃が室内からできます。

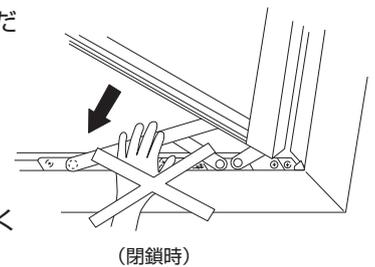
主要部品

- ・ハンドル
- ・たてすべり出しアーム
- ・セーフティストッパー
- ・操作レバー (セーフティストッパー解除部品: オプション)



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・風の強い時の開閉は危険ですので窓を開けないでください (ハンドルは施錠状態にしてください)。
- ・風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかり持って開閉してください。
- ・障子を開いた時には、必ずセーフティストッパー※が設定されるまで開いてください。
※ セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。
そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。
- ・障子を閉めるときは、指をはさむ危険があるので、たてすべり出しアームに触れないでください。
- ・清掃時以外は転落の危険があるので、**半開** 状態でご使用ください。
- ・操作レバーを取りつけた状態で力が加わりますと操作レバーがはずれるおそれがありますので、また、操作レバーの外部への落下、紛失にご注意ください。



⚠注意

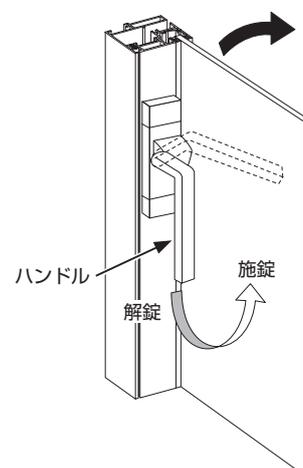
- ・風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

🙏お願い

- ・開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

- ① ハンドルを手前に90°回転してください。ロックが解除されます。
 - ② ハンドルを持ち、障子が止まるまで押し出してください。
セーフティストッパーの機構により、半開 (有効開口 約 100mm) でストップします。
 - ③ 障子を閉めたら必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。
- (注) 障子を閉める時は、指をはさむおそれがあるので、たてすべり出しアームを手で持たないでください。

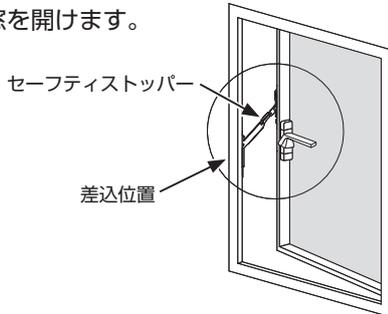


メンテナンス

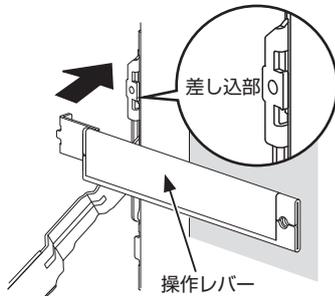
【セーフティストッパーの操作①】

【ガラス清掃時の操作】半開(換気時)→ 全開(清掃時)

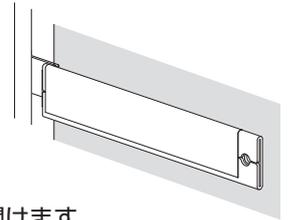
① 窓を開けます。



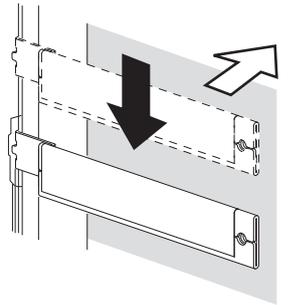
② 操作レバーを差し込みます。



③ 操作レバーを差込んだ状態で窓を閉めます。



④ 操作レバーを平行に押し下げたまま、窓を少し開けます (セーフティストッパーが解除されます)。



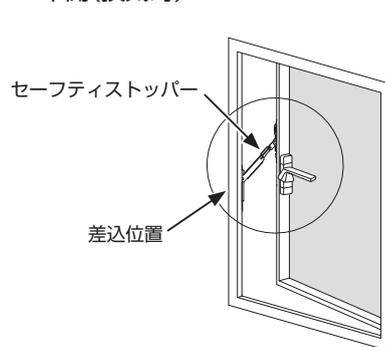
⑤ 操作レバーをはずします。

- ※ 清掃時以外は必ず、半開でご使用ください。
- ※ 操作レバーは建物管理者様が管理してください。
- ※ 全開状態ではセーフティストッパーと枠が干渉し、窓が閉められません。窓を閉める際には半開状態に戻してください。

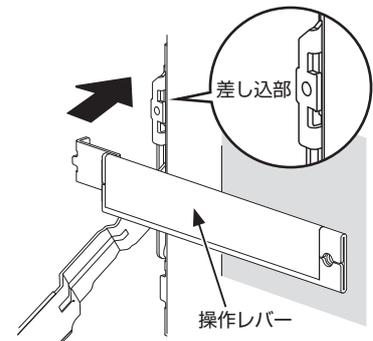
【セーフティストッパーの操作②】

【清掃完了時の操作】全開(清掃時)→ 半開(換気時)

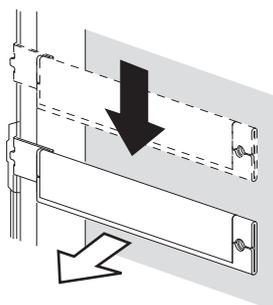
① 操作レバーを差し込みます。



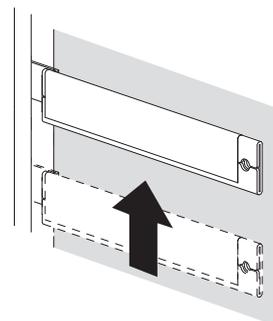
② 操作レバーを平行に押し下げたまま、窓を閉めます。



③ 窓がしまったら、操作レバーを上に戻します (セーフティストッパーの構造により、半開になります)。



④ 窓を少し開き、操作レバーをはずします。



- ※ 全開状態ではセーフティストッパーと枠が干渉し、窓が閉められません。窓を閉める際には半開状態に戻してください。

たてすべり出し窓 [グレモンハンドル仕様]

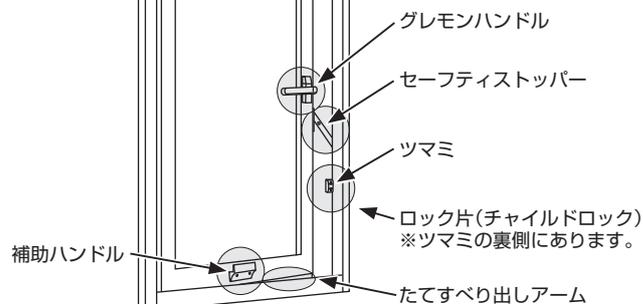
□ R's 70Tbf

主要部材名称

障子はセーフティストッパーによって開口70mmで止まります。清掃時は、セーフティストッパーを解除する事により、障子は約90°まで開き、ガラス外面の清掃が室内から行えます。また簡単にセーフティストッパーを解除できない様に、チャイルドロックを設けております。

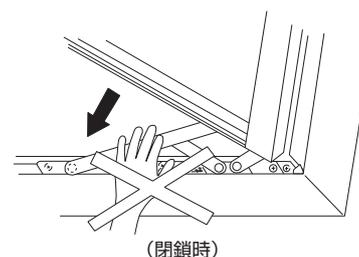
主要部品

- ・グレモンハンドル
- ・補助ハンドル
- ・セーフティストッパー
- ・ロック片(チャイルドロック)
- ・たてすべり出しアーム
- ・セーフティストッパー解除部品(オプション)
- ・セーフティストッパー操作ツマミ(オプション)
- ・セーフティストッパーカバー (オプション)



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・通常ご使用時はセーフティストッパーが設定された状態として、必ずロック片 (チャイルドロック) をかけた状態にてご使用ください。
- ・障子を開閉するときは、たてすべり出しアームに触れないでください。
- ・降雨時、強い風の時の開閉は危険ですので窓を開けないでください (グレモンハンドルは施錠状態にしてください)。
- ・風にあおられる恐れがあります。グレモンハンドルをしっかり持って開閉してください。
- ・障子を開いた時には、必ずセーフティストッパー※が設定されるまで開いてください。
※ セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。
そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。



⚠注意

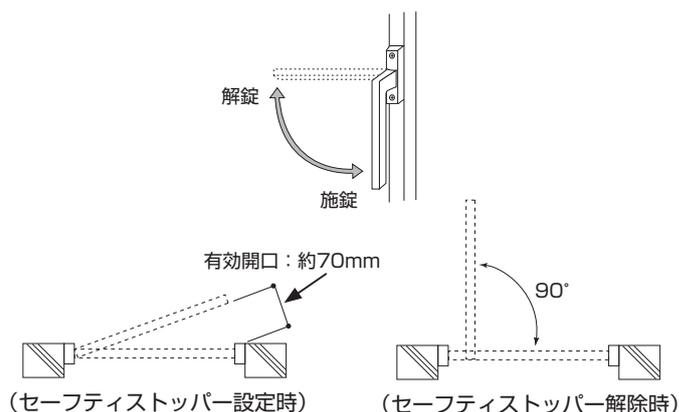
- ・風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

🙏お願い

- ・開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

- ① グレモンハンドルを上へ 90° 回転してください。ロックが解除します。
- ② グレモンハンドルを持ち、障子が止まるまで押し出してください。標準設定時の有効開口は約 70mm です。
- ③ 障子を閉めたら必ずグレモンハンドルを下向きにロック (施錠) してください。障子を閉める時は、たてすべり出しアームを手で持たないでください。また、障子を閉める際グレモンハンドルに手が届きにくい場合は、補助ハンドルで障子を引き寄せる様に閉めてください。



メンテナンス

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー解除部品(オプション)

【ガラス清掃時の操作】

半開(通常時)→ 全開(清掃時)

〈窓を大きく開け、外側のガラス面が清掃できます。〉

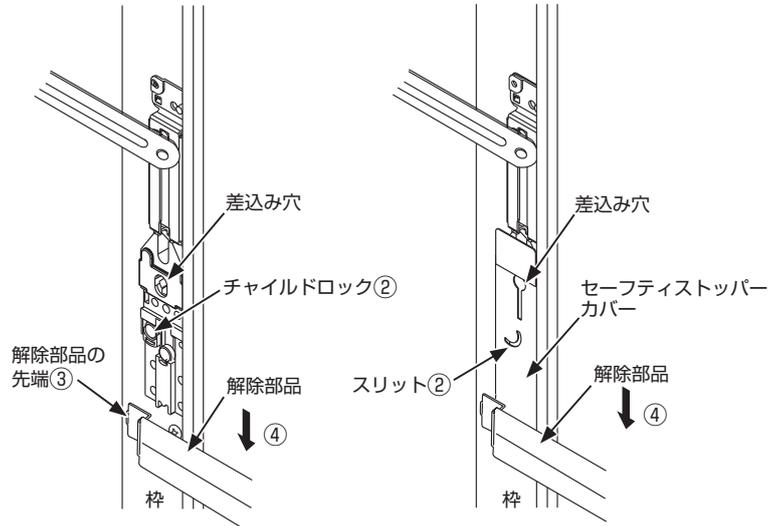
- ① 窓を開けます (前項操作より)。
- ② 枠内部にあるロック片(チャイルドロック)をボールペン等の先が細いもので時計回りに90°回転させロック片(チャイルドロック)を解除します (右図参照)。

【セーフティストッパーカバー設置の場合】

スリット内のロック片(チャイルドロック)を時計回りに90°回転させロック片(チャイルドロック)を解除します。

- ③ 差込み穴に解除部品の先端を差し込んだまま解除部品に当たる手前まで障子を閉めます。
- ④ 解除部品を下げます。
- ⑤ 窓を大きく開けて清掃できます。

■セーフティストッパーカバー (オプション)設置の場合



W≧750の場合

〈窓を大きく開く際は、解除部品を使って開けてください。〉

- ⑥ ハンドルを持ち窓を少し開けます。
- ⑦ ▼矢印の下部に解除部品を差し込みます。
- ⑧ 解除部品を外側に押し出し窓を開けます。



【清掃完了時の操作】

全開(清掃時)→ 半開(通常時)

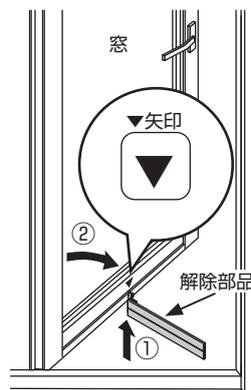
W<750の場合

- ①、② ハンドルを持ち窓を閉めます (セーフティストッパーは自動で復帰します)。

W≧750の場合

〈窓を閉める際は、解除部品を使って閉めてください。〉

- ① ▼矢印の下部に解除部品を差し込みます。
- ② ハンドルに手が届くまで解除部品で窓を引き寄せ窓を閉じます (セーフティストッパーは自動で復帰します)。



〈落下防止のため、窓が小さく開く状態でご利用ください。〉

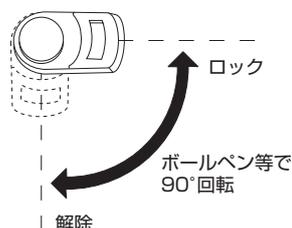
- ③ 窓を開けます。
- ④ ロック片(チャイルドロック)を「ロック」にします。

【セーフティストッパーカバー設置の場合】

- スリット内のロック片(チャイルドロック)を反時計回りに90°回転させロック片(チャイルドロック)を「ロック」します。
- ⑤ 窓を閉じます。

【ロック片(チャイルドロック)ロック・解除方法】

貼付ラベルイメージ



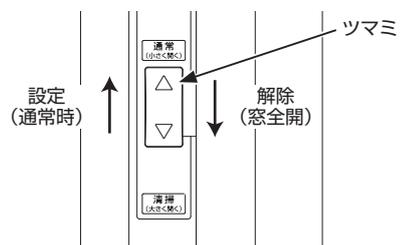
※ 操作する際は、解除部品を落下させない様、解除部品についているストラップを必ず手首にかけてご使用ください。

※ 清掃時以外は必ず、半開でご使用ください。 ※解除部品は建物管理者様が管理してください。

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー操作つまみ(オプション)

- ① 窓を開けます。(前項操作より)
- ② ロック片 (チャイルドロック) を解除にします。
- ③ 障子を一旦閉めます。
- ④ 障子を閉めた状態でつまみを下げます (ストッパーが解除されます)。
- ⑤ 障子を開けると清掃可能な状態となります。
- ⑥ 清掃終了後、一旦障子を閉じます。
- ⑦ 障子を開けつまみの裏側にあるロック片 (チャイルドロック) を元の位置にもどします。

【ストッパー設定・解除方法】



たてすべり出し窓 [オペレーターハンドル仕様]

□ R's 70Tbf

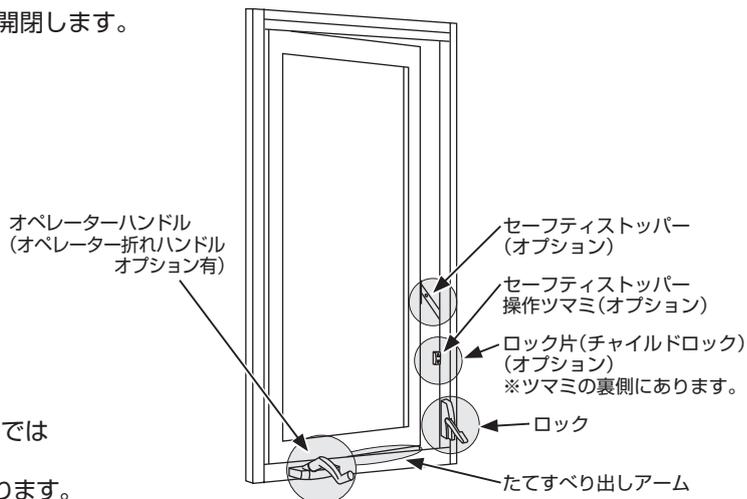
主要部材名称

換気をする際はオペレーターハンドルにより手元で障子を開閉します。

主要部品

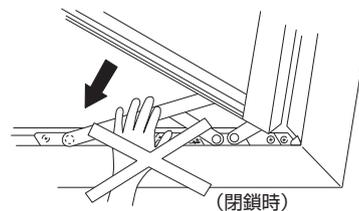
- オペレーターハンドル(※オペレーター折れハンドルオプション有)
- ロック
- たてすべり出シアーム
- セーフティストッパー (オプション)※
- セーフティストッパー操作ツマミ(オプション)※
- セーフティストッパーカバー (オプション)※

※ セーフティストッパーは開いた障子を保持する部品ではありません。
そのため、風の強さによっては障子が閉じることがあります。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 転落防止のため、通常のご使用時はオペレーターハンドル本体切替ツマミを必ず半開の状態でご使用ください。
- 破損防止のため、ハンドルが回らなくなる位置で操作をやめ、それ以上回さないでください。
- 障子を開閉するときは、たてすべり出シアームに触れないでください。
- 降雨時、雨の強い時の開放は危険ですので窓を開けないでください (必ずロックレバーを下げてしっかりとロックしてください)。



△注意

- 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

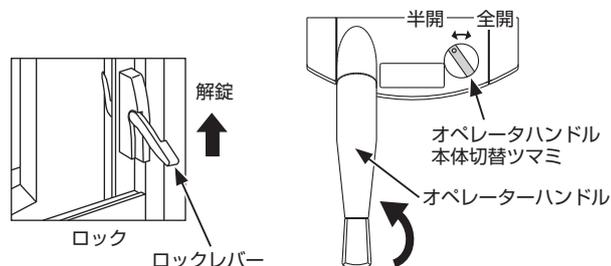
お願い

- 開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

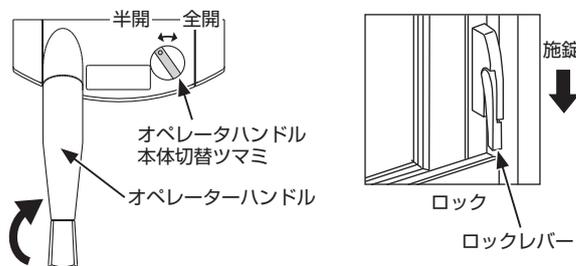
【開け方】

- ① ロックレバーを上げ、ロック解除してください。
- ② オペレーターハンドル本体切替ツマミにて、全開、半開を選択してください。
- ③ オペレーターハンドルをひらく方向に回しますと窓が開きます。

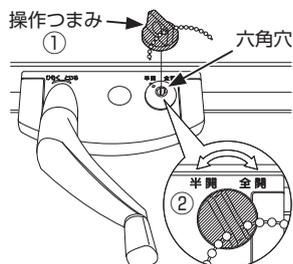


【閉め方】

- ① オペレーターハンドルをとじる方向に回してください。
- ② 窓を閉めた後は必ずロックレバーを下げしっかりとロックをしてください。



切替つまみ脱着タイプ操作(オプション)



【全開・半開の切替え方】

- ① 操作つまみを六角穴に差し込む。
 - ② 操作つまみを回し、開き角度を切り替える。
- ※ 切り替えは、窓を閉めた状態で行ってください。

【使用上のお願い】

- 転落防止のため、通常は半開でご使用ください。
- 誤飲防止のため、操作つまみはお子様の手の届かないところに保管してください。
- 操作後は、必ず操作つまみを取りはずし、紛失しないよう適切な場所に保管してください。

メンテナンス

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー解除部品(オプション)

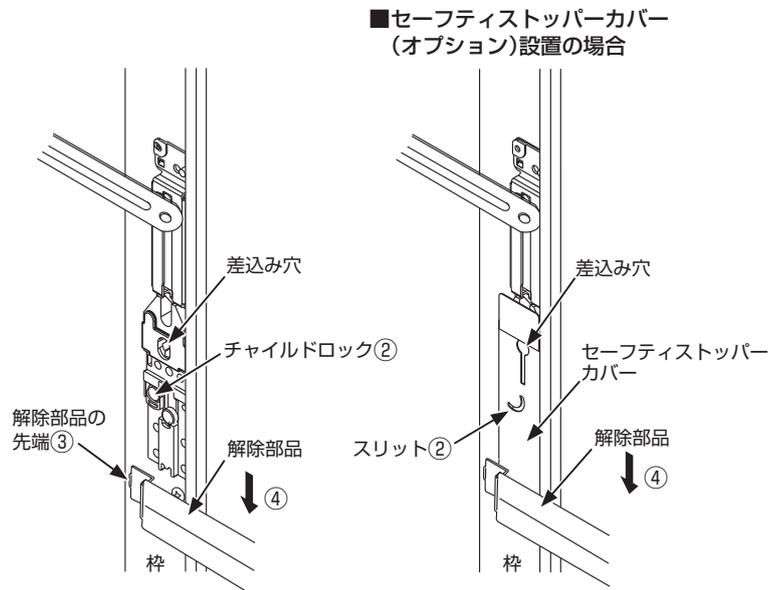
【半開(通常時)→ 全開時操作】

- ① 窓を開けます。(前項操作より)
- ② 枠内部にあるロック片(チャイルドロック)をボールペン等の先が細いもので時計回りに90°回転させロック片(チャイルドロック)を解除します(右図参照)。

【セーフティストッパーカバー設置の場合】

スリット内のロック片(チャイルドロック)を時計回りに90°回転させロック片(チャイルドロック)を解除します。

- ③ 差込み穴に解除部品の先端を差し込んだまま解除部品に当たる手前まで障子を閉めます。
- ④ 解除部品を下げます。
- ⑤ 窓を大きく開けて清掃できます。



【全開 → 半開(通常時)時操作】(落下防止のため、窓が小さく開く状態をご利用ください。)

- ① 窓を閉めます。(前項操作より)
- ② 窓を開けます。
- ③ ロック片(チャイルドロック)を「ロック」にします。

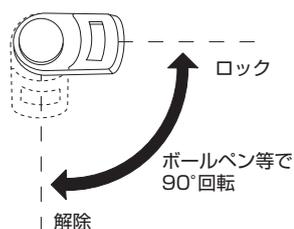
【セーフティストッパーカバー設置の場合】

スリット内のロック片(チャイルドロック)を反時計回りに90°回転させロック片(チャイルドロック)を「ロック」します。

- ④ 窓を閉じます。

【ロック片(チャイルドロック)ロック・解除方法】

貼付ラベルイメージ

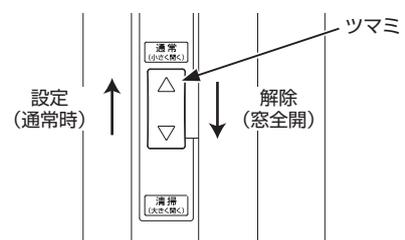


- ※ 操作する際は、解除部品を落下させない様、解除部品についているストラップを必ず手首にかけてご使用ください。
- ※ 通常時は必ず、半開でご使用ください。
- ※ 解除部品は建物管理者様が管理してください。

セーフティストッパー操作 セーフティストッパー操作つまみ(オプション)

- ① 窓を開けます。(前項操作より)
- ② ロック片(チャイルドロック)を解除にします。
- ③ 障子を一旦閉めます。
- ④ 障子を閉めた状態でつまみを下げます(ストッパーが解除されます)。
- ⑤ 障子を開けると全開可能な状態となります。
- ⑥ 全開後、一旦障子を閉じます。
- ⑦ 障子を開けつまみの裏側にあるロック片(チャイルドロック)を元の位置にもどします。

【ストッパー設定・解除方法】



サイドパス【V仕様】【RV仕様】【WV仕様】

□ EXIMA 31

主要部材名称

窓わき(サイド)から風を通す(パス)、縦型換気窓です。
室内側のハンドルを操作することにより、
ワンアクションで外パネルも連動して開きます。
外パネルの有効開口が約50mmに制限されますので
安心して換気ができます。

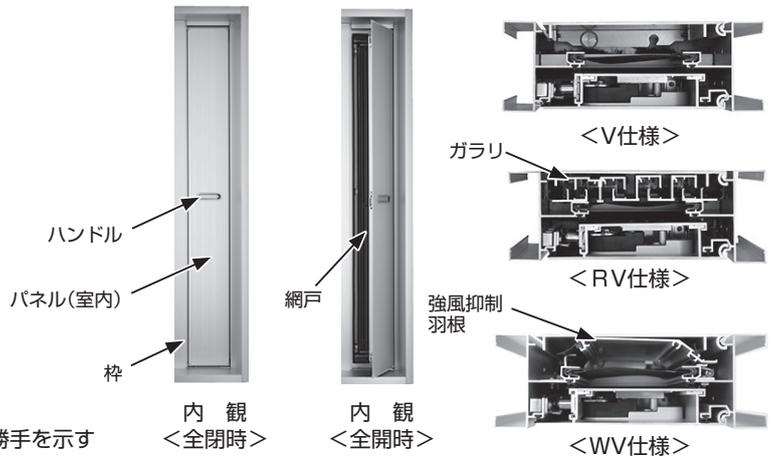
【V仕様：自然換気】

【RV仕様：自然換気+雨水浸入抑制】

【WV仕様：自然換気+強風抑制】

主要部品

- ハンドル
- 網戸



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- パネル上下の保護キャップに無理な力をかけないでください。
- パネルを開けた状態で、パネルに無理な力をかけないでください。

⚠注意

- V仕様・WV仕様：強風注意報が発令されるような天候時は、扉を閉め、ハンドルを施錠してください。
- RV仕様：強風注意報や大雨警報が発令されるような天候時は、扉を閉め、ハンドルを施錠してください。

🙏お願い

- 開閉時、パネル(室内)と枠の間に手を入れないようにしてください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

① ハンドルを手前に引きます。



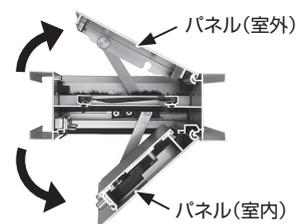
② ハンドルを下にまわし解錠します。



③ ハンドルを引き、カチッと音がするまで
パネルを開けます。



※ 施錠方法は逆手順です。



※写真は右勝手を示す

アンダーパス【V仕様】【RV仕様】【WV仕様】【WRV仕様】

□ EXIMA 91c

主要部材名称

開口部の下(アンダー)から風を通す(パス)、横型換気装置です。

有効開口が約60mmに制限されますので安心して換気ができます。

【V仕様：自然換気】

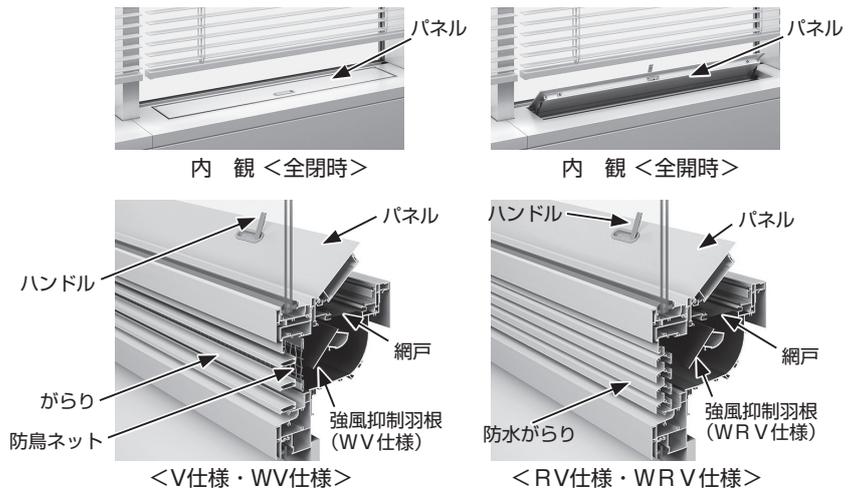
【RV仕様：自然換気+雨水浸入抑制】

【WV仕様：自然換気+強風抑制】

【WRV仕様：自然換気+雨水浸入抑制+強風抑制】

主要部品

- ・ハンドル
- ・網戸



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・パネルの上に乗ったり、腰掛けしないでください。
- ・パネルを開けた状態で、パネルに無理な力をかけないでください。

⚠️注意

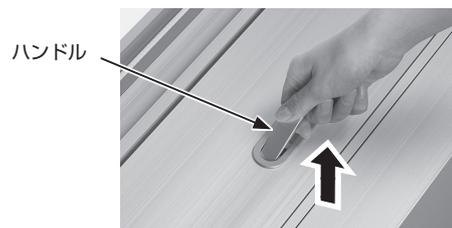
- ・V仕様・WV仕様：強風注意報が発令されるような天候時は、扉を閉め、ハンドルを施錠してください。
- ・RV仕様・WRV仕様：強風注意報や大雨警報が発令されるような天候時は、扉を閉め、ハンドルを施錠してください。

🙏お願い

- ・開閉時、パネルと枠の間に手を入れないようにしてください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- ・アンダーパスまわりに物を置かないようにしてください。風により物の落下や軽い物の飛散、思わぬけがや事故につながります。また、アンダーパス内に物が落ちた場合、網戸が破損するおそれがあります。

操作

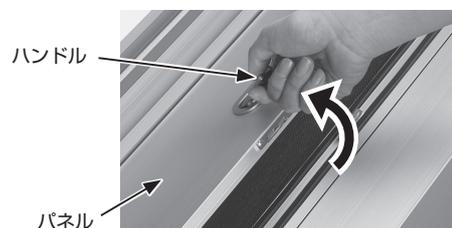
① ハンドルを持ち上げます。



② ハンドルを手前にまわし解錠します。



③ ハンドルを持ち上げ、カチッと音がするまでパネルを開けます。



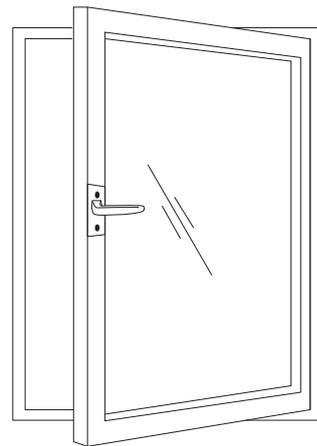
※ 施錠方法は逆手順です。

内開き窓

□ EXIMA 31

主要部材名称

窓面積全部が開口となる内開き窓です。
隠し丁番の採用で意匠がすっきりとしています。
また室内側に開くため外部側のガラス面の清掃が容易にできます。



主要部品

- ハンドル
- 丁番
- 調整器

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 障子を開けた時は、必ず調整器で障子を固定してください。
- 風の強い時の開放は危険ですので窓を開けないでください（ハンドルは施錠状態にしてください）。
- 風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかり持って開閉してください。
- 窓が開いた状態ではハンドルを回さないでください。
- ガラスに▼マークが付いている窓は「非常用出入口」です。90°まで一度に開きますので、開閉にはご注意ください。また、出入口の前には、物を置かないでください。

△注意

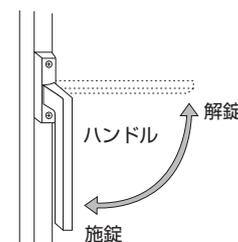
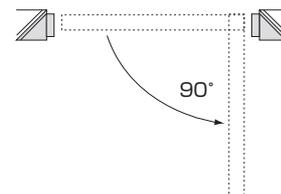
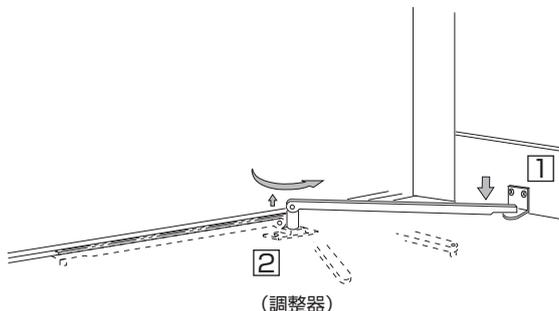
- 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

お願い

- 開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

- ① ハンドルを上へ90°回転してください。ロックが解除されます。
- ② さらにハンドルを持ちながら障子を回転させてください。
- ③ あらかじめ定められたストップ角度で固定するために調整器②が下枠に内蔵されています。調整器を持ち上げて①障子に付いている調整器受けに差し込んでください（標準は90°開きです）。
- ④ 障子を閉める時は調整器受けからはずし下枠の所定の位置に戻してください。
- ⑤ 障子を閉めたら、必ずハンドルを下へ90°回転してください。



たて軸回転窓

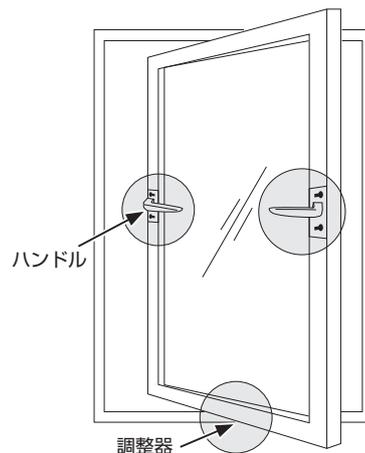
□ EXIMA 31 □ YDP-100

主要部材名称

障子が90°回転しますので室内からのガラスの清掃とメンテナンスが容易です。

主要部品

- ・ハンドル
- ・調整器
- ・ヒンジ



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・窓を開ける時は、カチッと止まるまで開放してください。
- ・風の強い時の開閉は危険ですので窓を開けないでください（ハンドルは施錠状態にしてください）。
- ・風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかりとって開閉してください。
- ・窓が開いた状態ではハンドルを回さないでください。
- ・ガラスに▼マークが付いている窓は「非常用出入口」です。90°まで一度に開きますので、開閉にはご注意ください。また、出入口の前には、物を置かないでください。

△注意

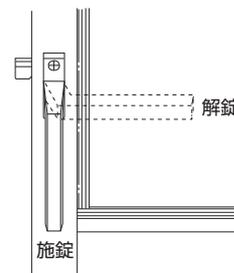
- ・風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

お願い

- ・開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

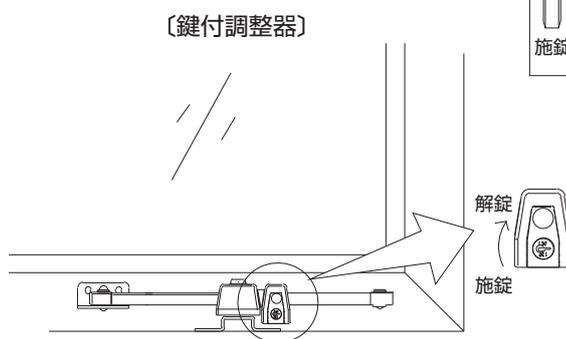
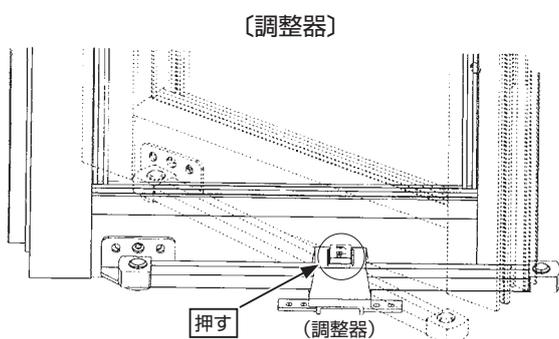
操作

- ① 両側のハンドルを上にも90°回転してください。ロックが解除されます。
- ② さらにハンドルを持ちながら障子を回転させてください。回転方向は操作ラベルにて「押す」「引く」の方向を示しております。
- ③ 調整器が働き、設定された角度で自動的に障子がストップし、固定されます。
- ④ 開き角度を変える時は、調整器の「押す」の部分を最後まで押しながら、障子を押し、または引いてください（最大開き角度は90°）。
- ⑤ 障子を閉める時は、調整器の「押す」の部分を最後まで押しながら障子を閉めてください。
- ⑥ 障子を閉めたら、必ずハンドルを下にも90°回転してください。



【鍵付調整器使用の場合】

- 障子が閉鎖時に調整器の鍵を施錠しますと最小開き角度でストップし固定されます。
- 調整器の鍵を解錠しますと固定が解除されます。



たて軸回転窓

□ YAT-100 大型タイプ

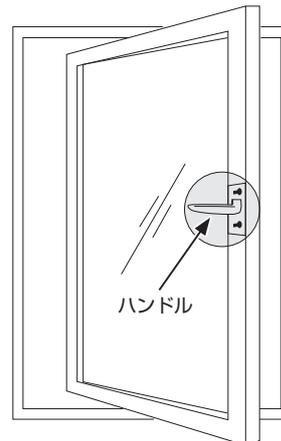
主要部材名称

ワンハンドルの操作によって、多点締りとストップ機能を可能にしました。

障子を約180°回転させることができ、ガラス清掃、メンテナンスが容易にできます。

主要部品

- ・ハンドル
- ・アームストッパー
- ・調整器
- ・ヒンジ



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ 障子を開けた時は、必ずストップ機構で障子を固定してください。
- ・ 風の強い時の開閉は危険ですので窓を開けないでください（ハンドルは施錠状態にしてください）。
- ・ 風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかり持って、注意して開閉してください。
- ・ ガラスに▼マークが付いている窓は「非常用進入口」です。90°まで一度に開きますので、開閉にはご注意ください。また、進入口の前には、物を置かないでください。

△注意

- ・ 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

お願い

- ・ 開閉時、窓が動き出したら、調整器具から手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

操作

① ハンドル操作による障子の開閉

ハンドルを上回転しますとハンドルのロック機構が解除されます。

② ハンドル操作による開き角度の調整（ロック装置）

①のハンドル操作によって、障子を開いていきます。

目的の角度付近（20°、45°、90°（30°、90°））で、ハンドルを「閉」の位置にします。そのままの状態ですらに障子を開いていくと、目的とする角度位置で、アームストッパーが自動的に作動して、障子がロックされます。またアームストッパーの解錠を行う場合は、ハンドルを「開」の位置にしてください。自動的に解錠されます。

注）ハンドル操作の「開」、 「閉」は、90°回転で確実に行ってください（確実に行わないで開閉すると、引寄せ金具を破損する事があります）。

③ 障子を反転させる場合（約180°の回転）

②までのハンドル操作によるアームストッパーの開き角度は90°までで、それ以上は開きません。清掃、メンテナンスなどによりそれ以上開く必要がある場合には下記の手順で行ってください。

イ）【図1】のように90°開きの状態でハンドルを閉の位置にして障子をロックしてください。

ロ）【図2】、【図3】のように上下枠側アーム支点ロック部の操作ボタンを押してアームストッパー支点部と反対側にスライドさせ、アームストッパー支点部を室内側へ回転させてください。

注）アームストッパー支点部をもとにもどす場合は操作ボタンが【図4】のように復帰しているか確認してください（もとの位置に復帰していない場合は、操作ボタンが上がった状態になりません）。

ハ）アームストッパーのアーム部を【図3】のようにはずしてください（上下2カ所を行うこと）。

二）障子をもってゆっくり反転させる（180°付近まで）。

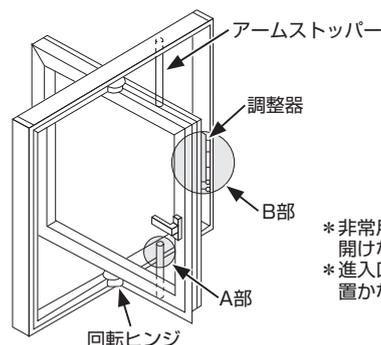
注）アームストッパーのアームをはずしますと、風または障子自重等により障子が回転する場合があります。障子を確実に保持して上記の操作を行ってください。

④ 反転させた障子をロックする（180°の状態）

③までの操作で180°回転させた障子は、そのままの状態では、ロックされていませんので、下記の手順で障子をロックさせてください。

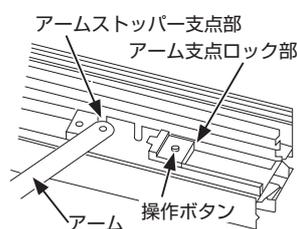
イ）ハンドル側縦枠下部に収納してある調整器を図5の調整器掛金具から取はずしてください。

ロ）取はずした調整器を図5（障子縦枠）の調整器受に掛けて障子をロックしてください。

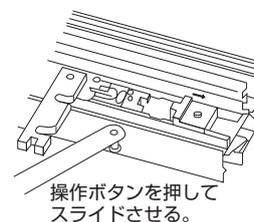


【図1】 180°回転操作部品

*非常用出入口は非常時以外開けないでください。
*出入口の前には物を置かないでください。



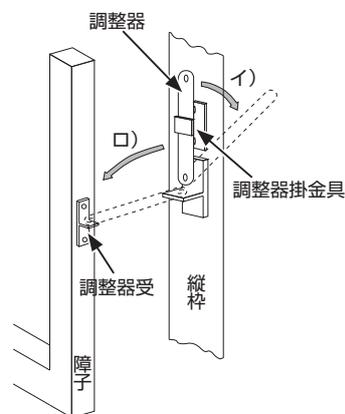
【図2】 A部アームストッパー



【図3】 A部アームストッパーの脱着

正しい位置に設置している	誤った位置に設置している
<p>操作ボタン</p>	
上記のように操作ボタンが上がった状態になっている。	操作ボタンが上がっていない。左右にスライドさせて正しい位置まで動かす。

【図4】



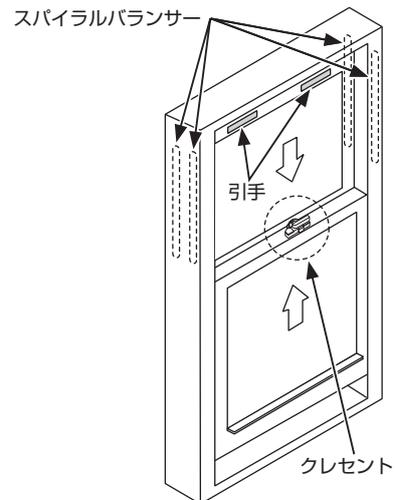
【図5】 B部調整器

上げ下げ窓

□ EXIMA 31

主要部材名称

- 上下の障子が独立して動くダブルハング方式。
- 換気の方法が「上のみ」「下のみ」「上下とも」と自由に選べる窓です。



主要部品

- クレセント
- クレセント受
- スパイラルバルンサー(内蔵バルンサー)
- 引手

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 開閉の動きに異常（障子の動きが重くなったり、速くなったりした場合）を感じた場合、無理に開閉を行わず当社販売店にご連絡ください。
- 無理に開閉いたしますと思わぬけがや事故につながります。

⚠️注意

- 窓の外側を掃除されるときは、足場をしっかりと確保し、窓を身体の支えにしないでください。
- 窓を吊り込んだときは、振れ止めを確実に調整してください。

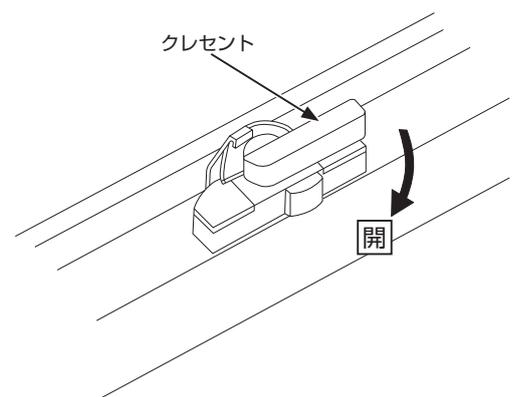
🙏お願い

- 開閉時、手や指をはさまないように注意してください。
- 開閉操作はゆっくり行ってください。急激な操作は思わぬけがや事故につながります。

操作

- ① クレセントを 180° 回してください。ロックが解除され、障子が開閉可能になります。
- ② 障子は上下いずれの障子も上げ下げできます。障子本体はたて枠の金具（スパイラルバルンサー）と吊り合っていますので、上下の障子は別々の動きができます。
- ③ 障子を閉めるときは、上障子は引手に指を入れ押し上げて、下障子は障子についている手架けを押し下げて閉めます。
- ④ 障子を閉めたら、必ずクレセントを回してロックしてください。

(注) 障子の開閉は、障子を両手でしっかりと持って操作してください。クレセントは、上下の障子を完全に閉めてから回してください。



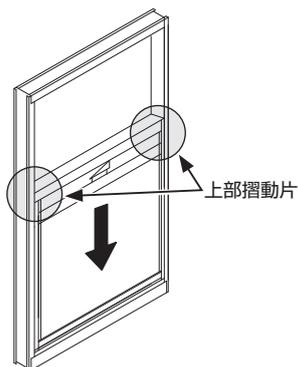
メンテナンス

【摺動片の調整】

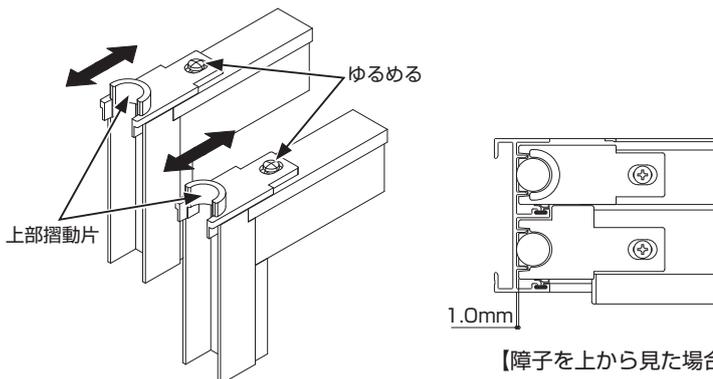
障子左右のガタツキが大きい場合、またたて枠と障子のすき間が無く、抵抗で動きが重い場合は、摺動片を調整します。

① 障子の上部摺動片の調整方法。

1) 内・外障子を一番下に下げます。

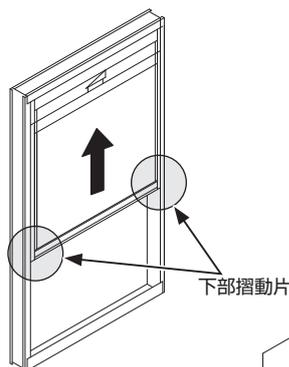


2) 内・外障子の上部両端に付いている摺動片の取付ねじをゆるめて摺動片を左右にスライドし調整します。枠と上部摺動片の隙間が 1mm または左右均等になるように位置を決めます。調整後は、摺動片の取付ねじを必ず締めます。



② 障子の上部摺動片の調整方法。

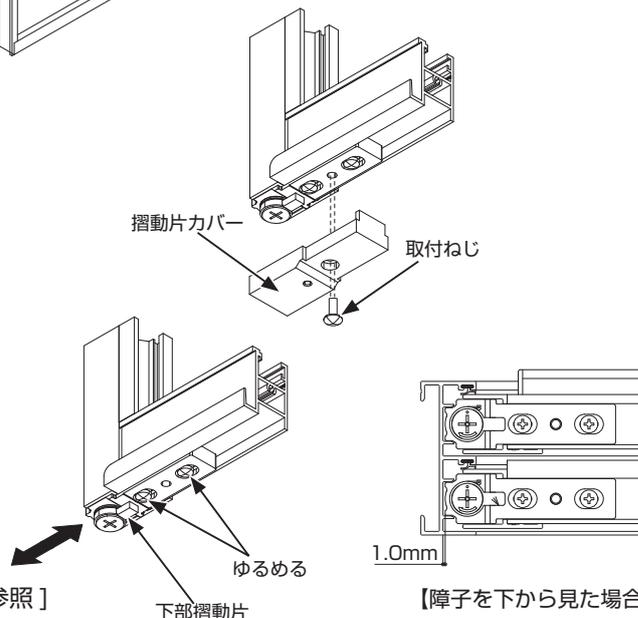
1) 内・外障子を一番上に上げます。



2) 内・外障子の下部両端に付いている摺動片カバーの取付ねじをはずし、摺動片カバーを取りはずします。

(注) 下部摺動片カバーと取付ねじをなくさないようにご注意ください。

3) 下部摺動片の取付ねじ (2本とも) ゆるめて摺動片を左右にスライドし、調整します。枠と下部摺動片の隙間が 1mm または左右均等になるように位置を決めます。調整後、下部摺動片の取付ねじを必ず締めます。



4) 内・外障子の摺動片カバーを取り付けます。[上記②2) 参照]

(注) すき間が少ないと摺動音が、大きくなったり、障子の動きが重くなったりします。また、すき間が大きすぎると障子のガタツキが大きくなる原因となります。

オーニング窓

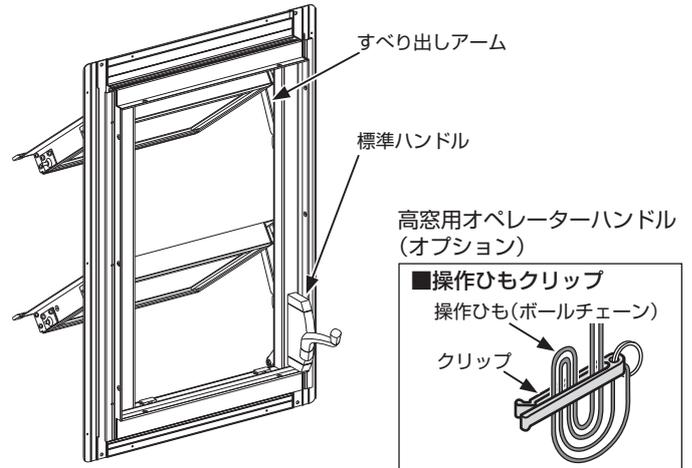
□ EXIMA 31

主要部材名称

- ・ハンドルを回転させることによりすべての障子が同時に開閉します。
- ・窓の角度はハンドル操作により約 50° の位置まで無段階に調節できます。

主要部品

- ・ハンドル
- ・すべり出しアーム



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・窓を閉める際はハンドルが動かなくなるまで閉めきってください。
- ・開閉終了後はハンドルを無理に操作しないでください。
- ・防犯のため、就寝、外出時には必ず窓を閉めてください。
- ・開閉の動きに異常（障子の動きが重くなったり、早くなったりした場合）を感じた場合、無理に開閉を行わず最寄りの当社営業窓口にご連絡ください。無理に開閉いたしますと思わぬけがや事故につながります。

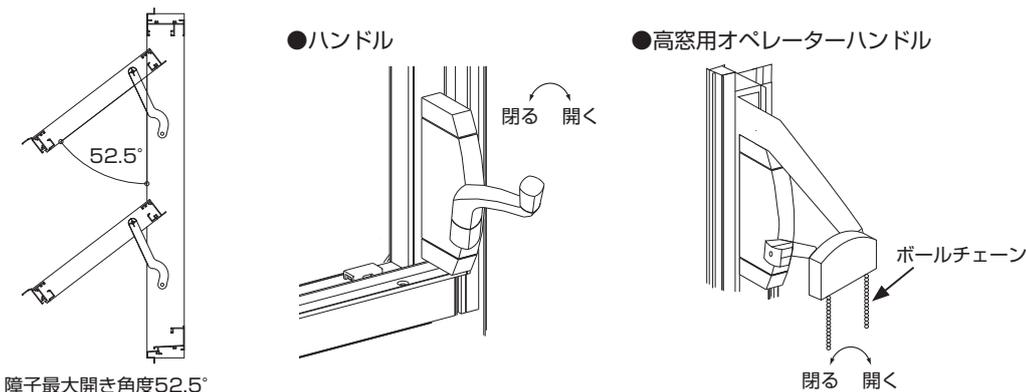
⚠注意

- ・風の強い時は、窓を閉めてください。窓を閉めないで障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。
- ・操作ひも（ボールチェーン）がお子様の首や体に巻きつくなど、思わぬ事故の原因となりますので、ご使用には十分ご注意ください。
- ・操作をしない時は、お子様の手の届かない位置で操作ひもをクリップでまとめてください。



操作

- ① ハンドル形状は2種類あります。
 - ・ハンドル
 - ・高窓用オペレーターハンドル
 - ② ハンドルを回すと障子が開きます。
 - ③ ハンドルを逆に回すと障子が閉じます。
 - ④ 高窓の場合（高窓用オペレーターハンドル使用時）は操作ひも（ボールチェーン）を操作し、障子を開閉してください。
- ※ 操作ひもはお子様や体に巻きつくなど、思わぬ事故の原因となりますのでご使用には十分ご注意ください。
操作をしないときは、お子様の手の届かない位置で操作ひもをクリップでまとめてください。



アルミルーバー窓 [可動がらり]

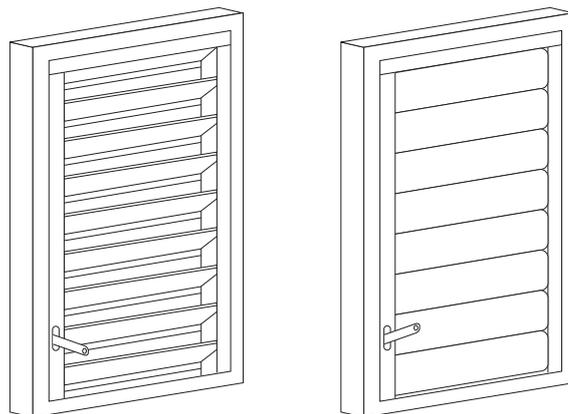
□ EXIMA 31

主要部材名称

通風・換気・遮光・目隠し用として適しています。
羽根板を開閉できるアルミルーバー窓【可動がらり】です。

主要部品

- ・ 作動アーム
- ・ ボールチェーン(引手付き)



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ 羽根板のすき間に手や指を入れたり、無理な操作は行わないでください。手や指をはさむおそれがありますのでご注意ください。
- ・ 部品の交換は、お取扱いの建設会社様、工務店様、または販売店様に修理をご依頼ください。

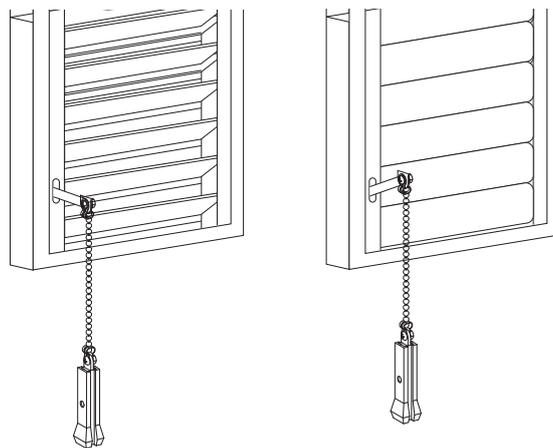
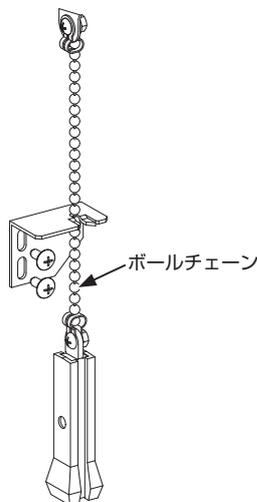
⚠注意

- ・ 風の強い時は窓をしっかりと閉めて下さい。しっかりと閉めないで障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等の恐れがあり、思わぬけがや事故につながります。

操作

- ① ボールチェーンの引手を下へ引きおろすと羽根板が開きます。
- ② ボールチェーンをボールチェーン受けのミゾにさし込んでください。羽根板が開放状態で固定されます。

【ボールチェーン・引手部品】



ガラスルーバー窓

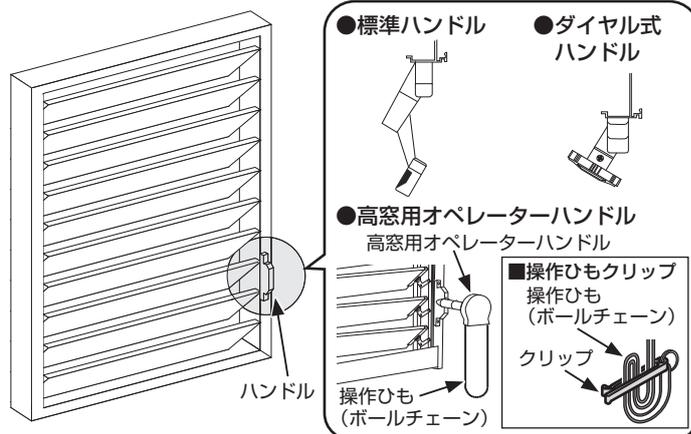
□ EXIMA 31

主要部材名称

オペレーターハンドルの回転操作で、ガラスルーバーが無段階(約90°)に開閉。採光と換気が思いのままです。

主要部品

- 一般ハンドル
- ルーバーグリップ
- ガラスカバー (網入ガラス用)
- ガラスホルダー



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 開閉完了後は、ハンドルを無理に操作しないでください。
- ガラスの切口部は面取りしてありますが、万一ガラスの切口部分に触れる場合は注意してください。
- 窓を開けたままにしておきますと、ガラスをはずされるおそれがあります。防犯のため、就寝、外出時には必ず窓を閉めてください。
- 風の強い時は必ずガラスルーバーを閉じてください。ガラスルーバーを閉じないと、ルーバー部が急激な開閉で衝撃を受け、破損のおそれがあり思わぬけがや事故につながります。

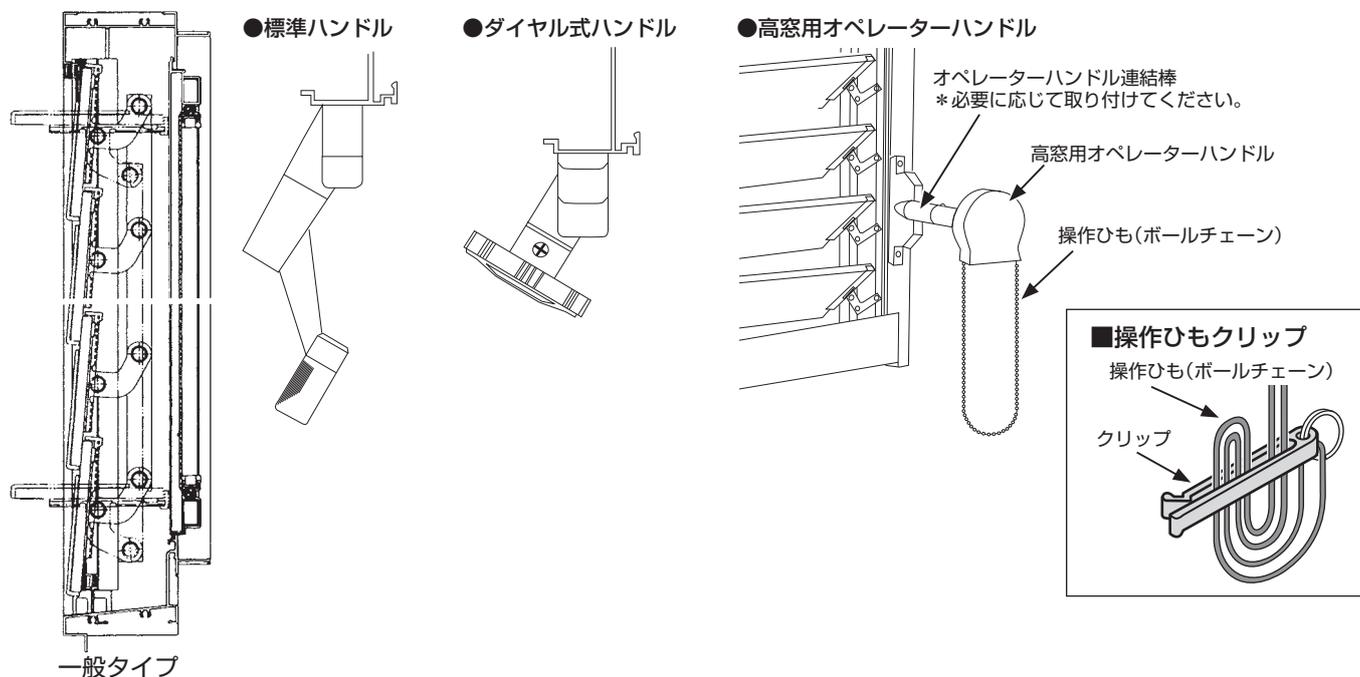
△注意

- 風の強い時は、窓を閉めてください。窓を閉めないで障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。
- 操作ひも(ボールチェーン)がお子様の首や体に巻きつくなど、思わぬ事故の原因となりますので、ご使用には十分ご注意ください。
- 操作をしない時は、お子様の手の届かない位置で操作ひもをクリップでまとめてください。



操作

- ① ハンドルを回すと、ガラスルーバー(羽根)が開きます。
 - ② ハンドルを逆に回すと、ガラスルーバー(羽根)が閉じます。ハンドル形状は2種類あります。
 - ③ 高窓の場合は操作ひも(ボールチェーン)を操作してください。
- ※ 操作ひもはお子様や体に巻きつくなど、思わぬ事故の原因となりますのでご使用には十分ご注意ください。操作をしないときは、お子様の手の届かない位置で操作ひもをクリップでまとめてください。



折りたたみ戸 [全開口折戸]

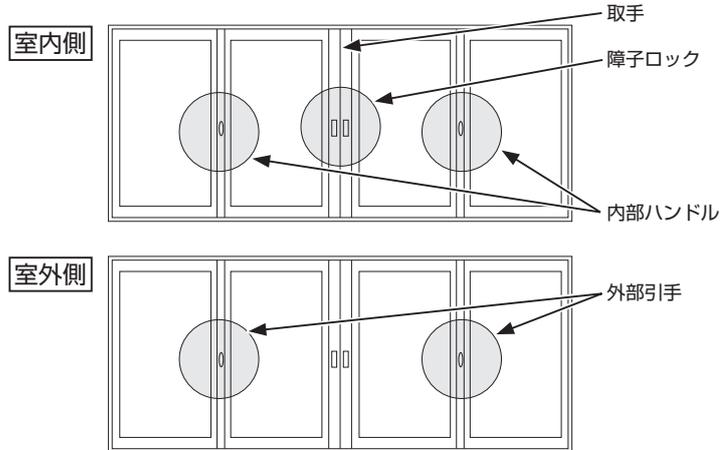
□ EXIMA 31

主要部材名称

サッシ開口が全開でき、テラスや専用庭をリビングの延長として使用できます。

主要部品

- ・ 内部ハンドル
- ・ 外部引手
- ・ 丁番
- ・ 戸車
- ・ 障子ロック



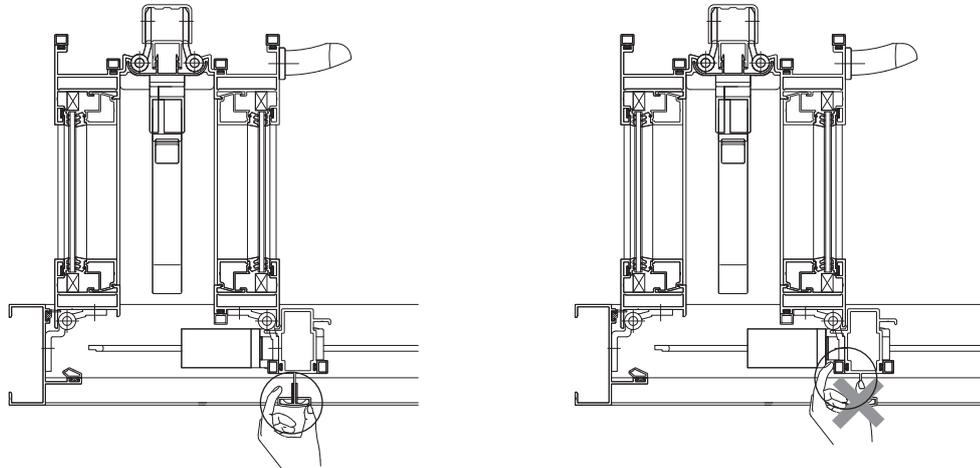
安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

⚠注意

- ・ 風の強い時は、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。錠をかけないと障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等のおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

【閉鎖時の注意事項】

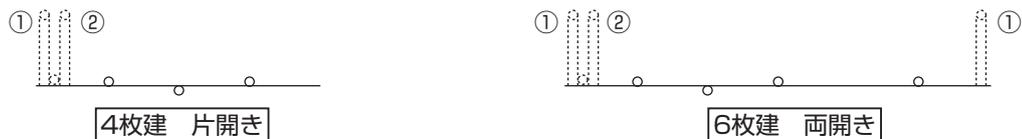
- ・ 障子を閉める際、必ず障子取手部分を持ってください。
- ※ ゴム部を持って障子を閉めないようにしてください。



閉鎖の際、必ず吊元側の障子から内部ハンドルをロックしてください(4枚建片開き、6枚建両開きの場合)。

〈閉鎖順序〉

- ①の障子を閉め、内部ハンドルで完全にロックしてから②の障子を閉め、内部ハンドルで完全にロックしてください。



※ 上記①の障子より先に②の障子をロックすると障子が閉まりきらずに、ロック機能の故障の原因になりますので、必ず①→②の順に閉鎖するようにしてください。

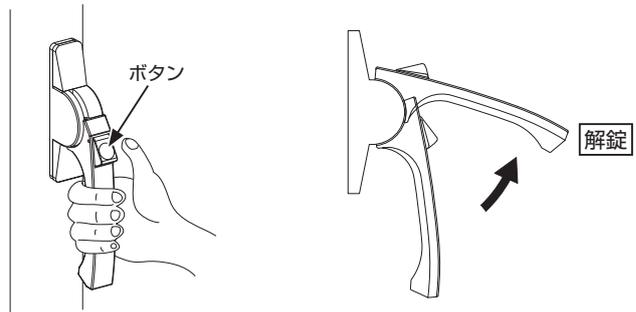
- ・ 風の強い時の開閉は危険ですので窓を開けないでください (ハンドルは施錠状態にしてください)。
- ・ 風にあおられるおそれがあります。ハンドルをしっかり持って、注意して開閉してください。
- ・ 窓が開いた状態ではハンドルを回さないでください。

操作

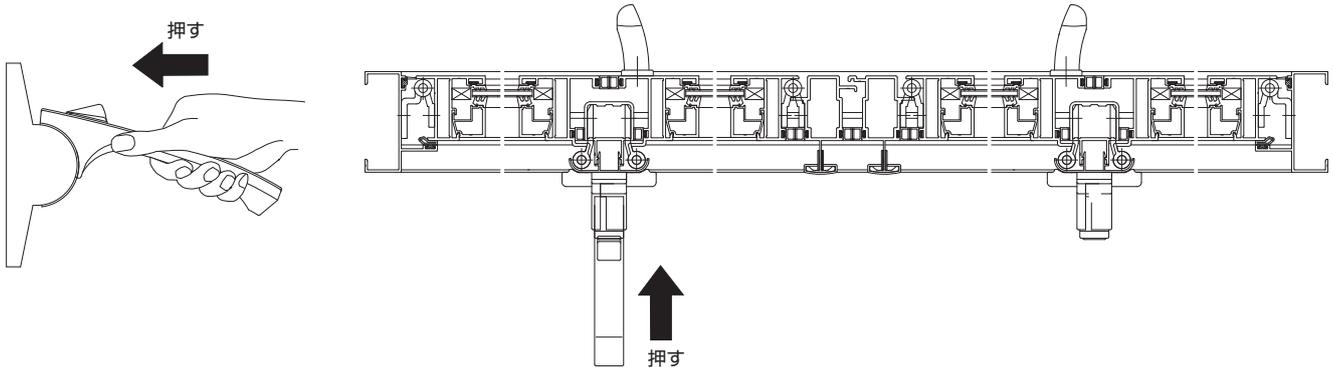
(障子開放時)

- ① 内部ハンドルのボタンを押して 90° 持ち上げてください。
ロックが解除されます。

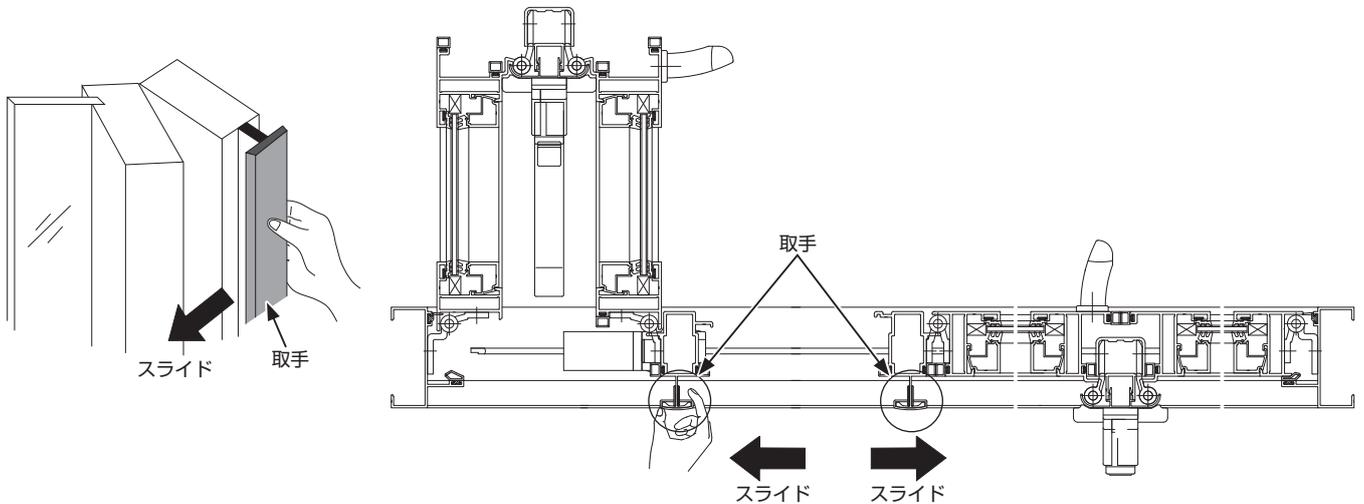
※ 注意
障子の開閉はハンドルを完全に持ち上げた状態で行ってください。



- ② 内部ハンドルを持って、前に押しして障子を少し開けてください。

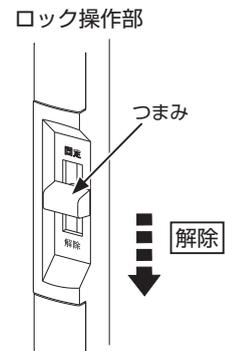


- ③ 取手を持って横にスライドさせて障子を開けてください。

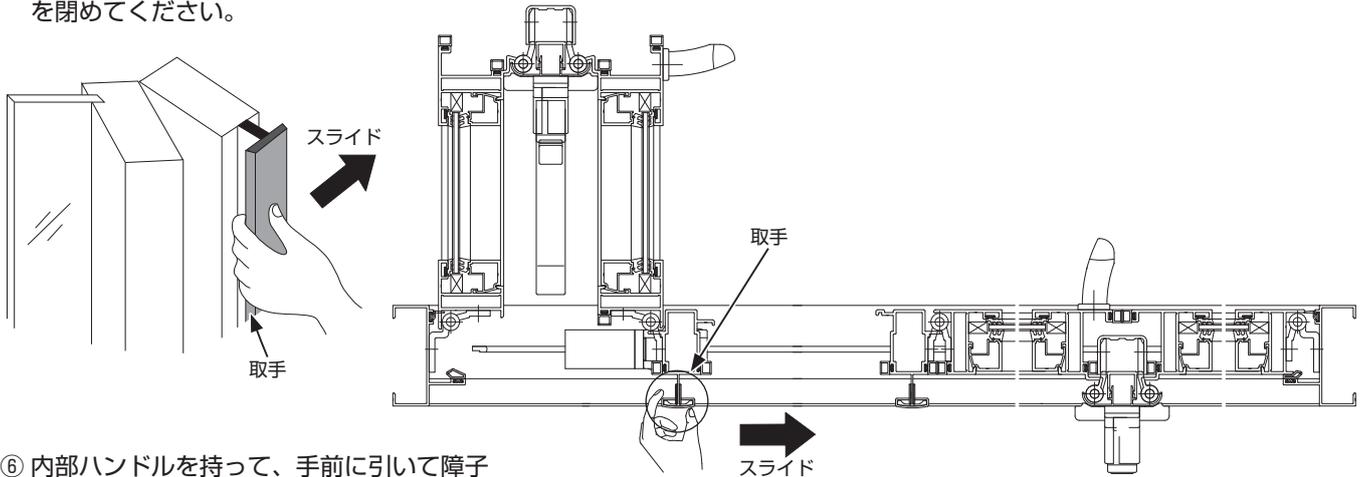


(障子閉鎖時)

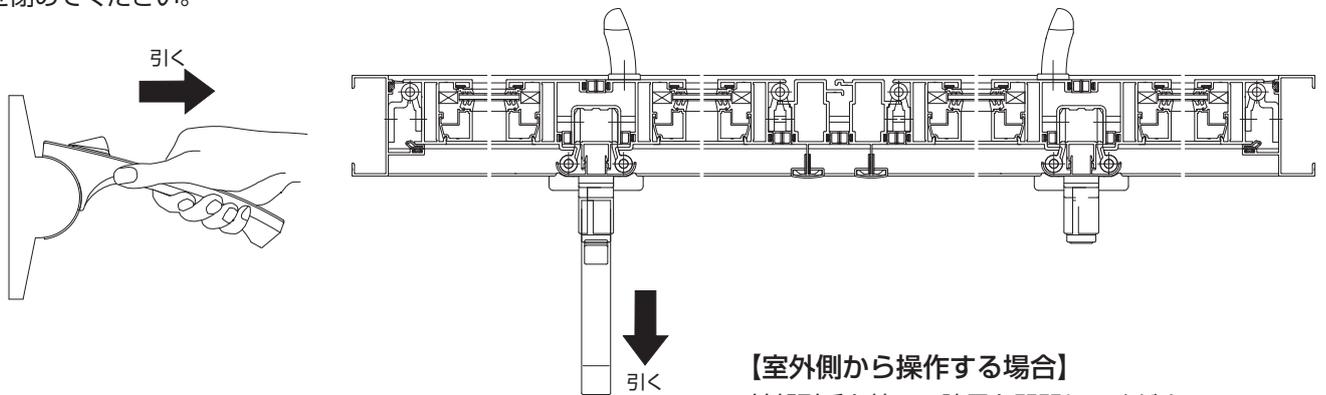
- ④ 障子を全開にすると、自動的にロックがかかりますので、ロック操作部のつまみを押し下げ、障子のロックを解除してください。



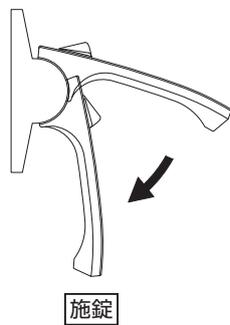
⑤ 取手を持って横にスライドさせて障子を閉めてください。



⑥ 内部ハンドルを持って、手前に引いて障子を閉めてください。

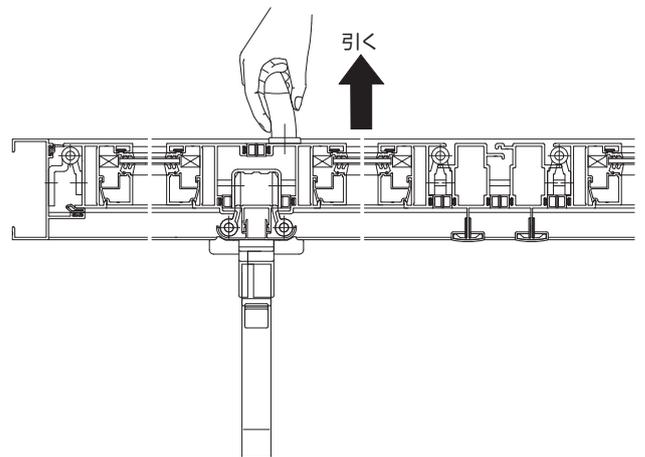


⑦ 内部ハンドルを 90° 押し下げてロックしてください。



【室外側から操作する場合】

外部引手を持って障子を閉閉してください
(ロックが解除されていることを確認ください)。



※バリエーションによって障子の引き方向が異なります。

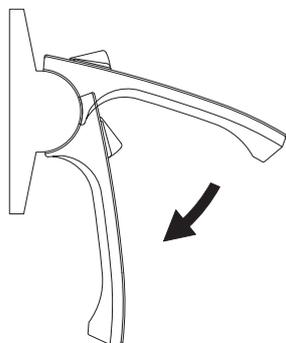
各バリエーションごとの障子引き方向

2枚建 片開き	4枚建 片開き	4枚建 両開き	6枚建 両開き

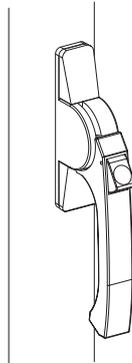
(障子ロック)

■二重ロック機能(オプション設定)

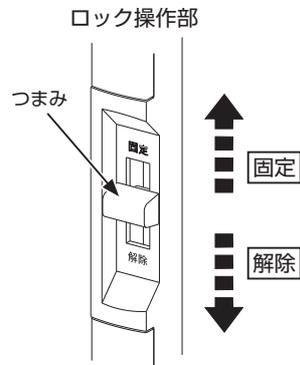
- ① 障子を閉め、内部ハンドルを 90° 押し下げてロックしてください (ハンドルロック状態)。
- ② ロック操作部のつまみを押し上げ、障子を固定させます (二重ロック状態)。
- ③ 障子を開ける際には、操作つまみを押し下げ、障子の固定を解除してください。



施錠



ハンドルロック状態



二重ロック(固定・解除)

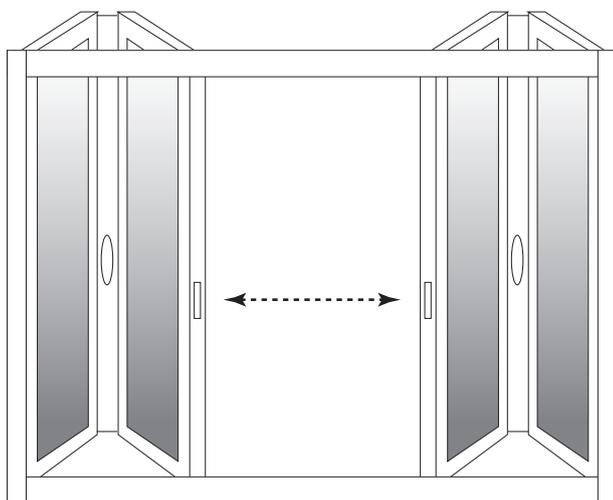
■途中ストップ機能(オプション設定)

[障子開放時]

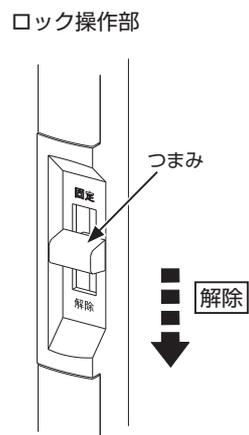
- ① 障子を開放すると、あらかじめ設定されている位置で自動的にロックされて、障子が固定されます。
- ② 障子を全開する際は、ロック操作部のつまみを押し下げ、ロックを解除してください。

[障子閉鎖時]

- ① 全開状態から障子を閉める際は、ロック操作部のつまみを押し下げ、障子のロックを解除し閉鎖操作すると、設定されているストップ位置で障子はロックされます。
- ② 障子を全開するには、ロック操作部のつまみを押し下げ、ロックを解除してください。



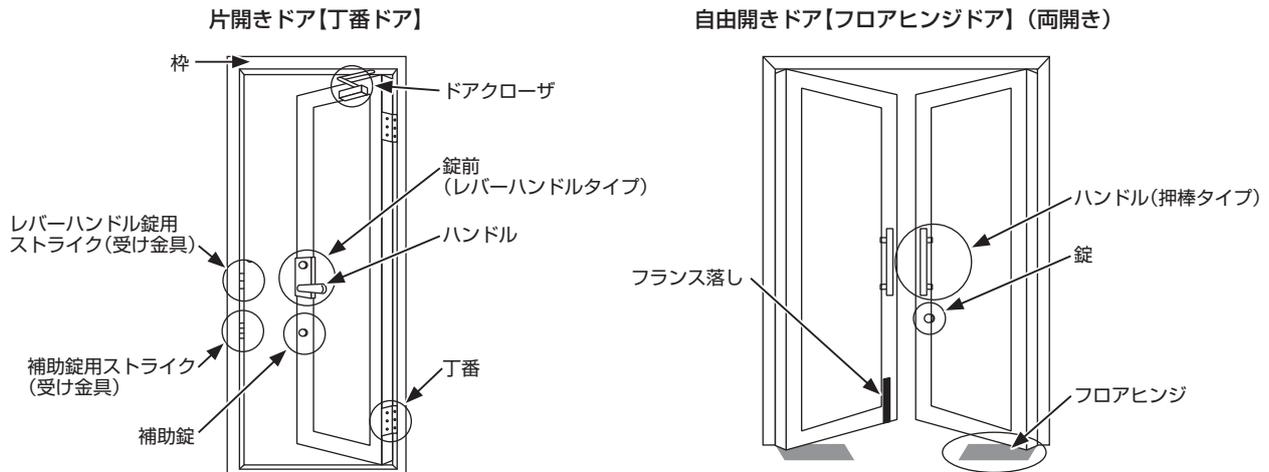
途中ストップ状態(室内側)



片開きドア / 両開きドア / 自由開きドア

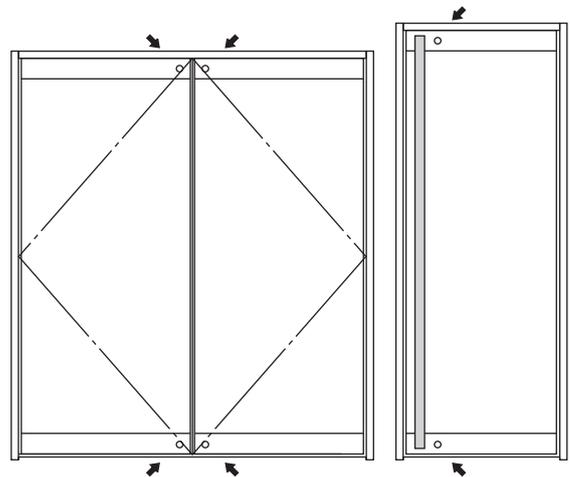
□アルミドア □スチールドア

主要部材名称



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 風の強い時の開閉は危険ですのでドアを開けないでください。
- 風にあおられるおそれがあります。ハンドルまたは握玉、錠前をしっかり持って閉めてください。
- 右図のようなドア※の場合、強風時および施錠時には必ず上下の錠をかけてください。
※ SYSTEMA 510e・520e SYSTEMA 9201c
片開きドア【ピボットヒンジドア (スリム枠タイプ)】
- NECESS ENTRANCE 自由開きドア【フロアヒンジドア】
スリム枠タイプ／見付 25
- ルクセラ FH



⚠注意

- ドアの開閉時には、丁番側のすきまに手を置かないでください。指をはさんで大けがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉時にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まった時、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをすることがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 風の強い時は、ドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

【ドアクローザ取扱上の注意事項】

① ドアクローザの機能説明とお願い

- 1) この製品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。
季節の温度変化等により、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとけがをすることがあります。
ドアの閉じる速度は、調整弁によりコントロールすることができますので、P.96に記載した方法で調整してください。
- 2) 本体から油が漏れたり、部品が破損した場合は速やかに施工業者または当社に修理、交換依頼をしてください。放置しておくと、閉扉スピードのコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。
- 3) ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬけがをしたり、正しく組み立て直すことが出来なくなります。

② お手入れ方法

本体およびアーム、取付ブラケットの取付ねじや、アームの連結ねじにゆるみが生じていないか時々点検してください。ゆるんでいた場合はねじを締め直してください。
 腐食予防のために本体およびアームは時々掃除してください。
 冬期に結露が生じる場合は本体およびアームを乾いた布でカラ拭きしてください。

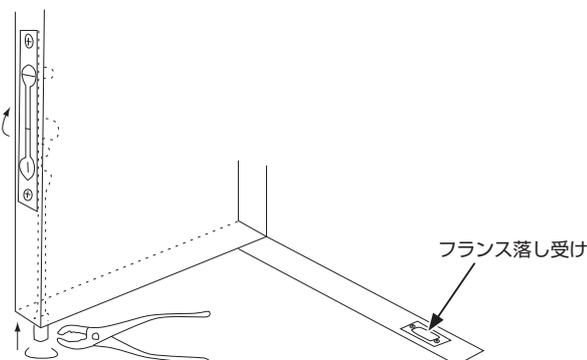
③ 異常を感じられた際の対処方法（速度調整が難しい場合は、施工業者または当社に調整依頼をしてください）。

(現象)	(考えられる原因)	(点検箇所)	(対処方法)
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった	季節の温度変化など	速度調整弁	P.94、96速度調整方法を参照願います
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	ドアクローザ本体	専門業者に修理依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れが つまっている	速度調整弁	P.94、96速度調整方法を参照願います
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった	ねじのゆるみ	取付ねじ	ねじを締め付けてください
	油漏れ	ドアクローザ本体	専門業者に修理依頼願います
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチング調整弁	P.96ラッチング調整弁の調整方法を参照願います
ドアが所定の開放位置で止まらなくなった(ストップ付き)	ストップねじのゆるみ	ストップ装置	取扱説明書に記載のストップ調整方法を参照願います
ドアがスムーズに閉まらなくなった り異音が生じるようになった	ねじのゆるみ	取付ねじ	ねじを締め付けてください
	1、2速のバランスが悪い	速度調整弁	P.94、96速度調整方法を参照願います

メンテナンス

【フランス落とし】

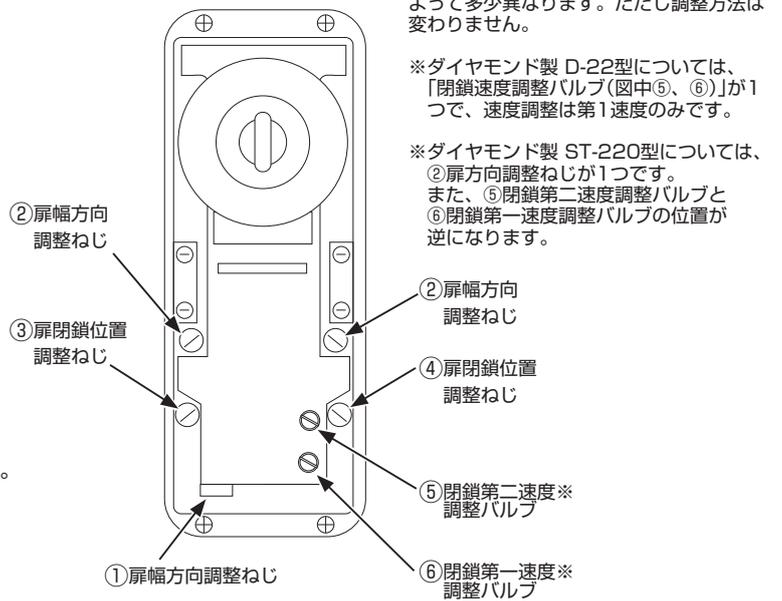
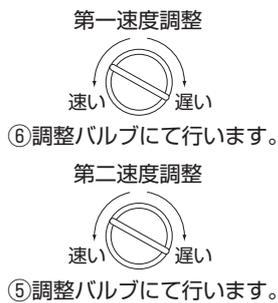
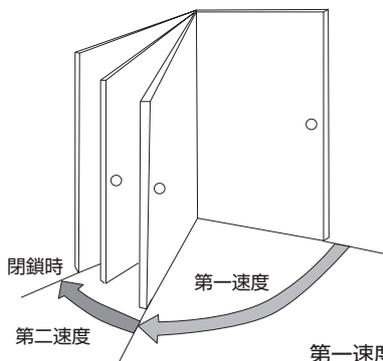
両開き扉の場合には、子扉を固定するためフランス落としが上下に取り付けられています。固定忘れや破損があると、施錠しても扉が開いてしまいますので確認をしてください。



フランス落としに破損が無く、動かしても扉の上下がスムーズに開かない場合は、フランス落としのロット棒のゆるみが原因ですので、フランス落としの取付ビスを取りはずし、フランス落としを手前に引きながら10mm程度引き上げて扉を開いてください。
 扉を90°まで開き、フランス落としをもと通りに戻して取り付け、ロット棒をプライヤーなどで締め付けてください。

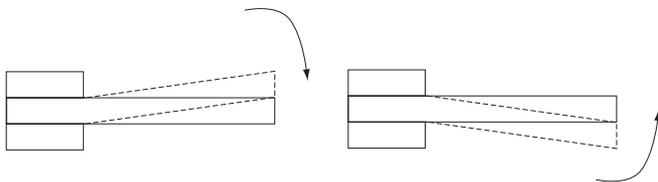
【フロアヒンジ】

◆2つの速度調整弁を右・左に回すだけで各々の速度調整が簡単にできます。



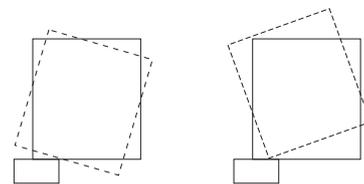
【ドア位置調整方法】

1. ドア位置の調整(召合せ調整)

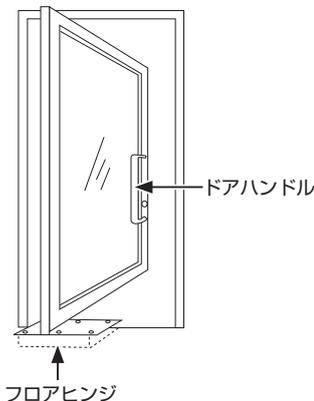


①、②のねじをゆるめ、③、④のねじで調整します。

2. ドアと縦枠のすき間調整(ドア幅方向調整)

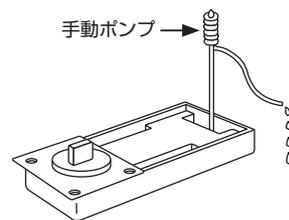
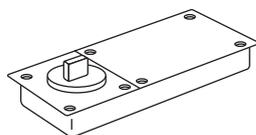


③、④のねじをゆるめ、①、②のねじで調整します。



★フロアヒンジが油もれをした場合は、閉鎖スピードの調整が不可能になり危険ですので、交換の必要があります。

■床の清掃時の水洗いや雨水などにより、フロアヒンジ内に溜まった水をそのまま長期間放置されますと、フロアヒンジ本体が腐食します。フロアヒンジのプレートを取りはずし、簡易手動ポンプなどで水抜きをしてください。



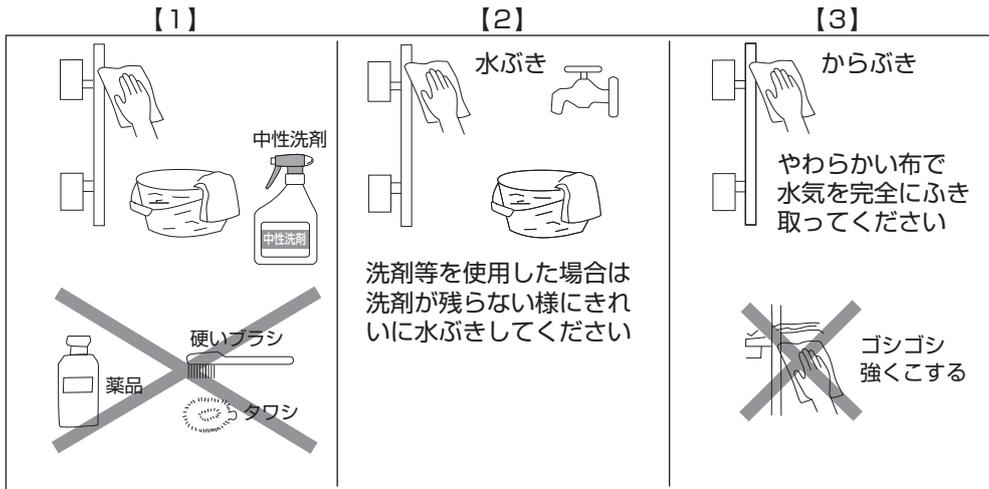
【錠前のお手入れ】

錠前の表面材は主にステンレス、アルミニウム、黄銅などですが、サビにくいと言われるステンレスといえども、煤煙や塵、埃、泥などの汚れをつけたまま放置いたしますと、化学的、電気化学的反応で表面が浸食されサビます。特に黄銅は容易に酸化され黒変しますので表面に保護膜が塗られており、それが変色を防いでいますが、表面を傷つけたり汚れをつけたまま放置しますと変色します。

錠前をいつまでも美しくお使いいただくためには、定期的にお手入れが必要です。やわらかい布で、汚れに応じて次のようなお手入れを行ってください。

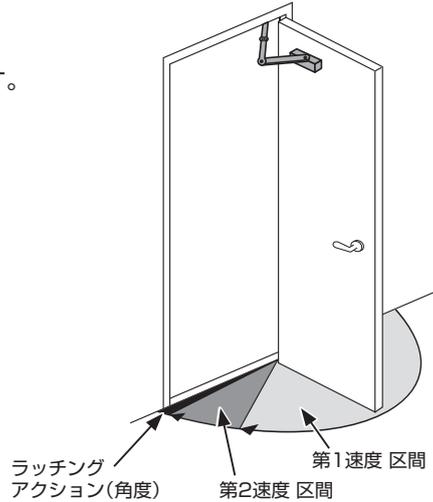
汚れの程度によるお手入れの方法

水では落ちにくい汚れのお手入れ……………【1】【2】【3】を行ってください
 風雨がかかった後のお手入れ……………【2】【3】を行ってください
 軽い汚れのお手入れ（定期的な掃除）……………【3】を行ってください



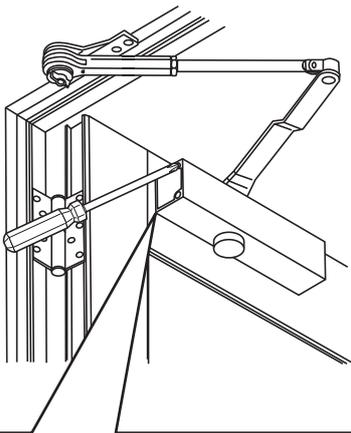
【ドアクローザ】

ドアクローザは開けた扉を自動的に閉める装置です。
 ドアクローザは、引渡し時に閉鎖スピードを調整しておりますが、
 使用中に閉鎖スピードが変化していきますので定期的な点検が必要です。



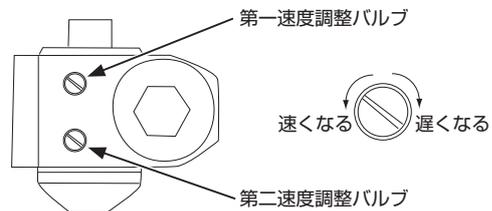
■ ドアクローザの調整方法

ドアが閉まりにくくなったり、ドアが「バタン」と大きな音を立てて閉まるようになった時、
 また、ドアが閉まる速度を変えたいときは、ドアクローザ本体の調整弁により閉まる速度を調整してください。
 調整弁の位置はドアクローザメーカーにより異なりますが、下記に代表例を記載しています。
 ドアクローザの付いたドアを無理やり開閉しないでください。油もれなど故障の原因になります。

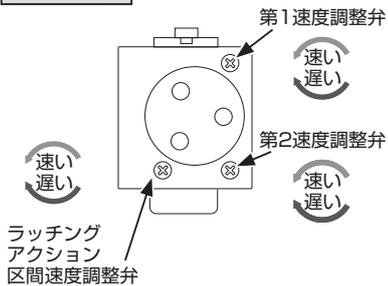


ドライバーで調整弁を回して速度を調整してください。
 右に回すと遅く、左に回すと速くなります。
 第1速、第2速、ラッチングの順番で調整してください。

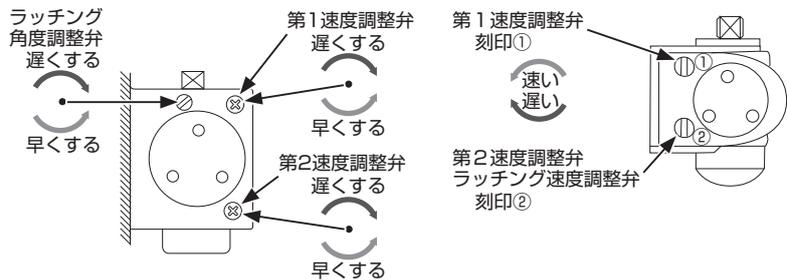
日本ドアチェック製造製



リヨービ製



美和ロック製



お願い

- 調整弁の回し過ぎは、油漏れの原因になります。

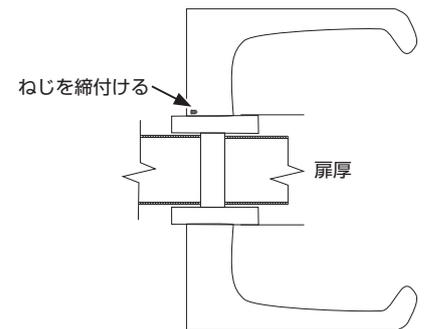
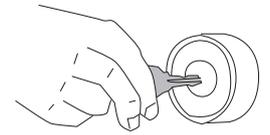
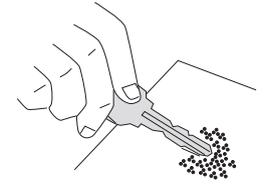
ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずは建物管理者様、建設会社様、販売店様、当社担当者へご連絡ください。
 室内外の気圧の状況によって閉鎖スピードに影響がある場合がありますのでご注意ください。
 ドアクローザの保障期間は2年間です。

【錠 前】

- 錠前を日常使用の際、時としてキーの抜き差しが重くなるがありますが、このような場合には黒鉛粉(鉛筆の芯を削って粉状にしたもので可)をキーにまぶして何回か鍵穴に差し込んでください。
- 市販の合成潤滑剤などは注油しないでください。油がホコリを呼び作動不良につながります。
- 長期間の使用で錠前の握玉(レバーハンドル)にガタつきが生じた場合は、取付ねじのゆるみが原因ですので取付ねじを十分に締付け直してください。

【電気錠対応の場合】

電装部品に不具合が生じた場合は、お求めになった工務店、ハウスメーカー等または、最寄りの当社営業窓口にご連絡ください。



片開きドア / 両開きドア [フラッシュタイプ・防音仕様]

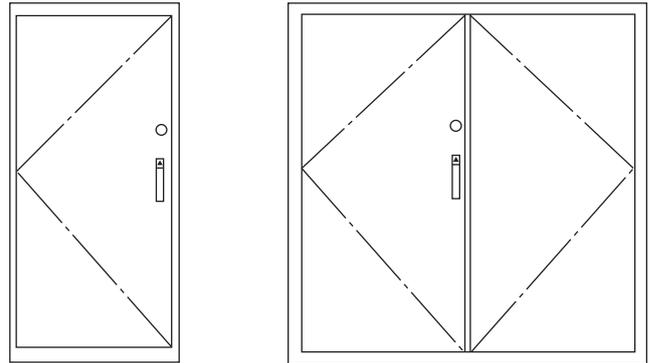
□ EXIMA 31 □ EXIMA 51

主要部材名称

ハンドルと引き寄せ装置の連動により防音性能を高めたドアです。

主要部品

- ・ハンドル
- ・ピボットヒンジ・丁番
- ・本締錠
- ・引寄せ装置
- ・トリガー



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・障子を閉めた時は、ハンドルは必ずロックしていることをご確認願います。
- ・ストップ付きのドアクローザは必ずストップ状態で固定してください。
- ・風の強い時は扉の開閉に注意してください。
(注) 両開きの場合は必ず子扉のフランス落しを閉めてご使用願います。

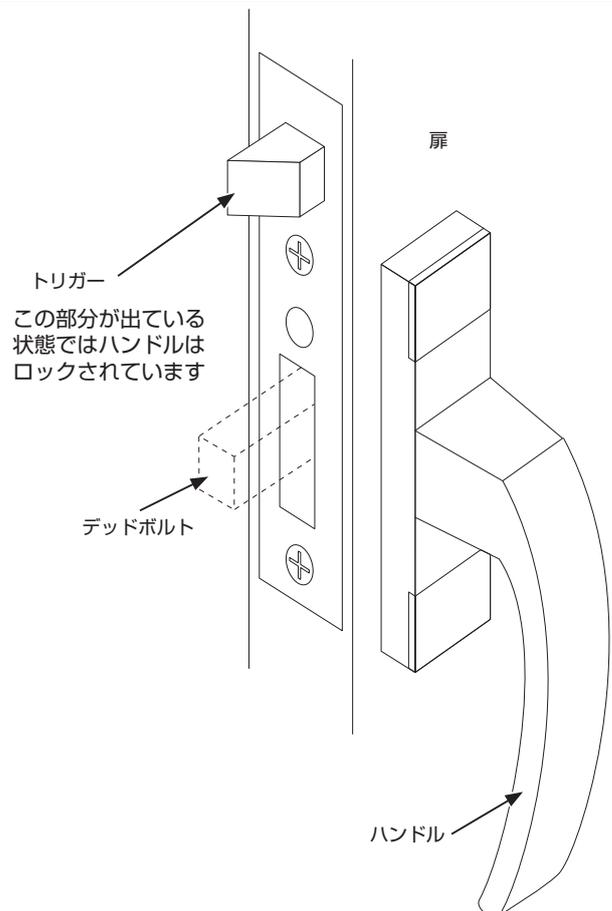
⚠注意

- ・ドアの開閉時には、丁番側のすきまに手を置かないでください。指をはさんで大けがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ドアの開閉時にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まった時、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・風の強い時は、ドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

操作

- ① 本締錠を解錠します。
- ② ハンドルを上へ 90°回転してください。上下引き寄せ装置が連動して扉を開けることが可能になります。
- ③ 扉を閉める時は、扉を完全に閉めてからハンドルを下へ 90°回転してください。上下引き寄せ装置が連動して扉がロックされます。

(注) トリガー作動状態 (ハンドルが上へ 90°回転している状態) では、無理にハンドルを回転させないでください。故障の原因となります。



片開きドア [かまちタイプ・防音仕様]

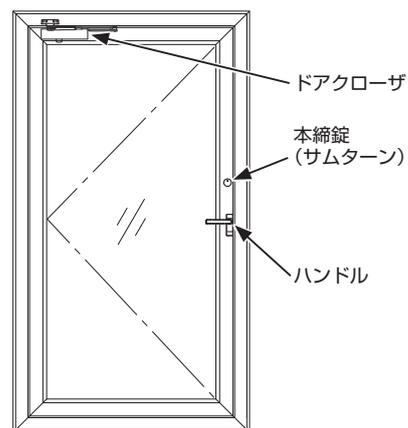
□ EXIMA 31 □ EXIMA 51 □ EXIMA 32

主要部材名称

出入口用の開きドアです。
グレモン作動による高い気密性、水密性を確保しながら、
普段の出入り際にはラッチ機構により
開閉操作が楽におこなえます。

主要部品

- ・ 丁番
- ・ ハンドル
- ・ ドアクローザ
- ・ 本締錠(サムターン)



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ 障子を閉めた時は、ハンドルは必ずロックしていることをご確認願います。
- ・ ストップ付きのドアクローザは必ずストップ状態で固定してください。
- ・ 風の強い時は扉の開閉に注意してください。
(注) 両開きの場合は必ず子扉のフランス落しを閉めてご使用願います。

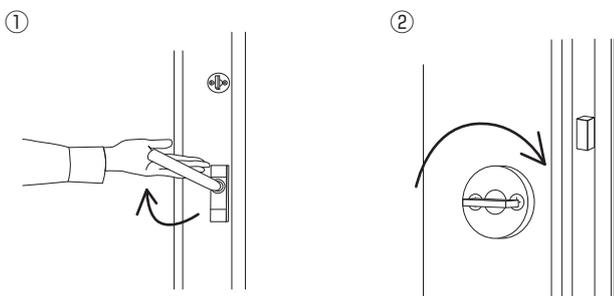
△注意

- ・ ドアの開閉時には、丁番側のすきまに手を置かないでください。指をはさんで大げかのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ ドアの開閉時にあたっては、必ずハンドル引手を持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まった時、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ 風の強い時は、ドアを閉めて、必ず本締錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

操作

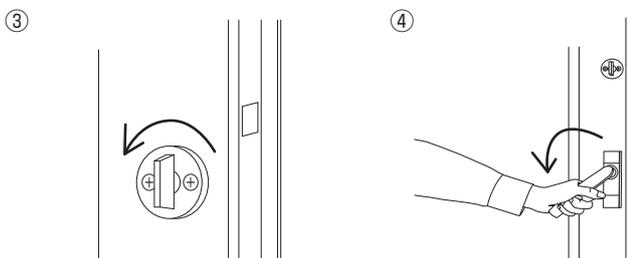
【施錠】

- ① ドアを閉めて、ハンドルをしっかり上げます。
扉が枠側に引き寄せられます。
- ② サムターンをまわして、本締錠を施錠します。



【解錠】

- ③ サムターンをまわして、本締錠を解錠します。
- ④ ハンドルを下げると、ドアが開きます。

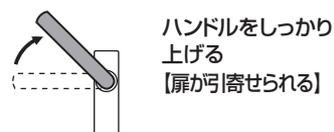


扉の引寄せ方法

※ハンドルを上げることで扉が
枠側に引寄せられ、気密性・
耐風圧性が確保されます

ハンドルの操作方法

※施錠前に必ず操作して
ください



※これはカギではありません

解除方法



3K-46991

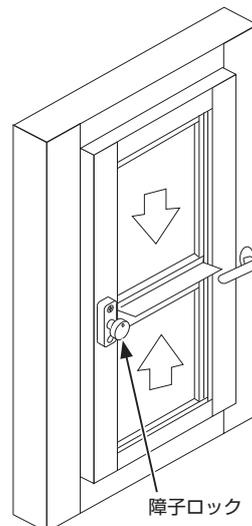
貼付ラベルイメージ

片開きドア [通風ドア]

□ EXIMA 31

主要部材名称

- ・ ドアを閉めたまま上げ下げ障子を開けるだけで、部屋の中を換気するのに十分な通風面積が得られます。
- ・ 上げ下げ障子は、上・下の障子が連動して動く滑車吊り方式を採用



主要部品

- ・ レバーハンドル錠
- ・ 丁番
- ・ 障子ロック
- ・ 障子ロック受
- ・ 滑車セット
- ・ 固定網戸

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ ガラス交換等する際は、内障子、外障子とも同じ厚さのガラスを使用してください。内障子、外障子の重量バランスが崩れると障子が急速に落下して事故や故障の原因となります。
- ・ ドアを寝かせた状態で障子を開けると内障子と外障子を連結しているワイヤがゆるみ故障の原因となりますのでご注意ください。
- ・ 開閉は、ハンドル（ドア）、引手（上げ下げ）を持ってゆっくり行ってください。製品本体を持って操作すると、手や指がはさまれるおそれがあります。
- ・ お出掛け・就寝の際には、ドア・上げ下げ部を閉めてドアロックとともに障子ロックを施錠してください。
- ・ 開閉の動きに異常（障子の動きが重くなったり、速くなったりした場合）を感じた場合、無理に開閉を行わず最寄りの当社営業窓口にご連絡ください。無理に開閉いたしますと思わぬけがや事故につながります。

⚠️注意

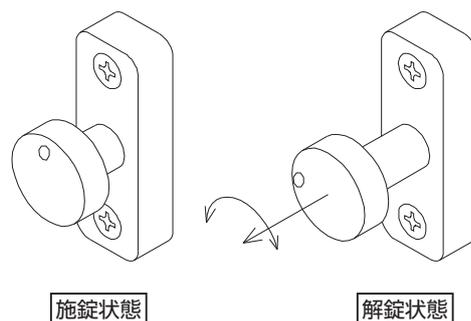
- ・ ドアの開閉時には、丁番側のすきまに手を置かないでください。指をはさんで大けがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ ドアの開閉時にあたっては、必ずハンドル引手を持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まった時、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをされるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ 風の強い時は、ドアを閉めて、必ず本締錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

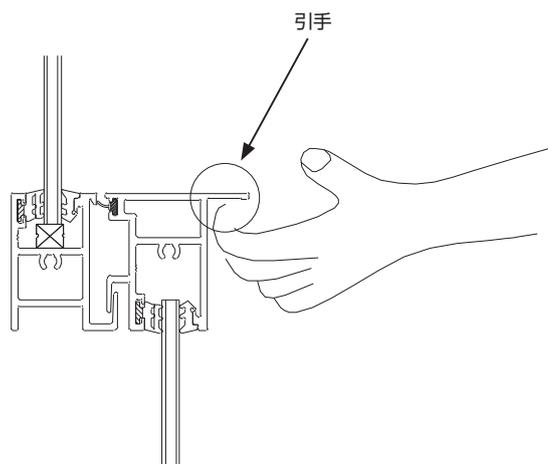
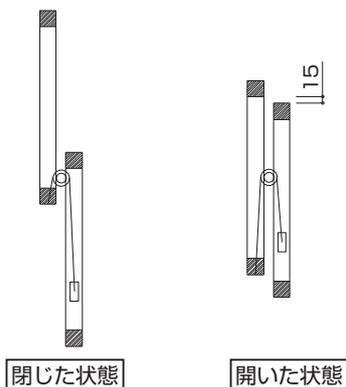
操作

【一般仕様】

■ 上げ下げ障子部の操作

- ① 障子ロックのツマミを手前に引いて解錠してください。そのままツマミを右または左に回転させると解錠状態を保持できます。
- ② 引手を持って内障子を引き上げてください。外障子と内障子はワイヤで連結されていますので、内障子を引き上げることで外障子が下がります。
- ③ 障子を閉めるときは、引手を持って閉めてください。障子を閉めたら必ず障子ロックを回して施錠してください。
- ④ 施錠位置は、全閉時、50mm 開放時、100mm 開放時の3カ所です。施錠位置以外で障子ロックが施錠状態になった場合、そこから一番近い施錠位置まで動かすと自動的に施錠されます。





メンテナンス

■網戸の清掃

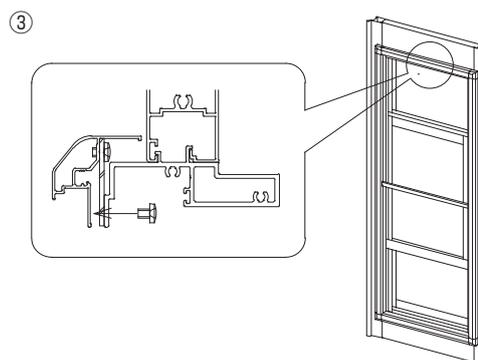
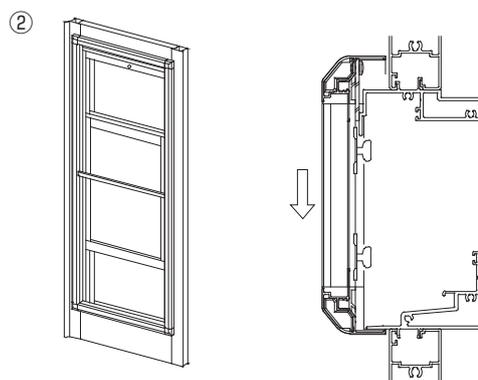
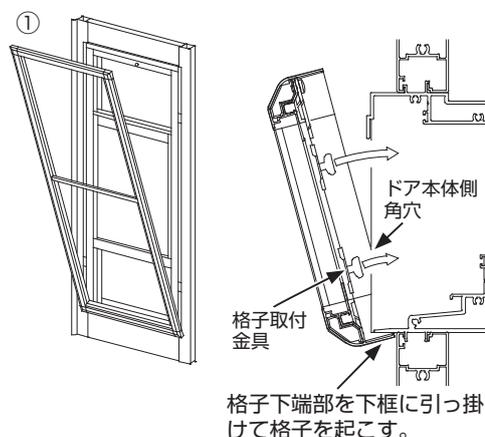
- 1) 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。それだけに汚れるのも早いので、まめに掃除をしないと通風も悪くなります。
- 2) 網戸の掃除は、下記方法にて網戸をはずし庭やベランダでブラシなどで全体を軽くこすります。その後、ゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ軽くおさえるように洗ってください。このとき力を入れすぎると網がはずれることがありますので注意してください。
- 3) 最後に全体を水で洗い乾かします。
- 4) 掃除が終わりましたら下記方法により、必ず網戸を取り付けてください。

■網戸の取付(清掃時網戸を取りはずした場合)

- ① 網戸の下端部をドアの下框に引っ掛け起こすと容易に網戸取付金具（4カ所）をドア側の角穴に差し込むことができます。
- ② 網戸取付金具が4カ所ともドア側の角穴に差し込まれたことを確認した後、網戸を下にさげて取り付けてください。
- ③ バインドタッピンねじにてドア上框室外側から網戸を固定します。はずれ防止のため、必ずねじで固定してください。

※ 清掃時網戸をはずす場合は、③②①の手順で行ってください。網戸を取りはずした際、ねじをなくさないようにしてください。

■ ドアの開閉操作、ドアクローザ、レバーハンドル錠などの操作方法は、片開きドア・両開きドア・自由開きドア【フロアヒンジドア】・玄関ドア(アルミドア・スチールドア)の頁(P.92～P.97)を参照願います。



■上げ下げ障子の建付調整

●ガラスはめ込み後、障子の開閉に異常がないか確認してください。

障子を全開にした時に下記のような状態であれば建付け調整が必要です。

- ◆内障子と外障子の位置が合わない。障子と障子ストッパーの間に大きなすき間が生じる。
- ◆障子がななめになっている。

●内障子が下がっている時(下図①)

外障子下端部左右に付いている調整付き摺動片の調整ねじを内障子が上がる方向に回して内障子を上げます。

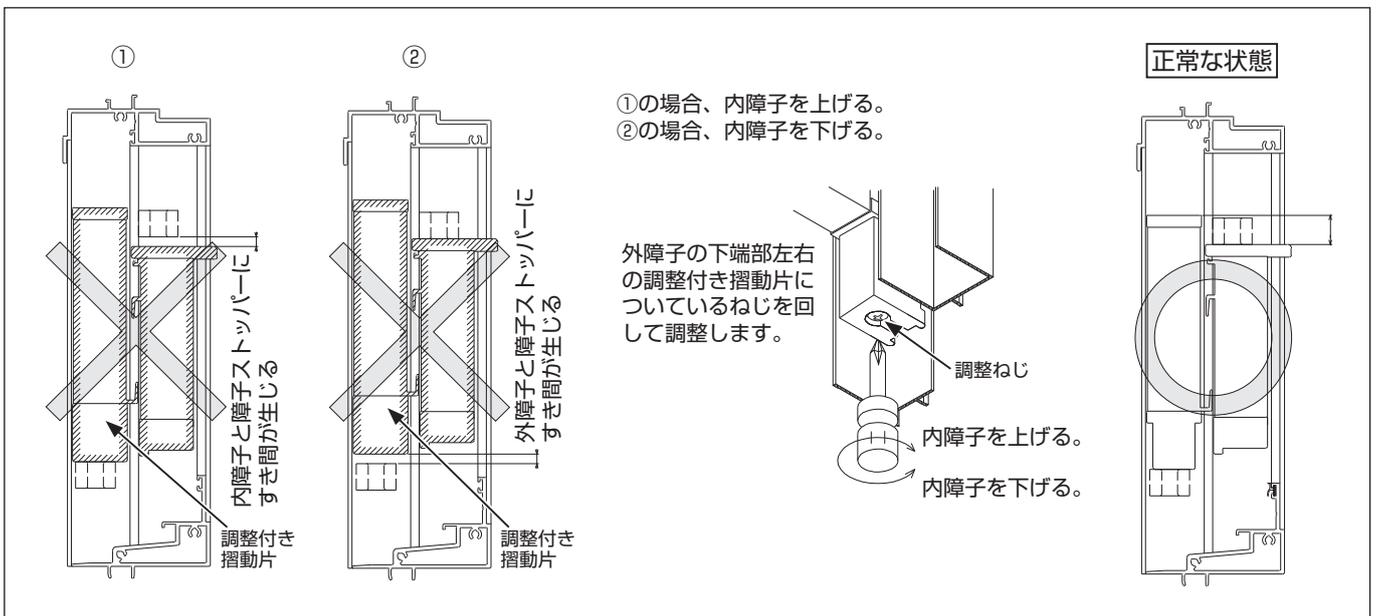
●内障子が上がっている時(下図②)

外障子下端部左右に付いている調整付き摺動片の調整ねじを内障子が下がる方向に回して内障子を下げます。

●障子がななめになっている時

障子の左右を比べて、下がっている方を上げる。また、上がっている方を下げるよう調整ねじを操作してください。

■調整完了後は、障子を全閉して障子ロックを施錠してください。



片開きドア [かまちタイプ]

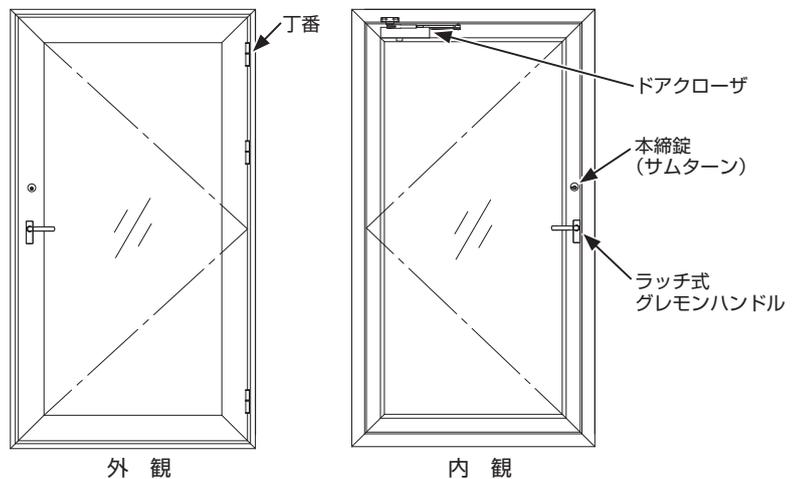
□ EXIMA 37

主要部材名称

ダブルロックの錠で防犯性を高め、断熱・気密性能を向上させるグレモン式を合わせたロック機構です。

主要部品

- ・ 丁番
- ・ ラッチ式グレモンハンドル
- ・ ドアクローザ
- ・ 本締錠(サムターン)



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ ドアを閉めた時は、必ずハンドルを上げグレモン施錠状態にしてください。
- ・ ドアを開いた状態でグレモン錠を施錠しないでください。
そのままドアを閉めると、グレモンがドアの枠に当たり、故障・破損の原因になります。
- ・ 強風時の開閉は危険ですのでドアを開けないでください（グレモンハンドルは施錠状態にしてください）。

⚠️注意

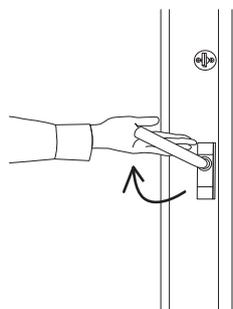
- ・ ドアの開閉時には、丁番側のすきまに手を置かないでください。指をはさんで大けがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ ドアの開閉時にあたっては、必ずハンドル引手を持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まった時、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ 風の強い時は、ドアを閉めて、必ず本締錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

操作

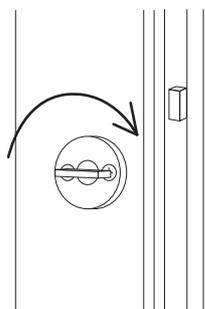
【施錠】

- ① ドアを閉めて、ハンドルを上げることによりグレモンを作動（施錠）させます。
- ② サムターンを回して、本締錠を施錠してください。

①グレモン施錠



②本締錠施錠時

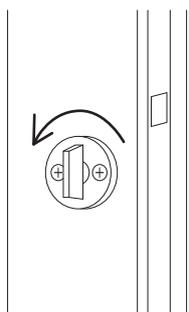


(注) グレモン錠を施錠しないと本締錠が施錠できません。

【解錠】

- ③ サムターンを回して、本締錠をあけてください。
- ④ ハンドルを下げると、グレモンが解錠されドアが開きます。

③本締錠解錠時



④グレモン解錠



可動網戸

□ WS10E 型 (EXIMA 31 用、EXIMA 31Wb 用)

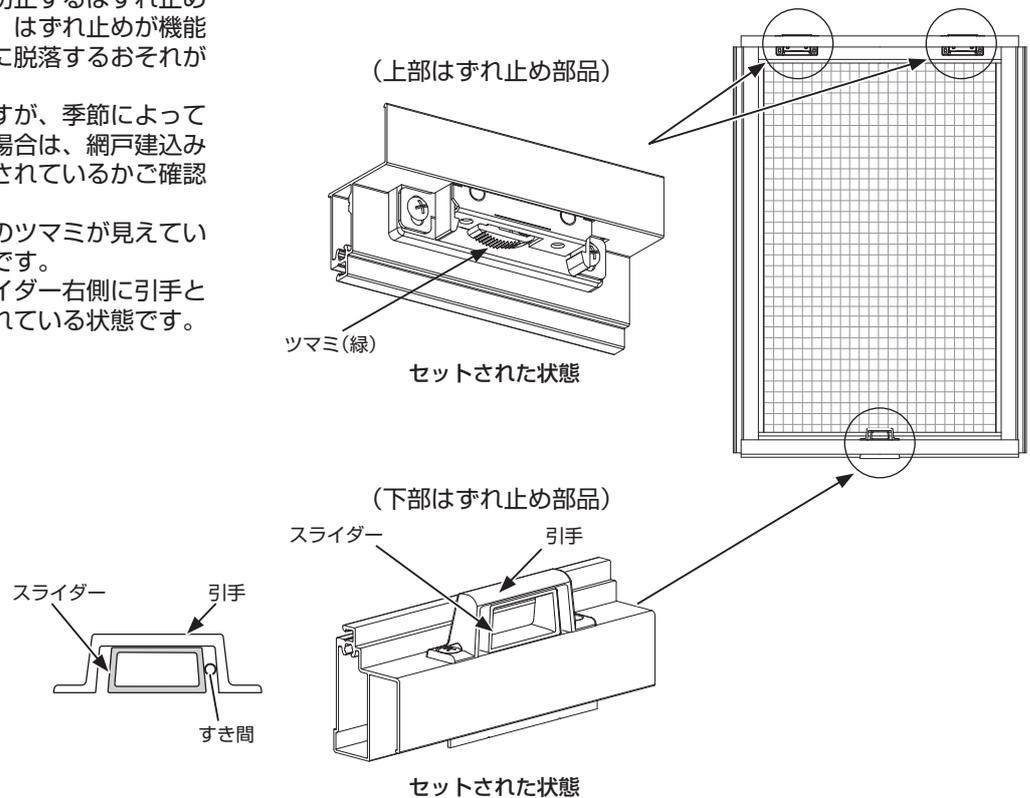
主要部材名称

可動網戸には、網戸の脱落を防止するはずれ止め部品が取り付けられています。はずれ止めが機能していないと強風時や開閉時に脱落するおそれがあります。

引渡し時には調整しておりますが、季節によって取りはずし、取り付けを行う場合は、網戸建込み後、必ずはずれ止めがセットされているかご確認の上、お使いください。

上部はずれ止め部品は、緑色のツマミが見えていれば、セットされている状態です。

下部はずれ止め部品は、スライダー右側に引手とのすき間があれば、セットされている状態です。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

△注意

- お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がはずれることがあります。定期的に点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

お願い

- 網戸はモヘアを障子に密着させることで、虫の侵入を防いでいます。そのため、網戸のモヘアにくせがついた場合は、防虫性が損なわれることがあります。モヘアにくせがついた場合は、②のように、手でモヘアを左右になでて、モヘアのくせを直してください。



①モヘアにくせが付いた状態

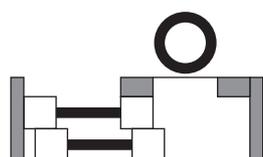
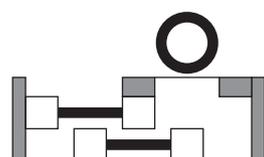
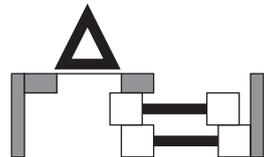
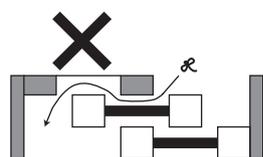


②手でモヘアを左右になでてください。

操作

網戸をご使用中でもまれに虫が侵入する場合があります。虫の種類や大きさによっては、完全に侵入を防ぐことはできませんが、網戸を正しくご使用いただくことにより効果的に虫の侵入を防ぐことができます。

【引違い窓(2枚建)用網戸の使い方】

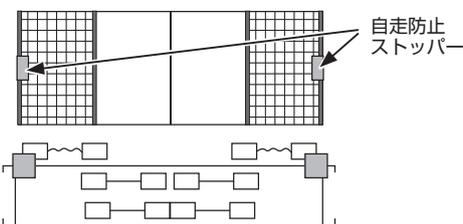
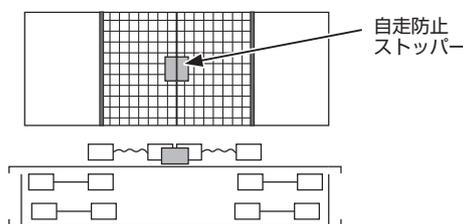
<ul style="list-style-type: none"> • 網戸内障子使い (内障子全開)  <p>内障子はどの位置でもご使用いただけます。 内障子をあげる量で換気量を調整できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 網戸内障子使い (内障子半開) 	<ul style="list-style-type: none"> • 網戸外障子使い (外障子全開)  <p>外障子と網戸との間にすき間が生じる場合があります。 特に外障子半開の場合は、すき間が大きくなり虫が侵入しやすくなります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 網戸外障子使い (外障子半開) 
--	---	--	---

※大型ハンドル・サポートハンドル・サポート引手(単板)が取り付けられた窓の場合
外障子に引き残しが設定されるため、外障子を全開にすることができません。網戸内障子使いにて網戸をご使用ください。

※回転ストッパーが取り付けられた窓の場合
回転ストッパーをセットした状態では、外障子を全開にすることができません。
網戸内障子使いにてご使用いただくか、回転ストッパーを解除して網戸外障子使い(外障子全開)にてご使用ください。

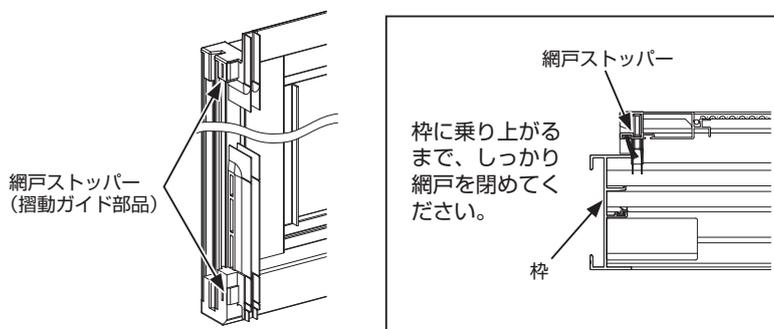
【引違い窓(4枚建)用網戸の使い方】

引違い窓(4枚建)の場合、網戸の位置は下図のいずれかとなります。
自走防止ストッパー取付位置をご確認いただき、適切な位置にて網戸をご使用ください。
内障子はどの位置でもご使用いただけます。内障子をあげる量で換気量を調整できます。

<ul style="list-style-type: none"> • 両たて枠に自走防止ストッパー取り付けの場合  <p>網戸は両たて枠へ引き分けてご使用ください。 外障子は全開にてご使用ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 中央部に自走防止ストッパー取り付けの場合  <p>網戸は中央部に引き寄せてご使用ください。 外障子は全閉にてご使用ください。</p>
---	--

【網戸の上手な使い方】

網戸をゆっくりと閉めると、網戸ストッパーにより網戸が一旦止まる場合があります。網戸ストッパーが枠に乗りあがるまで、しっかり網戸を閉めてください。閉まりきっていない場合、モヘアとたて枠の間にすき間ができます。



■ 網戸の共引き

虫の侵入を防ぐために、網戸に取り付けられている防虫部品(モヘア・網戸ストッパー)は外障子に接触していますので、外障子を動かすと網戸が動くことがあります。外障子に網戸が引きずられた場合は、網戸を閉めなおしてください。

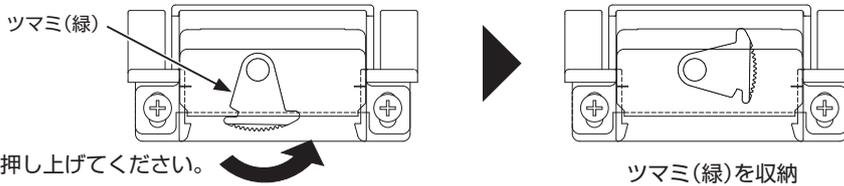


メンテナンス

[建込み方法]

- ① 上部はずれ止め部品のロック状態を示すツマミ（緑）が出ていないことを確認してください。
ツマミ（緑）が出ている場合は、指で右に押し上げてください。

（上部はずれ止め部品）



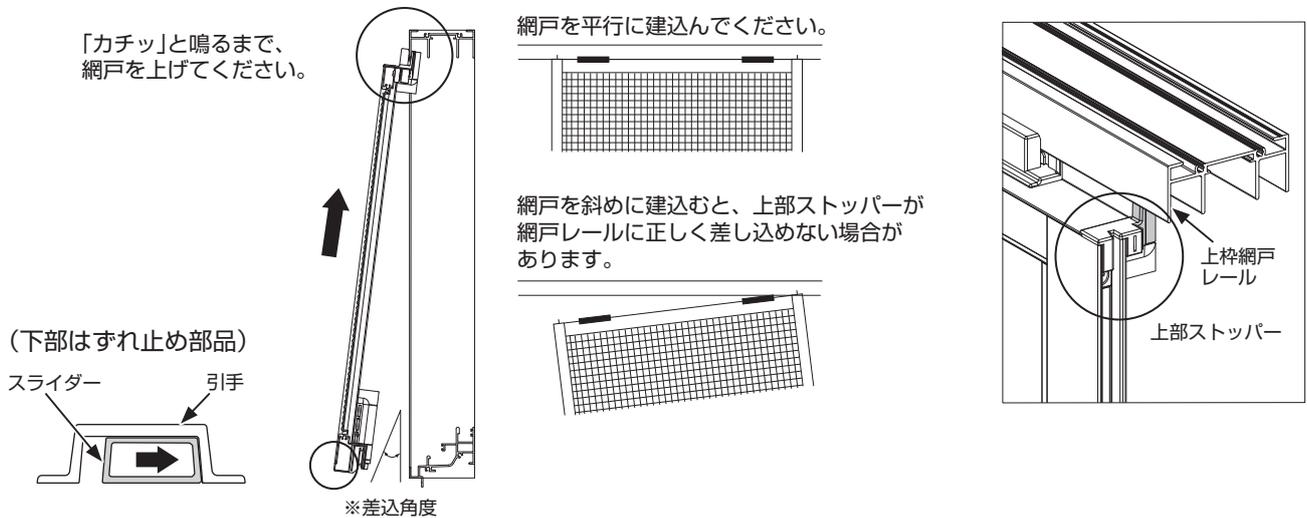
指で右に押し上げてください。

ツマミ(緑)を収納

- ② 下部はずれ止め部品のスライダを指で右にスライドし、スライダと引手のすき間をなくした状態で上部はずれ止め部品を上枠網戸レールへ差し込んでください。*

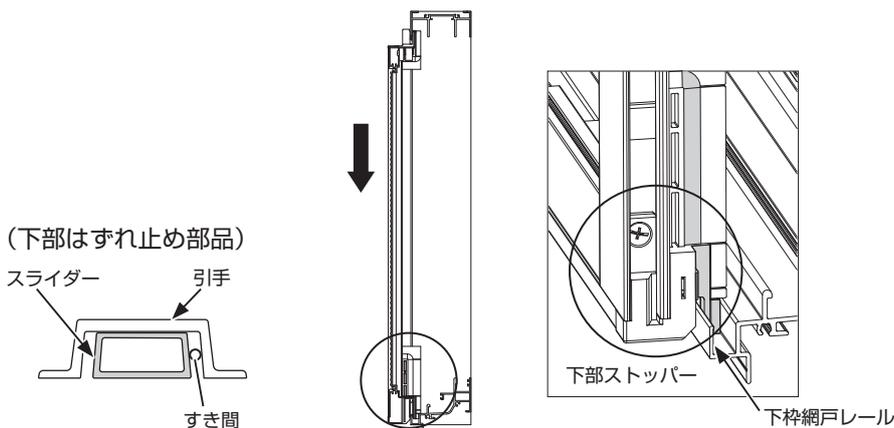
※ 差込角度を大きくとり、網戸を差し込んでください。

上部はずれ止め部品が「カチッ」（自動ロックがセットされる音）と鳴るまで、網戸を上げてください。



- ③ 網戸車を下枠網戸レールへのせてください。

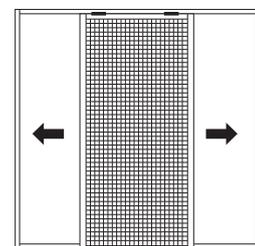
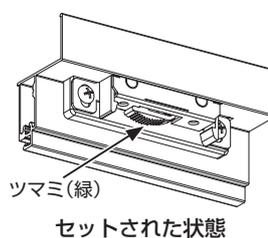
- ④ 下部ストッパーが網戸レールに差し込まれていること、および下部はずれ止め部品のスライダ右側と引手との間にすき間があることを確認してください。



- ⑤ 網戸を左右に動かし、正しく建込みが完了していることを確認してください。

②、③、④の建込み作業で自動的にロックが掛かり、上部はずれ止め部品にツマミ（緑）が見えていれば建込み完了です。

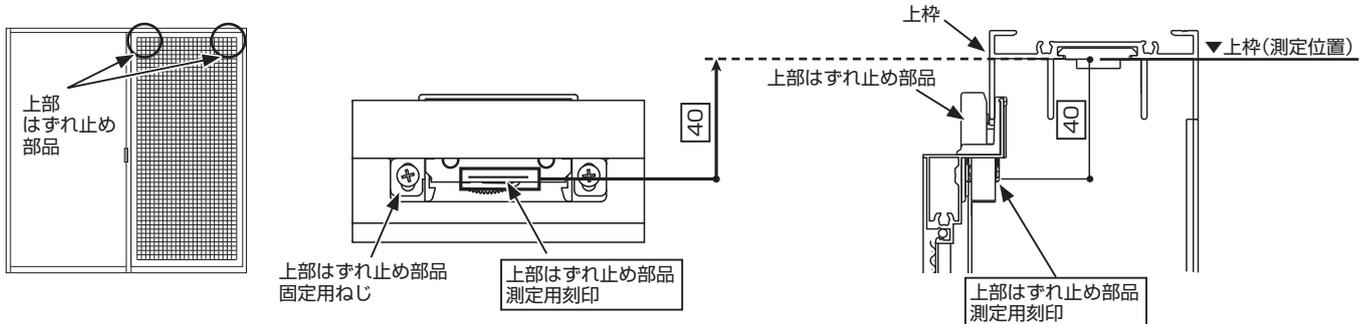
（上部はずれ止め部品）



【適正な上部はずれ止め部品位置(落下防止措置)】

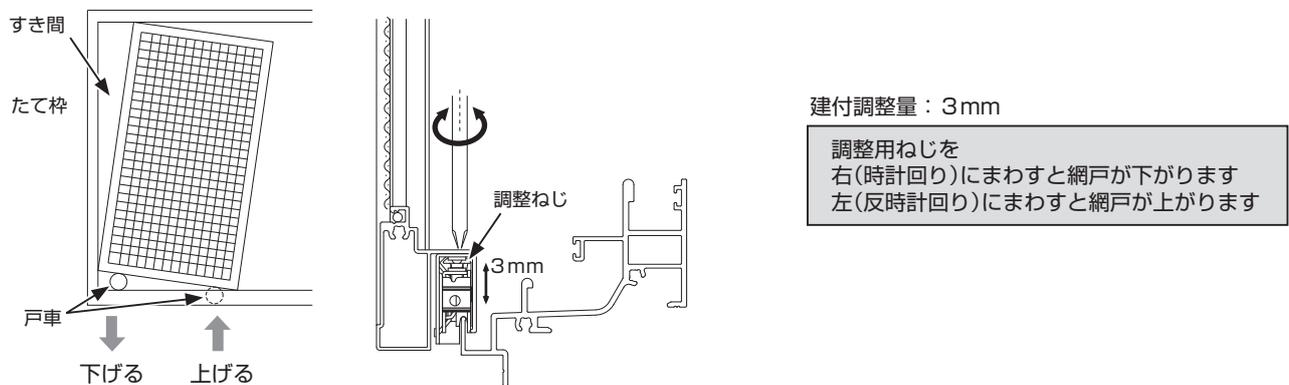
※ 建付調整が終わった後に上部はずれ止め部品位置を必ず確認ください。

- ① 上部はずれ止め部品の位置が正しい位置であるか確認ください。
上部はずれ止め部品測定用刻印が窓上枠より 40 mm 付近であることを確認ください。
- ② 上部はずれ止め部品測定用刻印位置が 40 mm 付近で無い場合や点検をご要望の場合には、専門業者にご相談ください。

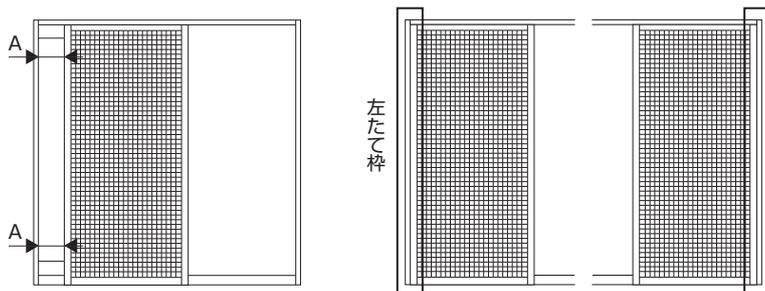


【建付調整】

- ① 左右の戸車調整用ねじをプラスドライバーで回し、網戸の建付調整をしてください。
戸車を上げての建付調整は左右のズレに対してのみ行い、最小限の調整としてください。

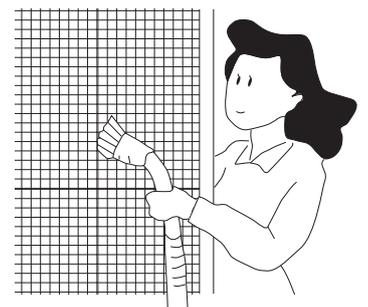


- ② 網戸を少し開いた状態で、上下のすき間 (A) が同じになるように調整します。
網戸を左右たて枠に移動し、すき間なく調整されていることをご確認ください。



【網戸の掃除】

- ① 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ② 網戸の掃除は、上部・下部はずれ止め部品を解除して網戸ははずしてください (網戸がはずれない場合は、上部はずれ止め固定用ねじをゆるめてください)。
庭やベランダでブラシなどで全体を軽くこすります。ゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ、軽く押さえるように洗ってください。このとき、力を入れすぎると網がはずれることがありますので、注意してください。
- ③ 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- ④ 網戸を取り付けたら、必ず上部・下部はずれ止め部品がセットされていることを確認してください。
- ⑤ 網戸を外に持ち出せない場合は、乾いた大きめのスポンジを網戸の裏側に当て、その部分をブラシの付いた吸い込み口を取り付けた電気掃除機で吸い取ってください。
- ⑥ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。



可動網戸

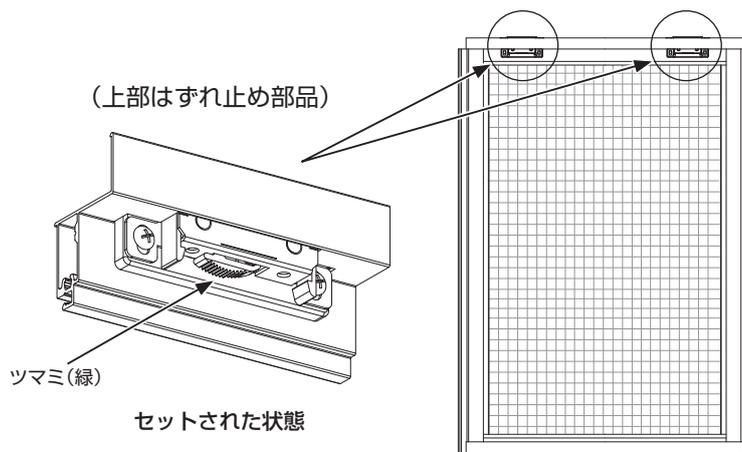
□ WS10E 型 (EXIMA 31 内外障子内はずし仕様、3・6 枚建 レールフラット下枠仕様、フラット下枠仕様) □ WS10 型

主要部材名称

可動網戸には、網戸の脱落を防止するはずれ止め部品が取り付けられています。はずれ止めが機能していないと強風時や開閉時に脱落するおそれがあります。

引渡し時には調整しておりますが、季節によって取りはずし、取り付けを行う場合は、網戸建込み後、必ずはずれ止めがセットされているか確認の上、お使いください。

網戸上部のはずれ止め部品は、緑色のツマミが見えていれば、セットされている状態です。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

△注意

- お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がはずれることがあります。定期的に点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

お願い

- 網戸はモヘアを障子に密着させることで、虫の侵入を防いでいます。そのため、網戸のモヘアにくせがついた場合は、防虫性が損なわれることがあります。モヘアにくせがついた場合は、②のように、手でモヘアを左右になでて、モヘアのくせを直してください。



①モヘアにくせが付いた状態

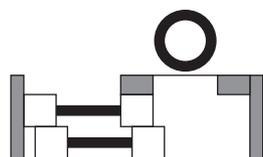
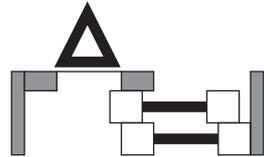
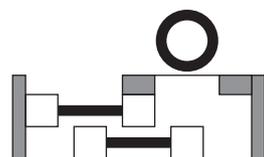
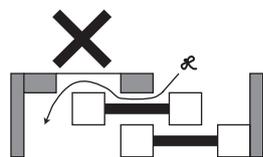


②手でモヘアを左右になでてください。

操作

網戸をご使用中でもまれに虫が侵入する場合があります。虫の種類や大きさによっては、完全に侵入を防ぐことはできませんが、網戸を正しくご使用いただくことにより効果的に虫の侵入を防ぐことができます。

【引違い窓(2枚建)用網戸の使い方】

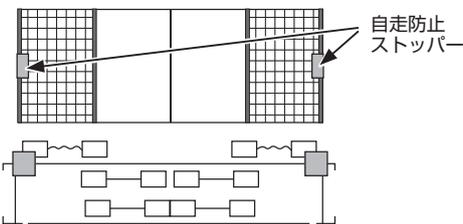
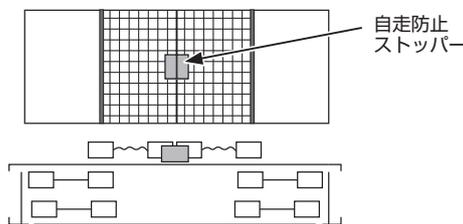
<ul style="list-style-type: none"> • 網戸内障子使い (内障子全開)  <p>内障子はどの位置でもご使用いただけます。 内障子をあげる量で換気量を調整できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 網戸外障子使い (外障子全開)  <p>外障子と網戸との間にすき間が生じる場合があります。 特に外障子半開の場合は、すき間が大きくなり虫が侵入しやすくなります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 網戸内障子使い (内障子半開) 	<ul style="list-style-type: none"> • 網戸外障子使い (外障子半開) 

※大型ハンドル・サポートハンドル・サポート引手(単板)が取り付けられた窓の場合
外障子に引き残しが設定されるため、外障子を全開にすることができません。網戸内障子使いにて網戸をご使用ください。

※回転ストッパーが取り付けられた窓の場合
回転ストッパーをセットした状態では、外障子を全開にすることができません。
網戸内障子使いにてご使用いただくか、回転ストッパーを解除して網戸外障子使い(外障子全開)にてご使用ください。

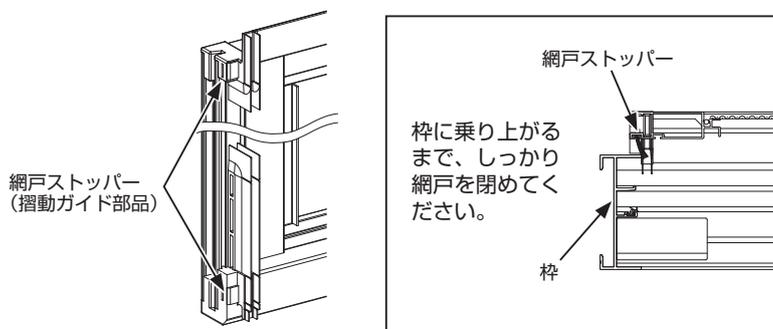
【引違い窓(4枚建)用網戸の使い方】

引違い窓(4枚建)の場合、網戸の位置は下図のいずれかとなります。
自走防止ストッパー取付位置をご確認いただき、適切な位置にて網戸をご使用ください。
内障子はどの位置でもご使用いただけます。内障子をあげる量で換気量を調整できます。

<ul style="list-style-type: none"> • 両たて枠に自走防止ストッパー取り付けの場合  <p>網戸は両たて枠へ引き分けてご使用ください。 外障子は全開にてご使用ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 中央部に自走防止ストッパー取り付けの場合  <p>網戸は中央部に引き寄せてご使用ください。 外障子は全閉にてご使用ください。</p>
---	--

【網戸の上手な使い方】

網戸をゆっくりと閉めると、網戸ストッパーにより網戸が一旦止まる場合があります。網戸ストッパーが枠に乗りあがるまで、しっかり網戸を閉めてください。閉まりきっていない場合、モヘアとたて枠の間にすき間ができます。



■網戸の共引き

虫の侵入を防ぐために、網戸に取り付けられている防虫部品(モヘア・網戸ストッパー)は外障子に接触していますので、外障子を動かすと網戸が動くことがあります。外障子に網戸が引きずられた場合は、網戸を閉めなおしてください。

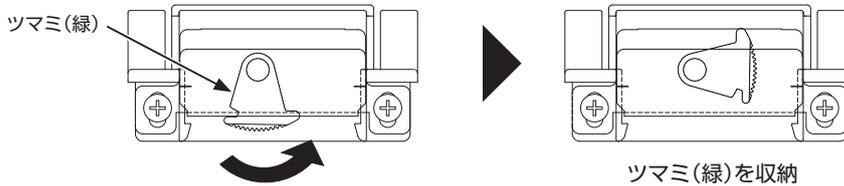


メンテナンス

[建込み方法]

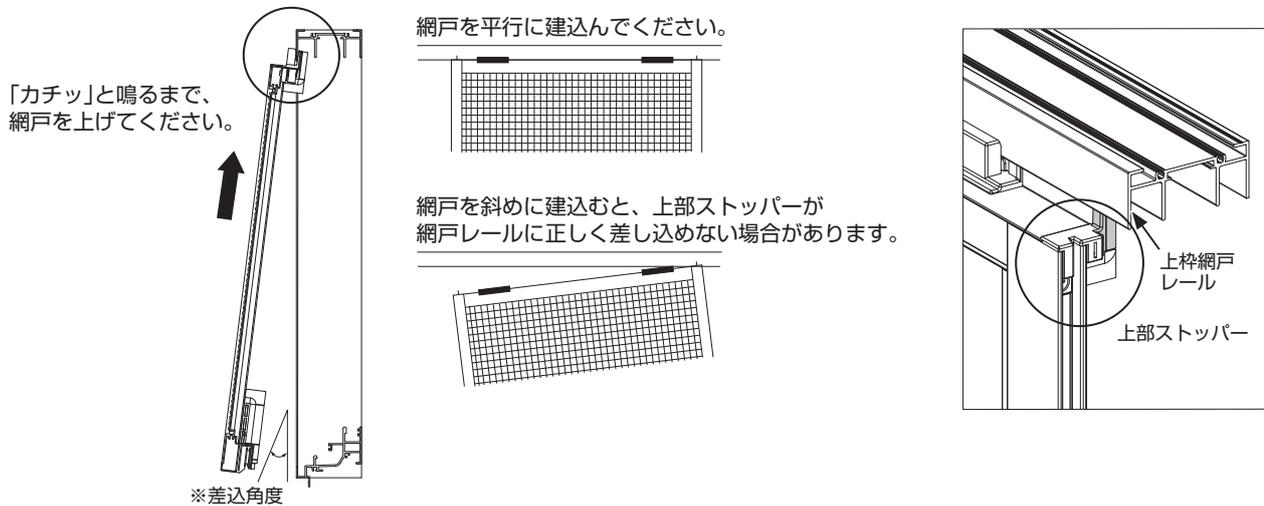
- ① 上部はずれ止め部品のロック状態を示すツマミ（緑）が出ていないことを確認してください。
ツマミ（緑）が出ている場合は、指で右に押し上げてください。

（上部はずれ止め部品）

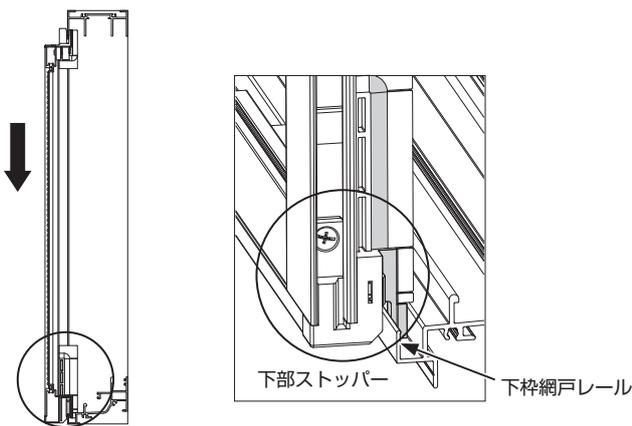


指で右に押し上げてください。

- ② 上部はずれ止め部品を上枠網戸レールへ差し込んでください。※
※ 差込角度を大きくとり、網戸を差し込んでください。
上部はずれ止め部品が「カチッ」（自動ロックがセットされる音）と鳴るまで、網戸を上げてください。

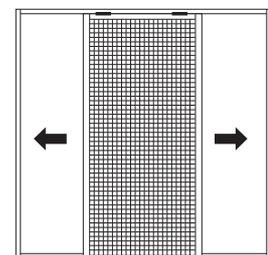
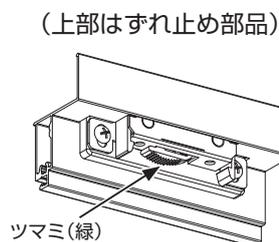


- ③ 網戸車を下枠網戸レールへのせてください。
④ 下部ストッパーが網戸レールに差し込まれていることを確認してください。



- ⑤ 網戸を左右に動かし、正しく建込みが完了していることを確認してください。

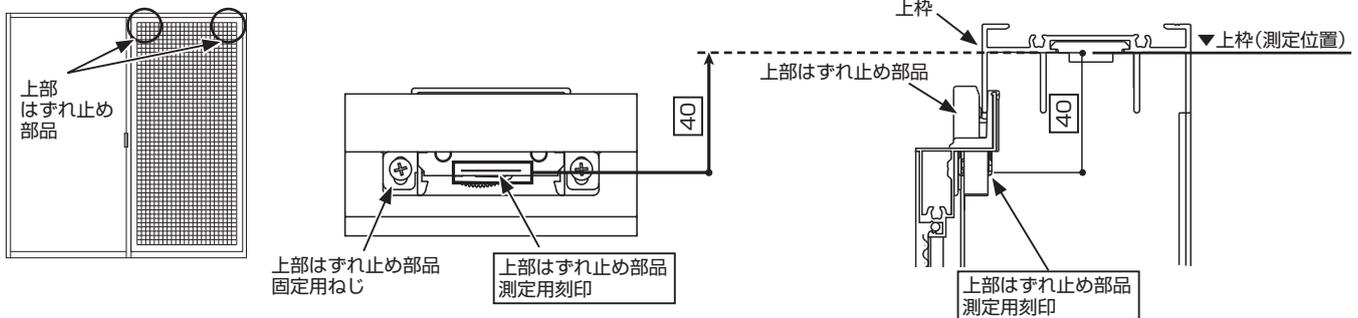
②、③、④の建込み作業で自動的にロックが掛かり、はずれ止め部品にツマミ（緑）が見えていれば建込み完了です。



【適正な上部はずれ止め部品位置(落下防止措置)】

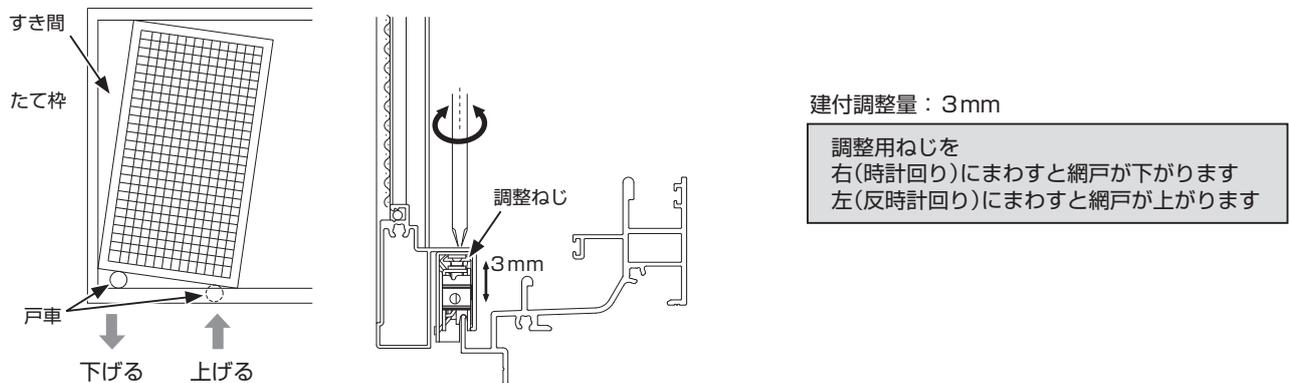
※ 建付調整が終わった後に上部はずれ止め部品位置を必ずご確認ください。

- ① 上部はずれ止め部品の位置が正しい位置であるかご確認ください。
上部はずれ止め部品測定用刻印が窓上枠より 40 mm 付近であることをご確認ください。
- ② 上部はずれ止め部品測定用刻印位置が 40 mm 付近で無い場合や点検をご要望の場合には、専門業者にご相談ください。

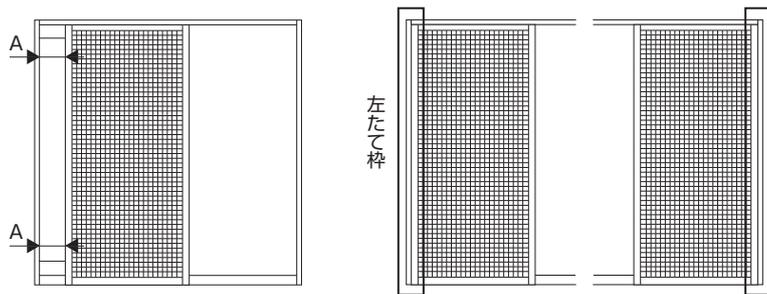


【建付調整】

- ① 左右の戸車調整用ねじをプラスドライバーで回し、網戸の建付調整をしてください。
戸車を上げての建付調整は左右のズレに対してのみ行い、最小限の調整としてください。

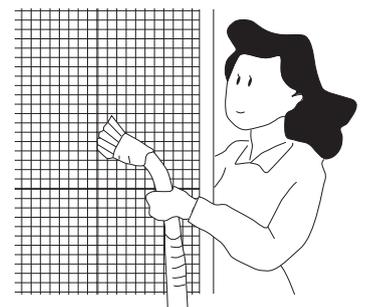


- ② 網戸を少し開いた状態で、上下のすき間 (A) が同じになるように調整します。
網戸を左右たて枠に移動し、すき間なく調整されていることをご確認ください。



【網戸の掃除】

- ① 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ② 網戸の掃除は、上部はずれ止め部品のツマミを右に押し上げ、はずれ止めを解除して網戸をはずしてください(網戸がはずれない場合は、上部はずれ止め固定用ねじをゆるめてください)。
庭やベランダでブラシなどで全体を軽くこすります。ゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ、軽く押さえるように洗ってください。このとき、力を入れすぎると網がはずれることがありますので、注意してください。
- ③ 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- ④ 網戸を取り付けたら、必ず上部はずれ止め部品がセットされているか確認してください。
- ⑤ 網戸を外に持ち出せない場合は、乾いた大きめのスポンジを網戸の裏側に当て、その部分をブラシの付いた吸い込み口を取り付けた電気掃除機で吸い取ってください。
- ⑥ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。

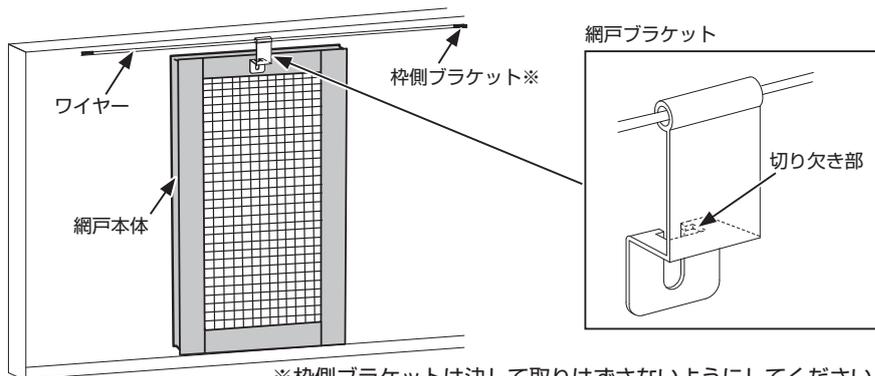


可動網戸 落下防止ワイヤー部品

□ WS10E 型 (EXIMA 31 用、EXIMA 31Wb 用)

主要部材名称

ワイヤーを通したブラケットを介して、上枠と可動網戸を連結する仕様です。枠から網戸がはずれた場合でも、網戸はワイヤーでつながれているため、落下を未然に防ぎます。



※枠側ブラケットは決して取りはずさないようにしてください。部品交換などが必要な場合には、専門業者にお任せください。

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

△注意

- ・ 網戸ブラケットを固定するねじをゆるめる際は、ねじを完全にはずさないようにしてください。
- ・ ブラケットを網戸からはずした際は、障子とブラケットが当たらないように、ブラケットをマスキングテープなどで枠に固定してください。(下図「網戸ブラケットをはずしたときの注意」をご参照ください。) ブラケットが枠に仮固定されないまま、障子进行操作すると障子がブラケットに当たり、網戸ブラケットや枠側ブラケットの破損・キズの原因となります。

お願い

- ・ ブラケット・ワイヤーなどの部品については定期的に点検を行ってください。点検時にブラケットの変形やワイヤーの破断などの異常を発見した場合には、速やかに最寄りの YKK AP 支店または取扱店までご連絡ください。
- ・ 網戸は吊り込んだままで網戸を清掃するなど、ブラケットは極力取りはずさないようお願いいたします。取りはずされる場合は、最寄りの YKK AP 支店または取扱店までご連絡いただき、専門業者への依頼をお勧めいたします。

メンテナンス

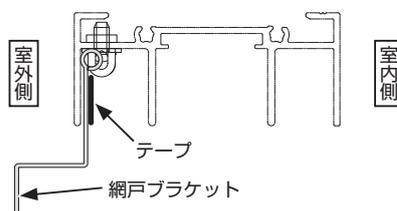
【網戸ブラケットの取りはずし方法】

必ず網戸ブラケットを先にはずしてから、網戸本体を取りはずしてください。
網戸本体の取りはずし方法は、網戸本体の取扱説明書の方法にしたがってください。

- ① ねじを5回転程ゆるめてください。
- ② 網戸本体から網戸ブラケットをはずしてください。網戸ブラケット上部切り欠き部よりねじ頭を通します。
- ③ ねじはなくなる様、ドライバーでしめておいてください。
- ④ 網戸本体をはずします。(網戸本体の建込み方法参照)

【網戸ブラケットをはずしたときの注意】

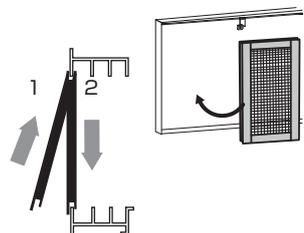
ブラケットを網戸からはずしたときは、必ずブラケットをマスキングテープなどで上枠に固定してください。



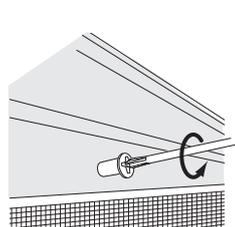
【網戸ブラケットの取り付け方法】

必ず網戸本体を取り付けた後に、網戸ブラケットを取り付けてください。
網戸本体を取り付けする際は、網戸取付け側へ網戸ブラケットを移動させてください。

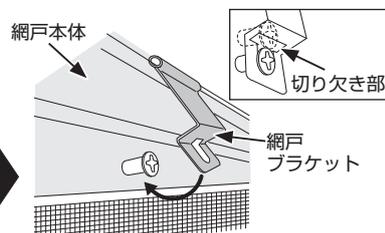
- ① 網戸本体を取り付けます。
(網戸本体の建込み方法参照)



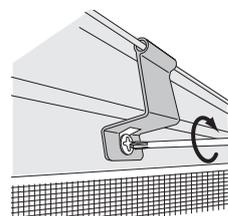
- ② 網戸ブラケットのねじを5回転程ゆるめてください。



- ③ 網戸ブラケット上部切り欠き部にねじ頭を通します。

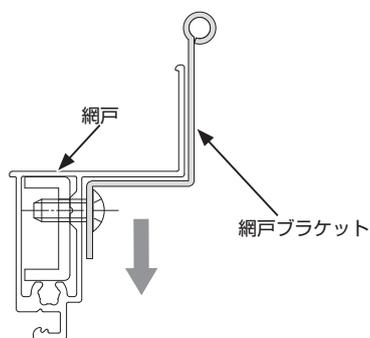


- ④ 網戸本体に網戸ブラケットを押し当てながら、ねじを締めてください。



【調整方法】

開閉操作時に上枠とブラケットが擦れる場合、
網戸ブラケットを下げて固定してください。



部品交換の目安

使用状況や使用環境によって条件が異なりますが、長期年数経過時(10年程度)には、ワイヤーやブラケットなどの部品交換をお願いします。交換工事のご依頼につきましては、当社営業窓口までご連絡ください。

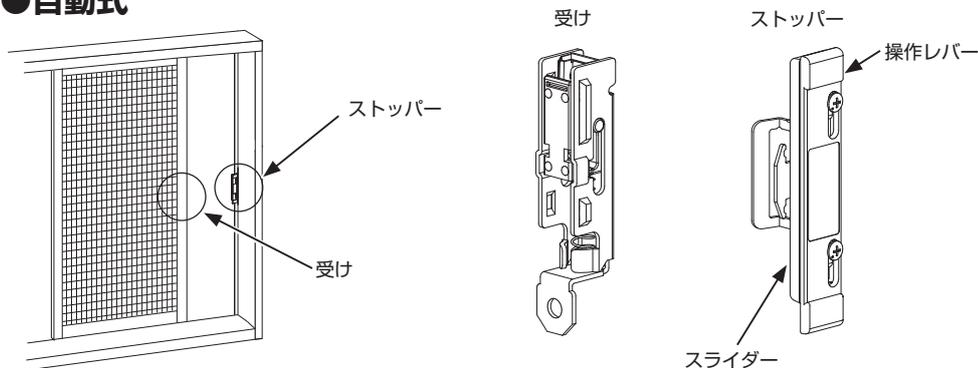
可動網戸 自走防止ストッパー

□ WS10E 型 (EXIMA 31 用、EXIMA 31Wb 用)

主要部材名称

可動網戸が、風であおられて動き出すことを防ぐ部品です。

●自動式

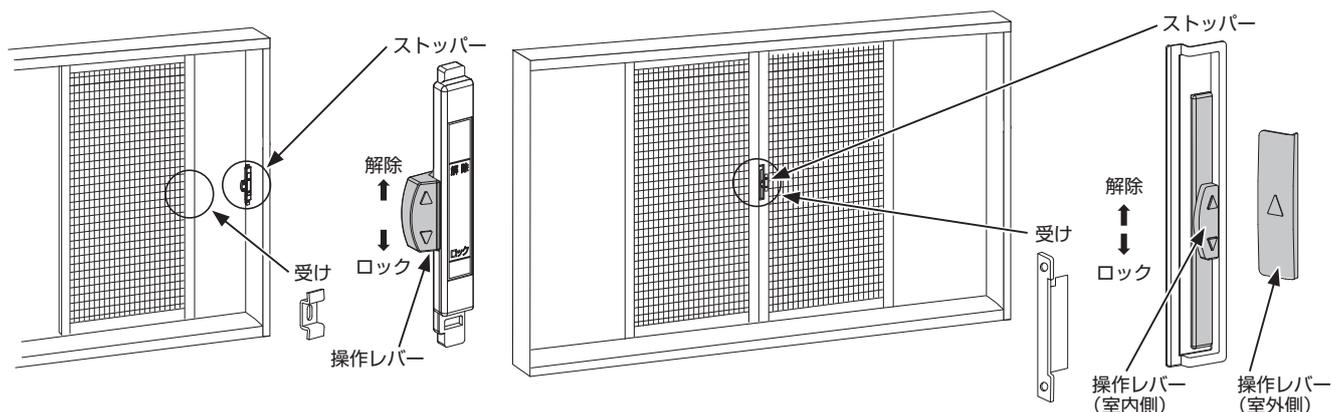


可動網戸先側の受けとたて枠側のストッパーで可動網戸を固定します。
可動網戸をたて枠側まで閉めると自動でロックがかかります。

●手動式

・戸先用

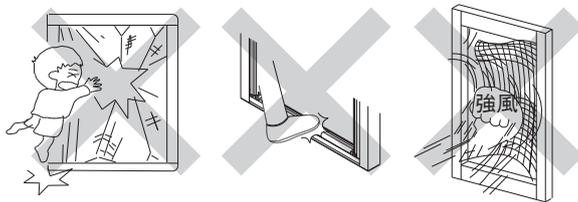
・突合せかまち用



- ・戸先用は、可動網戸先側の受けとたて枠側のストッパーで可動網戸を固定します。
手動でロック・解除の切り替えが行えます。
- ・突合せかまち用は、網戸突合せ部のストッパーで左右の網戸をつなぎ合わせ網戸を固定します。

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
- ・ネットへ直接寄りかかったり、押したりしないでください。
落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
- ・風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。



△注意

- ・網戸が風にあおられて動かないように必ずストッパーを掛けてください。
- ・手動式の解除操作は、操作レバーを上方向にカチッと音がするまでスライドさせてください。
レバー操作が不十分な場合、網戸を閉めた際に意図せずロックがかかり、室外に閉め出されるおそれがあります。

お願い

- ・ストッパー・受けなどの部品については定期的に点検を行なってください。点検時に破損などの異常を発見した場合には、速やかに最寄りの YKK AP 支店または取扱店までご連絡ください。
- ・風にあおられて網戸が動くことがないようにストッパーは常に施錠してください。
- ・ストッパー周囲の網戸モヘアはくせがつく場合があります。くせがついた場合は手で戻してご使用ください。

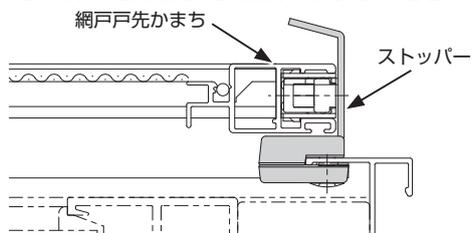
操作

●自動式

【施錠方法】

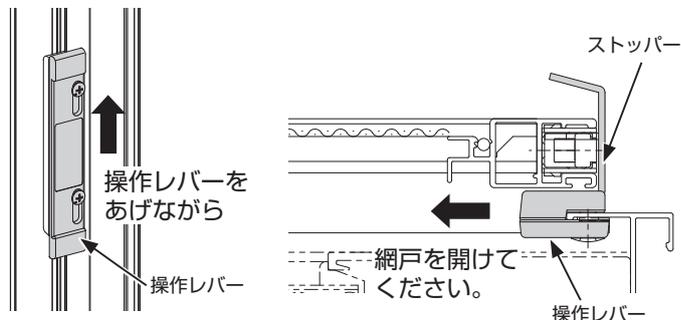
網戸を最後まで完全に閉めると、ストッパーのスライダーが受けに乗り上げ自動で施錠されます。

※ 下図のように網戸先かまちとストッパーが当たるまで、網戸を最後まで完全に閉めてください。



【解錠方法】

たて枠側のストッパーにある操作レバーを上へあげながら、網戸を開けてください。



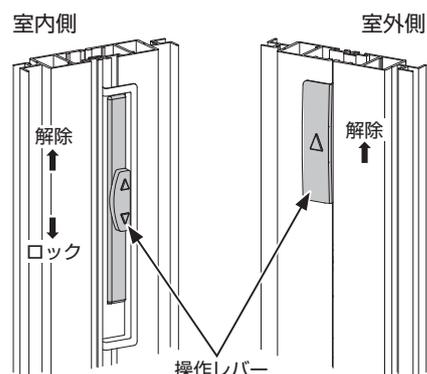
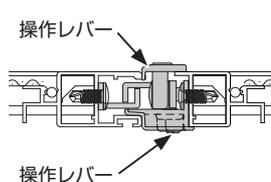
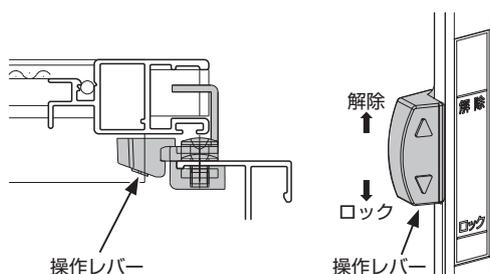
●手動式

【施錠・解除方法】

網戸を最後まで閉め切り、操作レバーをカチッと音がするまで下げるとロックがかかります。操作レバーをカチッと音がするまで上げるとロックが解除されます。

・戸先用

・突合せかまち用



メンテナンス

【網戸の掃除】

網戸の取り付け・取りはずしは、網戸本体の建込み方法を参照してください。

●自動式

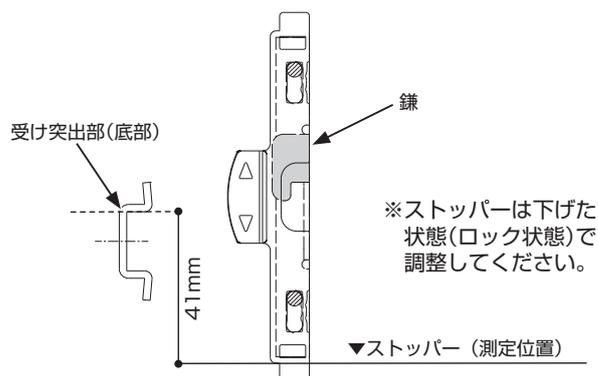
※ メンテナンス等で、網戸を取りはずしたり部品を取りはずしたりした場合は、再度元の位置に戻してください。

① ストッパーと受け部品を指で操作して、ロックがかかることを確認してください。

●手動式(戸先用)

※ メンテナンス等で、網戸を取りはずした後や受けのかけが十分ではなかった場合は、下記に従い必ず調整を行ってください。

- ① 網戸側受けの固定ねじをゆるめてください (ねじは受けが動く程度に少し緩める程度とし、ねじは取りはずさないでください)。
- ② たて枠側ストッパーと受けの距離が 41mm 程度になるよう受け位置を調整してください。
(41mm は目安の寸法です。受けと鎌がしっかりとかかるように調整してください)。



可動網戸 自走防止ストッパー

□ WS10 型

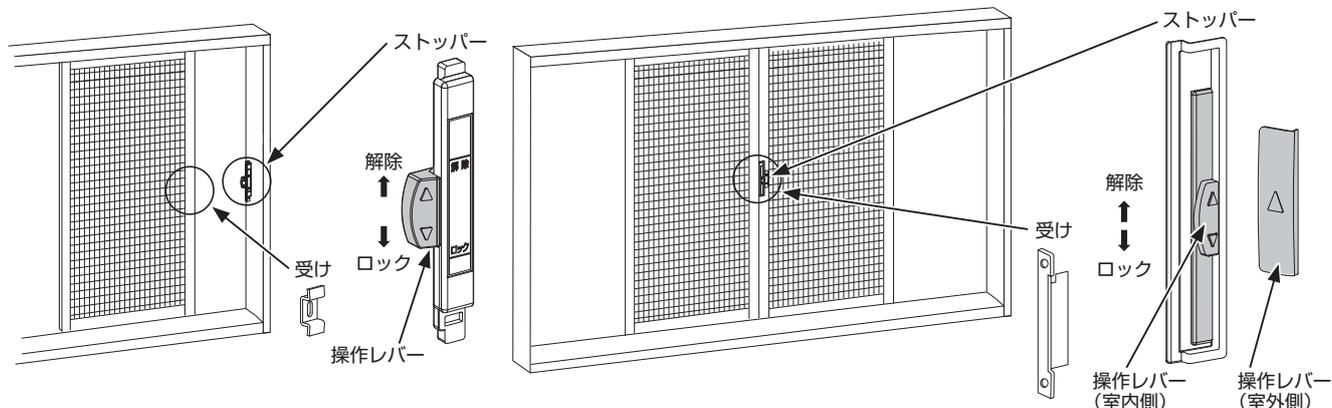
主要部材名称

可動網戸が、風であおられて動き出すことを防ぐ部品です。

●手動式

・戸先用

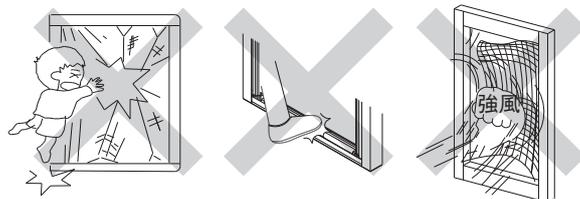
・突合せかまち用



- ・戸先用は、可動網戸戸先側の受けとたて枠側のストッパーで可動網戸を固定します。手動でロック・解除の切り替えが行えます。
- ・突合せかまち用は、網戸突き合せ部のストッパーで左右の網戸をつなぎ合わせ網戸を固定します。

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
- ・ネットへ直接寄りかかったり、押したりしないでください。落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
- ・風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。



△注意

- ・網戸が風にあおられて動かないように必ずストッパーを掛けてください。
- ・手動式の解除操作は、操作レバーを上方向にカチッと音がするまでスライドさせてください。レバー操作が不十分な場合、網戸を閉めた際に意図せずロックがかかり、室外に閉め出されるおそれがあります。

お願い

- ・ストッパー・受けなどの部品については定期的に点検を行なってください。点検時に破損などの異常を発見した場合には、速やかに最寄りの YKK AP 支店または取扱店までご連絡ください。
- ・風にあおられて網戸が動くことがないようにストッパーは常に施錠してください。
- ・ストッパー周囲の網戸モヘアはくせがつく場合があります。くせがついた場合は手で戻してご使用ください。

操作

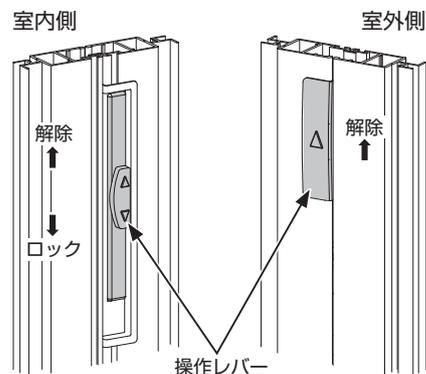
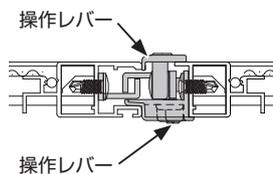
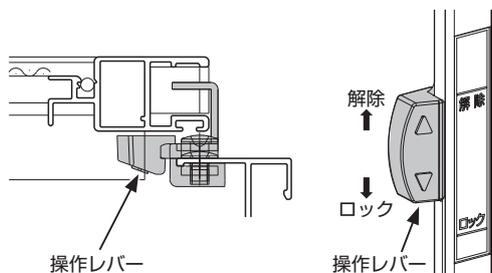
●手動式

【施錠・解除方法】

網戸を最後まで閉め切り、操作レバーをカチッと音がするまで下げるとロックがかかります。
操作レバーをカチッと音がするまで上げるとロックが解除されます。

・戸先用

・突合せかまち用



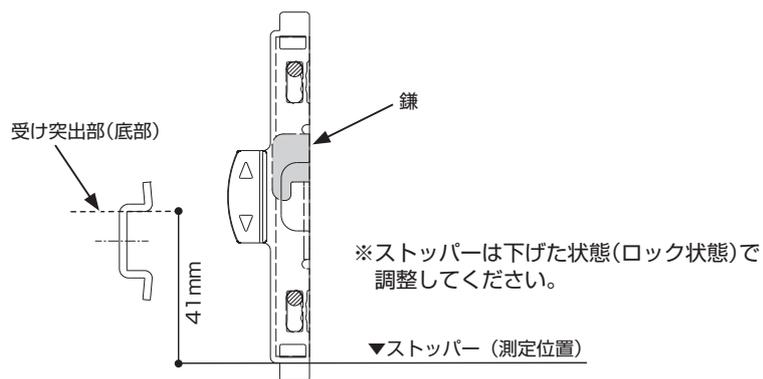
メンテナンス

【網戸の掃除】 網戸の取り付け・取りはずしは、網戸本体の建込み方法を参照してください。

●手動式(戸先用)

※ メンテナンス等で、網戸を取りはずした後や受けのかけが十分ではなかった場合は、下記に従い必ず調整を行なってください。

- ① 網戸側受けの固定ねじをゆるめてください（ねじは受けが動く程度に少し緩める程度とし、ねじは取りはずさないでください）。
- ② たて枠側ストッパーと受けの距離が41mm程度になるよう受け位置を調整してください。（41mmは目安の寸法です。受けと鎌がしっかりとかかるように調整してください。）

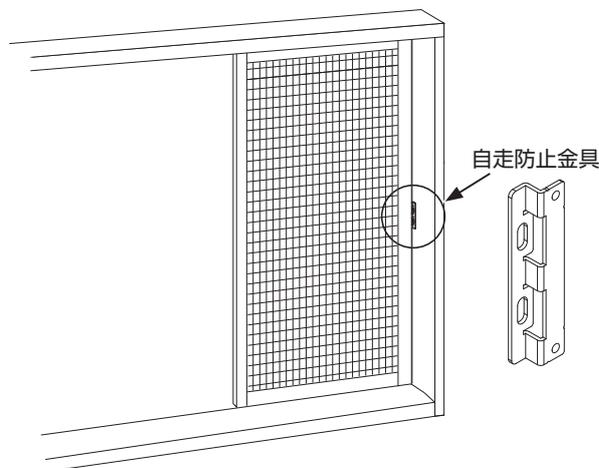


可動網戸 自走防止金具

□ WS10E 型 (EXIMA 31 用) □ WS10 型

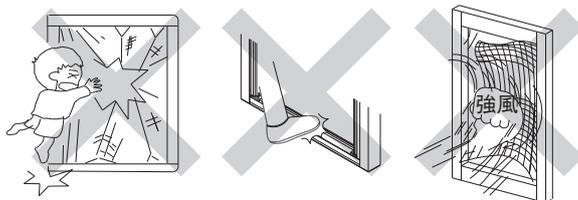
主要部材名称

可動網戸が、風であおられて動き出すことを防ぐ部品です。
可動網戸(戸先側)とたて枠を自走防止金具で固定する部品です。
常時固定式の部品で網戸の可動操作は行えません。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
- ・ ネットへ直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。
落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
- ・ 風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。



⚠注意

- ・ 網戸が風にあおられて動かないように自走防止金具は取りはずさないでください。
- ・ 網戸の清掃等日々のお手入れは自走防止金具を取りはずさずに網戸を吊り込んだままで行ってください。
- ・ 網戸交換時など自走防止金具を取りはずす必要がある場合には、専門業者まで作業をご依頼ください。
- ・ 自走防止部品の取り付け取りはずしには、手回しドライバーをお使いください。電動ドライバーは使用しないでください。

🙏お願い

- ・ 自走防止金具やねじについては定期的に点検を行ってください。点検時に破損などの異常を発見した場合には、速やかに最寄りの YKK AP 支店または取扱店までご連絡ください。
- ・ 風にあおられて網戸が動くことがないように自走防止金具は取りはずさずに取り付けした状態のままとしてください。

操作

可動網戸を片側に常時固定しておく部品のため、網戸の可動操作は行えません。

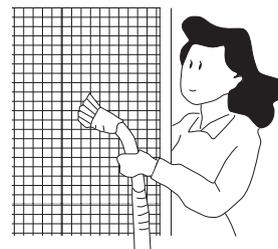
メンテナンス

【網戸の掃除】

日々のお手入れは自走防止金具を取りはずさずに網戸を吊り込んだままで行ってください。

【網戸の交換】

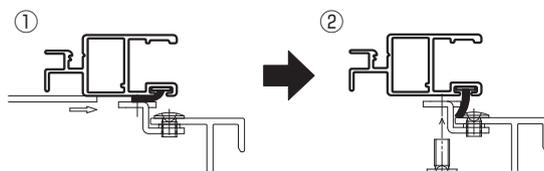
自走防止金具を取りはずす必要がある場合には、専門業者まで作業をご依頼ください。
自走防止金具の取り付け取りはずしには、手回しドライバーをお使いください。
電動ドライバーは使用しないでください。



【モヘア倒れの修正】

網戸を吊り込む際、下図のようにモヘアが倒れた状態になった場合には、

- ① 網戸と金具との間に直尺のような薄い板状のものを差し込みモヘアを押し込み
- ② モヘアの倒れを手直し後、ねじ固定してください。

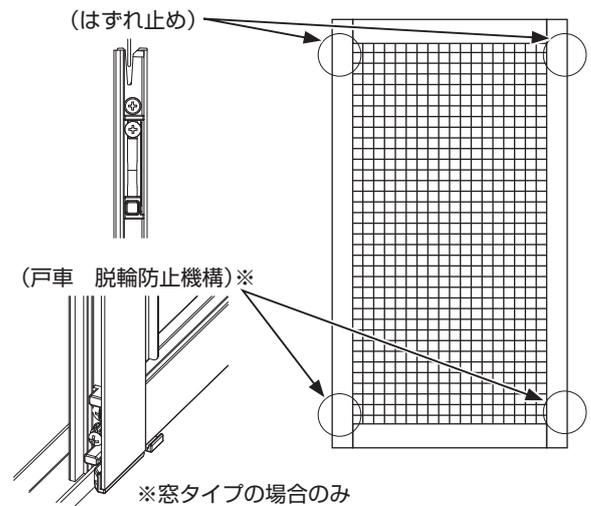


室内付可動網戸

□ WS11 型

主要部材名称

可動網戸には、網戸の脱落を防止するはずれ止めと脱輪防止機構が取り付けられています。はずれ止めと脱輪防止機構が機能していないと強風時や開閉時に脱落するおそれがあります。引渡し時には調整しておりますが、季節によって取りはずし、取り付けを行う場合は、網戸建込み後、必ずはずれ止めと脱輪防止機構がセットされているかご確認の上、お使いください。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

△注意

- お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がはずれることがあります。定期的に点検してください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸がレール枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

お願い

- 網戸はモヘアを障子に密着させることで、虫の侵入を防いでいます。そのため、網戸のモヘアにくせがついた場合は、防虫性が損なわれることがあります。モヘアにくせがついた場合は、手でモヘアを左右になでて、モヘアのくせを直してください。

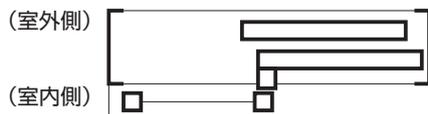
操作

網戸をご使用中でもまれに虫が侵入する場合があります。虫の種類や大きさによっては、完全に侵入を防ぐことはできませんが、網戸を正しくご使用いただくことにより効果的に虫の侵入を防ぐことができます。

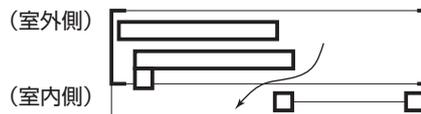
【引違い窓用網戸の使い方】

●2枚建の場合

○：外障子側使い 対応可



×：内障子側使い 対応不可

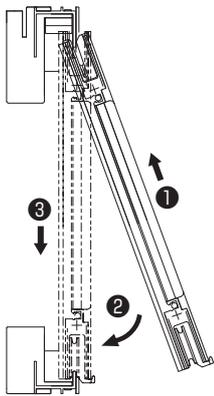


▬：障子
□：網戸

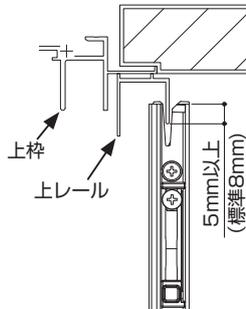
※障子Aタイプの場合のみ対応可

メンテナンス

〈吊込み〉

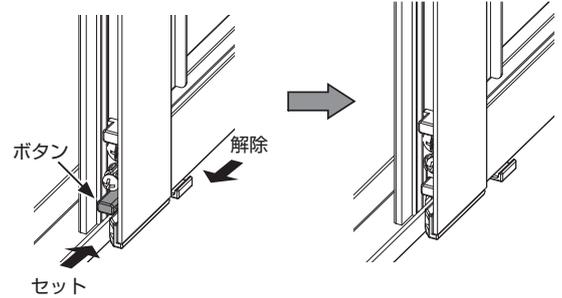


網戸吊込み後、上部かかり代寸法(5mm以上)を確認してください。建付調整前に行ってください。



〈戸車セット〉

戸車のボタンを押込み、脱輪防止機構を機能させてください。

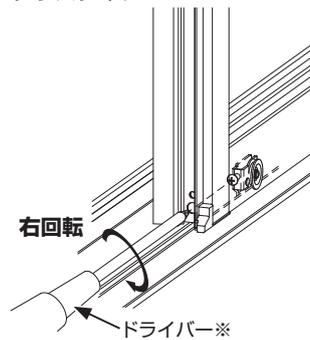
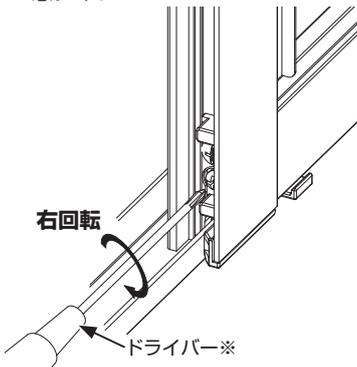


〈建付調整〉

建付調整は、戸車の高さを調整することで行えます。右回転(時計方向) …3mmまで上がる

<窓タイプ>

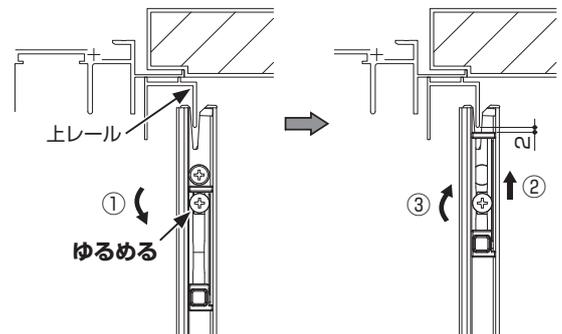
<テラスタイプ>



※ 電動ドライバーは使わないでください。

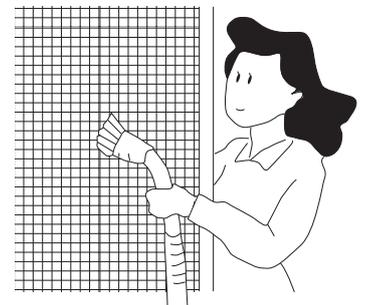
〈はずれ止めセット〉

- ① 建付調整後、摺動片の下側のねじをゆるめ、はずれ止めを引下げてください。
- ② 上レールから 2mm 程度離れたところまで引上げてください。
- ③ ねじを再び締めてください。



〔網戸の掃除〕

- ① 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ② 網戸の掃除は、上部はずれ止めと脱輪防止機構を解除し網戸をはずしてください。庭やベランダでブラシなどで全体を軽くこすります。ゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ、軽く押さえるように洗ってください。このとき、力を入れすぎると網がはずれることがありますので、注意してください。
- ③ 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- ④ 網戸を取り付けたら、必ず上部はずれ止めと脱輪防止機構をセットしてください。
- ⑤ 網戸を外に持ち出せない場合は、乾いた大きめのスポンジを網戸の裏側に当て、その部分をブラシの付いた吸い込み口を取り付けた電気掃除機で吸い取ってください。

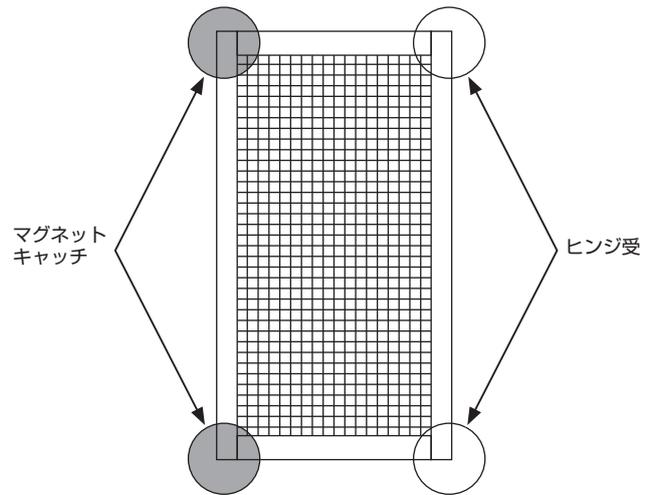


開き網戸

□ WS21 型

主要部材名称

片開きタイプの網戸です。部屋内側に網戸が開きます。
マグネットにて閉鎖保持されています。



主要部品

- マグネットキャッチ
- ヒンジ受け

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

△注意

- ネットに寄りかかったり、押したりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故につながります。

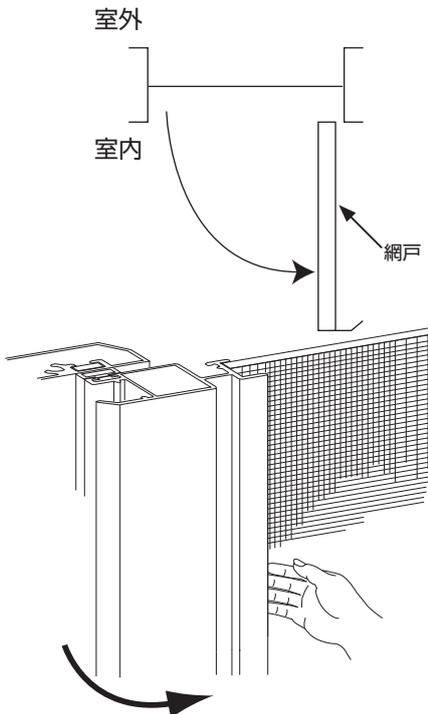
メンテナンス

■網戸の掃除

- ① 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ② 網戸の掃除をする場合は、室内側からハタキなどでゴミやホコリを落としてから水で濡らした雑巾で拭いてください。汚れのひどい場合には、中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを落としてから乾いた布で拭きとってください。このとき力をいれすぎると網がはずれることがありますのでご注意ください。
- ③ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。

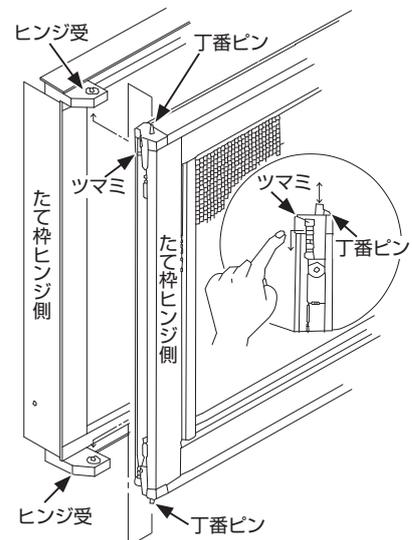
■操作方法

網戸先枠引手を持ち、内側に引きます。
マグネットが外れ、網戸が部屋内側に開きます。



■網戸はずし方・吊込み方

- はずし方
たて枠ヒンジ受側のツマミを下げます。
丁番ピンが引っ込み、網戸をはずすことができます。
- 取付け方
ツマミを下げた状態で、たて枠のヒンジ受けに丁番ピンをはめ込んでください。



固定網戸 内倒し窓用

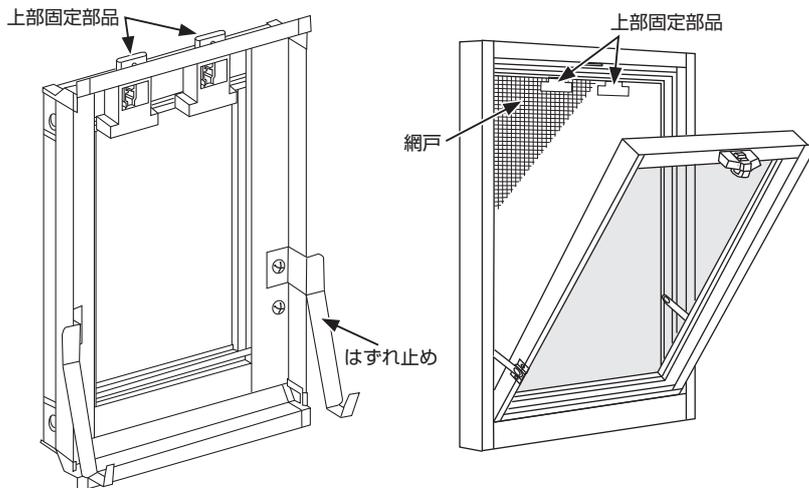
□ WS40 型 (EXIMA 31 用) □ WS40 型 (EXIMA 51 用) □ WS40 型 (EXIMA 32 用)

主要部材名称

内倒し窓に取り付けられる固定網戸です。

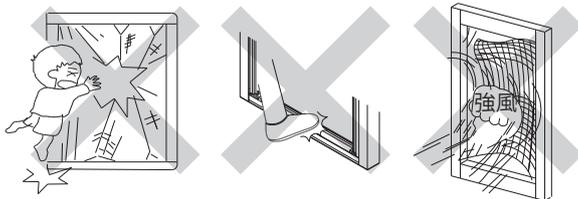
主要部品

- 上部固定部品
- はずれ止め



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
- ネットへ直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
- 風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。
- 網戸は通常取り付けられた状態のままでご使用ください。
- 網戸の掃除が必要な場合は下記メンテナンス方法を確認の上、十分に注意して作業を行ってください。下記メンテナンス方法以外で作業をされると網戸が落下するおそれがあります。



⚠注意

- ネットに寄りかかったり、押ししたりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故につながります。

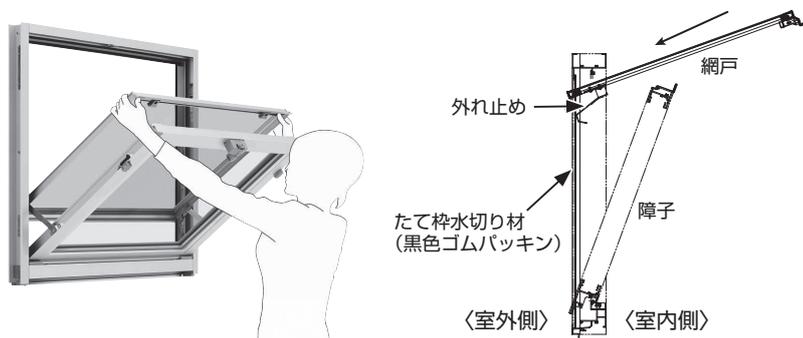
メンテナンス

【網戸の掃除】

- ① 網戸の掃除が必要な場合は上記方法を確認の上、網戸が落下しないように十分に注意して作業を行ってください。
- ② 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ③ 網戸の掃除をする場合は、室内側からハタキなどでゴミやホコリを落としてから水で濡らした雑巾で拭いてください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを落としてから乾いた布で拭きとってください。このとき力を入れすぎると網がはずれることがありますので、ご注意ください。
- ④ 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- ⑤ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。

【固定網戸の取り付け方法】

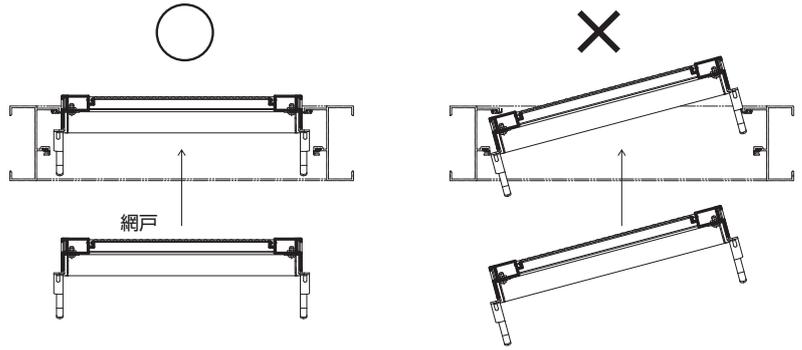
- ① 網戸を図のように差し入れます。



貼付ラベルイメージ

取付け方	① 網戸下部の金具を枠にあてる	④ 固定	↑ カチッ
	② 枠にそって、網戸を下げる		
	③ 網戸をゆっくり起こす		

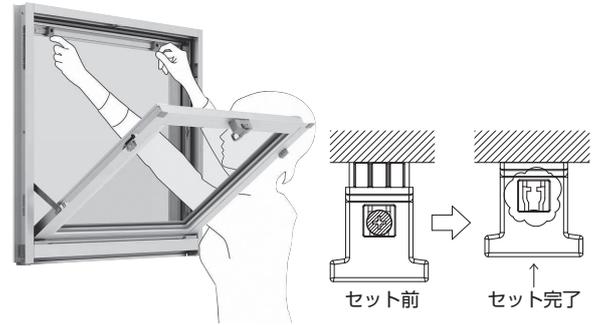
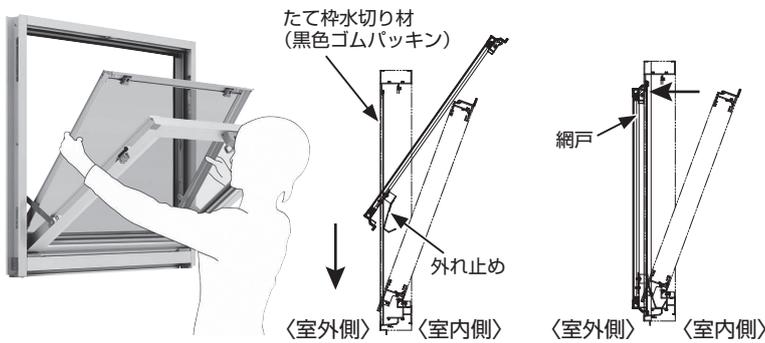
※ 網戸はサッシ枠と平行になるように真っ直ぐ挿入してください。斜めに挿入しますとはずれ止めがかかりません。



② はずれ止めをガイドとして、たて枠水切り材（黒色ゴムパッキン）にあてながら、網戸下方に下ろします。

③ 網戸を下部まで下ろしたら、網戸の上かまちを室外側方向に押し込みます。

④ 上部固定部品を上へ上げて取り付け完了です。



※正しくセットされると図のように内観からねじの頭が見えなくなります。

【固定網戸の取りはずし方法】

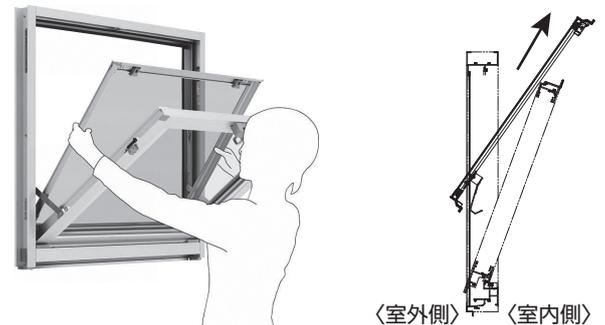
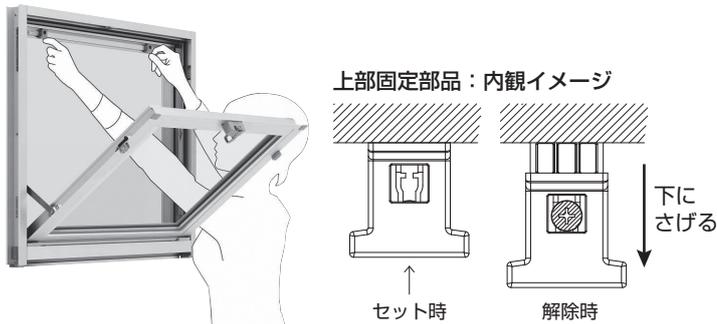
貼付ラベルイメージ



① 障子を開放します。

② 網戸上部の固定部品を解除します。

③ 網戸上部の固定部品を持ち、網戸を手前に引き出します。

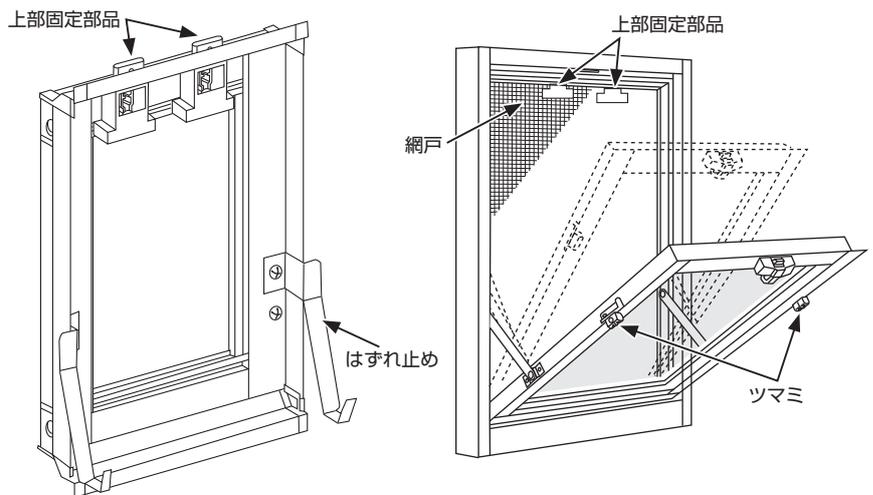


固定網戸 内倒し窓用 [2段階オープン仕様]

□ WS40 型 (EXIMA 31 用) □ WS40 型 (EXIMA 51 用) □ WS40 型 (EXIMA 32 用)

主要部材名称

内倒し窓に取り付けられる固定網戸です。



主要部品

- ・ 上部固定部品
- ・ はずれ止め

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ 網戸は通常取り付けられた状態のままでご使用ください。
- ・ 網戸の掃除が必要な場合は下記メンテナンス方法を確認の上、十分に注意して作業を行ってください。下記メンテナンス方法以外で作業をされると網戸が落下するおそれがあります。

⚠ 注意

- ・ ネットに寄りかかったり、押ししたりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故につながります。

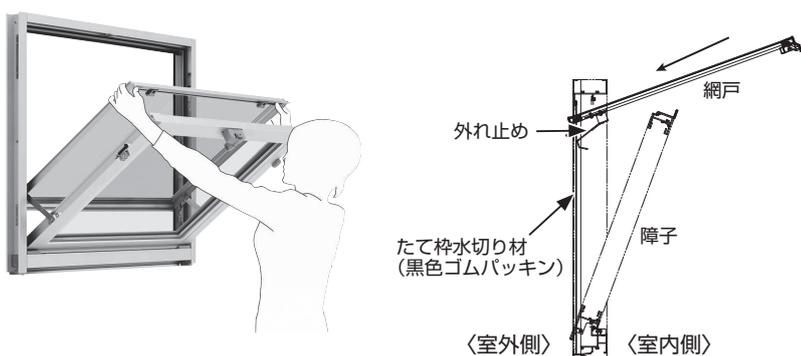
メンテナンス

■ 網戸の掃除

- ① 網戸の掃除が必要な場合は上記方法を確認の上、網戸が落下しないように十分に注意して作業を行ってください。
- ② 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ③ 網戸の掃除をする場合は、室内側からハタキなどでゴミやホコリを落としてから水で濡らした雑巾で拭いてください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを落としてから乾いた布で拭きとってください。このとき力を入れすぎると網がはずれることがありますので、ご注意ください。
- ④ 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- ⑤ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。

■ 固定網戸の取り付け方法

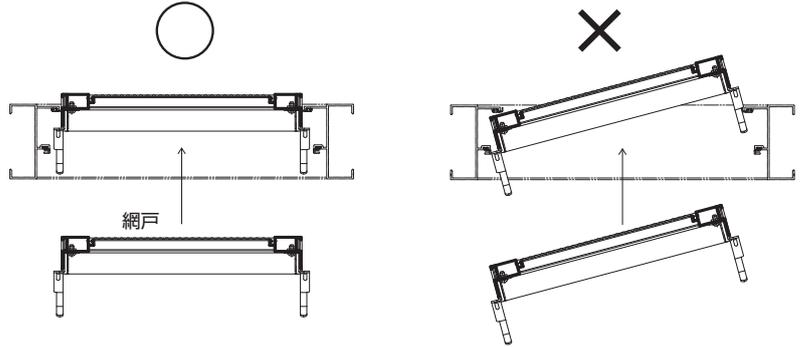
- ① 網戸を図のように差し入れます。



貼付ラベルイメージ

取 付 け 方	① 網戸下部の金具を枠にあてる	④ 固定 ↑ メ カ チ ツ
	② 枠にそって、網戸を下げる	
	③ 網戸をゆっくり起こす	

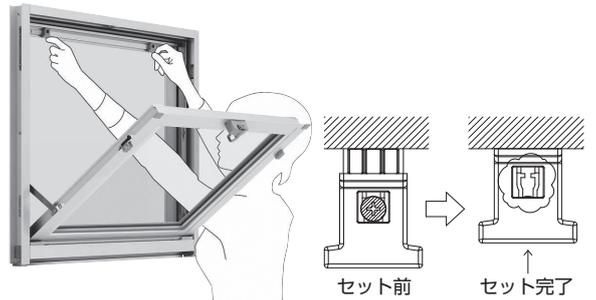
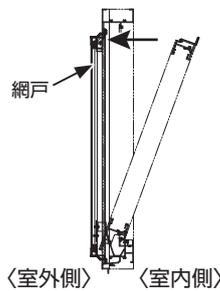
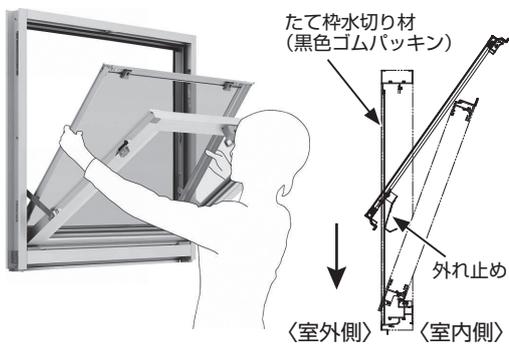
※ 網戸はサッシ枠と平行になるように真っ直ぐ挿入してください。
斜めに挿入しますとはずれ止めがかかりません。



② はずれ止めをガイドとして、たて枠水切り材（黒色ゴムパッキン）にあてながら、網戸下方に下ろします。

③ 網戸を下部まで下ろしたら、網戸の上かまちを室外側方向に押し込みます。

④ 上部固定部品を上へ上げて取り付け完了です。



※ 正しくセットされると図のように内観からねじの頭が見えなくなります。

■ 固定網戸の取りはずし方法

- 掃除する角度まで障子を開放します。
 - 障子が閉じた状態で障子左右にあるツマミをそれぞれ押し下げます（カチッと音がするまで、下向きに押ししてください）。
 - 上記の操作後、障子を開くと、障子が開放（約60°）します。障子は手前に大きく倒れますので、開放時は注意してください。

② 網戸上部の固定部品を解除します。

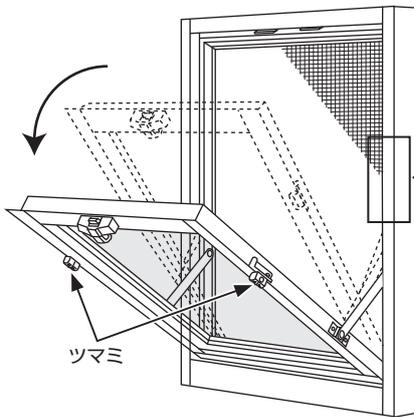
貼付ラベルイメージ



障子開放時

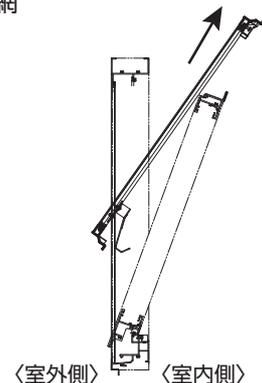
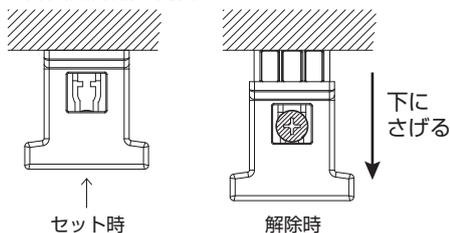


貼付ラベルイメージ



③ 網戸上部の固定部品を持ち、網戸を手前に引き出します。

上部固定部品：内観イメージ

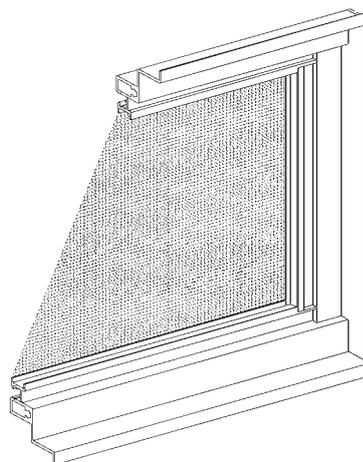
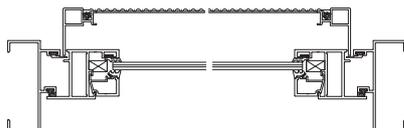
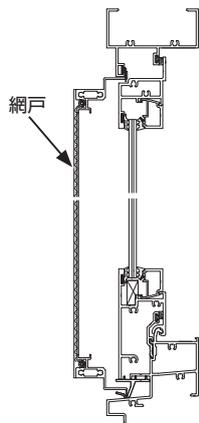


固定網戸 内倒し窓用

□ R's 70Tbf

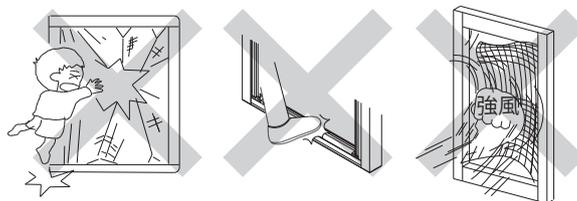
主要部材名称

内倒し窓に取り付けられる固定網戸です。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
- ネットへ直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。
- 落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
- 風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。



⚠注意

- ネットに寄りかかったり、押ししたりしないでください。
網戸のはずれ、落下、転落事故につながります。

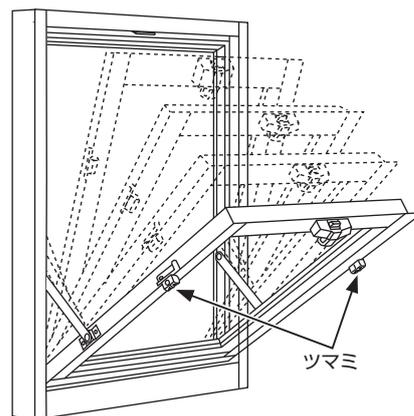
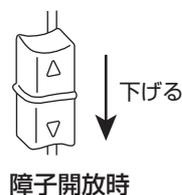
メンテナンス

【網戸の掃除】

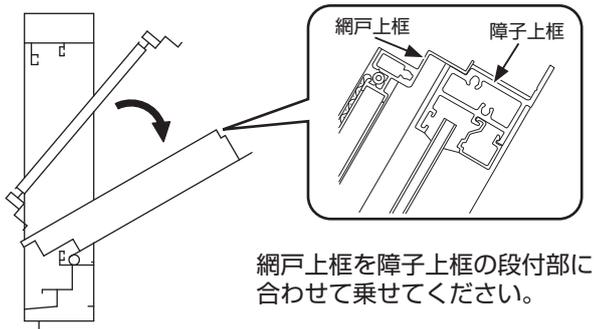
- ① 網戸は通常取り付けられた状態のままご使用ください。
- ② 網戸の掃除が必要な場合は上記方法を確認の上、網戸が落下しないように十分に注意して作業を行ってください。
- ③ 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ④ 網戸の掃除をする場合は、室内側からハタキなどでゴミやホコリを落としてから水で濡らした雑巾で拭いてください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを落としてから乾いた布で拭きとってください。このとき力を入れすぎると網がはずれることがありますので、ご注意ください。
- ⑤ 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- ⑥ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。

【固定網戸の取り付け方法】

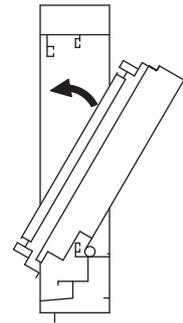
- ① 障子を内側に開きます。
 - 障子が閉じた状態で障子左右にあるツマミをそれぞれ押し下げます（カチッと音がするまで、下向きに押ししてください）。
 - 上記の操作後、障子を開くと、障子が開放（約 60°）します。
障子は手前に大きく倒れますので、開放時は注意してください。



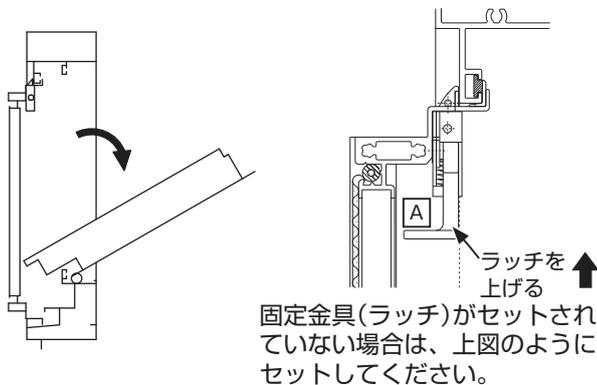
② 障子上框に網戸上框を乗せ、網戸上框を障子上框に合わせます。



③ 網戸と障子をpushしながら、障子を閉じます。



④ もう一度障子を開き網戸の固定金具（ラッチ）がセットされているか、また下枠の網戸受け金具にしっかり網戸が納まっているかをご確認ください。

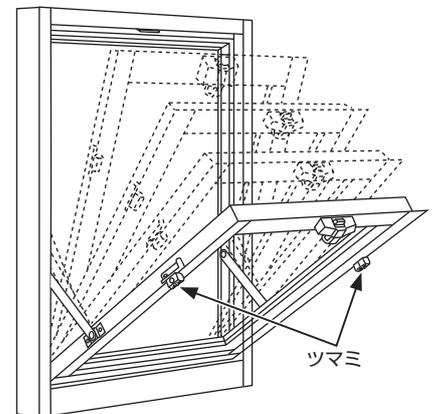
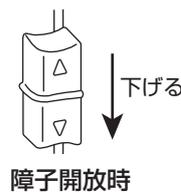


• 網戸は通常取り付けられた状態のままご使用ください。
 • 網戸の掃除が必要な場合は、上記方法をご確認の上、十分に注意して作業を行ってください。
 上記方法以外で作業をされると網戸が落下する恐れがあります。

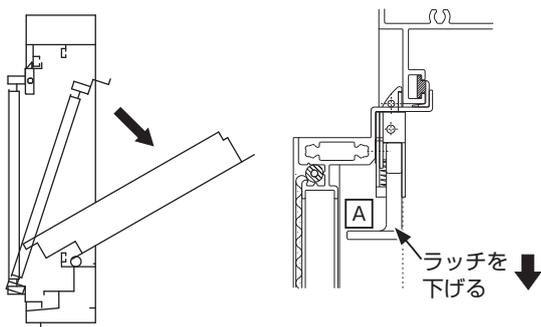
【固定網戸の取りはずし方法】

① 障子を掃除する角度まで開放します。

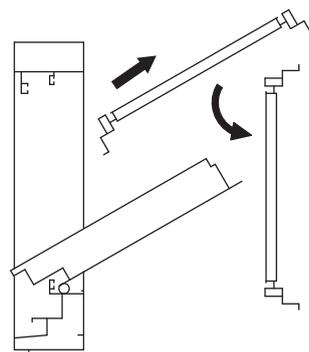
- 障子が閉じた状態で障子左右にあるツマミをそれぞれ押し下げます（カチッと音がするまで、下向きに押ししてください）。
- 上記の操作後、障子を開くと、障子が開放（約 60°）します。障子は手前に大きく倒れますので、開放時は注意してください。



② 網戸上部の固定金具（ラッチ）を持ち、下に下げながら網戸を手前に引き寄せます。



③ 網戸を室内側に引き入れます。網戸を引き入れるまで、手を離さないように作業してください。

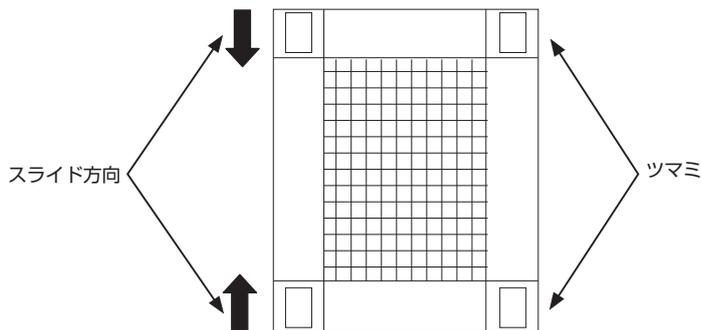
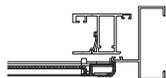
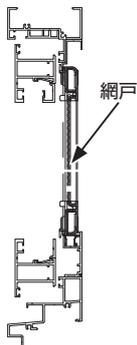


固定網戸 たてすべり出し窓用

- WS41 型 (EXIMA 31 用) □ WS41 型 (EXIMA 51 用) □ WS41 型 (EXIMA 32 用)
- WS41 型 (R's 70Tbf 用)

主要部材名称

たてすべり出し窓に付けられる固定網戸です。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。ネットへ直接寄りかかったり、押したりしないでください。
- 落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。

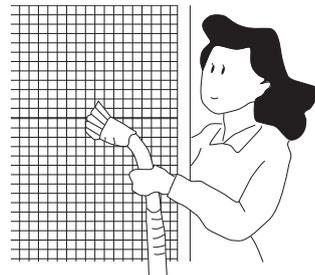
⚠️注意

- ネットに寄りかかったり、押したりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故につながります。

メンテナンス

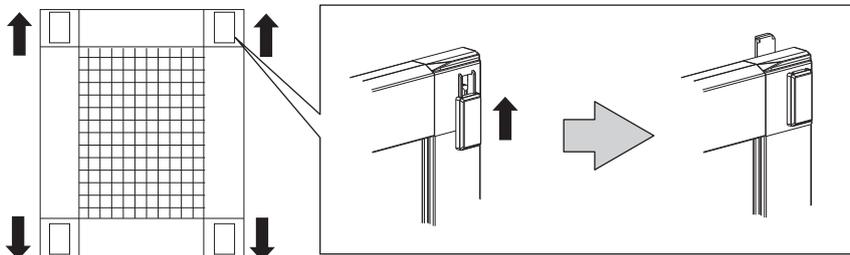
【網戸の掃除】

- ① 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ② 網戸の掃除は、上記の手順で網戸をはずし、庭やベランダでブラシなどで全体を軽くこすります。そしてゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ、軽く押さえるように洗ってください。このとき、力を入れすぎると網がはずれることがありますので、ご注意ください。
- ③ 最後に全体を水で洗い、乾かします。
- ④ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。



【固定網戸の取り付け方法】

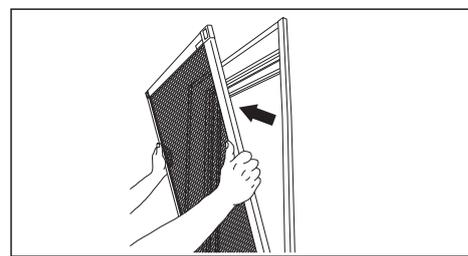
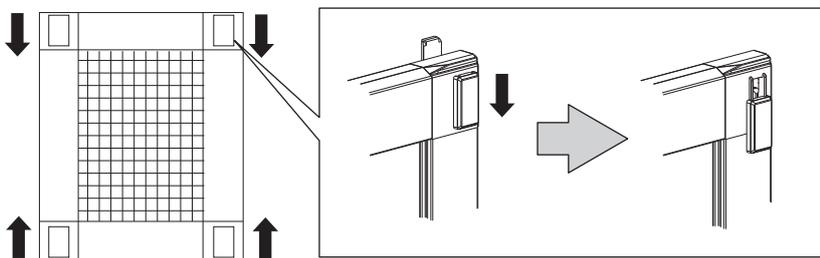
- ① 網戸を下枠の上のせ、窓枠にしっかりとめ込んでください。
- ② 網戸を倒れないように押さえながら四隅に付いているツマミを下から順にスライドさせてください。



- 網戸を取り付けた後、網戸を前後左右に動かし、しっかりと固定されているか必ずご確認ください。

【固定網戸の取りはずし方法】

- ① 取り付け方の逆の手順で行います。



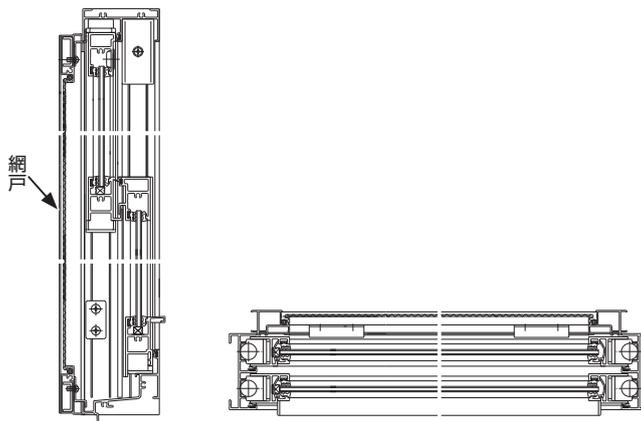
- ② 網戸の上部を持ち、室内側（手前）に引くとはずれます。

固定網戸 上げ下げ窓用

□ EXIMA 31

主要部材名称

上げ下げ窓に取り付けられる固定網戸です。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。ネットへ直接寄りかかったり、押したりしないでください。
- 落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。

⚠注意

- ネットに寄りかかったり、押したりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故につながります。

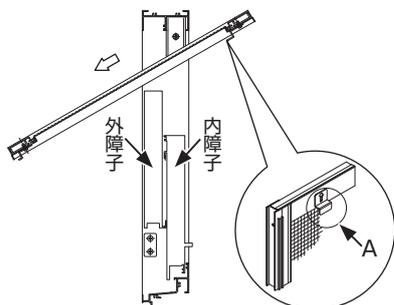
メンテナンス

【網戸の掃除】

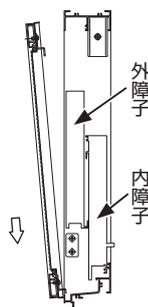
- ① 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ② 網戸の掃除をする場合は、室内側からハタキなどでゴミやホコリを落としてから水で濡らした雑巾で拭いてください。汚れのひどい場合には、中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを落としてから乾いた布で拭きとってください。このとき力をいれすぎると網がはずれることがありますのでご注意ください。
- ③ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。

【固定網戸の取り付け方法】

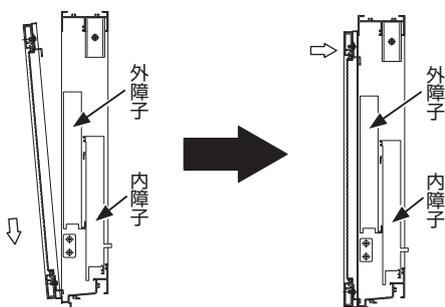
- ① 障子を下げて、網戸の上部はずれ止め金具を持って室内から網戸を室外に出します。



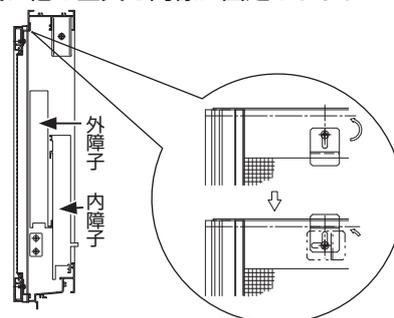
- ② 下部はずれ止め金具を下枠レールに引っ掛けます。



- ③ 網戸の上かまちを上枠側に引き寄せます。



- ④ 2個ある上部はずれ止め金具の片方のねじをゆるめ、180°回転させ上枠レールに引っ掛けてから固定します。その後、他の金具も同様に固定します。

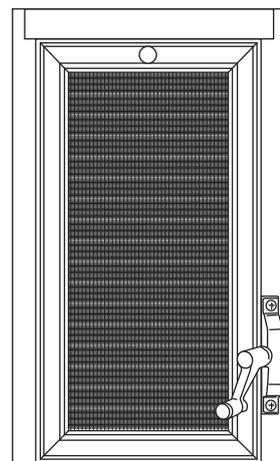
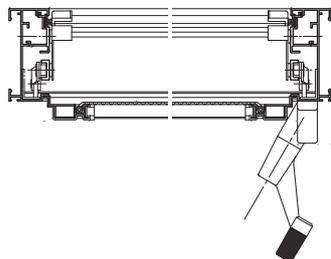
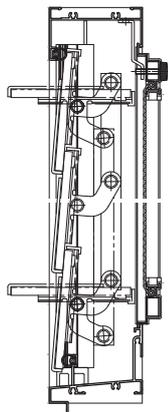


固定網戸 オーニング窓 / ガラスルーバー窓用

□ EXIMA 31

主要部材名称

ガラスルーバー窓【サンルーバー】、オーニング窓に取り付ける固定網戸です。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

⚠注意

- ・ ネットに寄りかかったり、押ししたりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故につながります。

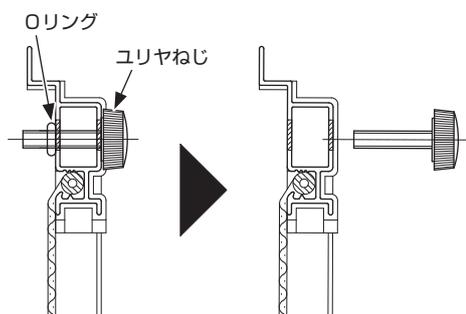
メンテナンス

【網戸の掃除】

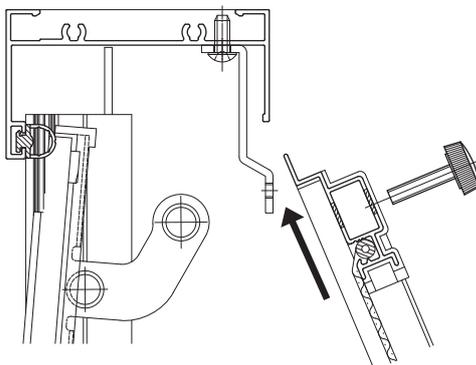
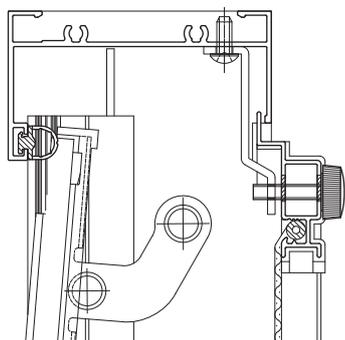
- ① 網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやホコリも防ぎます。網戸はホコリが付着してくると通風が悪くなりますので、定期的に清掃を行ってください。
- ② 網戸の掃除をする場合は、室内側からハタキなどでゴミやホコリを落としてから水で濡らした雑巾で拭いてください。汚れのひどい場合には、中性洗剤を含ませた雑巾で汚れを落としてから乾いた布で拭きとってください。このとき力をいれすぎると網ははずれることがありますのでご注意ください。
- ③ 特にステンレス製ネットはこまめにお手入れしてください。表面に付着した塩分や排気ガスによる汚損、腐食が発生しますので、汚れが軽いうちに清掃してください。

【網戸の取り付け方法】

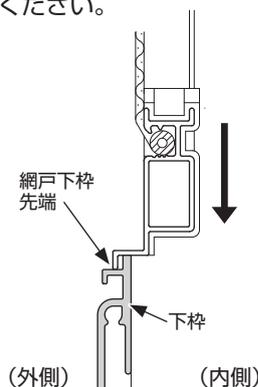
- ① 網戸からユリヤねじをはずす。
(Oリングは仮止め用、網戸取付け時は不要)
- ② ブラケットと上枠の隙間に網戸上框をすべり込ませるようにして差し込み、網戸をセットする。



- ③ ユリヤねじをしめて固定する。



- 下枠部
網戸下框の先端を下枠より内側に入るようにセットしてください。



■ 網戸の取りはずし方法

取り付け時とは逆の手順にて作業してください。

収納網戸

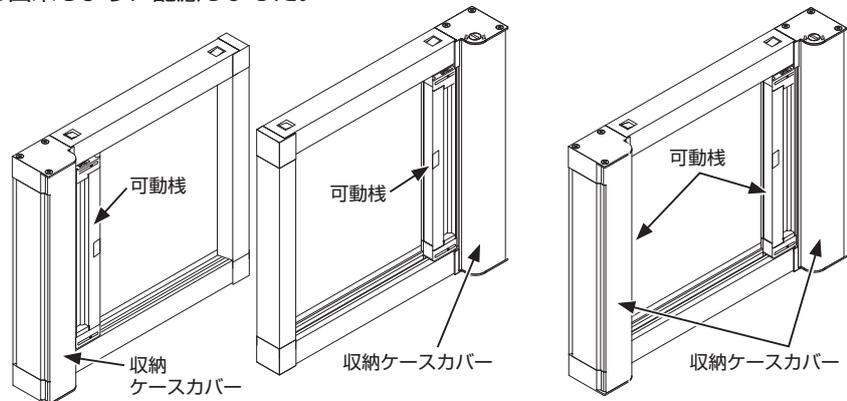
□ビューネット R型

主要部材名称

- 使用する時はネットのみを引き出します。
- 網戸を使用しない時は、ネットをケース内に収納出来るので、汚れが付きにくく衛生的です。
- ネットの掃除は、内・外側の両側とも出来るように配慮しました。

主要部品

- 収納ケースカバー
- 可動棧

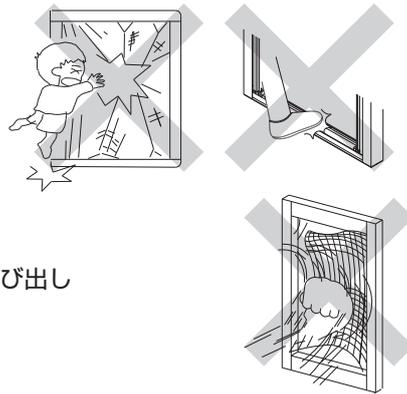


ビューネットR型(片引きタイプ)

ビューネットR型(両引きタイプ)

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
- ネットへ直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。
- 落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。



[強い風のときの注意事項]

- 強い風ときはネットを収納し、ご使用にならないでください。
強い風のとくに網戸をご使用頂きますと、ネットがたるみ、枠外へ飛び出したりネットがはずれるなど、網戸の破損につながります。

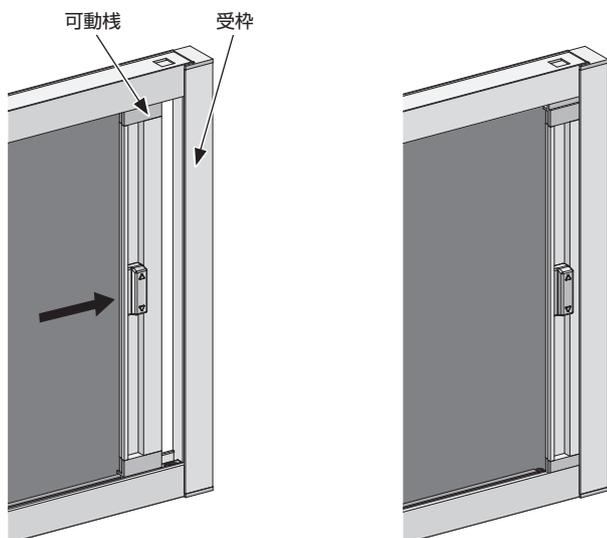
⚠注意

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
網戸に直接寄りかかったり、押ししたりしないでください。

操作

ビューネット R型(片引きタイプ) (両引きタイプ)

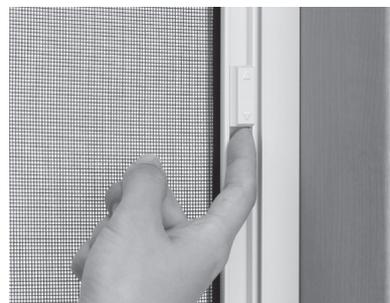
■閉めるとき



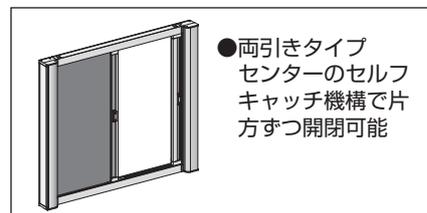
- ① 可動枠の中央部付近を持って、引き出してください。
- ② 可動枠がスライドしていくと固定(キャッチ)されます。

■開けるとき

つまみを上げるだけのワンアクションで自動収納され、余計な力は必要ありません。



つまみを上げると可動枠全体が持ち上がり、ツメの引っかかりがはずれます。



- 両引きタイプ
センターのセルフ
キャッチ機構で片
方ずつ開閉可能

お願い

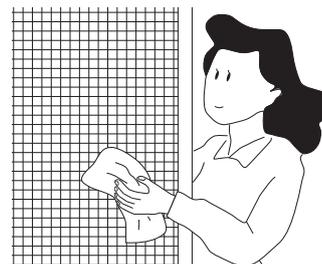
- ・ 極端に上や下を持って動かすと網戸が斜めになり、動かなくなるおそれがあります。可動枠の中央部付近を持って操作してください。
- ・ 長時間ネットを張ったままにするとゴミ・ホコリが付着し、巻き取りにくくなります。防虫しない時は収納してください。
- ・ ネットが自然に最後まで巻き取られない場合は、手で可動枠を持って収納してください。
- ・ 無理な開閉や乱暴な扱いをすると網戸を破損するばかりではなく、思わぬケガの原因になります。開閉操作は丁寧に扱ってください。

メンテナンス

【網戸の掃除】

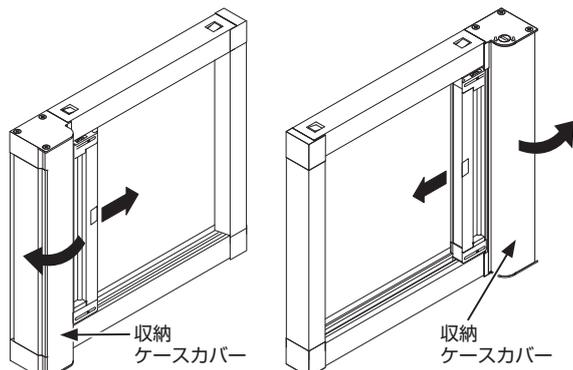
- ・ 網戸を掃除する場合、網戸を引き出した状態でブラシなどで全体を軽くこすります。そしてゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ軽く押さえるように洗ってください。最後に水で濡らした雑巾などで拭き、乾かしてください。

(注) 網戸を強く引き出したり、押ししたりしますと破損する場合がありますのでご注意ください。



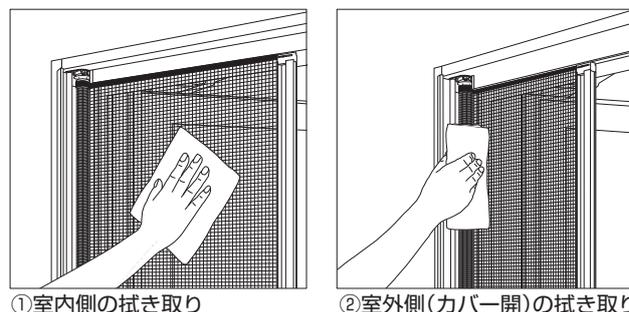
【ネットのメンテナンス方法】

- ① 室内側のネットを掃除する場合、ネットを引き出した状態で室内側から雑巾などで拭いてください。
- ② 室外側のネットを掃除する場合、ネットを収納している収納ケースカバーを開けて、ロールに巻き取られたネットを雑巾などで拭いてください。



- ・ 収納ケースカバーを手前方向に開ける。

収納ケースが左側の場合

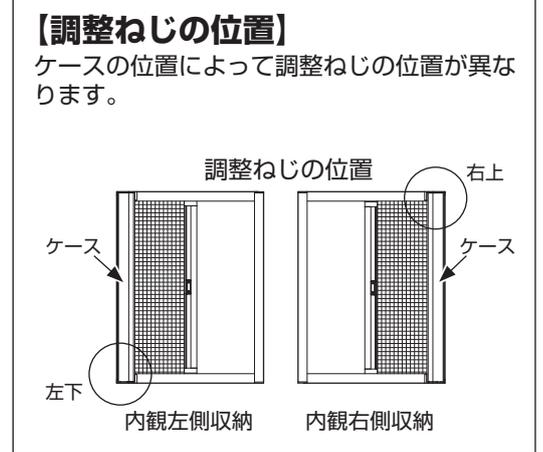
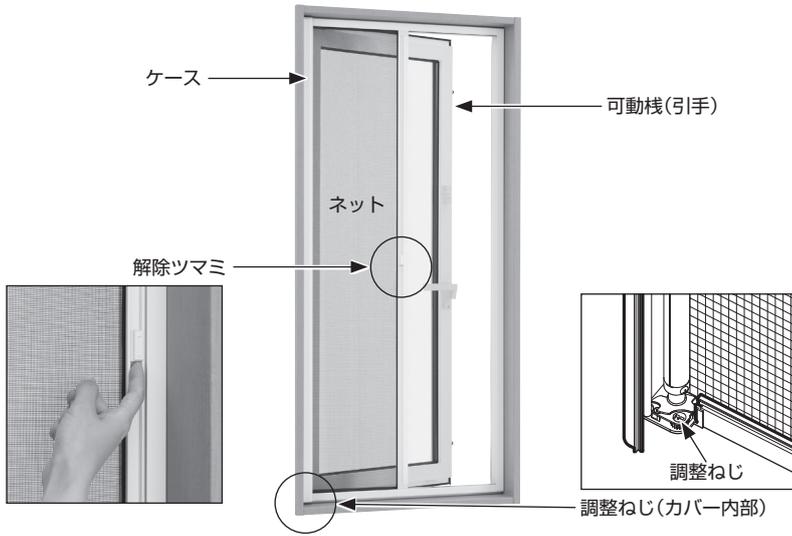


- ①室内側の拭き取り
- ②室外側(カバー開)の拭き取り

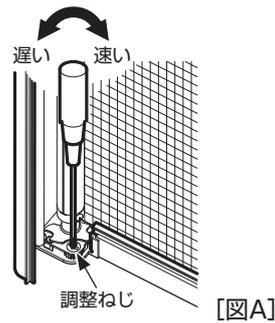
- ・ ネットを引き出ししながら雑巾で拭いてください。

【ネットの調整方法】

- 調整を行う前に、網戸を2～3回開閉しネットを巻き直してください。
ネットにクセがついた状態で調整すると、調整時と使用中の巻き取りスピードにばらつきが出る場合があります。

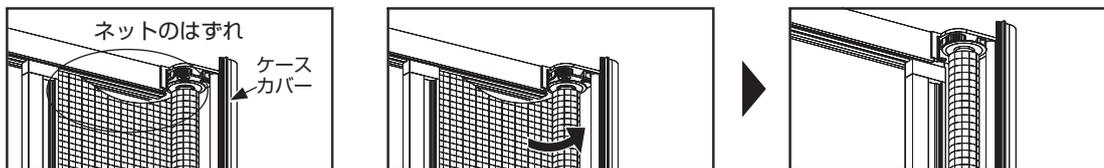


- ① ケースのカバーを開く
- ② 可動棧を持ち、網戸を引き出す
※ 網戸を全開状態にすると、可動棧が固定されます。
- ③ 調整ねじをまわし、巻き取りスピードを調整する [図 A 参考]
※ 時計回りにまわすと速くなる。
※ 反時計回りにまわすと遅くなる。
※ 調整ねじをまわすときは一度にまわしすぎないでください。
目安として4分の1回転 (90度) ずつ調整してください。



【ネットがレール溝からはずれたとき】

- ① ケースのカバーを開く
- ② 手でネットを最後まで巻き戻す (ネットがレールに入ります) ネットが折れないようにゆっくりと巻き戻してください。

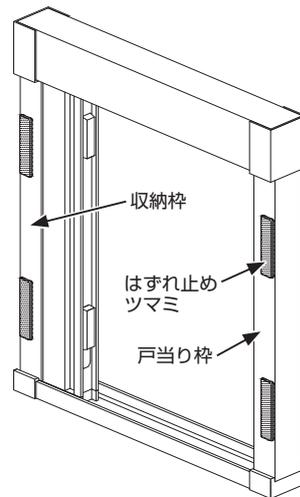


収納網戸

□ビューネット A 型

主要部材名称

ネット(網)がコンパクトに折りたたまれ、
枠内に収納されるタイプです。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

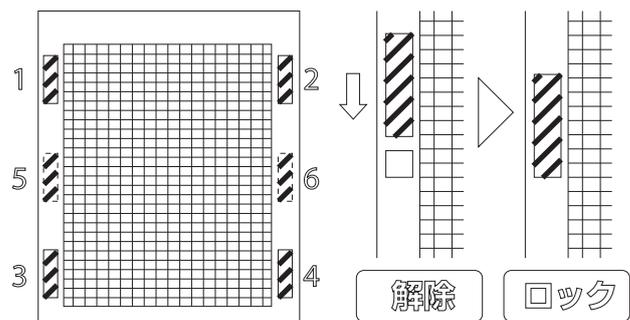
【はずれ止め】

網戸の脱落防止のため、はずれ止めをかならずかけてください。

• はずれ止めのかけ方

① はずれ止めを下げロックしてください。
※ ロックされると赤表示がかけれます。

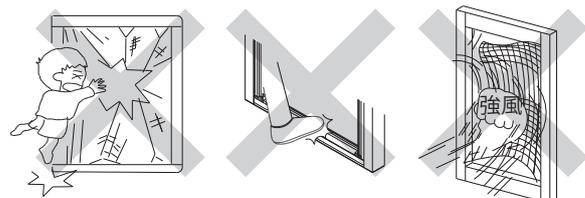
② 網戸が固定されているか確認してください。



※はずれ止めは4か所または6か所あります。
網戸サイズによって異なります。

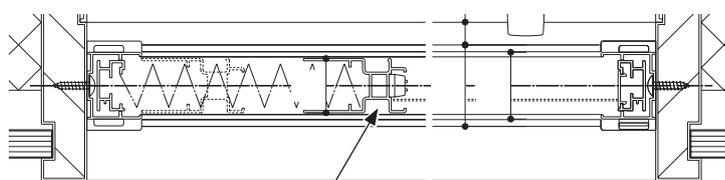
△注意

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。ネットへ直接よりかかったり、押したりしないでください。落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。
- 風が強い時や積雪時には、網戸を使用しないでください。



操作

- ① 網戸を開閉する際は、可動棧のミゾ部分に手をかけて操作してください。
- ② 無理な開閉や乱暴な扱いをすると、網戸を破損するおそれがありますので、開閉はゆっくり行ってください。
- ③ 長時間ネットを出したままにすると、収納性が悪くなります。使用しないときはこまめに収納するようにしてください。



可動棧 ミゾ部

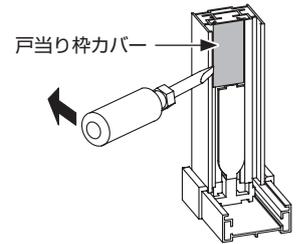
※こちらに手をかけて操作してください。

メンテナンス

【建付調整】

建付けが悪くなった場合、状況に応じてワイヤーの調整を行ってください。

① 戸当り枠のカバーをマイナスドライバーなどではずしてください。



② 戸当り枠に固定してある調整ねじを、下記の各状況に応じて位置を移動させて調整します。

【ワイヤーにたるみが出てガタつく場合】

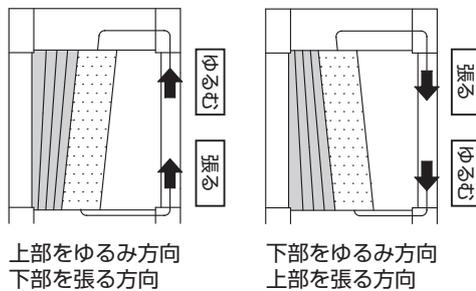
• 全てのねじを張る方向に少しずらして固定します。

【開閉が重い場合】

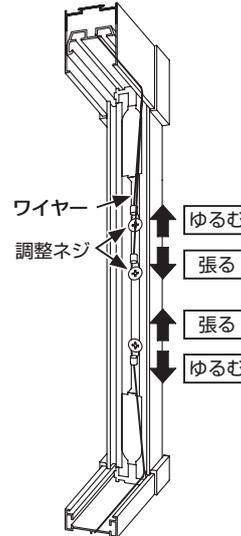
• 全てのねじをゆるむ方向に少しずらして固定します。

【スライドバーが斜めになる場合】

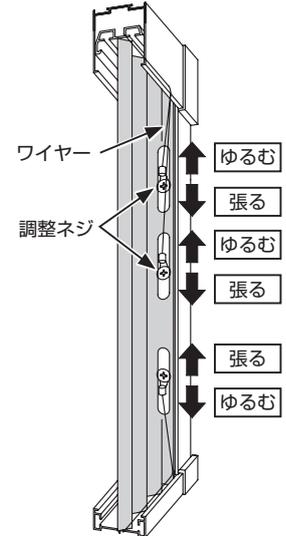
• 可動棧に全てのねじを同一方向に移動しバランスをとってください。



• 片引きタイプ



• 両引きタイプ



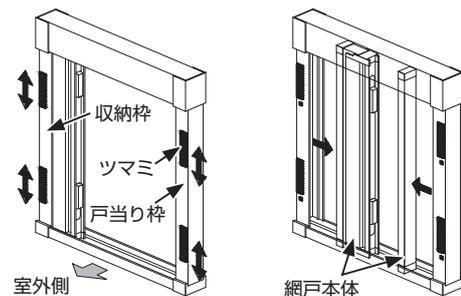
【網戸本体の取りはずし方・取り付け方】

• 取りはずし方

- ① 可動棧を引き、網戸を使用状態にしてください。
- ② 上部フックをワイヤーからはずし、可動棧付近にある加工穴から抜いてください。
- ③ 下部フックをワイヤーからはずし図のように下枠から抜いてください。

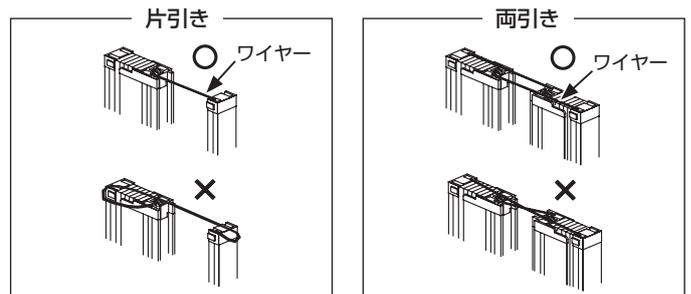
④ 枠の側面についているツマミを上もしくは下にスライドさせて、ロックを解除してください。
(下図の場合は下にスライドさせます。)

⑤ 収納枠、戸当り枠から網戸本体をはずしてください。



• 取り付け方

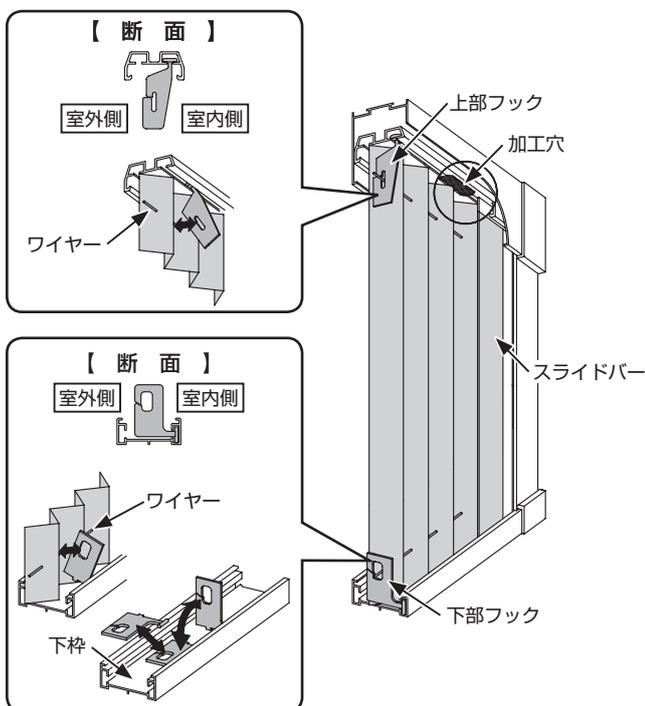
① 可動棧を引き網戸を使用状態にしてください。



カラミがある場合は枠を回転させて正しい状態に戻してください。

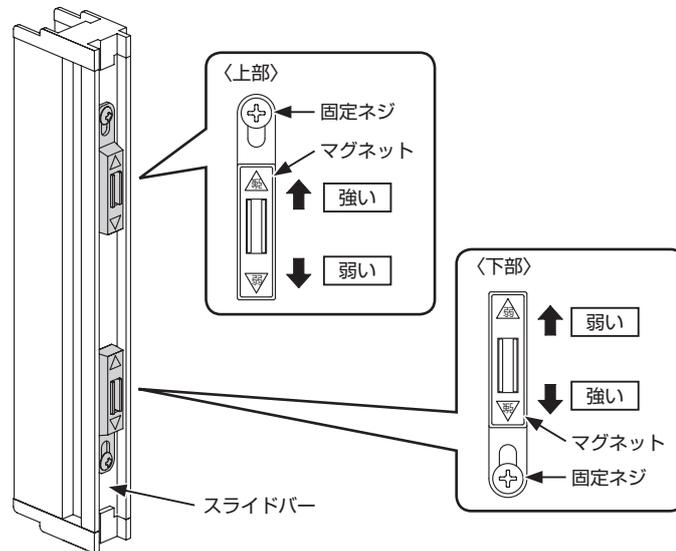
② 網戸本体の取付けは「網戸本体の取はずし方法」の手順で行なってください。

※ 網戸本体を収納枠・戸当り枠にしっかり押し当てラッチを上下させロックさせてください。



【可動棧固定強度の調整方法】

風などで可動棧が開いてしまう場合は、マグネットの調整を行なってください。
可動の上下に付いているマグネットのねじをゆるめ、上下に移動させてください。
マグネットとマグネット受けの当たる面積が変わり固定強度が変化します。



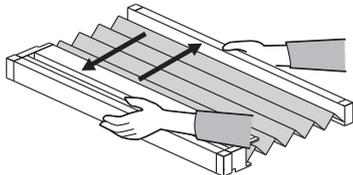
【お手入れ方法】

• 日頃のお手入れ(網戸を外さないでできます)

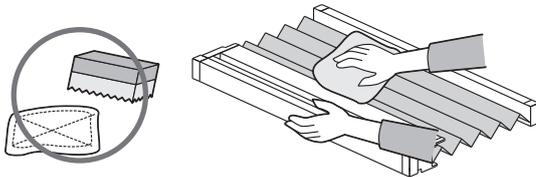
ホコリをハタキで軽く払い、軽く絞った雑巾で拭き取ってください。
この時、両側から挟むようにするとキレイになります。

• 汚れがひどい場合(網戸本体を取はずして清掃できます)

- ① 網戸をはずし、平らな広い場所に広げて置いてください。
(網戸本体の取はずし方法 参照)



- ② 中性洗剤をぬるま湯で溶かして、柔らかい布、またはスポンジで洗ってください。
次に洗剤が残らないように水洗いし、必ずカラ拭きしてください。



【お願い】

たわし、金属ブラシなどでネット部分、アルミ枠をこすらないでください。
破損やキズの原因になります。

変色、変質の原因になりますので、お手入れの際には、
シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、酸性、
アルカリ性洗剤などは使用しないでください。

網戸の下枠にホコリやゴミがたまると、
網戸がスムーズに開閉しなくなります掃除機などでこまめに取り除いてください。

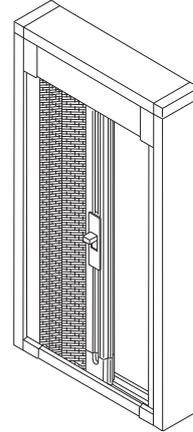


収納網戸

□ビューネット AF 型

主要部材名称

ネット(網)がコンパクトに折りたたまれ、枠内に収納されるタイプです。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 網戸は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。ネットへ直接寄りかかったり、押したりしないでください。
- 落下事故や、ネットの破損、たるみの原因につながります。風が強い時や積雪時には網戸を使用しないでください。

⚠注意

- ネットに寄りかかったり、押ししたりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故等につながります。

操作

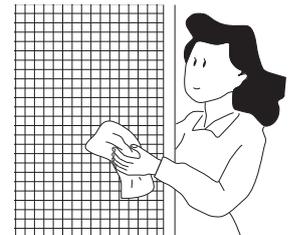
- 長時間ネットを出したままにすると収納性が悪くなります。使用しない時は、こまめに収納するようにしてください。
- 下レールのゴミやホコリは掃除機などでこまめに取り除いてください。

メンテナンス

【網戸の掃除】

- 長時間ネットを張ったままにすると、ゴミ・ホコリが付着し巻き取りにくくなります。防虫しない時は、収納してください。
- 網戸を掃除する場合、網戸を引き出した状態でブラシなどで全体を軽くこすります。そしてゴミやホコリを落としてから中性洗剤をスポンジにつけ軽く押さえるように洗ってください。最後に水で濡らした雑巾などで拭き、乾かしてください。

(注) 網戸を強く引き出したり、押ししたりしますと破損する場合がありますのでご注意ください。

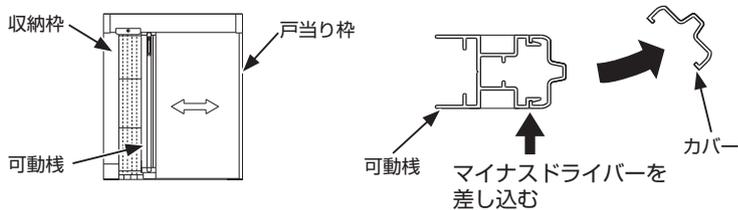


【建付調整】

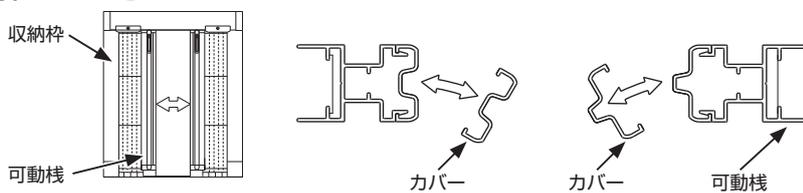
取り付けが悪くなった場合、状況に応じてワイヤーの調整を行ってください。
ワイヤー調整は、カバーを取り外してください。

1. 可動棧よりカバーを取りはずします(はずしにくい場合は、可動棧とカバーとの間にマイナスドライバーを差し込んではずすようにしてください)。

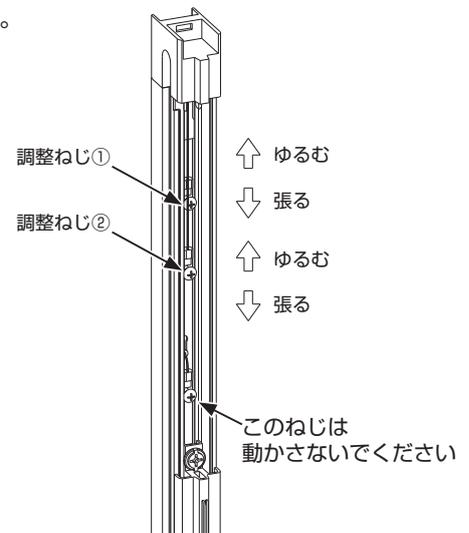
【片引きタイプ】



【両引きタイプ】



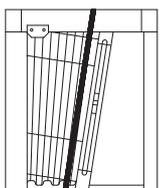
2. 可動棧に固定してある調整ねじを、状況に応じて位置を移動させて調整します。
※ 上下両端のねじは調整とは関係ありませんので、ゆるめないでください。
※ 調整ねじはサイズにより個数が異なります。(1個または2個)
※ 両引きタイプの場合は、片側ずつ行ってください。



【開閉が重い場合】

調整ねじ①②両方のワイヤーをゆるめます。

【可動棧が斜めになる場合】



- 可動棧を収納枠に押し付けて、上部が出ている場合
調整ねじ①ワイヤー「張る」、調整ねじ②ワイヤー「ゆるむ」
- 可動棧を収納枠に押し付けて、下部が出ている場合
調整ねじ①ワイヤー「ゆるむ」、調整ねじ②ワイヤー「張る」

調整後は数回開閉を行って、網戸がスムーズに作動するかご確認ください。

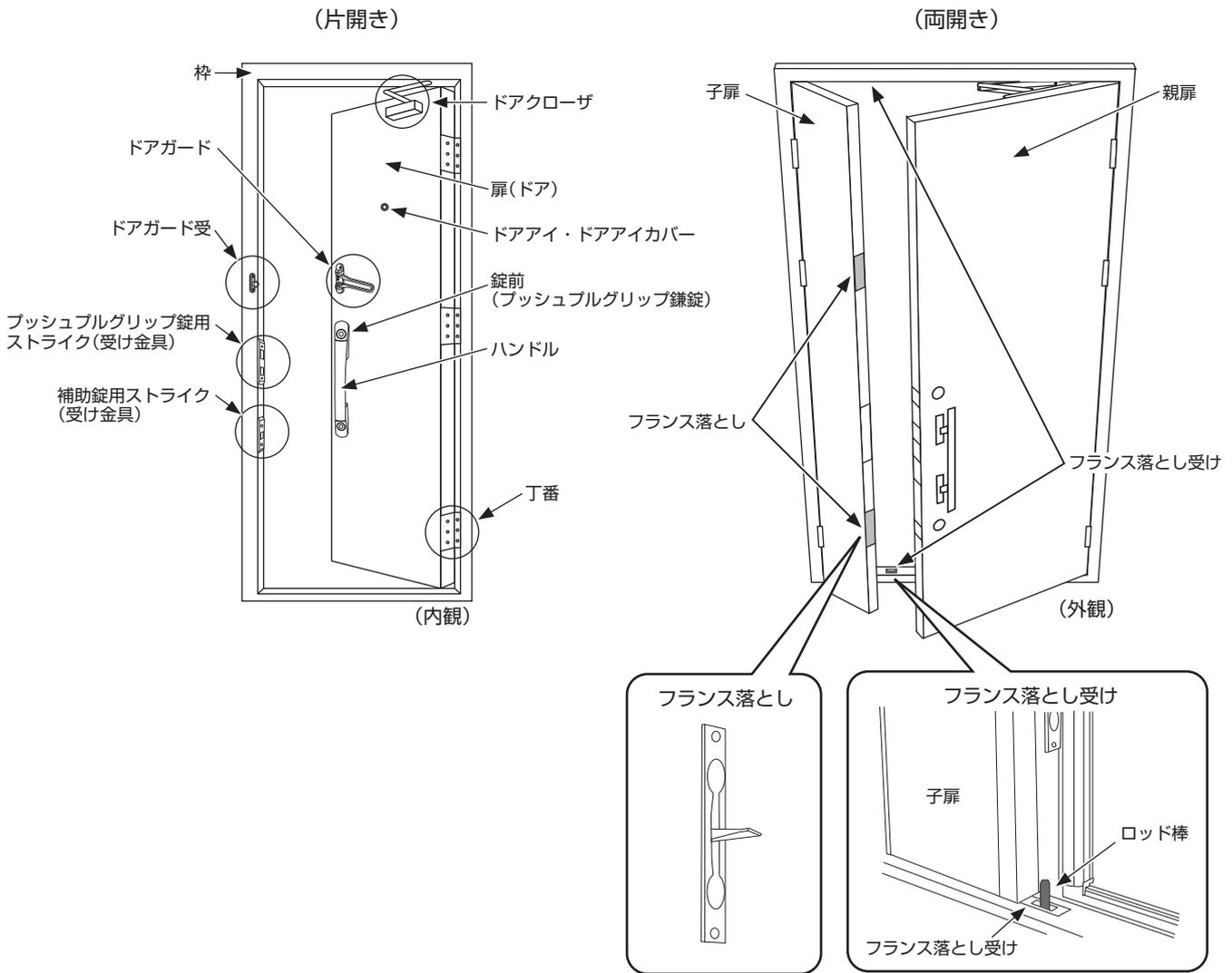
お願い

- 網戸本体は極力取り外さないようお願い致します。網戸本体を取りはずされる場合は、最寄りの YKK AP 支店または取扱店までご連絡いただき、専門業者への依頼をお勧めいたします。

玄関ドア

□ スチール玄関ドア

主要部材名称



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

【注意事項】

- お手入れの回数は通常は2ヶ月に1度、悪環境が懸念される地域では1ヶ月に1度程度、実施されることをお勧めします。
- ドアに直接水をかけたり、砂・埃等付着した布の使用は扉面に傷や錆を誘発しますのでお止めください。
- 中性洗剤以外（特に塩素系）のご使用はお止めください。
- シンナー、ベンジン等は、鏡板の塗膜を侵食する恐れがありますので使用しないでください。

△注意

- ドアの開閉時には、丁番側のすきまに手を置かないでください。指をはさんで大けがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉時にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まった時、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 風の強い時は、ドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

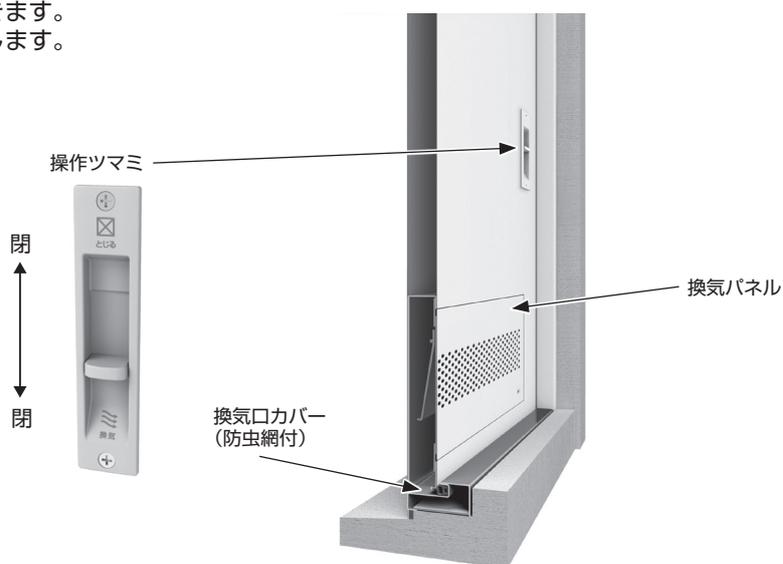
お願い

- キッチンで換気扇を使用されている場合などは、ドア本体が室内側に引寄せられるため、ドア開放が重くなる事があります。換気扇などを止めてから操作してください。

換気機能付き玄関ドア

主要部材名称

玄関ドアを閉じた状態で換気を行うことができます。
つまみを上下にスライドさせて換気口を開閉します。



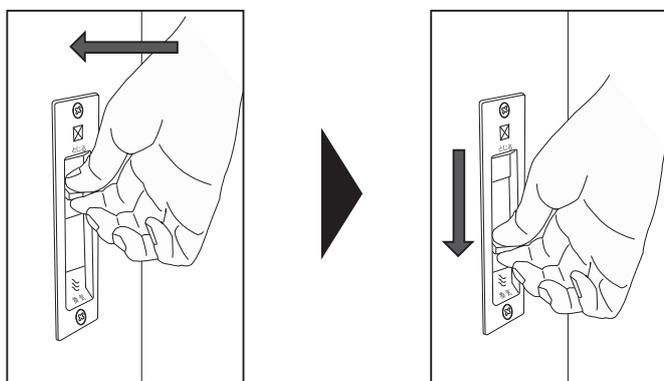
安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 降雨時、強い風の時には、操作つまみを「とじる」の状態にしてください。

操作

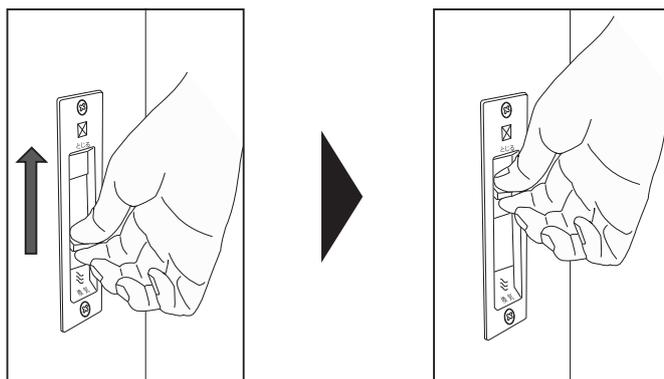
●換気をするとき

換気口を開ける際は、操作つまみを押しながら下端までスライドさせてください。



●閉じるとき

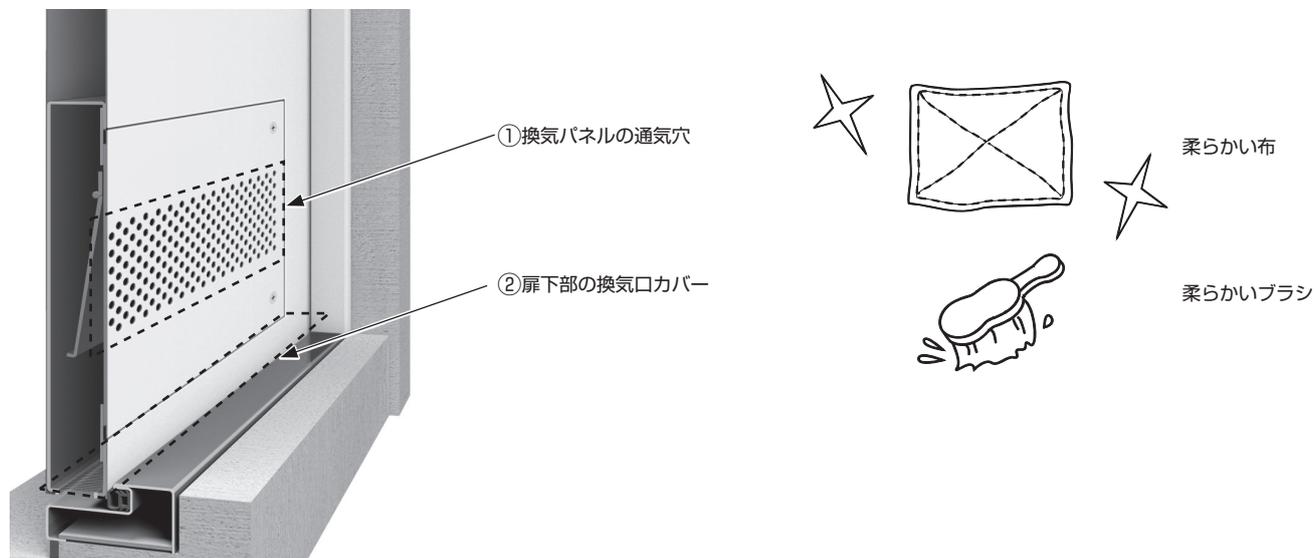
換気口を閉じる際は、操作つまみを上端までスライドさせて下さい。



メンテナンス

日常のお手入れは、乾いた柔らかい布や柔らかいブラシを使い、

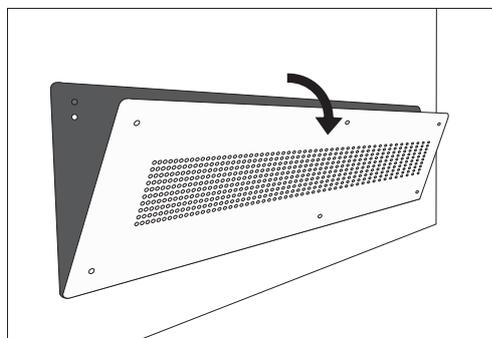
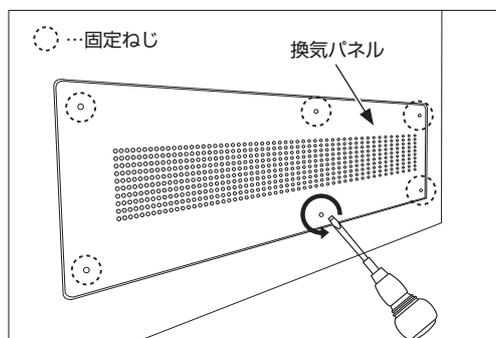
①換気パネルの通気穴と②扉下部の換気口カバーの汚れを落としてください。



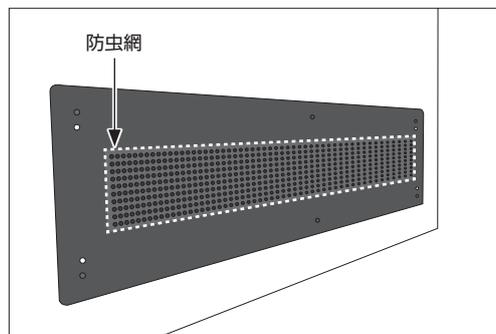
また、換気パネル内部も、下記の手順に従って換気パネルを取りはずし、清掃を行ってください。

●換気パネルのはずし方

1. 換気パネルの固定ねじを外してください。
プラスドライバーで固定ねじを反時計回りにまわして外します。
(外した固定ねじの紛失にご注意ください)



2. 「防虫網」を掃除機ややわらかいブラシ等でゴミやホコリを取り除いてください。



<ご注意>

- 直接水をかけたり、砂・ホコリ等付着した布の使用は傷や錆を誘発しますのでお止め下さい。
- 無理な力をかけると防虫網を破損するばかりでなく、思わぬケガの原因となりますのでご注意ください。

※ 掃除が終わりましたら、はずし方の逆の手順で正しく取り付けてください。

ドアクローザ取扱上の注意事項

【ドアクローザの機能説明とお願い】

- 1) この製品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。季節の温度変化等により、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとけがをすることがあります。ドアの閉じる速度は、調整弁によりコントロールすることができますので、P.145に記載した方法で調整してください。
- 2) 本体から油が漏れたり、部品が破損した場合は速やかに施工業者または弊社に修理、交換依頼をしてください。放置しておく、閉扉スピードのコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。
- 3) ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬけがをしたり、正しく組み立て直すことが出来なくなります。

【お手入れ方法】

本体およびアーム、取付ブラケットの取付ねじや、アームの連結ねじにゆるみが生じていないか時々点検してください。ゆるんでいた場合はねじを締め直してください。
 腐食予防のために本体およびアームは時々掃除してください。
 冬期に結露が生じる場合は本体およびアームを乾いた布でカラ拭きしてください。

【異常を感じられた際の対処方法】

速度調整が難しい場合は、施工業者または当社に調整依頼をしてください。

(現象)	(考えられる原因)	(点検箇所)	(対処方法)
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった	⇒ 季節の温度変化など	⇒ 速度調整弁	⇒ P.145速度調整方法を参照願います
ドアの閉じる速度が急に速くなった	⇒ 油漏れ	⇒ ドアクローザ本体	⇒ 専門業者に修理依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	⇒ 油の流れが詰まっている	⇒ 速度調整弁	⇒ P.145速度調整方法を参照願います
閉じる際「バタン」と大きな音をするようになった	⇒ ねじのゆるみ	⇒ 取付ねじ	⇒ ねじを締め付けてください
	⇒ 油漏れ	⇒ ドアクローザ本体	⇒ 専門業者に修理依頼願います
	⇒ ラッチング機能が強すぎる	⇒ ラッチング調整弁	⇒ P.145ラッチング調整弁の調整方法を参照願います
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音が生じるようになった	⇒ ねじのゆるみ	⇒ 取付ねじ	⇒ ねじを締め付けてください
	⇒ 1、2速のバランスが悪い	⇒ 速度調整弁	⇒ P.145速度調整方法を参照願います

その他ご留意いただきたいこと

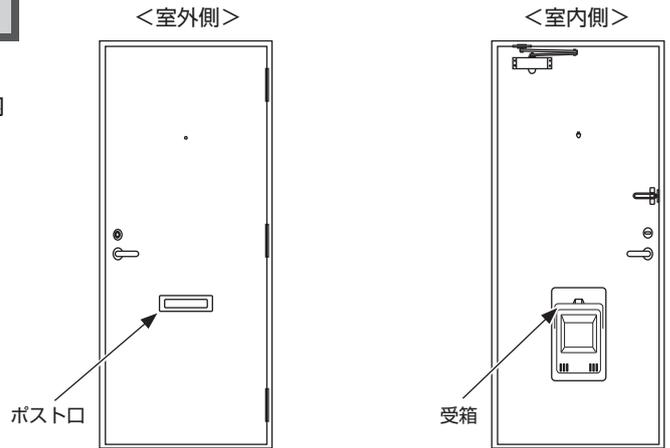
- 不用意にドア丁番側に、くさび等をかませて開放状態にしますと、ドアの変形や開閉に支障をきたす場合がありますので、絶対にくさび等をかませないでください。
- 玄関ドアに使用されるドアガードは、錠の代用として使用しないでください。ドアガードは、来訪者の確認などのために使用する初期防犯用金具です。錠と同等の防犯効果はありません。
- 台風等の暴風雨時にはドアの性能を越えて、雨水が玄関内に浸入することがあります。下枠部分に雑巾やタオルをあてておきますと、吹きこみを防止できます。
- ドアは必要以上の力で開閉しないでください。ドアと枠がぶつかり、キズが付くおそれがあります。

ポスト口・受け箱の取扱上の注意

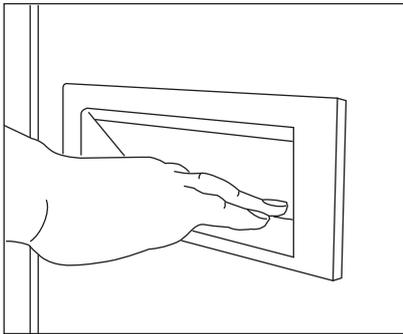
■ポスト口・受け箱

郵便物などを住戸へ投函するために玄関ドアに設置され、室内側から郵便物を取り出すことができます。

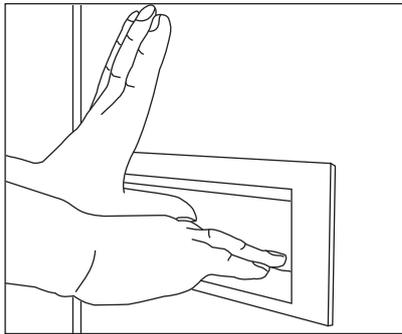
玄関ドアに設置されたポスト口・受け箱を安全にお使いいただくため、以下の点にご注意下さい。



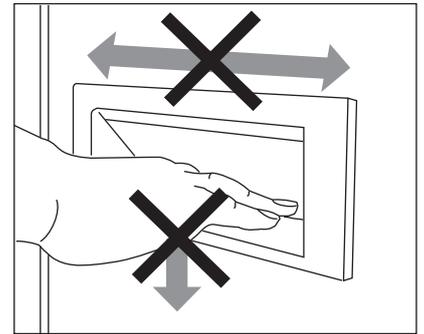
■ポスト口(室外側)



• ポストの奥まで手を入れないでください。ポスト口のふたに手や指をはさんだ際に、そのまま抜こうとすると、ふたの端部だけがをすおそれがあります。



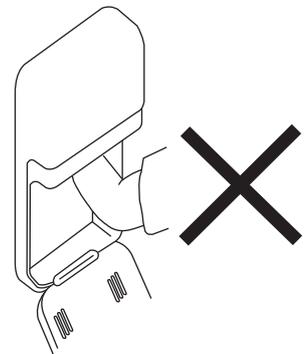
• 手や指がはさまった状態で抜きづらいついたときはもう一方の手でふたを押して、十分な隙間を作ってから抜いてください。



• 手を入れてすったりぶらさがったりしないでください。けがをしたり、ポスト口が変形し正常にものが投入できなくなります。

■ポスト口(室内側)

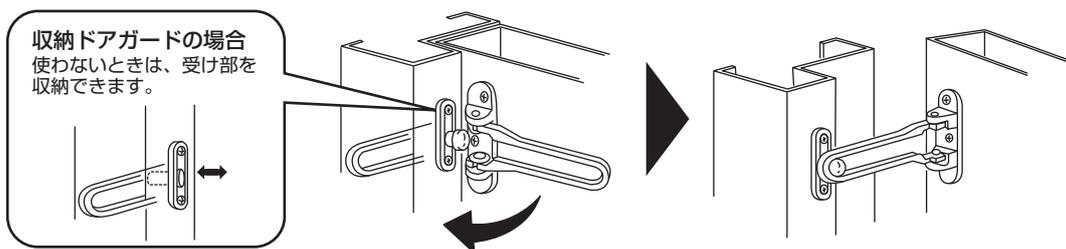
- フタを開いて新聞等投入物を取り出すときに、受け箱開口部周辺に手をこすり付けたり、フタと受け箱本体の間にはさんだりしないでください。指を切ったりけがをする恐れがあります。また、取り出し後は、必ず元のようにフタを閉じてください。フタが開いたままにすると、フタに当たってけがをしたり、思わぬ事故につながる恐れがあります。



操作

ドアガード

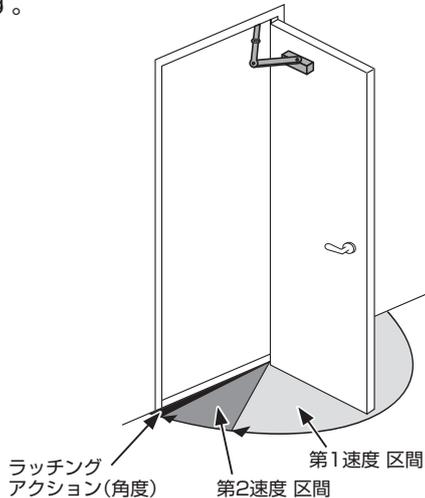
扉の内側に取り付け、来訪者を確認するとき扉を僅かに開くだけで人の出入りはできないようにしたもので、防犯上の補助的な役割を果たすために用います。



メンテナンス

ドアクローザ

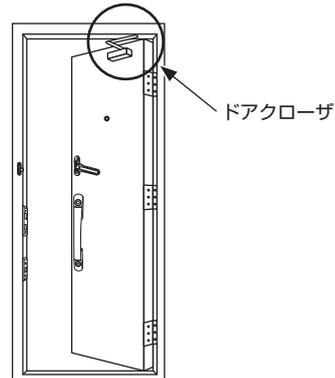
ドアクローザは開けた扉を自動的に閉める装置です。ドアクローザは、引渡し時に閉鎖速度を調整しておりますが、使用中に閉鎖速度が変化していきますので定期的な点検が必要です。



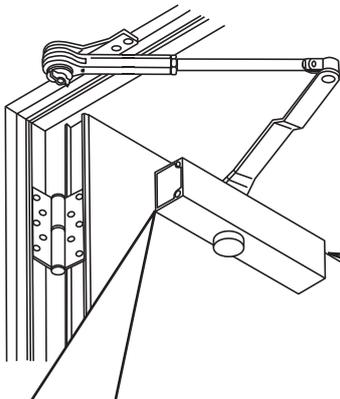
ドアクローザの調整方法

ドアが閉まりにくくなったり、ドアが「パタン」と大きな音を立てて閉まるようになった時、また、ドアが閉まる速度を変えたい時は、ドアクローザの閉まる速度を調整してください。

ドアクローザの付いたドアを無理やり開閉しないでください。油もれなど故障の原因になります。

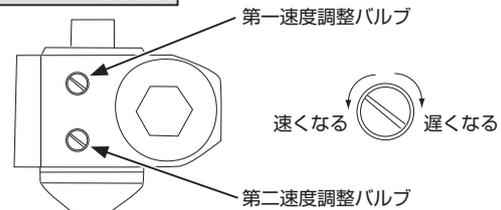


ドアが閉まりにくくなったり、ドアが「パタン」と大きな音を立てて閉まるようになった時、また、ドアが閉まる速度を変えたいときは、ドアクローザ本体の調整弁により閉まる速度を調整してください。調整弁の位置はドアクローザメーカーにより異なりますが、下記に代表例を記載しています。



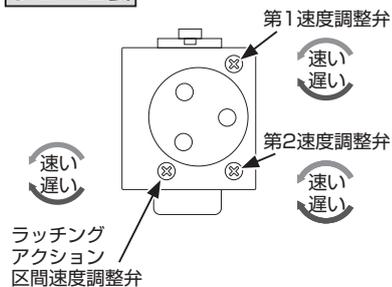
ドライバーで調整弁を回して速度を調整してください。右に回すと遅く、左に回すと速くなります。第1速、第2速、ラッチングの順番で調整してください。

日本ドアチェック製造製

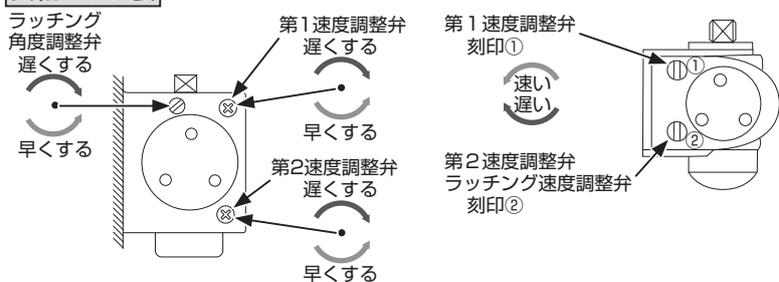


ドライバーで調整弁を回して速度を調整してください。右に回すと遅く、左に回すと速くなります。第1速、第2速、ラッチングの順番で調整してください。

リョービ製



美和ロック製



お願い

- 調整弁の回し過ぎは、油漏れの原因になります。

ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずは建物管理者様、建設会社様、販売店様、弊社担当者へご連絡下さい。室内外の気圧の状況によって閉鎖速度に影響がある場合がありますのでご注意ください。ドアクローザの保障期間は2年間です。

お手入れ方法

■ お手入れ時の注意事項

商品を長く使うために、商品に応じたこまめなお手入れと不具合が生じた時の調整が大切です。お手入れしないまま放置すると、表面に付着した汚れは、しみ、腐食やさびの原因となり、他の不具合が発生します。

- 汚れが付いたら早めにお手入れください。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみ、腐食やさびが進みやすいのでさらにこまめにお手入れください。また不具合が生じた場合、調整方法に従って調整してください。調整を行うことにより元に戻ることがあります。

【薬品への配慮】

- 有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）が表面に付着すると、ひび割れやはがれなどが生じますので、お手入れには有機溶剤を使用しないでください。
- 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）が表面に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。
- 中性洗剤で落ちない汚れは、修復が必要な場合があります。



【キズへの配慮】

- たわしや金属たわしなどは傷つきやすいので、絶対に使用しないでください。表面にキズが付くおそれがあります。
- 日常の使用に対して十分に耐えますが、砂などが付いたままふき掃除をすると、表面にキズが付くおそれがあります。

【電動商品の場合】

- お手入れの時、電装部品に水がかからないようご注意ください。故障するおそれがあります。電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店または販売店にご相談ください。

【調整する場合】

- 商品の調整にあたっては、電動ドライバーは使わないでください。商品の不具合や破損の原因となります。
- 調整に必要な箇所以外のネジをゆるめたりしないでください。商品の不具合や思わぬけがの原因となります。
- ご自身で調整を行う場合は、本章に記載する調整方法に従い調整を行ってください。ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店または販売店、または、当社お客様相談室に修理を依頼してください。

■ お手入れ時の点検について

- お手入れ時には、部品などのゆるみなども点検してください。特に丁番などの支持金具や取付ねじのゆるみ、がたつきなどがないか点検してください。ゆるみ、がたつきなどがある場合、そのままにしておくと、落下などの思わぬ事故につながるおそれがありますので、早急に建物管理者様、建設会社様、販売店様へご連絡ください。

スチール製商品／樹脂部品

■スチール商品

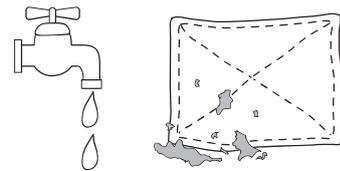
- さび、腐食、色落ちに対する注意が必要です。表面に汚れがついたら早めに洗い落としてください。
- 玄関ドアの鋼板表面を水や中性洗剤でふいても艶や色あせが改善されない場合は、研磨剤の入っていない鋼板に適したワックス（注1）を使ってお手入れする（注2）ことをお勧めします。

（注1）：（ワックスの一例） セラリカコーティングピュア

（注2）：ワックスを使用する場合には、ワックスの用途を確認し、ワックスの説明書に従ってお手入れを行ってください。ドア鋼板に適さないワックスは、変色や汚損の原因となりますので使用しないでください。

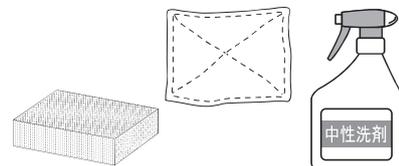
■通常のお手入れ

- 1** 柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。

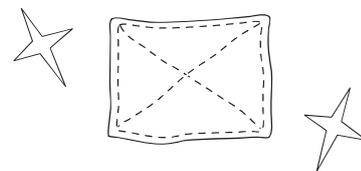


- 2** 柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



- 3** 乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



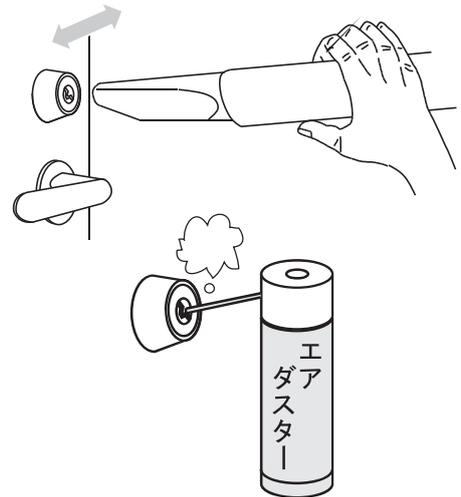
カギ・カギ穴

- 油の含まれている潤滑剤(CRC、シリコンスプレーなど)は使用しないでください。
油にホコリやゴミがついてカギ穴内部に粘着し、作動不良や故障の原因となります。

■カギ穴のお手入れ

掃除機をカギ穴につけ、左右に振って中のゴミを吸い出します。

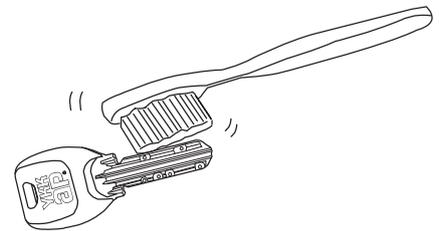
または
パソコンのキーボードのゴミを飛ばすエアダスターなど
を使って中のゴミを吹き飛ばします。



■カギのお手入れ

古い歯ブラシなどで、きざみ部分やミゾの汚れをかき出します。

定期的に掃除をしてください。



■カギ穴の抜き差しがスムーズにできない、または重い時

1

カギのきざみ部分やミゾを鉛筆でなぞるように黒く塗ります。

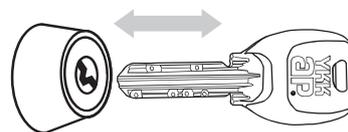
または
錠前潤滑剤をカギ穴に少量スプレーします。

※錠前潤滑剤のご購入は YKKAP Parts Shop まで。
(<http://parts.ykkap.co.jp/shop/>)



2

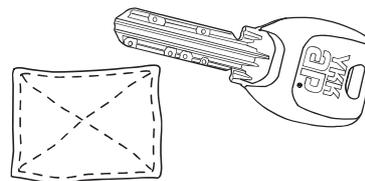
カギ穴に差し込み、数回抜き差しします。



3

カギに付着した黒い粉または潤滑剤を布などでふき取ります。

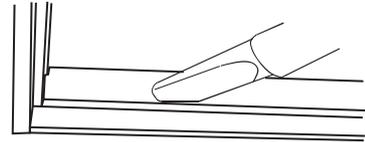
必ずふき取ってください。そのまま使用すると、衣服等を汚す場合があります。



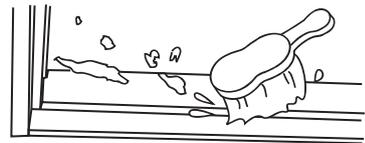
下枠

- 下枠やレールは特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

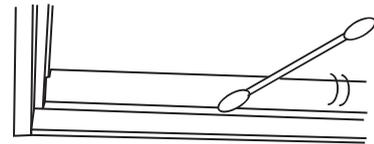
- 1** 下枠にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。



または、やわらかいブラシで砂やホコリを落とします。



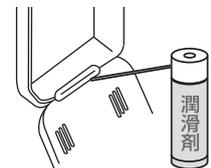
- 2** 割り箸の先に布を巻き付け、さらに汚れをふき取ります。



ポストロ・受け箱

- 1** ながく清潔な状態を保つために、2~3ヶ月に一度、やわらかい布等で乾拭きしてください。
汚れ、ホコリや水分が付着していると、変色や腐食が起こりやすくなります。

- 2** 受け箱のフタの開閉がスムーズでなくなった場合、ヒンジ部に市販の潤滑剤を注入してください。
また、本体板バネの角度を正常に閉まるよう、調整してください。



知っていただきたい現象

玄関ドアなどからの音鳴り現象について

玄関ドアの特徴として、表面積が大きいために太陽光を直接受けて温度上昇が生じる室外側と太陽光を受けない室内側とで表面の温度差が生じやすく、この温度差に伴い室内外面にわずかなゆがみと、たて横・大小の構成部材間で異なる熱膨張とが重なって生じる摩擦により、異音が発生することがあります。これは気温・立地条件・季節・使用材料の特性などのちがいにより起きる不可抗力現象であり、玄関ドアの不具合によるものではなく、また必ず発生するものでもありません。

音は陽が高くなって外気温が上がったり、陽がかげったりすれば自然に止みます。



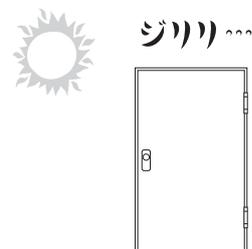
玄関ドアなどからの雨水浸入について

強風雨時など、玄関ドアから雨水が浸入することがありますが、商品の不良ではありません。玄関はポーチ屋根により通常の風雨を防げること、濡れても問題ではなかったことなどから、居室に使用される窓と同等の水密性能は要求されていません。また、ドアの施錠機構は窓に採用されているような、枠と窓を密着させて雨水浸入を防止する引き寄せ構造にはなっていないのが一般的です。



玄関ドアの表面温度について

商品をご使用中、ドア全体が熱くなることがありますが、これは玄関ドア本体に長時間直射日光があたり、表面温度が上昇することで発生します。ドアの表面やハンドル等で特に、ブラック・ブラウンなど色の濃い商品ほど表面温度が上昇しますので、直射日光が強い時間帯はヤケドをするおそれがありますので、開閉の際はご注意ください。



換気扇使用時のポスト口からの笛鳴り現象について

換気扇を使用した際にポスト口から笛のように音が鳴る現象が発生する事があります。窓や玄関ドアを閉めきった状態で換気扇を使用すると室内の気圧が低い状態となり、ポスト口のわずかなすき間から室内側に空気がひっぱられ、笛のように音がる現象です。換気扇を弱めるか、室内と室外の気圧差を無くすために、窓を少し開けた状態で換気扇をご使用ください。

知っていただきたい現象

換気扇使用時の玄関ドアが勢いよく閉まる事について

換気扇の使用により室内の気圧が低い状態になり、ドアが室内にひっぱられるため、閉まるスピードが速くなってしまいます。

ドアクローザの調整により、ゆっくり閉まるようにすることも可能です。

ドアクローザを調整した場合、換気扇を止めている時は、通常より玄関ドアが閉まりにくくなりますが、扉を手で押しただけであれば、問題なく閉められます。製品の不良ではありませんのでご安心ください。

ドアクローザの調整方法について⇒P.145に記載しています。

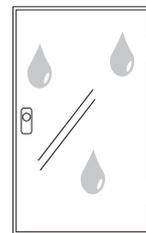
キッチンで換気扇を使用されている場合などは、ドア本体が室内側に引寄せられるため、ドア開放が重くなる事があります。換気扇などを止めてから操作してください。

● 結露について

結露とは、水蒸気を多く含んだ暖かい空気が、冷たいものの表面に触れることで冷やされ、空気中に含みきれなくなった水蒸気が、水滴となってガラスなどに付着する現象です。

これは自然現象として季節を問わず発生するものであり、ドアの不具合ではありません。

結露が発生した場合は、凍結に至る場合もありますので、早めにふき取ってください。



結露の発生を抑えるポイント

- ①過度な過湿の防止(室内の湿度の上限は60%程度までにコントロールする)
- ②換気の促進
- ③室温は適温に保つ(冬20℃～23℃、夏25℃～28℃)
- ④空気の流れをよくする。

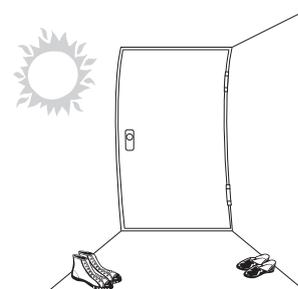
『脱・結露のススメ』というパンフレットをご用意しております。

ご要望の方は当社お客様相談室までご連絡をお願いいたします。(☎ 0120-72-4134)

玄関ドアの熱反りについて

玄関ドアは室内外の温度を伝えにくい構造になっているため、日差しや室内外の温度差により、ドア本体室外側の面と、室内側の面で伸びる量に差が生じます。これにより、反りが発生する場合があります。

また立地条件、ひさしの形状により反り量は一定ではありません。一時的な現象であり、ドア本体の室外側と室内側の表面温度が小さくなると元に戻ります。



困った時には

玄関ドア

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
ドアを閉じた状態でドアがガタガタする。	ラッチボルト、デットボルトと錠受の位置が合っていない。	まず、建物管理者様、建設会社様、販売店様へご連絡ください。 弊社元請の場合は、弊社担当者へご連絡ください。
ドアを開け閉めするとドアがグラグラする。	丁番取付ねじがゆるんでいる。	
ドアを開け閉めするとドアが枠にこすれる、または当る。	丁番取付ねじがゆるんでいる。	
	地震、地盤沈下などにより建物が傾いている。	
ドアの開閉ができなくなった。	丁番・ピボットヒンジが破損している。	
	錠が破損している。	
	ハンドルの内部機構が破損している。	
ドアを開け閉めすると、きしみ音などの異音がする。	ドアクローザ取付ねじがゆるんでいる。	取付ねじを締めつけてください。
	ドアクローザから油が漏れている。	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	丁番・ピボットヒンジの軸部品部分が経年劣化によりすりへっている。	
カギの差し込みがスムーズに出来ない、または差し込んでもスムーズに操作できない。	合カギが正規のカギと一致していない。	正規のカギで操作をしてください。
	カギ穴内部が凍結している場合があります。(冬季)	市販の凍結防止材・解氷材(スプレー式)をふきかけてください。ただし、お湯は絶対にかけないでください。再凍結や腐食のおそれがあります。
	カギ穴内部に汚れ、ホコリがついている。	カギ、カギ穴の清掃をしてください。 本書 P.148をご参照ください。 それでも操作出来ない場合は、錠の内部機構の腐食、故障などが考えられますので、 まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、または販売店様に修理依頼をしてください。
	カギが変形している。	まず、建物管理者様、建設会社様、販売店様へご連絡ください。
錠がかかりにくくなった、またはかからない。	ラッチボルト、デットボルトと錠受・ラッチ受の位置が合っていない。	弊社元請の場合は、弊社担当者へご連絡ください。
	丁番取付ねじがゆるんでいる。	枠側、ドア側ともに丁番取付ねじを締めつけるとともに、併せて錠受を調整してください。
	地震、地盤沈下などにより建物が傾いている。	
フランス落しが作動しにくくなった、または動かない。	フランス落しロッド棒の操作機構が錆びている。	まず、建物管理者様、建設会社様、販売店様へご連絡ください。 弊社元請の場合は、弊社担当者へご連絡ください。
	フランス落しロッド棒が曲がっている。	
ドアの閉じる速度が変わった。	ドアクローザの調整速度がずれた。	ドアクローザ速度の調整をしてください。 本書 P.145をご参照ください。

面格子

□ルーバー面格子 GFL【固定型】

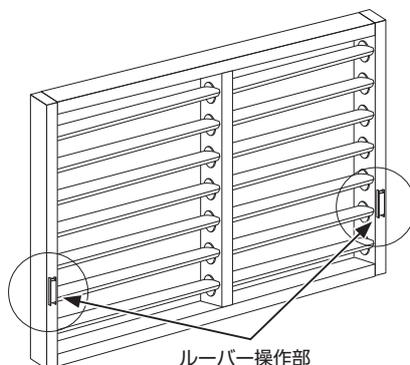
主要部材名称

ルーバー操作部のダイヤル操作で、アルミルーバーの角度を任意に設定できます。採光と換気が思いのままです。

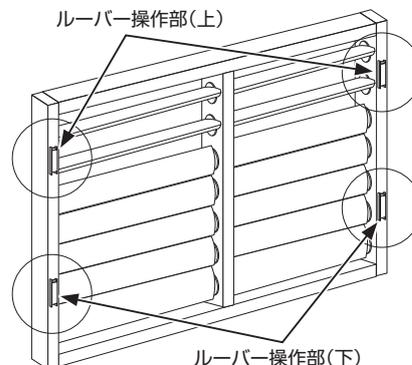
主要部品

- ・ルーバー操作部

●上下同時可動タイプ



●上下分割可動タイプ



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・面格子ユニットに付いているボルト、ナット、ねじ類は絶対にゆるめないでください。
- ・アルミルーバーを固定した後での無理な操作は行なわないでください。
- ・外出時は、窓の錠を閉めてください。

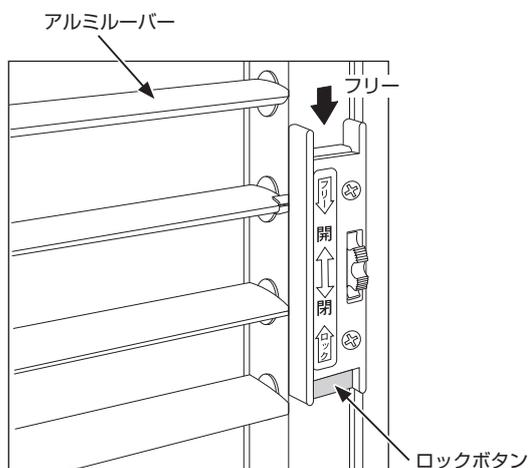
⚠注意

- ・面格子に無理な力をかけないでください。十分に強度を配慮して設計・製作されていますが、人が乗ったり、身を乗り出す等無理な力が加わると、落下、転落のおそれがあります。
- ・面格子にロープやはしごをかける等して、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると落下・転落につながるおそれがあります。

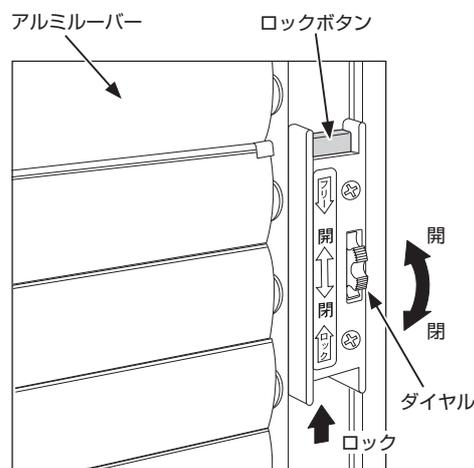
操作

[ルーバー操作部]

- ① ロックボタンを下方（フリー）に押し込み、アルミルーバーのロックを解除します。
- ② ダイヤルを上方向（開）に回すとアルミルーバーが開きます。
- ③ ダイヤルを下方（閉）に回すとアルミルーバーが閉じます。
- ④ アルミルーバーをロック（固定）する時は、ロックボタンを上方向（ロック）に押し込むとアルミルーバーがロック（固定）されます。



[アルミルーバーロック解除時]



[アルミルーバーロック時]

面格子

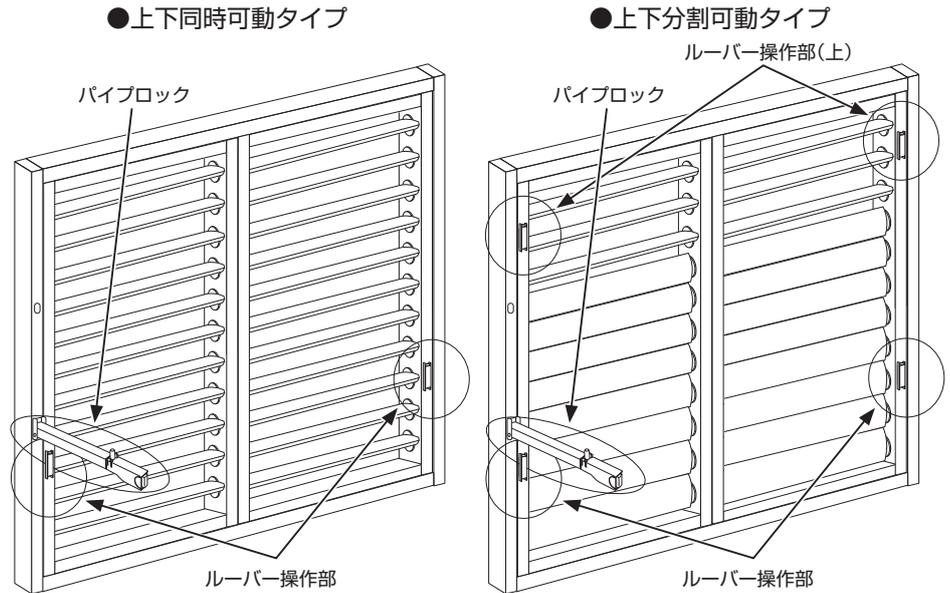
□ルーバー面格子 GOL 【開放型】

主要部材名称

ルーバー操作部のダイヤル操作で、アルミルーバーの角度を任意に設定できます。採光と換気が思いのままです。非常時には面格子を開放することができます。

主要部品

- ・ルーバー操作部
- ・パイプロック



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・面格子ユニットに付いているボルト、ナット、ねじ類は絶対にゆるめないでください。
- ・アルミルーバーを固定した後での無理な操作は行なわないでください。
- ・面格子が開放できなくなるおそれがありますので、面格子の前に物を置かないでください。
- ・面格子を開閉する際、枠・障子等に指や手をはさまないようにご注意ください。
- ・外出時は窓の錠を閉めてください。
- ・通常時は面格子は閉めた状態でお使いください（開放したままにしないでください）。
- ・パイプロックを手前に倒した時、パイプロックにぶら下がらないでください。破損のおそれがあります。
- ・面格子を開放する際は、窓の外に人や障害物がないことをご確認の上、開放してください。

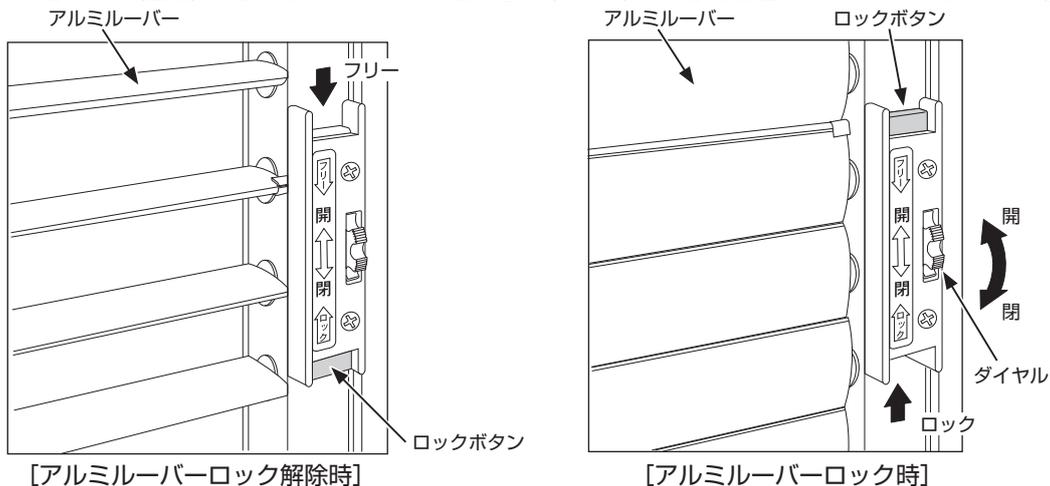
⚠ 注意

- ・面格子に無理な力をかけないでください。十分に強度を配慮して設計・製作されていますが、人が乗ったり、身を乗り出す等無理な力が加わると、落下、転落のおそれがあります。
- ・面格子にロープやはしごをかける等して、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると落下・転落につながるおそれがあります。

操作

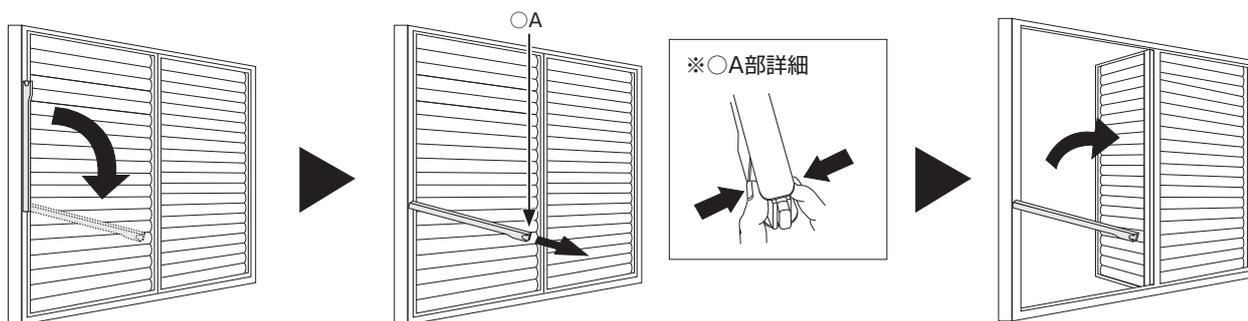
【ルーバー操作部】

- ① ロックボタンを下方（フリー）に押し込み、アルミルーバーのロックを解除します。
- ② ダイヤルを上方向（開）に回すとアルミルーバーが開きます。
- ③ ダイヤルを下方（閉）に回すとアルミルーバーが閉じます。
- ④ アルミルーバーをロック（固定）する時は、ロックボタンを上方向（ロック）に押し込むとアルミルーバーがロック（固定）されます。



[非常時の操作]

■面格子の開け方

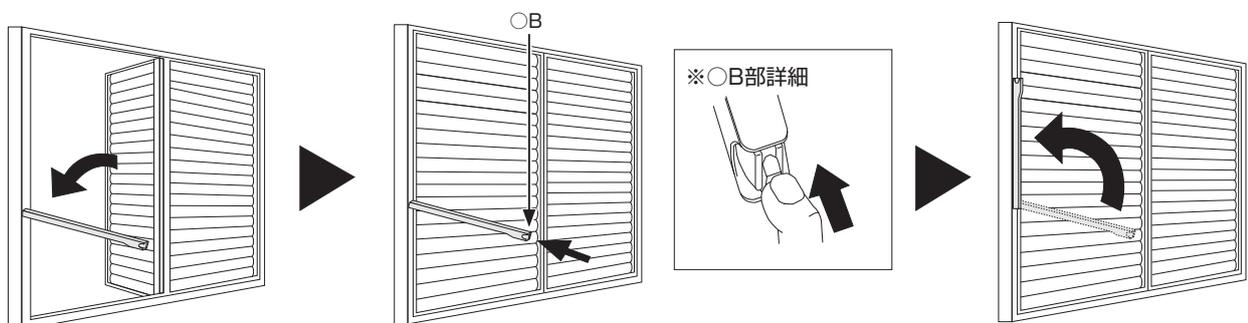


① パイブロックを手前に倒します。

② 先端の○A部をつまみ、手前に引きます。

③ 面格子を廊下側に押し、開放します。

■面格子の閉め方



① 面格子を完全に閉めます。

② 先端の○B部のボタンを押し、面格子が固定されたことを確認します。

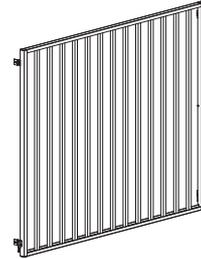
③ パイブロックを立てます。

集合住宅共用廊下部窓用

□面格子 GFV-BL

主要部材名称

- 窓まわりの防犯性向上を目的とし、BL 認定基準に適合した面格子です。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 面格子ユニットに取り付いているボルト、ナット、ねじ類は絶対にゆるめないでください（網戸取りはずし機能付きの場合）。
- 面格子開閉の際、壁と面格子の間や下部ブラケットアーム部で手をはさまないようにご注意ください。
- 作業終了後は、面格子を必ず元の状態に戻し、ボルトを固定してください。
- 外出時は、窓の錠を閉めてください。

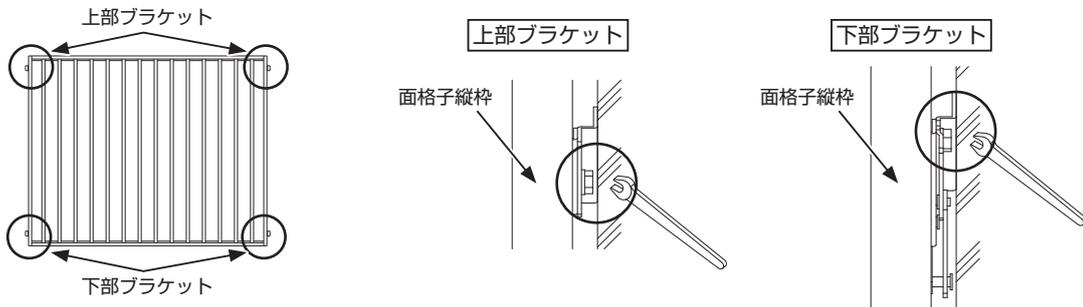
⚠注意

- 面格子に無理な力をかけないでください。十分に強度を配慮して設計・製作されていますが、人が乗ったり、身を乗り出す等無理な力が加わると、落下、転落のおそれがあります。
- 面格子にロープやはしごをかける等して、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると落下・転落につながるおそれがあります。

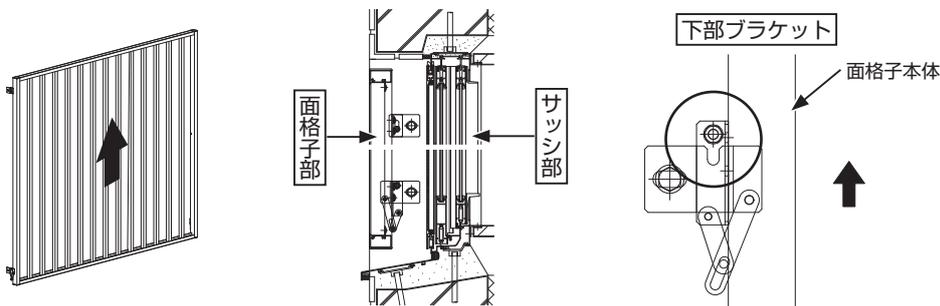
操作

網戸取りはずし機能付ブラケット(オプション設定)の場合

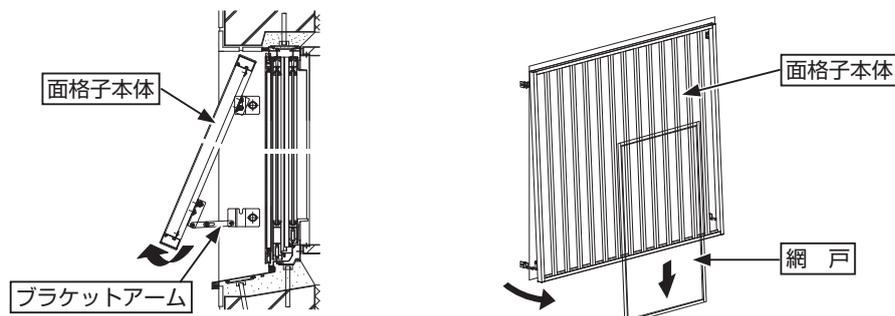
- ① 室外側から上部ブラケット 2 カ所、下部ブラケット 2 カ所のボルトを約 1 回転半程度ゆるめます。



- ② 面格子を上方へ持ち上げて、下部ブラケットの凹部にかかっているボルトをブラケットからはずします。



- ③ 面格子本体の下側を室外側に引き、面格子の下側を開きます。その後、網戸ははずします。

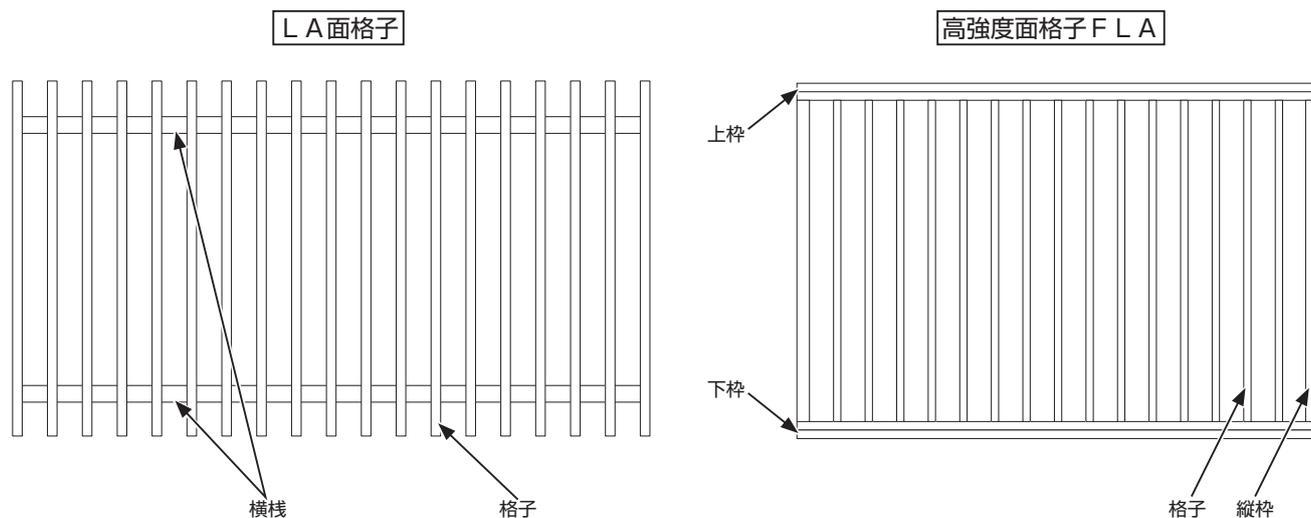


- ④ 作業終了後、逆の手順で面格子を必ず元の状態に戻し、ボルトを締めます。

集合住宅共用廊下部窓用

LA 面格子 面格子 高強度面格子 FLA

主要部材名称



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- 面格子に付いているボルト、ナット、ねじ類は絶対にゆるめないでください。
- 外出、就寝時は窓の鍵をかけてください。

⚠注意

- 面格子に人が乗ったり、寄りかかったりしないでください。
落下・転落につながるおそれがあります。

- ご使用中にいろいろな不具合が発生することがあります。
そのままにしておきますと、人身事故や家財の損害などの原因になるおそれがあります。
下記のような不具合がないかどうか、点検してください。

不 具 合

格子・横棧が折れ曲がる、または変形し、すきまが広がっている。

面格子本体、格子を止めているねじがゆるんでいる。

格子がはずれている。

格子を手でゆするとグラグラする。

面格子本体および部品が腐食してきた。

躯体(枠)と面格子本体取り付け部に異常がある(腐食・コンクリートのひび割れなど)。

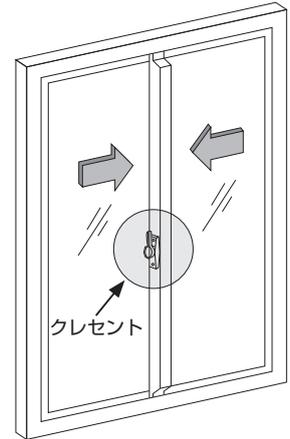
- 不具合がありましたら、ご自分で分解や修理をせずに、必ず建築物の管理責任者または最寄りの当社営業窓口へご連絡ください。

樹脂製内窓 プラマード U

□引違い窓

主要部材名称

クレセントのロックをはずして、障子を左右にスライドさせる引違い窓です。



主要部品

- ・クレセント
- ・クレセント受
- ・戸車

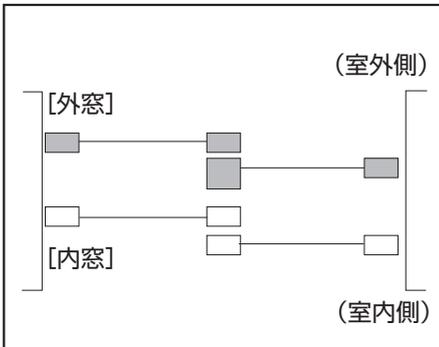
安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

△注意

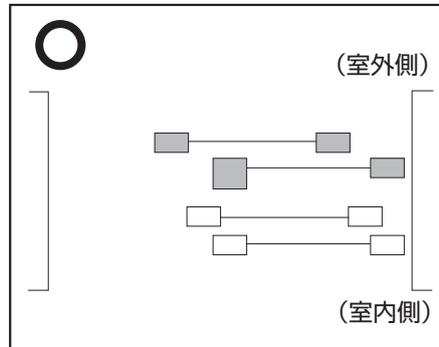
- ・お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に吊り込んだときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
- ・無理な開閉操作やはずれ止め部品が正しくかかっていないとガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

【内窓使用時のお願い】

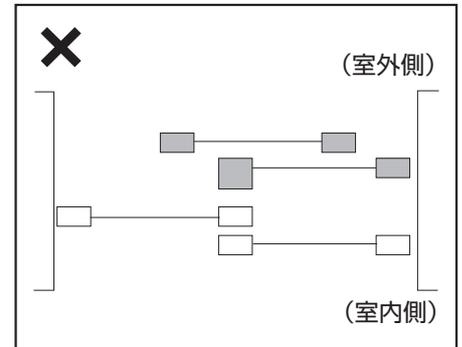
- 外窓を開けているときは内窓も開けてください。
内窓だけを閉めた状態で使用しないでください。



外窓、内窓閉鎖状態

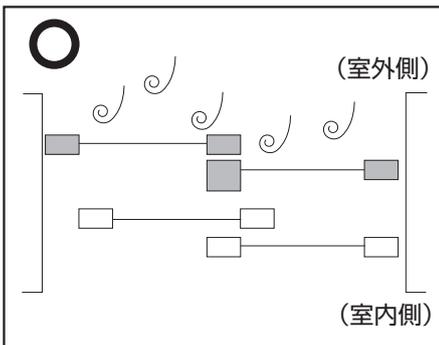


○上図のように、外窓を開けているときは内窓も開けてください。



×上図のように、内窓だけを閉めた状態で使用しないでください。

- 強い風により、まれに内窓(の障子)がはずれることがあります。
風の強いときは外窓を閉め、内窓は少し開けてください。



○上図のように、風の強いときは内窓を10cm程度開けてください。
閉じた状態では風の圧力が内窓へ伝わり、内窓がはずれたり破損するおそれがあります。

- 長期不在時も同様に、内窓を少し開けてください。

【樹脂製品についてのお願い】

【薬品への配慮】

有機溶剤(アセトン、ケトン、エチル、ニトロベンゼなど)が触れないように十分ご注意ください。
また、塩素系薬品(次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など)が窓・ドアに付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

日常の使用に対して十分に耐えますが、金づちなどで強く叩いたり、ナイフで削ったりしますと傷が付きまますのでご注意ください。

【熱への配慮】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので熱源を商品に近づけないでください。

【お掃除方法】

(汚れが軽い場合)

- ① 水拭きか、柔らかい布に水を浸し軽く拭き取ってください。
- ② 必ず乾いた布で十分に水分を拭き取ってください。

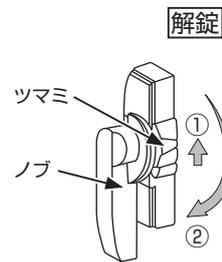
(汚れがひどい場合)

- ① 中性洗剤(1～2%の水溶剤)で軽く洗い落とします。
- ② 洗剤が残らないよう水拭きします
- ③ 乾いた布で、十分に水分を拭き取ってください。

操作

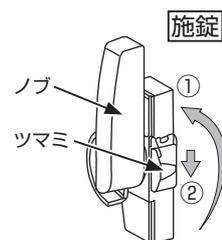
【クレセント(解錠方法)】

- ① ツマミを押し上げてください。
- ② ノブを 180° 回転させてください。

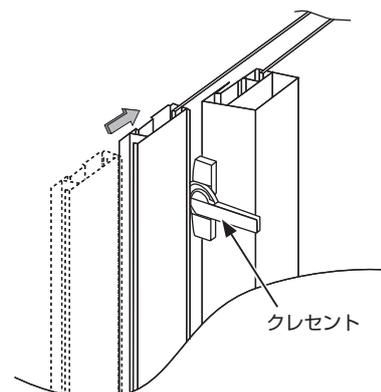


【クレセント(施錠方法)】

- ① 障子を完全に閉めてください。
- ② ノブを 180° 回転させてください。
- ③ ツマミを押し下げてください。
クレセントが回転しなくなります。



※ 障子を閉める時は、クレセントが完全な解除(解錠)状態にあることを確認してください。クレセントを右図のような状態で外障子をスライドさせると、外障子が当たりクレセント本体・障子を破損いたしますので、ご注意願います。



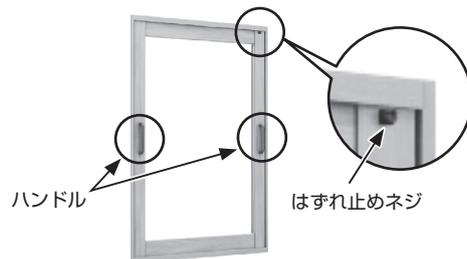
樹脂製内窓 プラマード U FIX 窓

主要部材名称

外窓がFIX窓の場合に、一般的に使用される採光用の内窓です。メンテナンス時は障子が取りはずしできます。

主要部品

- ・ハンドル
- ・はずれ止めネジ



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

△注意

- ・ ガラスを組み込んだ窓は大きな重量となっています。取りはずしなどの作業を行う際は、2人以上で作業するなど取り扱いにご注意ください。
- ・ 無理な開閉操作はガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- ・ 障子たてこみ後は、必ずはずれ止めネジを取り付けてください。ガラス障子が窓枠からはずれるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

【樹脂製品についてお願い】

【薬品への配慮】

有機溶剤(アセトン、ケトン、エチル、ニトロベンゼなど)が触れないように十分ご注意ください。また、塩素系薬品(次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など)が窓・ドアに付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

日常の使用に対して十分に耐えますが、金づちなどで強く叩いたり、ナイフで削ったりしますと傷がつきますのでご注意ください。

【熱への配慮】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので熱源を商品に近づけないでください。

【お掃除方法】

(汚れが軽い場合)

- ① 水拭きか、柔らかい布に水を浸し軽く拭き取ってください。
- ② 必ず乾いた布で十分に水分を拭き取ってください。

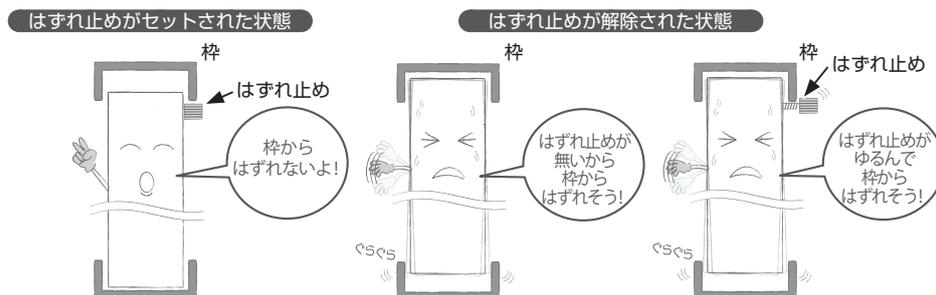
(汚れがひどい場合)

- ① 中性洗剤(1～2%の水溶液)で軽く洗い落とします。
- ② 洗剤が残らないよう水拭きします。
- ③ 乾いた布で、十分に水分を拭き取ってください。

操作

はずれ止めとは

- ・ はずれ止めは、窓が持ち上がって脱落、落下するのを防止するための部品です。
- ・ 窓をはずす時以外は、絶対にはずれ止めを取りはずさないでください。



はずれ止めは、窓の右上部にあります。



窓の取りはずし方

- ガラスの入った窓は重量があります。窓の取りはずし、取り付けを行う際は、2人以上で行い取り扱いには十分注意してください。

<窓重量の例>

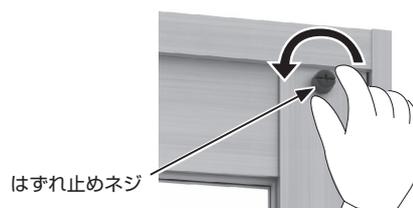
例1) 幅750mm、高さ1500mm、ガラス厚3mm単板ガラスの場合：約10kg

例2) 幅1500mm、高さ1800mm、「3+A12+3mm」の複層ガラスの場合：約40kg

1 はずれ止めネジを取りはずす

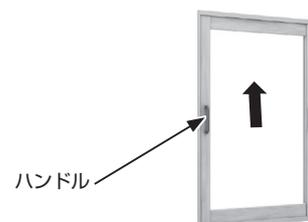
はずれ止めネジを反時計回りにまわしてはずします。

- 取りはずしたはずれ止めネジをなくさないよう注意ください。



2 窓を持ち上げる

ハンドルを持って窓を垂直に持ち上げます。



3 窓を取りはずす

窓の下部を手前に引いてはずします。

- はずした窓は、破損したり傷ついたりしないように置いてください。



窓の取り付け方

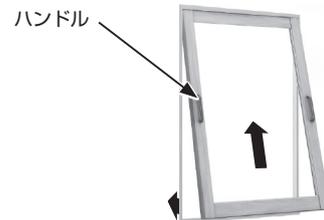
- ガラスの入った窓は重量があります。
窓の取りはずし、取り付けを行う際は、2人以上で行い取り扱いには十分注意してください。

<窓重量の例>

- 例1) 幅750mm、高さ1500mm、ガラス厚3mm単板ガラスの場合：約10kg
- 例2) 幅1500mm、高さ1800mm、「3+A12+3mm」の複層ガラスの場合：約40kg

1 窓を押し込む

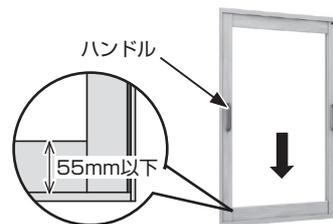
ハンドルを持ち、窓の上部を窓枠に押し上げながら下部を外側に押し込みます。



2 窓をはめ込む

ハンドルを持ち、窓を垂直に押し下げしっかり枠にはめ込みます。

- 窓の下部の見え方が55mm以下になっていることを確認してください。

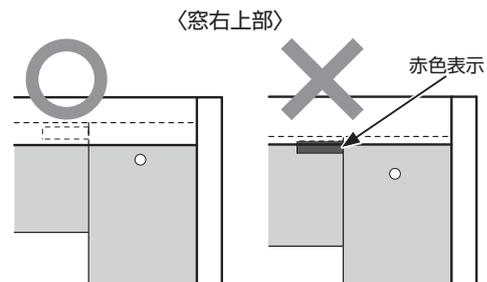
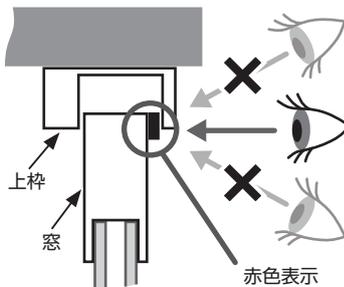


3 赤色表示が見えないことを確認する

- 赤色表示が見える場合、開口部の経年劣化等により、上枠と窓のかかり寸法が設置当時より少なくなっていることが考えられます。そのまま使い続けると、窓が脱落するおそれがあります。
窓を取りはずしたうえで、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店に修理依頼をしてください。

●ポイント

窓上部の赤色表示を確認する際は、必ず正面から見てください。
上部または、下部から見ると、正しい状態が確認できません。

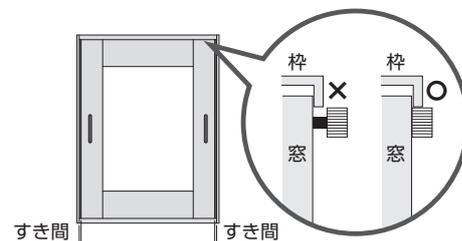
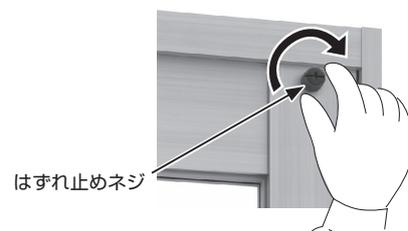


4 はずれ止めネジを取り付ける

窓の左右のすき間が均等になる位置で、はずれ止めネジを時計回りにまわして取り付けます。
はずれ止めネジは根元までしっかりしめ、窓がはずれないことを確認します。

△注意

- ネジはまわしながら取り付けてください。
- まわさずに押し込むと取り付け部が破損するおそれがあります。



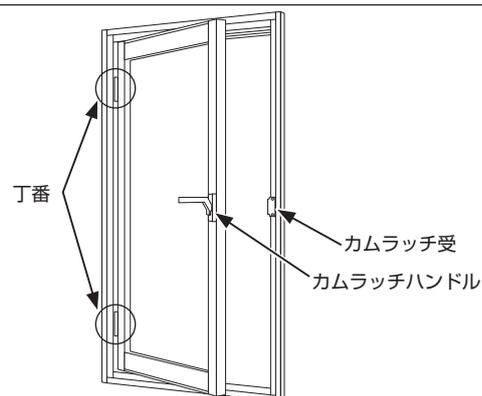
樹脂製内窓 プラマードU 内開き窓

主要部材名称

外窓が外開き窓の場合に、一般的に使用される内窓です。

主要部品

- ・カムラッチハンドル
- ・カムラッチハンドル受け
- ・丁番



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

△注意

- ・ガラスを組み込んだ窓は大きな重量となっています。取り外しなどの作業を行う際は、2人以上で作業するなど取扱にご注意ください。
- ・無理な開閉操作はガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

お願い

- ・外窓を開いているときは、内窓も開けてください。内窓を閉めた状態では使用しないでください。
- ・風の強いときは、外窓を閉め、内窓は少し開けてください。
- ・長期不在時も同様に内窓を少し開けてください。

【樹脂製品についてのお願い】

【薬品への配慮】

有機溶剤(アセトン、ケトン、エチル、ニトロベンゼなど)が触れないように十分ご注意ください。また、塩素系薬品(次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など)が窓・ドアに付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

日常の使用に対して十分に耐えますが、金づちなどで強く叩いたり、ナイフで削ったりしますと傷が付きまますのでご注意ください。

【熱への配慮】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので熱源を商品に近づけないでください。

【お掃除方法】

(汚れが軽い場合)

- ① 水拭きか、柔らかい布に水を浸し軽く拭き取ってください。
- ② 必ず乾いた布で十分に水分を拭き取ってください。

(汚れがひどい場合)

- ① 中性洗剤(1～2%の水溶剤)で軽く洗い落とします。
- ② 洗剤が残らないよう水拭きします
- ③ 乾いた布で、十分に水分を拭き取ってください。

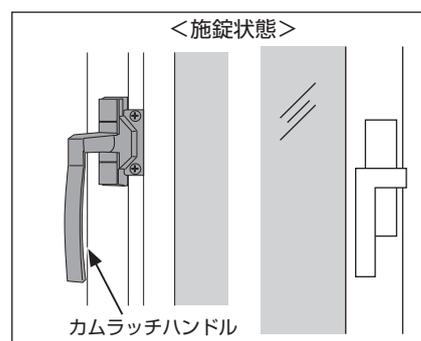
操作

【開け方】

- ① カムラッチハンドルを水平にしてください。
- ② 窓を室内側へ引き開けてください。

【閉め方】

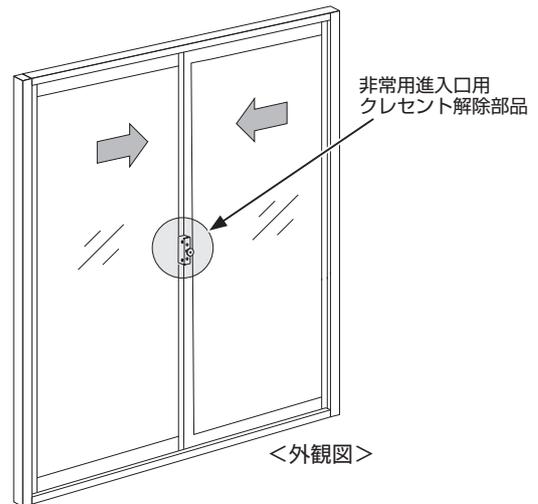
- ① カムラッチハンドルを水平にしてください。
- ② 窓を室外側へ押し、窓を完全に閉めてください。
- ③ カムラッチハンドルを垂直にしてください。



非常用進入口用クレセント受 (EXIMA 31 用)

主要部材名称

室外側から、ツマミ部品を引くと、障子が開放できる非常に操作する部品です。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

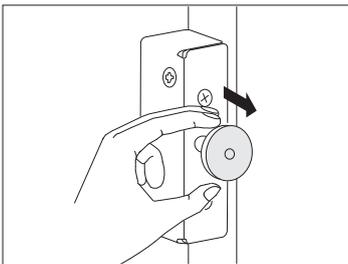
- 非常時に障子を開放した際、非常用進入口用クレセント受は、レール内に落下します。復帰させる際には外部への落下等、十分にご注意ください。
- 非常用進入口の前には、物を置かないでください。

お願い

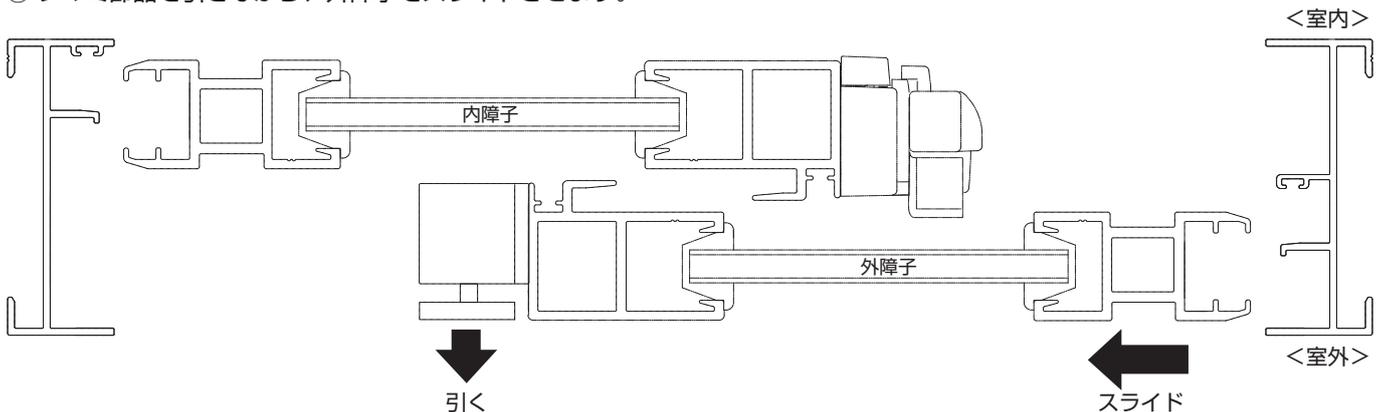
- 非常用進入口用クレセント受は、非常時に外部から入室するための部品です。非常時以外は、操作しないでください。
- 定期点検時等で動作確認が必要な場合は、ツマミ部品のみ動作確認としてください。(外障子まで操作して受けをはずしてしまうと、受け周辺のガラスシールが切れて復帰させる際にガラスシーリング工事が必要になる場合があります。)

操作

① ツマミ部品を引く



② ツマミ部品を引きながら、外障子をスライドさせます。

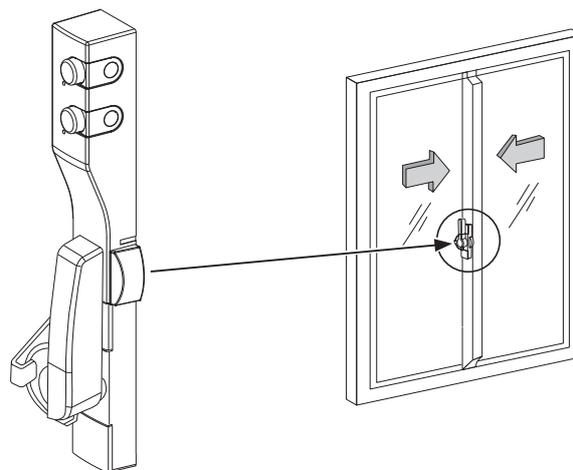


③ クレセント受が召合せかまちより外れ、障子が開放されます。

ボタン錠付きクレセント

主要部材名称

防犯性へ配慮したボタン付きのクレセントです。
任意の暗証番号の設定が可能です。



ボタン錠付きクレセント

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ボタンを施錠した状態から解錠までには、時間を要する場合がありますので在宅時はボタン錠を解錠した状態（クレセントロックが上下に動く状態）でのご使用をおすすめします。
- ボタンの押し回数の暗証設定を行った後は、ボタンの押し回数を記録して保管してください。
※ 暗証回数を忘れると解除（解錠）できなくなります。
- ボタンの押し回数の暗証を再設定する場合は、一度黄色面（初期記憶状態）に暗証を設定し直してください。
※ 一度記憶状態に戻さないとボタンの押し回数が分からなくなるおそれがあります。

操作

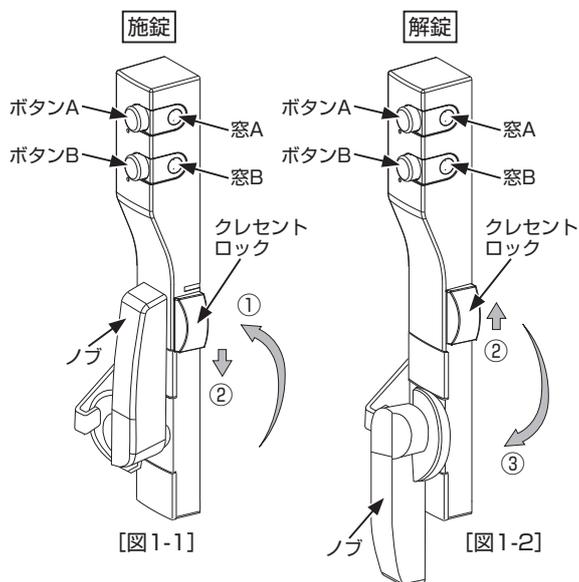
[初期設定のまま使用する場合]

1-1 施錠方法[図1-1]

- ① 「ノブ」を回して、クレセントを掛けてください。
- ② 「クレセントロック」を下げて、2重ロックを掛けてください（ここまでは通常のクレセントと同様の操作になります）。
- ③ 「ボタンA」「ボタンB」を数回押してください。
※ 1回でも「ボタンA」「ボタンB」を押すと「クレセントロック」がロックされます。

1-2 解錠方法[図1-2]

- ① 「ボタンA」「ボタンB」を「窓A」「窓B」に黄色面が出るまで押します。
- ② 「クレセントロック」を上げてください。
- ③ 「ノブ」を回して、クレセントを解除（解錠）します。
※ 初期設定は黄色面で「クレセントロック」が解除（解錠）されるように設定されています。



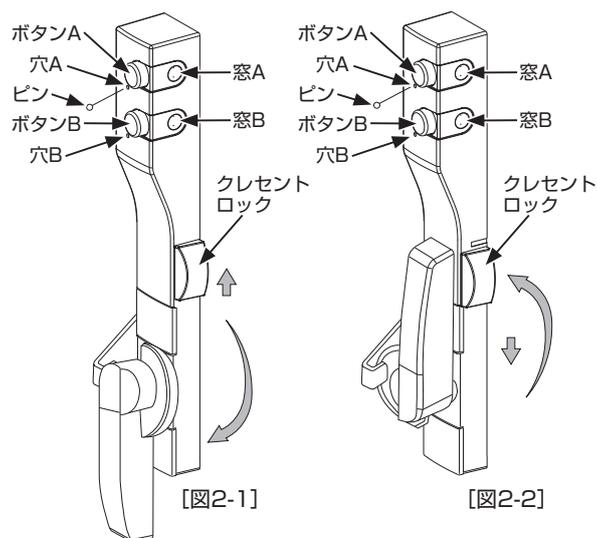
【暗証設定のまま使用する場合】

2-1 暗証設定の仕方【図2-1】

- ① ボタン錠を解除（解錠）状態にしてください。
（「窓 A」「窓 B」も黄色面を出し、「クレセントロック」を必ず上げた状態にしてください。）
- ② 付属の「ピン」を「穴 A」に押し込んだまま「ボタン A」を 1 回～7 回押ししてください。
設定したい回数分ボタンを押した後、「ピン」を抜いてください。
押した回数が黄色面からの暗証回数となります。
- ③ 「穴 B」も「穴 A」と同様に黄色面からの暗証回数を設定してください。

2-2 暗証設定の確認【図2-2】

- ① 「クレセントロック」を下げたから「窓 A」「窓 B」に黄色面を出してください。その時に「クレセントロック」が上がらないことを確認してください。
その状態から 2-1 の②、③で設定した暗証回数分「ボタン A」「ボタン B」を押してください。
「クレセントロック」が上がれば暗証確認完了です。



【図2-1】

【図2-2】

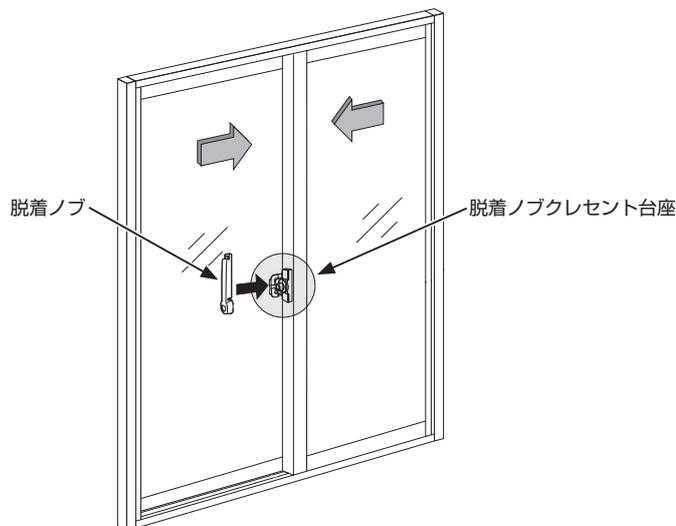
【再設定の方法】

ボタン錠を解錠した状態（「クレセントロック」が上下に動く状態）で「クレセントロック」を上げて「ピン」を「穴A」に押し込んだまま、「窓A」に黄色面がでるまで「ボタンA」を押してください（「ボタンB」も同様）。黄色面に設定後2-1の①から順に暗証設定を行ってください。

脱着ノブクレセント (EXIMA 31 用)

主要部材名称

脱着式の操作ノブで、障子の開閉操作を制限できるクレセントです。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

⚠注意

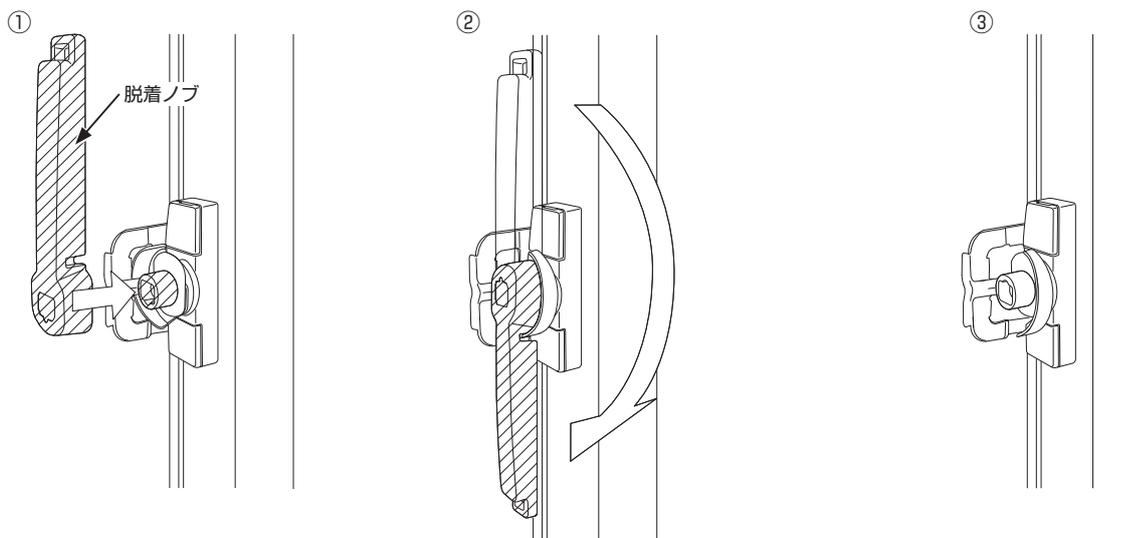
- 風の強いときは、窓を閉めて、必ず錠をかけてください。

お願い

- ノブは、脱着式です。操作後は必ず脱着ノブを取り外し、紛失しないよう適切な場所に保管してください。
- 室内側からのこじ開けなどにより、転落などの思わぬ事故につながる恐れがあります。事故防止のため、脱着ノブの代用となるようなものを窓の近くに置かないでください。
- 脱着ノブを紛失した場合は、お近くの当社営業窓口までお問い合わせください。

操作

【カギの解錠方法】



- 脱着ノブを上向きに取り付ける。
- 脱着ノブを下向きに回転させます。カチッと音がするまで回すと、カギが解錠されます。
- 必ずノブを外し窓を開けてください。

※ カギの施錠方法は、解錠方法の逆手順となります。

キー付クレセント

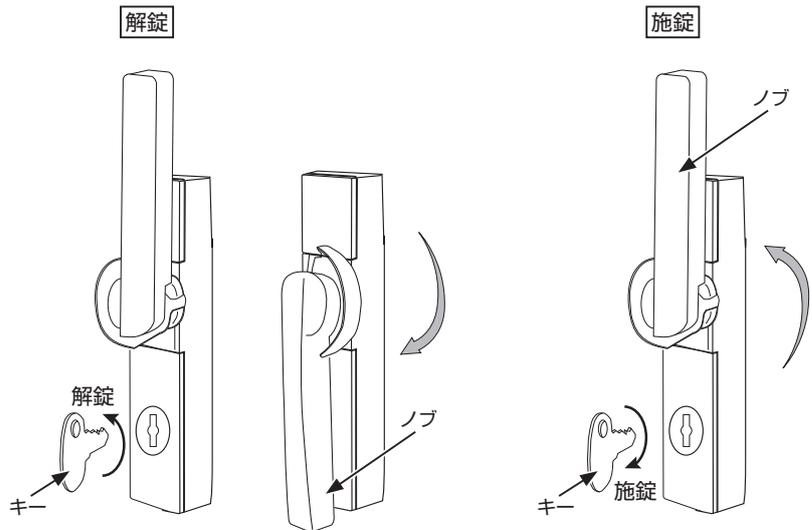
操作

(解錠方法)

- ① キーを入れて 180° 回してください。
- ② ノブを下に 180° 回転させてください。

(施錠方法)

- ① 障子を完全に閉じてください。
- ② ノブを上を 180° 回転させてください。
- ③ キーを入れて 180° 回してください。
ノブが回転しなくなります。



お願い

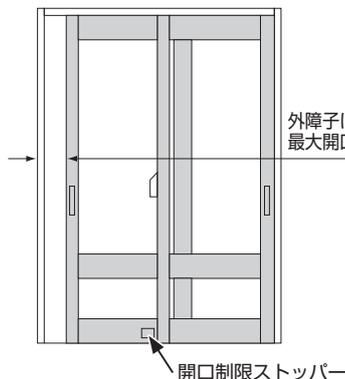
- キーを差し込んだままでクレセントノブを回転させないでください。
- キーは入居者・管理者が保管し、なくさないようご注意ください。

開口制限ストッパー

主要部材名称

窓の下部にオプションで設定されている障子の開放を制限するストッパーです。面付けタイプ、内蔵タイプの2種類があります。

■面付タイプ



外障子に取り付け
最大開口幅=110mm

■内蔵タイプ



内障子に取り付け
最大開口幅=110mm

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

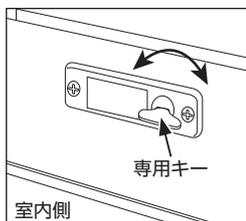
- 開口制限ストッパーは障子の開放を制限するストッパーです。防犯目的ではありませんので、就寝、外出時には障子を閉めクレセントによる施錠を行ってください。
- ストッパーと障子の間に手や足をはさまないようにご注意ください。

お願い

- 開口制限ストッパーがかかっている状態で、無理な開閉を行わないで下さい。破損する場合があります。
- 専用キー、操作つまみは入居者・管理者が保管し、なくさない様ご注意ください。

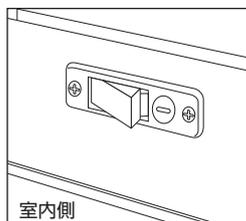
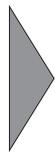
操作

【面付タイプ】



室内側

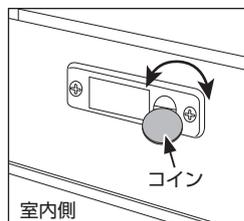
専用キーを180°まわします



室内側

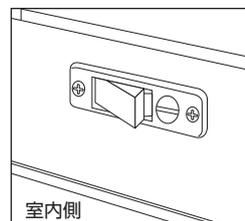
ストッパーがかかります

・コイン操作仕様



室内側

コインを差し込み180°まわします

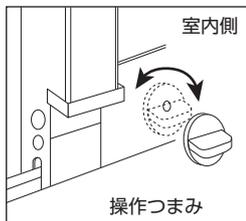


室内側

ストッパーがかかります

【内蔵タイプ】

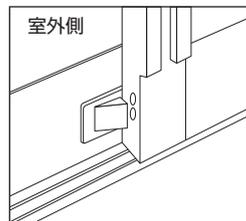
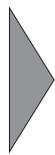
・内部操作仕様(室内側からのみ操作できます)



室内側

操作つまみ

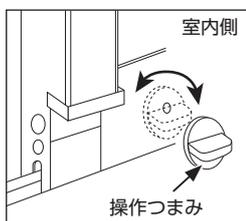
操作つまみを180°まわします



室外側

ストッパーがかかります

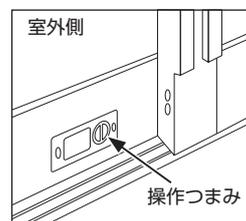
・内外操作仕様(室内外で操作可能です)



室内側

操作つまみ

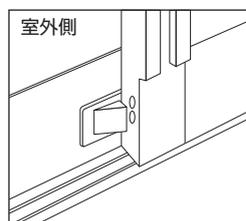
操作つまみを180°まわします



室外側

操作つまみ

ストッパー横の操作つまみを180°回します



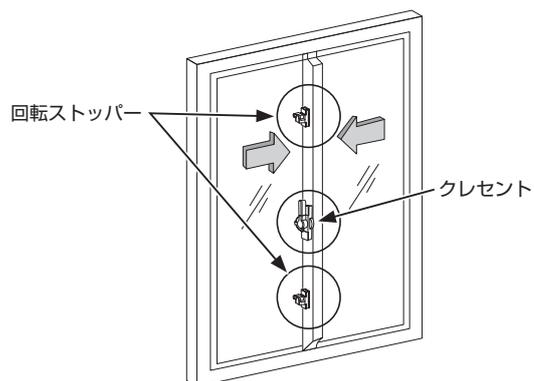
室外側

ストッパーがかかります

回転ストッパー

主要部材名称

障子の行き違いを防止するストッパーです。
戸先障子と召合せ枠との間にクリアランスを設けられます。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

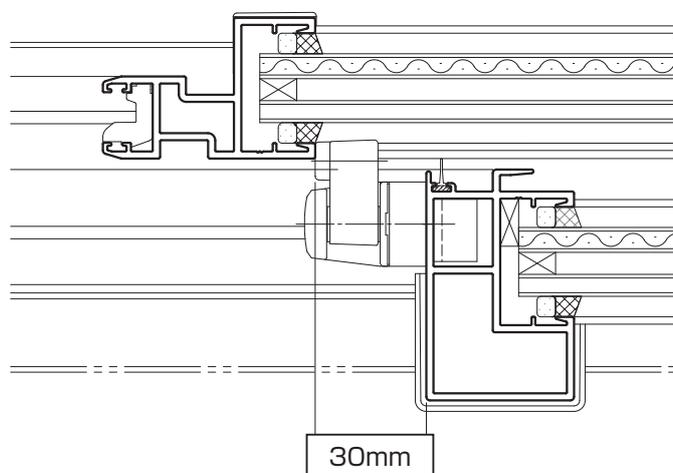
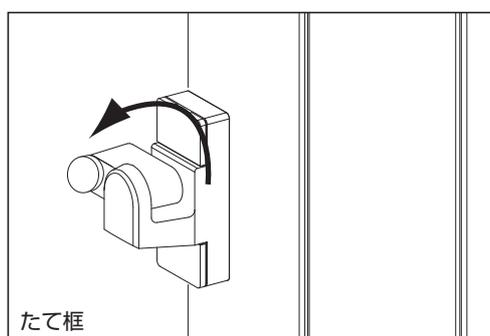
お願い

- ご使用するには必ず、上下両方をセットしてください。部品の破損の原因になります。

操作

【回転ストッパー設定方法】

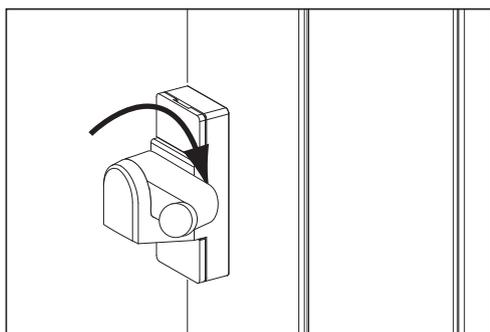
回転ストッパーを室外側へ回転させてください。
障子がどの位置でも、戸先障子と召合せ枠との間にクリアランスを設けられます。



【回転ストッパー解除方法】

回転ストッパーを室内側へ回転させることで解除状態となり、障子の行き違いが可能です。

※ 外障子を開放し網戸を使用する際は、回転ストッパーを解除し、障子をすべて引込んだ状態でご使用ください。

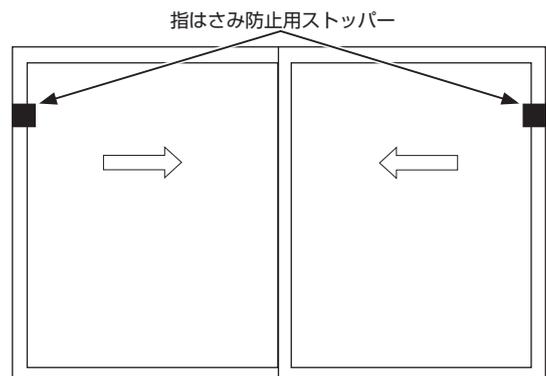
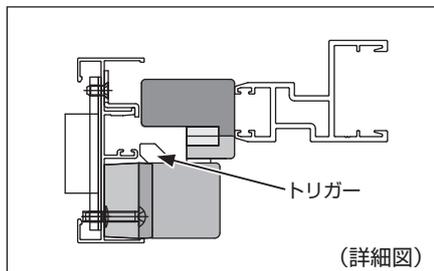


指はさみ防止用ストッパー

□ EXIMA 31

主要部材名称

枠と障子の間にすきま間を設け、誤って閉めたときに、枠と障子の間で指をはさむことを防ぐストッパーです。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

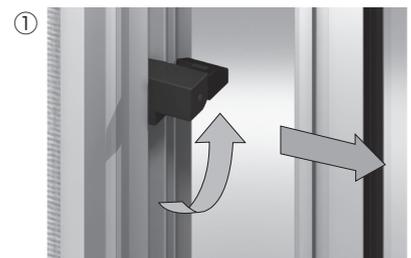
お願い

- 指はさみ防止用ストッパーが作動している状態で、無理な開閉を行わないでください。部品の破損の原因になります。

操作

【ストッパー作動時】

- ① 障子を開くと、バネの力により、自動的に作動状態となります。



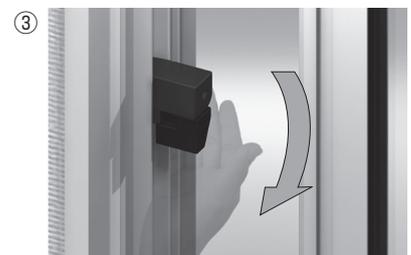
- ② 誤って障子を閉めた時に、障子がストッパーに当たり、閉まりきらないよう、すき間を作ります。



【ストッパー解除時】

- ③ ストッパーを室内側に(*)回転させると、一旦ストッパーが固定され、指はさみ防止機能が解除されます。

※ 内障子側にストッパーが取り付けられている場合は、室外側へ回転させてください。



- ④ ストッパーを解除したことを確認した後、障子を閉めてください。障子を閉めきるとトリガーが押され、再び作動待機状態になります。



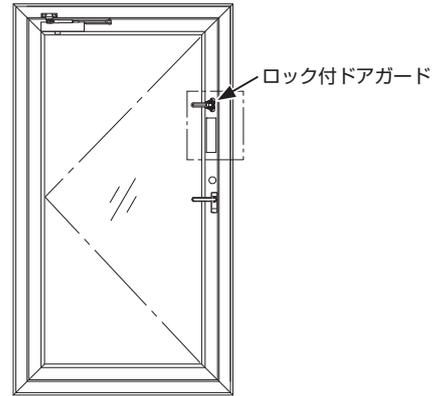
商品に故障などの不具合が発生した場合には、最寄りのYKK AP支店または取扱店までご相談ください。

ロック機構付ドアガード [片開きドア用]

□ EXIMA 31 □ EXIMA 51 □ EXIMA 32

主要部材名称

適度な角度で換気状態を保持できる機能を持ったドアガードです。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

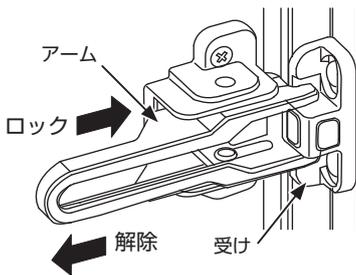
- ロック機構は上部錠、下部錠と合わせてご使用ください。
- 通風時の機構は錠、防犯に対する機構ではありません。外出時・就寝時などは必ず本締錠をかけてください。
- ドアガードを使用する際は、アームを持って操作してください。
- ドアガードのアームやフックを立てたままドアを開閉しないでください。
- アームをロック位置にスライドしたままドアを開閉しないでください。
- 降雨時、風の強い時には扉を開けないでください。

△注意

- ドアの開閉時には、丁番側のすきまに手を置かないでください。指をはさんで大けがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ドアの開閉時は、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風等でドアが急に閉まった時、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 風の強い時は、ドアを閉めて、必ず本締錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

操作

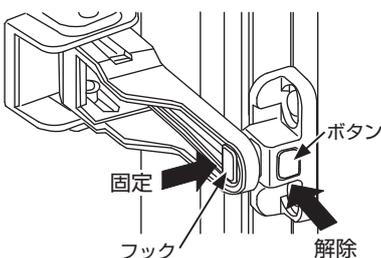
【ロック時】



ドアを閉めた状態でアームを受け側にスライドさせます。スライドさせることでロックがかかります。アームを反対方向にスライドさせると、ロックが解除されます。

- ※ ロックした状態では、シリンダー錠を解除してもドアは開きません。
- ※ 室外側からロック機構の操作はできません。

【通風時】



ドアを開け、アームを倒したガード状態でフックを押し込むと、ドアが開いた状態で固定され、通風が可能になります。ドアを軽く押さえながらボタンを押すと解除されます。

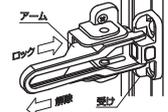
- ※ 室外側から通風機構の操作はできません。

お願い

- ドアガードを使用する際は、アームを持って操作してください
- ドアガードのアームやフックを立てたままドアを開閉しないでください
- アームをロック位置にスライドしたままドアを開閉しないでください
- 「通風機構」は、外出・就寝時などに必ず使用するしないでください
- 強風の際は、扉を閉めてください

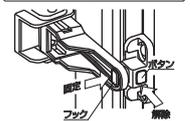
ロック機構・通風機構の操作方法

ロック機構



ドアを閉めた状態でアームを受け側にスライドさせる
※「ロック機構」は上部錠・下部錠と合わせてご使用ください
※反対方向にスライドさせると解除されます

通風機構



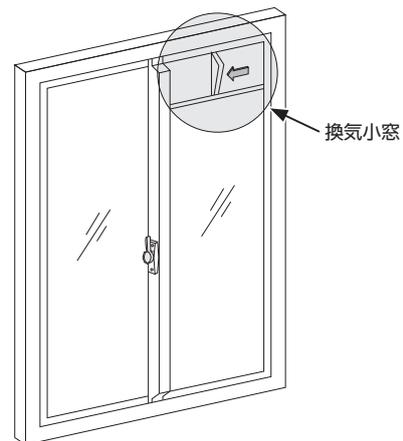
ガード状態でフックを押し込めると、ドアが固定された状態で通風されます
※ドアを軽く押さえながらボタンを押すと解除されます

貼付ラベルイメージ

換気小窓

主要部材名称

障子を閉めた状態で換気を行うことができます。
片引き方式で、小窓締りを解錠(開)にすることで小窓のガラスが
スライドします。



主要部品

- ・小窓締り

安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ 降雨時、風の強い時には、小窓のガラスを閉めて施錠をご確認ください。
- ・ 就寝、外出時には必ず小窓のガラスをお閉めください。

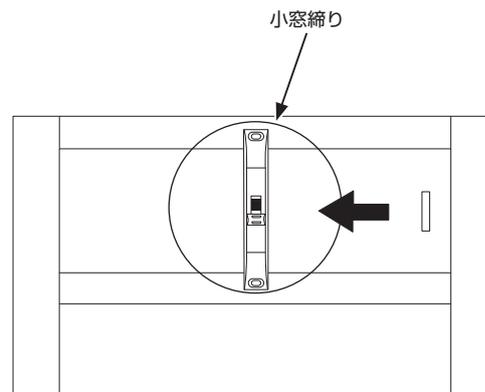
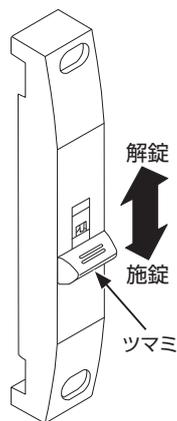
操作

【換気小窓 開け方】

小窓締りのつまみを押し上げてください。
小窓のガラスがスライドします。

【換気小窓 閉め方】

小窓締りのつまみを押し下げてください。



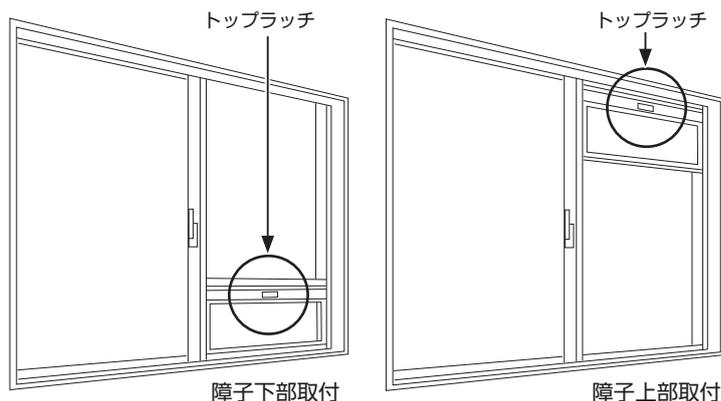
換気小窓 [内倒し型]

主要部材名称

障子を閉めた状態で換気を行うことができます。
換気窓は、ツマミの操作により室内側に倒れます。

主要部品

- ・ トップラッチ
- ・ トップラッチ受
- ・ 内倒しアーム



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

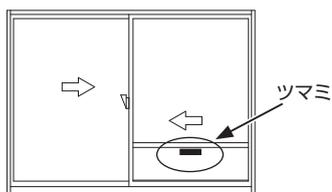
- ・ 風の強い時には、障子を閉めてロックを完全にしてください。
- ・ 風にあおられる恐れがあります。開閉の際ご注意ください。
- ・ 就寝、外出時には必ず障子をお閉めください。
- ・ 障子を開けた状態で、障子に無理な力をかけないでください。
人がぶらさがったり、重い荷物をロープでかける等しますと、障子が破損、落下するおそれがあります。

操作

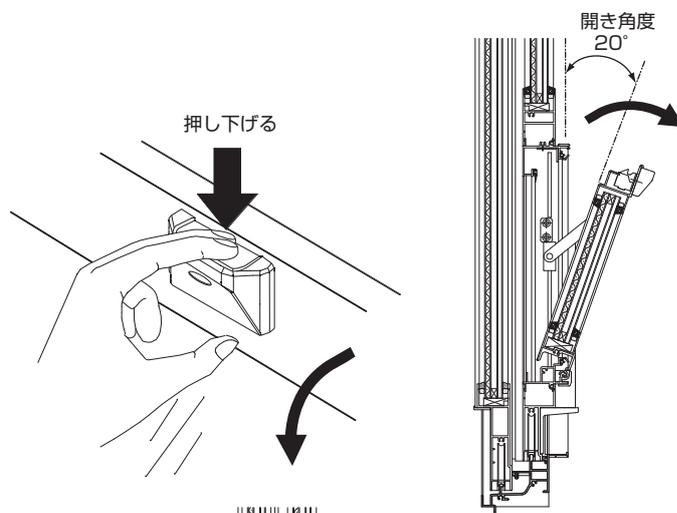
[内倒し型 開け方]

換気窓の障子上枠のトップラッチのツマミを押し下げてください。

ロックが解除されると同時に障子が内側に倒れます。
ストッパーが動き、設定された角度(約20°)で障子がストップします。

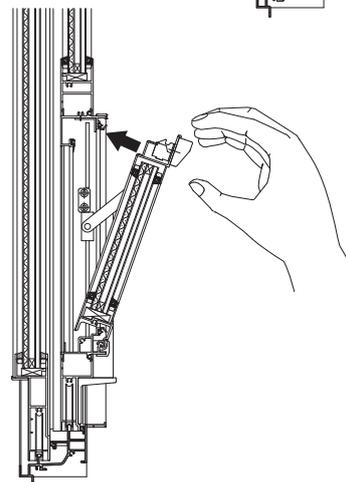


- ・ ツマミの端部での操作ではうまく押し下がらない場合があります。操作のしやすい中央部で操作してください。
- ・ ラッチ解除後も急には障子が倒れにくい設定となっておりますので、ツマミを下げながら手前に引くように開けてください。



[内倒し型 閉め方]

障子を閉める時は、ツマミ部に手をあててゆっくりと押ししてください。カチッと音がなりロックがかかります。締り金具(トップラッチ)がロックされたことをご確認ください。



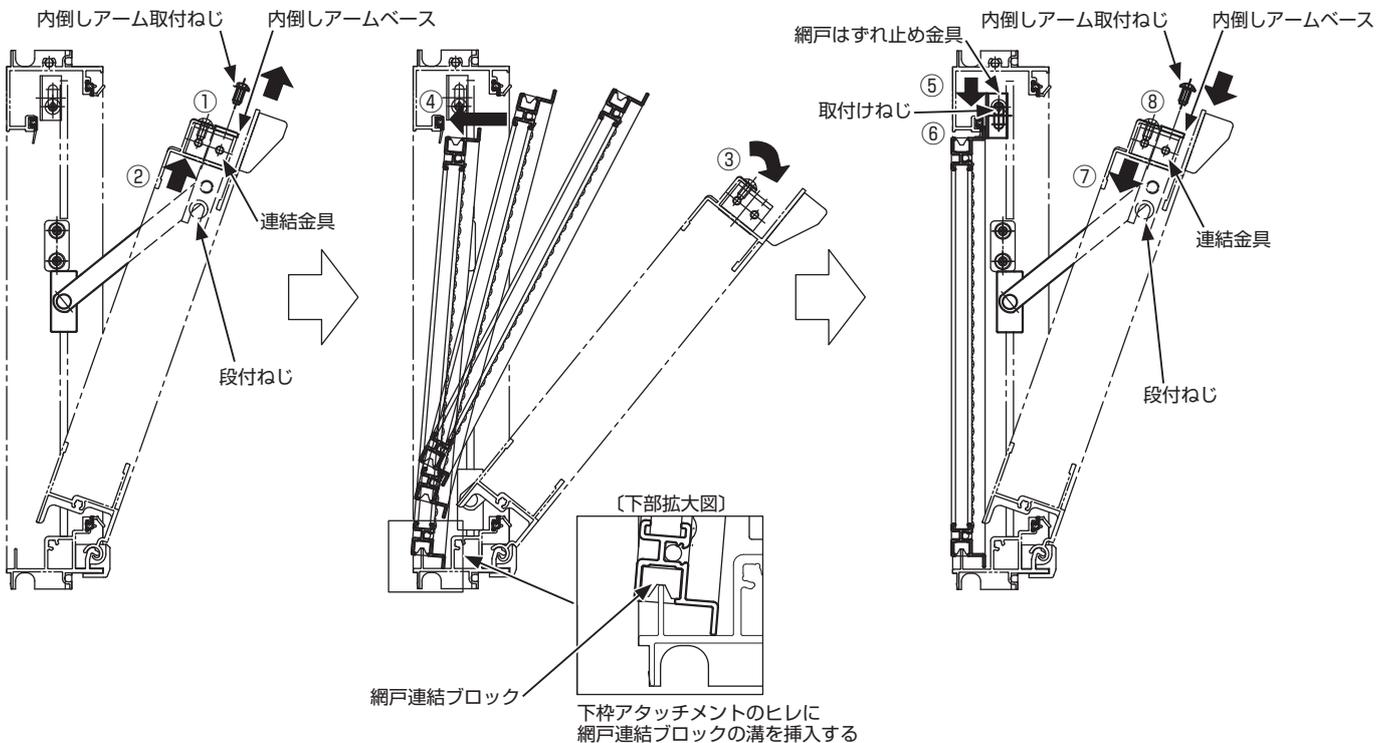
メンテナンス

【網戸脱着方法について】

網戸は取りはずし可能ですが、清掃等の日々のお手入れは取り付けたままで行なっていただくことをお勧めいたします。網戸端部には鋭利になっている部分がありますので、着脱される際には、十分にご注意くださいますようお願いいたします。

【取り付け方法】 ※取りはずしは逆手順です。

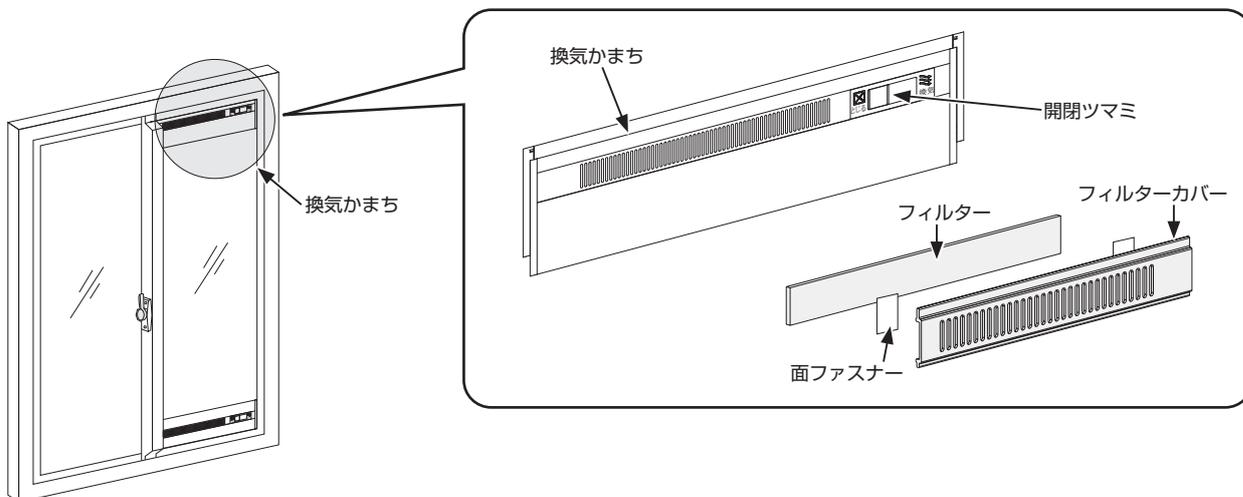
- ① 内倒しアーム取付けねじをはずします。
- ② 内倒しアームベースを連結金具からはずします。
- ③ 障子を大きく開きます。
- ④ 網戸を挿入します。網戸が下アタッチメント部まで挿入できたことを確認し、網戸上框を室外側へ押し込みます。
- ⑤ 網戸はずれ止め金具取付けねじをゆるめ、金具を下げます。(左右各 1箇所)
- ⑥ 取付けねじをゆるめ、金具を固定します。
- ⑦ 内倒しアームベース先端の馬蹄形部を段付ねじに挿入します。
- ⑧ 内倒しアームを連結金具に固定します。



換気かまち

主要部材名称

障子を閉めた状態で換気を行うことができます。
ツマミをスライドさせて、換気口を開閉します。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

- ・ 降雨時、強い風の時には、換気かまちは「とじる」の状態にしてください。

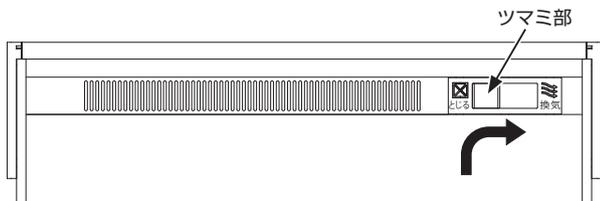
操作

【換気かまち】

開閉操作は、開閉ツマミを押しながら右または左へスライドさせてください。

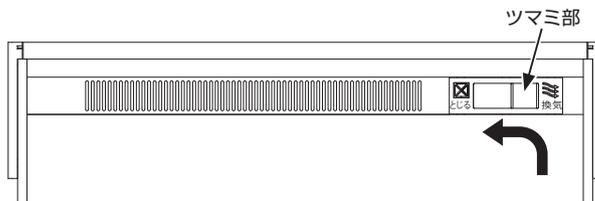
(開け方)

開閉ツマミを押しながら右端まで操作してください。



(閉め方)

開閉ツマミを押しながら左端まで操作してください。



【フィルター（オプション部品）】 交換方法

- ① フィルターカバーとフィルターを持ち上げてください。
 - ② フィルターカバーとフィルターを手前に引き出しフィルターをフィルターカバーから引き出してください。
 - ③ フィルターを交換してください。
-
- ※取付けは逆の手順で行ってください。

お願い

- 取付け後、フィルターカバーの下にすき間がないことを確認してください。
- 上下の向きを間違えないように注意してください。



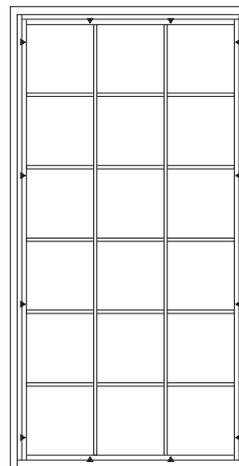
※フィルターは水洗い(水槽内での押し洗い)することで、繰り返し使用することができます。

装飾格子

EXIMA 31 EXIMA 51 EXIMA 32

主要部材名称

サッシ枠や障子に取り付ける意匠用の格子です。



安全にお使いいただくため次の事項を必ずお守りください

⚠注意

- お手入れの際等に格子に指をかけたり、無理に引張ったりしないでください。格子部材が外れるおそれがあります。
- 引違い窓や片引き窓の場合、格子を持って障子进行操作しないでください。障子の行き違いで指を挟むおそれがあります。

お願い

- ガラスと格子の間に汚れがたまることがありますので、こまめにお手入れしてください。

商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、まず、商品をお求めの建築会社、工務店または販売店に修理をご依頼ください。

■保証期間

建築会社様よりの引渡し日(注1、注2)から2年間(電装部品については1年間)。

ただし、商品からの雨水浸入については10年間。

(注1) 改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

(注2) 分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡しの日とします。

■保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまるがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ① 当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色、腐食など)
- ② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ③ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④ 商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など)、経年劣化(樹脂部品の変質・変色など)またはこれらに伴うさび、かびまたはその他類似の不具合
- ⑤ 商品周辺の自然環境、住環境に起因する結露、腐食またはその他の不具合(例えば、塩害による腐食、大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑥ 商品または部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑦ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑧ 実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
- ⑨ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑩ 引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行なわなかったことによる不具合
- ⑪ お客様自身の組立て、取り付け、修理、改造(必要部品の取りはずしを含む)に起因する不具合
- ⑫ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

* 保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

* B L 認定品は保証期間、保証内容、免責事項などについて別途定められています。

* 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

* 保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社営業窓口にお問い合わせください。

* この商品は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については、適用しないものとします。

BL認定品の商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、まず、商品をお求めの建築会社、工務店または販売店に修理をご依頼ください。

■保証期間・保証内容

建築会社様よりの商品の引渡し日(注1、注2)から2年間(電装部品については1年間)。

ただし、商品からの雨水浸入については10年間。

(注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

(注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡しの日とします。

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時、サッシ下枠に雨水がたまるがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

また、特定機能については下記のごとく別途定められています。

ただし、ドア・クローザ、錠前については保証期間、保証内容、免責事項が別途定められています。

品目	特定機能	保証期間
サッシ・改修用サッシ	雨水の浸入を防止する機能	10年
玄関ドア・改修用玄関ドア	手動での開閉機能	5年
パイプシャフト用ドア	手動での開閉機能	5年
墜落防止手すり	全般(取付金物の埋め込みに係るものを除く)	5年
歩行・動作補助手すり	全般	5年
浴室ドア	耐水性能および戸の開閉機能	5年
面格子	全般	5年
内窓	—	2年

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①住宅用途以外で使用した場合の不具合
- ②当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良による変色や腐食など)
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ④商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など)、経年劣化(樹脂部品の変質・変色など)またはこれらに伴うさび、かびまたはその他類似の不具合
- ⑤商品周辺の自然環境、住環境に起因する結露、腐食またはその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑥天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑦犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑧引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行なわなかったことによる不具合
- ⑨お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造(必要部品の取りはずしを含む)に起因する不具合
- ⑩本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑪犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間には、施工の瑕疵を含みます。当商品は部品および施工の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険の付されている商品です。

*当商品の保証責任等の責務を果たすことができなくなり、かつ承継者がいない場合には財団によって当該保証責任等の履歴に代わる措置が講じられます。

*保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社営業窓口にお問い合わせください。

*この商品は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については、適用しないものとします。

※BL認定品の取り替え部品の供給については、生産中止後10年間と致します。

集合住宅用ビル商品取扱説明書



納付書 (配布依頼書)

年 月 日

御中

工事名	
所在地	

上記工事の商品を正しく使用していただき、性能・機能保持のため、
集合住宅用ビル商品取扱説明書をお施主様（ご使用者）にお渡しください。

社名 _____

キ リ ト リ

② 集合住宅用ビル商品取扱説明書



受領書

年 月 日

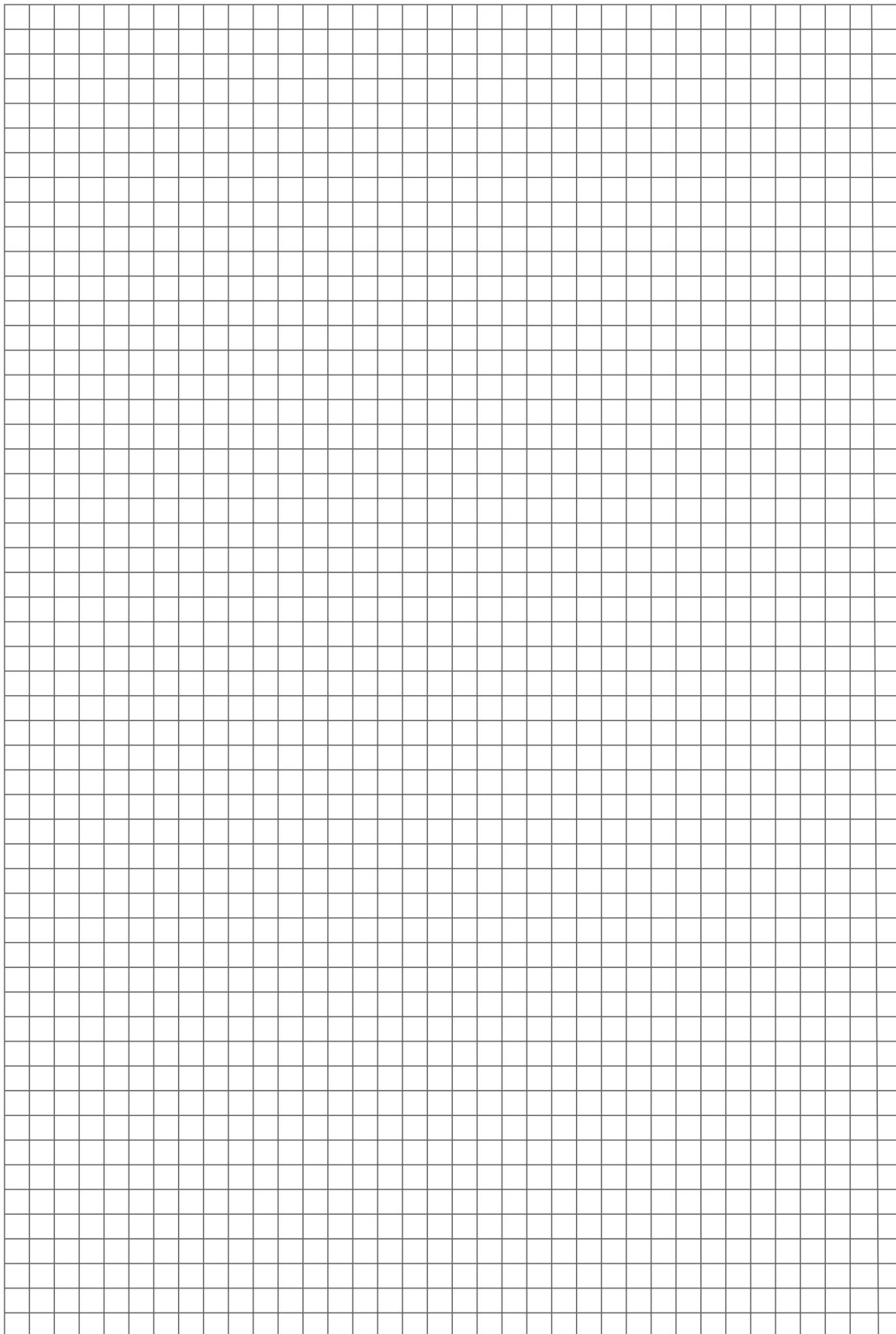
御中

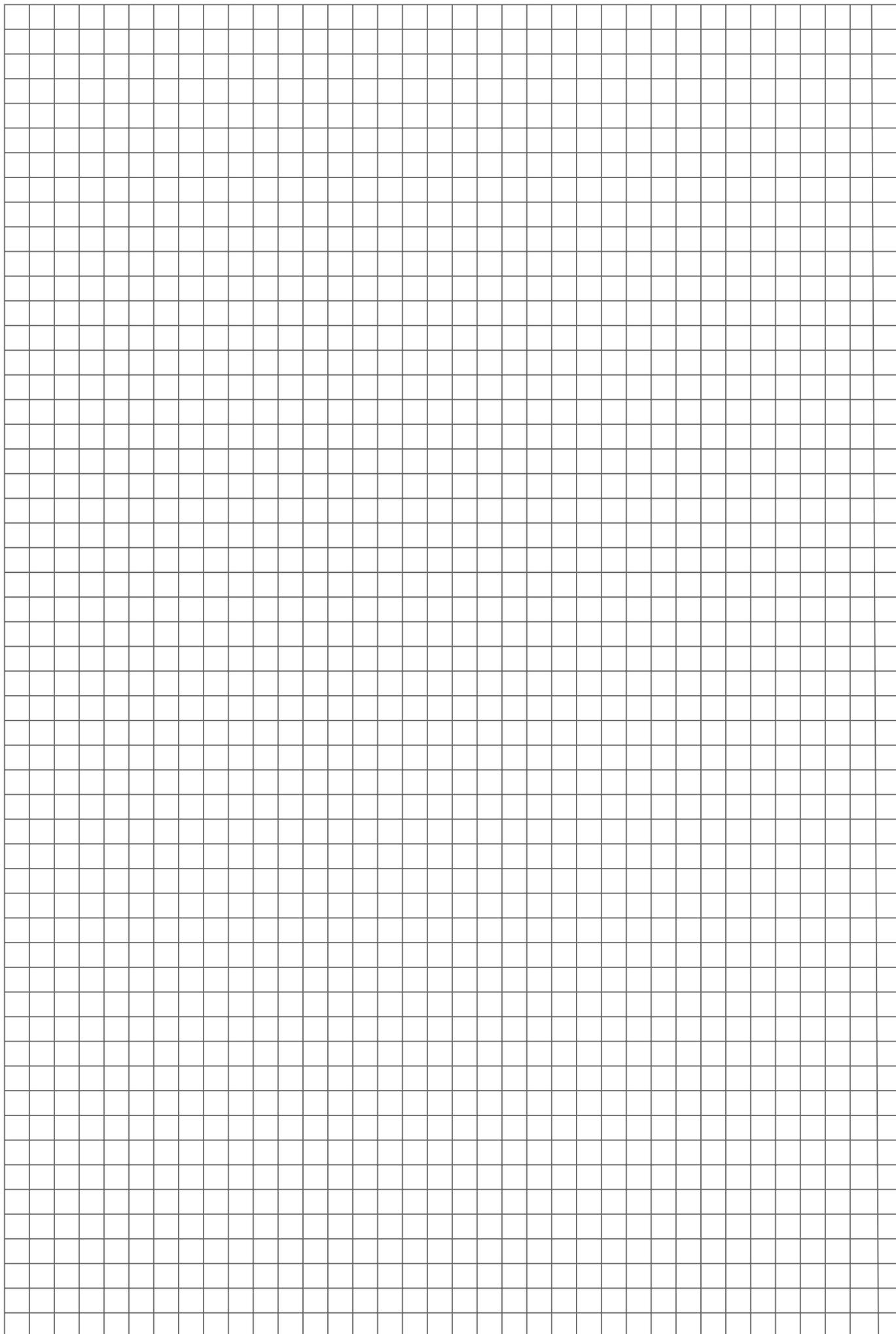
工事名	
所在地	

上記工事の集合住宅用ビル商品取扱説明書を受領致しました。

施工者よりの引き渡し日 年 月 日

社名 _____





**YKK
ap**[®]

YKK AP株式会社

- 表示内容は2023年1月現在のものです。
- 改良のため予告なく商品の仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 発行／2023年1月(3版) Printed in Japan

商品に関するご相談・お問い合わせは、

お客様相談室まで

受付時間／月～土 9:00～17:00 (日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

■建築・設計関係者様

■一般のお客様

☎0120-72-4134

☎0120-20-4134

●お問い合わせ、ご用命は……

YKK AP ビル用商品サイト
<http://www.ykkap.co.jp/search-b/>

(NO |XAAAG-K22-042-3)

